

図書館等複合施設新築(建築工事)工事

<意匠図> ( )内はA3判用紙印刷のスケールを示す

A01	図面リスト	A45	矩計図8 (1/40 )	A90	内壁展開図16 (1/100 )	A132	手摺詳細図1(1/5,30)	A174	屋内広場計画図5(屋内広場ベンチ断面詳細図) (1/25,2)
A02	計画概要・案内図	A46	矩計図9 (1/40 )	A91	内壁展開図17 (1/100 )	A133	手摺詳細図2(1/5,30)	A175	サインリスト
A03	特記仕様書1	A47	矩計図10 (1/40 )	A92	内壁展開図18 (1/100 )	A134	エキスパンドメタル詳細図	A176	サイン計画図1 (1/250)
A04	特記仕様書2	A48	矩計図11 (1/40 )	A93	内壁展開図19 (1/100 )	A135	欠番	A177	サイン計画図2(1/250)
A05	特記仕様書3	A49	矩計図12 (1/40 )	A94	内壁展開図20 (1/100 )	A136	アーケード隙間塞ぎ詳細図(1/10,1000)	A178	サイン図面 (1/20,5)
A06	特記仕様書4	A50	矩計図13 (1/40 )	A95	内壁展開図21 (1/100 )	A137	パラペット詳細図(1/10,1000)	A179	雑詳細図1 (1/5,10,15)
A07	特記仕様書5	A51	矩計図14 (1/40 )	A96	BHF-1F建具キープラン(1/400)	A138-1	ルーフ天井伏図(1/300)	A180	雑詳細図2 (1/5,10,15)
A08	特記仕様書6	A52	矩計図15 (1/40 )	A97	2F建具キープラン(1/400)	A138-2	和紙天井 躯体固定基本詳細図(1/2)	A181	雨水排水計画図1 (1/500)
A09	特記仕様書7	A53	矩計図16 (1/40 )	A98	建具表1	A139	排煙開口部 詳細図(1/2)	A182	雨水排水計画図2 (1/500)
A10	工事区分表	A54	天井伏図1 (1/400)	A99	建具表2	A140	端部壁付け部 詳細図(1/2)	A183	昇降機設備図(乗用)1
A11	現況図 (1/400)	A55	天井伏図2 (1/200)	A100	建具表3	A141	和紙天井 鉄骨梁ズレ部詳細図(1/2)	A184	昇降機設備図(乗用)2
A12	敷地求積図・面積表 (1/400)	A56	天井伏図3 (1/200)	A101	カーテンウォール展開図 (1/200)	A142	排煙開口部 鉄骨梁芯ズレ詳細図(1/2)	A185	昇降機設備図(乗用)3
A13	建築面積求積図・面積表 (1/400)	A57	天井伏図4 (1/200)	A102	建具詳細図1 (1/5)	A143	端部壁付け部 詳細図(1/2)	A186	昇降機設備図(乗用)4
A14	延床求積図・面積表1 (1/400)	A58	欠番	A103	建具詳細図2 (1/5)	A144	欠番	A187	昇降機設備図(乗用)5
A15	延床求積図・面積表2 (1/400)	A59	アンカー 立面図1「01_子」 (1/100 )	A104	建具詳細図3 (1/5)	A145	欠番		
A16	延床求積図・面積表3 (1/400)	A60	アンカー 立面図2「02_和+03_会」 (1/100 )	A105	建具詳細図4 (1/5)	A146	造作家具リスト (1/400)		
A17	平均地盤算定図 (1/400)	A61	アンカー 立面図3「04_展」 (1/100 )	A106	建具詳細図5 (1/5)	A147	家具図1(本棚1) (1/100)		
A18	仕上表1	A62	アンカー 立面図4「05_鏡+09_奏」 (1/100 )	A107	建具詳細図6 (1/5)	A148	家具図2(本棚2) (1/100)		
A19	仕上表2	A63	アンカー 立面図5「06_発+07_作」 (1/100 )	A108	建具詳細図7 (1/5)	A149	家具図3(本棚3) (1/100)		
A20	仕上表3	A64	アンカー 立面図6「08_演」 (1/100 )	A109	建具詳細図8 (1/5)	A150	家具図4(本棚4) (1/100)		
A21	仕上表4	A65	アンカー 立面図7「10_趣」 (1/100 )	A110	建具詳細図9 (1/5)	A151	家具図5(本棚5) (1/100)		
A22	配置図(1/400)	A66	アンカー 立面図8「13_食」 (1/100 )	A111	建具詳細図10 (1/5)	A152	家具図6(こどもとしょかん本棚) (1/150,25,20,8)		
A23	BHF-1F平面図 (1/400 )	A67	アンカー 立面図9「12_知-1」 (1/100 )	A112	建具詳細図11 (1/5)	A153	家具図7(ブラウジングコーナー本棚) (1/300,50,5)		
A24	2F平面図 (1/400 )	A68	アンカー 立面図10「12_知-2」 (1/100 )	A113	建具詳細図12 (1/5)	A154	家具図8(返却口) (1/50,10)		
A25	立面図 (1/300 )	A69	アンカー 立面図11「管理棟-1」 (1/100 )	A114	建具詳細図13 (1/5)	A155	家具図9(受付カウンター1、宿り木カウンター) (1/2,25)		
A26	断面図 (1/300 )	A70	アンカー 立面図12「管理棟-2」 (1/100 )	A115	建具詳細図14 (1/5)	A156	家具図10(02_公衆電話用木製棚) (1/10,2)		
A27	平面詳細図1「01_子」 (1/60 )	A71	アンカー 立面図13「雪室、倉庫等-1」 (1/100 )	A116	建具詳細図15 (1/5)	A157	家具図11(01_子 授乳室ミニキッチン /13_食 厨房カウンター) (1/25)		
A28	平面詳細図2「02_和+03_会」 (1/60 )	A72	アンカー 立面図14「雪室、倉庫等-2」 (1/100 )	A117	カーテンウォール詳細図1(1/5)	A158	家具図12(トイレ 手洗いカウンター1) (1/25)		
A29	平面詳細図3「04_展」 (1/60 )	A73	アンカー 立面図15「雪室、倉庫等-3」 (1/100 )	A118	カーテンウォール詳細図2(1/5)	A159	家具図13(トイレ 手洗いカウンター2) (1/25)		
A30	平面詳細図4「05_鏡/09_奏」 (1/60 )	A74	内壁展開図1 (1/100 )	A119	風除室詳細図	A160	家具図14(02_和+03_会 キッチンカウンター) (1/25)		
A31	平面詳細図5「06_発/07_作」 (1/60 )	A75	内壁展開図2 (1/100 )	A120	木製建具詳細図1 (1/10)	A161	家具図15(06_発+07_作 収納) (1/20)		
A32	平面詳細図6「08_演」 (1/60 )	A76	内壁展開図3 (1/100 )	A121	木製建具詳細図2 (1/10)	A162	欠番		
A33	平面詳細図7「10_趣」 (1/60 )	A77	内壁展開図4 (1/100 )	A122	階段詳細図1 (1/10,30)	A163	欠番		
A34	平面詳細図8「12_知 1F」 (1/60 )	A78	内壁展開図5 (1/100 )	A123	階段詳細図2 (1/10,40)	A164	欠番		
A35	平面詳細図9「12_知 2F」 (1/60 )	A80	内壁展開図6 (1/100 )	A124	階段詳細図3 (1/10,40)	A165	欠番		
A36	平面詳細図10「13_食」 (1/60 )	A81	内壁展開図7 (1/100 )	A125	階段詳細図4 (1/10,40)	A166	欠番		
A37	BHF-1F 拡大平面図 (1/200 )	A82	内壁展開図8 (1/100 )	A126	欠番	A167	家具図21フロート本棚1) (1/200)		
A38	矩計図1 (1/40 )	A83	内壁展開図9 (1/100 )	A127	欠番	A168	家具図22(フロート本棚2) (1/15)		
A39	矩計図2 (1/40 )	A84	内壁展開図10 (1/100)	A128	金物リスト1	A169	家具図23(フロート本棚3) (1/15)		
A40	矩計図3 (1/40 )	A85	内壁展開図11 (1/100)	A129	金物リスト2	A170	屋内広場計画図1(平面図) (1/75)		
A41	矩計図4 (1/40 )	A86	内壁展開図12 (1/100)	A130	金物リスト3	A171	屋内広場計画図2(屋内広場ベンチ軸組図) (1/75)		
A42	矩計図5 (1/40 )	A87	内壁展開図13 (1/100 )	A131-1	1F手摺プロット図	A172	屋内広場計画図3(ネット遊具伏図) (1/75)		
A43	矩計図6 (1/40 )	A88	内壁展開図14 (1/100 )	A131-2	2F手摺プロット図	A173	屋内広場計画図4(断面図) (1/50)		
A44	矩計図7 (1/40 )	A89	内壁展開図15 (1/100 )	A131-3	屋上手摺プロット図				



プロジェクト名		旧小千谷総合病院跡地整備事業 図書館等複合施設				<div>案内図</div>			
計画地		小千谷市本町1 丁目13-36他							
計画敷地面積		9,221.78㎡(旧病院跡地敷地+本町駐車場敷地:8,014.16m2、坂下敷地:1,207.62m2)							
接面道路	東側	市道二荒坂線:幅員6.0m		西側	隣地境界				
	南側	市道下々町2号線:幅員5.0m〜6.37m		北側	国道291号:幅員18.0m				
計画道路		なし							
法規制	用途地域	商業地域		高度地区	なし				
	建蔽率	基準建蔽率80%		日影規制	なし				
	容積率	基準容積率400%		絶対高さ	なし				
	防火・準防火等	準防火地域		内装制限	あり				
	その他関連法規	建築基準法、消防法、都市計画法、新潟県建築基準条例、新潟県景観条例、新潟県福祉のまちづくり条例、							
		小千谷市火災予防条例、小千谷市開発指導要綱、小千谷市克雪条例							
消防設備		誘導灯、消火器、自動火災報知設備、屋内消火栓設備							
工期(想定)		着工 2022年 11月(予定) 竣工 2024年 3月(予定)							
計画建物概要						外部仕上	主な仕上・仕様	外構仕上	仕上・仕様
建物種別(主要用途)	図書館					屋上	コンクリート打放金鍍仕上の上防塵塗装、一部融雪装置	駐車場床	アスファルト舗装、消雪設備
規模・構造	地上2階 最高高さ:8.43m 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造					外壁	コンクリート打放補修の上撥水材塗布	一般床	アスファルト舗装、透水性コンクリート舗装、コンクリート金鍍
建築面積	建築面積合計 4,283.22m2 (本体棟:4,087.34m2 別棟:195.88m2)					床	コンクリート金鍍仕上の上表面強化剤	緑地	野芝
延床面積	延床面積合計 4,628.37m2 (本体棟:4,432.49m2 別棟:195.88m2)	施工床面積	5,266.43m2		開口	アルミ製カーテンウォール、アルミ製サッシ、鋼製サッシ	その他	桜	
						Low-E複層ガラス			
容積対象床面積	4585.85m2	緑化面積	533.08m2		扉	鋼製片開き扉、鋼製両開き扉、鋼製自動ドア			
駐車台数	110台(車いす使用者用駐車場2台、搬入用駐車場2台、坂下駐車場47台)	エレベーター	1基(一般、搬入兼用)						
駐輪場	20台								



図書館等複合施設新築（建築主体）工事 特記仕様書	
	特記仕様書の取り扱いについて 1. 項目は項目番号に○印をつけたものを適用する 2. 細目は○印をつけたものを適用する 3. その他特記事項は、( )内に記載する 4. 材料、色等の見本等は事前に監督員に提出し、承認を得た後、施工するものとする。 5. 竣工後監督員立会の元竣工検査を行い、不備な箇所は期間を定めて補修及び再工事を行う。
00. 総則	
01. 適用	・この特記仕様書は、本工事に適用する仕様を特記するものである。図面及び特記仕様に記載の無い事項はすべて共通仕様書による。 ・一般仕様として下記の共通仕様書を採用する。 ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準仕様書（平成31年度版） ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部 電気設備工事標準仕様書（平成31年度版） ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部 機械設備工事標準仕様書（平成31年度版） ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築工事標準詳細図（平成28年度版） ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部 敷地調査共通仕様書（平成31年度版） ○ 上記又は 本年度版
02. 施工基準と優先順位	・本工事は下記の工事請負契約約款に基づき施工されるものとする。 工事請負契約約款（又は本年度版） ・本工事は下記により施工し、相互間の内容に相違がある場合の優先順位は、記載の順序とする。 0. 工事請負契約約款及びその特約条項 1. 現場説明書（質疑応答書を含む） 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 共通仕様書 5. JISその他公定規格及びこれに準ずる規格 ・本設計図書の優先順位は、仕様書、仕上表、平面・断面詳細図、配置図（外構図を含む）、部分詳細図、拒計図、一般図の順とする。 また、いずれかの図面に記載されている工事はすべて本工事内容に含まれるものとする。また、図面に記載されなくとも、建物の機能を満足させるために通常必要とされるものは工事内容に含まれ、請負者責任において施工されなくてはならない。なお、設計図書の軽微な変更は、該負者は無償で工事を行う。工事内容が設計図書と著しく異なる場合、或は、設計図書を著しく損なう場合は該負者の責任においてやり直しをしなければならない。
03. 検査	・本工事施工中に生じた疑義は、請負者において質問を行い、工事前の質疑応答に準ずる記録書として作成しておくものとする。 ・設計図面に標準的な部分を表示した場合、これに準ずる他の部分も標準的な部分に見做って施工するものとする。 ・設計図書に記載無くとも、外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。
04. 支給材料等	・支給材料、支給機材、資用品は下記による。
05. 同等以上の材料	・本工事に使用する建築材料等は、本特記仕様書において特記されたもの、またはこれと同等以上のものを使用する。同等以上のものを使用する場合は、監督員の承認を受けるものとする。
06. 製造所仕様	・本特記仕様書、共通仕様書に規定されていない特別な材料等の仕様は、当該製品の製造所の指定仕様によるものとする。
07. 材料試験	・本工事に使用する材料のうち、設計図面に定められたもの、または監督員の指示のあるものは、その試験成績報告を提出し、または監督員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に要する費用は、すべて請負者の負担とする。
08. 申請手続	・本工事に関係する法令、条例及び規則等はよくこれを守り、必要である届出、手続き等はすべて請負者が行い、これに要する費用は請負者の負担とする。
09. 軽微な変更	・納まり、取合いのための変更、または多少の員数の増減等、軽微な変更は請負金額の範囲内において施工するものとする。
10. 第三者被害に対する配慮	・本工事の施工にあたり、騒音、振動、塵芥、飛散物、地盤沈下、道路損害、通行障害、その他近隣に対する公害が発生しないよう各法令を遵守し、関係公官庁の指導を受けて施工に当たるものとする。 損傷その他の危害が発生した場合は、速やかに適切な補修及び保障をしなければならない。
11. 工事保障	○ 請負者は、2年以内に明かになった不備な工事は全て無償で補修・取り替え工事を行わなくてはならない。 以下の工事については、それぞれの保証期間中に不備なことが明かになった場合は無償で補修あるいは部品、材料の交換をしなければならない。 (1) 防水・コーキング工事及びコンクリート壁面、コンクリート部分と他の部分との接合部などから漏水防止工事一般 10年間 (2) 屋根工事 10年間 (3) 各種設備工事 10年間 (4) 塗装工事 3年間 (5) 建具工事 3年間
12. 施工計画	・本工事の仮設・施工方法等施工に関する計画は、設計図書に特別に定めない限り請負者の責任において定めるものとする。
13. 既設建物との取合	・既設建物と今回工事の取合い部分その他工事の範囲外の部分に汚染、損傷を生じた場合は原型と同じ仕上材で完全に補修するものとする。
14. 別途工事との関連	・別途工事についての工事工程並びに関連のある工事の内容に関しては、別途工事業者と密接に連絡して調整しなければならない。
15. 発生材の処理	・本工事に伴う発生材は、産業廃棄物として行政庁の指導を受け、承認を受けた場所に搬出するものとする。

16.指示	・本工事施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したのものについては監督員の指示を受けるものとし、記録書を提出するものとする。  ① 別契約の工事関係者との協力 ② 発生材の処理方法 ③ 補足工程表（期間または工事種別）の作製 ④ 提出見本等の種類 ⑤ 設計変更の手続き及び見積り方法 6. その他（ ）																																																																																																																																																																															
17.寸合い	・本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したのものについては監督員の寸合いを受けるものとする。  ① 指示された施工または試験 ② 各法令に基づく諸官庁の検査 3. その他（ ）																																																																																																																																																																															
18.承認	・本工事の施工にあたって、下記に定める項目のうち○印を付したのものについては監督員の立合いを受けるものとする。  ① 補足工程表及び変更工程表 ② 施工図、原寸図 ③ 施工計画書 ④ 見本、サンプル ⑤ 模型、モックアップ・・・壁面緑化パネル 現場にてモックアップ確認 6. その他（ ）																																																																																																																																																																															
19.提出書類等	・本工事の施工に当り、下記に定める図書（番号に○印を付したもの）を監督員に提出して承認を受けるものとする。監督員は、下記に定めるもののほかに必要な図書の提出と承認を求めることがある。 <table><tr><th>番号</th><th>提出書類</th><th>期限</th><th>部数</th><th>備考</th></tr><tr><td>①</td><td>工事請負契約書写し</td><td>契約後10日以内</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>②</td><td>請負代金内訳書</td><td>契約後10日以内</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>③</td><td>工程表</td><td>契約後10日以内</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>④</td><td>損害保険契約書及び保証書等</td><td>契約後30日以内</td><td>1</td><td>※注</td></tr><tr><td>⑤</td><td>現場代理人・監理技術者主任技術者・専門技術者</td><td></td><td>1</td><td>経歴・資格等を明記</td></tr><tr><td>⑥</td><td>現場常駐職員</td><td>契約後 日以内 その都度</td><td>1</td><td>経歴・資格等を明記</td></tr><tr><td>⑦</td><td>下請業者等承認書</td><td>契約後 日以内 その都度</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑧</td><td>使用材料機器等承認書</td><td>契約後 日以内 その都度</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑨</td><td>材料試験成績報告書</td><td>試験後10日以内</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑩</td><td>工事記録報告書</td><td>月報とし 日</td><td>1</td><td>※注</td></tr><tr><td>⑪</td><td>打合せ記録書</td><td>その都度</td><td>1</td><td>※注</td></tr><tr><td>⑫</td><td>変更工事見積書</td><td>その都度</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑬</td><td>出来高承認書</td><td>その都度</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑭</td><td>官公庁出願書類</td><td>その都度</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑮</td><td>工事竣工検査書</td><td>工事完了 日前</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑯</td><td>工事竣工引渡書類</td><td>竣工時</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>完了届</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>引渡書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>検査済書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>使用許可書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>届出書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>工事保証書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>鍵引渡書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>各種使用説明書</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>工具備品引渡書</td><td>竣工時</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>工事竣工引渡備品</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>鍵および鍵箱</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>工具および工具箱</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>予備材料</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>○</td><td>その他の資料、材料、器具類</td><td></td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>⑰</td><td>竣工図 （図面の範囲は指示による）</td><td>竣工後30日以内</td><td>3</td><td>A3製本図※注 事業者×1 管理組合×1、監理者×1</td></tr><tr><td>⑱</td><td>工事写真 （撮影箇所は指示による）</td><td>その都度</td><td>1</td><td>※注</td></tr><tr><td>⑲</td><td>工事写真 （撮影箇所は指示による）</td><td>竣工後30日以内</td><td>1</td><td>監理者の指定する 建築写真家による</td></tr><tr><td>㉑</td><td>その他</td><td></td><td>1</td><td></td></tr></table> ※注 4. 損害保険会社および保険の内容を発注者が指定する場合は、協議の上決定すること。 10. 工事記録報告書は、日報、週報、月報のうちいずれかし、記録内容は、工事進行状況、労働者就業状況、搬入材料種類、数量、使用材料種類、数量、天候、来訪者、打合せ事項、などを協議の上決定する。 11. 打合せ記録書の内容は発注者、監督員の指示、打合せ事項その他必要と認められる工事関係者の打合せ事項を記入する。 17. 竣工図の内容は、建物の内容が把握でき、かつ将来増改築、修繕模様替え、保守の際、関係者が理解できて正確な物でなければならない。図面、計算書を一括する。 製本の形式、部数、内容については協議の上決定する。 図面にCADが使用された場合、竣工図にCADデータ（. dxfまたは、. dwg形式）を添付すること。 詳細および日数は協議の上決定する。 18. 工事中検査等に必要な写真は監督員及び行政官庁に提出する。工事記録上、監督員が必要と見なした写真は監督員の指示に従って撮影し、提出すると同時に、請負者が保管する（建設写真撮影依頼による）。 20. (1) 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第13条の規定に基づき、施工体制台帳（下請負契約書、監理技術者の資格を証する書類を含む）を作成し、現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に提出すること。 また、施工体系図を工事関係者の見やすい場所及び公表の見やすい場所に掲示すること。 (2) 施工体制確認のため、工事着手時までに本県が提示した様式により工事外注計画書を作成し、監督員に提出すること。 (3) 建設業法第26条に基づく監理技術者について、監理技術者届提出の際、監理技術者資格者証及び「監理技術者講習修了証」の写しを提出すること。 (4) 請負者は監督員が実施する施工体制台帳の点検に協力すること。	番号	提出書類	期限	部数	備考	①	工事請負契約書写し	契約後10日以内	1		②	請負代金内訳書	契約後10日以内	1		③	工程表	契約後10日以内	1		④	損害保険契約書及び保証書等	契約後30日以内	1	※注	⑤	現場代理人・監理技術者主任技術者・専門技術者		1	経歴・資格等を明記	⑥	現場常駐職員	契約後 日以内 その都度	1	経歴・資格等を明記	⑦	下請業者等承認書	契約後 日以内 その都度	1		⑧	使用材料機器等承認書	契約後 日以内 その都度	1		⑨	材料試験成績報告書	試験後10日以内	1		⑩	工事記録報告書	月報とし 日	1	※注	⑪	打合せ記録書	その都度	1	※注	⑫	変更工事見積書	その都度	1		⑬	出来高承認書	その都度	1		⑭	官公庁出願書類	その都度	1		⑮	工事竣工検査書	工事完了 日前	1		⑯	工事竣工引渡書類	竣工時	1			完了届		1			引渡書		1			検査済書		1			使用許可書		1			届出書		1		○	工事保証書		1		○	鍵引渡書		1		○	各種使用説明書		1		○	工具備品引渡書	竣工時	1		○	工事竣工引渡備品		1		○	鍵および鍵箱		1		○	工具および工具箱		1		○	予備材料		1		○	その他の資料、材料、器具類		1		⑰	竣工図 （図面の範囲は指示による）	竣工後30日以内	3	A3製本図※注 事業者×1 管理組合×1、監理者×1	⑱	工事写真 （撮影箇所は指示による）	その都度	1	※注	⑲	工事写真 （撮影箇所は指示による）	竣工後30日以内	1	監理者の指定する 建築写真家による	㉑	その他		1	
番号	提出書類	期限	部数	備考																																																																																																																																																																												
①	工事請負契約書写し	契約後10日以内	1																																																																																																																																																																													
②	請負代金内訳書	契約後10日以内	1																																																																																																																																																																													
③	工程表	契約後10日以内	1																																																																																																																																																																													
④	損害保険契約書及び保証書等	契約後30日以内	1	※注																																																																																																																																																																												
⑤	現場代理人・監理技術者主任技術者・専門技術者		1	経歴・資格等を明記																																																																																																																																																																												
⑥	現場常駐職員	契約後 日以内 その都度	1	経歴・資格等を明記																																																																																																																																																																												
⑦	下請業者等承認書	契約後 日以内 その都度	1																																																																																																																																																																													
⑧	使用材料機器等承認書	契約後 日以内 その都度	1																																																																																																																																																																													
⑨	材料試験成績報告書	試験後10日以内	1																																																																																																																																																																													
⑩	工事記録報告書	月報とし 日	1	※注																																																																																																																																																																												
⑪	打合せ記録書	その都度	1	※注																																																																																																																																																																												
⑫	変更工事見積書	その都度	1																																																																																																																																																																													
⑬	出来高承認書	その都度	1																																																																																																																																																																													
⑭	官公庁出願書類	その都度	1																																																																																																																																																																													
⑮	工事竣工検査書	工事完了 日前	1																																																																																																																																																																													
⑯	工事竣工引渡書類	竣工時	1																																																																																																																																																																													
	完了届		1																																																																																																																																																																													
	引渡書		1																																																																																																																																																																													
	検査済書		1																																																																																																																																																																													
	使用許可書		1																																																																																																																																																																													
	届出書		1																																																																																																																																																																													
○	工事保証書		1																																																																																																																																																																													
○	鍵引渡書		1																																																																																																																																																																													
○	各種使用説明書		1																																																																																																																																																																													
○	工具備品引渡書	竣工時	1																																																																																																																																																																													
○	工事竣工引渡備品		1																																																																																																																																																																													
○	鍵および鍵箱		1																																																																																																																																																																													
○	工具および工具箱		1																																																																																																																																																																													
○	予備材料		1																																																																																																																																																																													
○	その他の資料、材料、器具類		1																																																																																																																																																																													
⑰	竣工図 （図面の範囲は指示による）	竣工後30日以内	3	A3製本図※注 事業者×1 管理組合×1、監理者×1																																																																																																																																																																												
⑱	工事写真 （撮影箇所は指示による）	その都度	1	※注																																																																																																																																																																												
⑲	工事写真 （撮影箇所は指示による）	竣工後30日以内	1	監理者の指定する 建築写真家による																																																																																																																																																																												
㉑	その他		1																																																																																																																																																																													
20.生物物質濃度測定	○ 行わない 厚生労働省が定める化学物質の濃度指針以下であることを確認し、報告書を監督員に提出すること。 対象薬名（エントラックス、フットエリア、こどもとよかん、屋内広域、事務室、01子、02和、03金、04黒、05緑、09黄、08紫、07子、08黄、10赤、1F12和、2F12和、13赤） 測定法 ・アクティブ型 ・パッシブ型 ○その他（測定カートリッジ パッシブ型）																																																																																																																																																																															

21. その他	・設計図書の工事変更は必ず監督員の承認を得て行う。 ・文化財の発掘、自然災害等の理由により工事の中断を余儀なくされた場合、その間の現場の管理は請負者が行う。 ・現場の納まり、取り合い等で設計図書によることの困難、または不都合な場合は監督員の指示による。 ・以下の工事については、本設計図書並びに監督員が工事に先行して提出する詳細な設計図書、竣工図に従って、施工部品製作の施工図及び施工計画書を提出し、監督員の承認を受けて工事を行うものとする。 A 施工図 (1)基礎及びコンクリート躯体 (2)化粧型枠コンクリート打ち放し面の型枠付付図、外壁開口隅廻り (3)鉄骨 (4)ガラス開口部 (5)全ての金属建具及び木製建具 (6)床付塗装鋼板、及び金属金物 (7)既製品を除く全ての鋼製品 (8)屋根・屋外階段防水 (9)全ての見えかがり木部 (10)天井面（伏図） (11)全ての設備器具、ガラリ、点検口の位置（建築図に書き込むこと） (12)特殊照明器具 (13)外向排水設備工事 (14)その他、監督員が指示した工事 B 計画書 (1)仮設計図書（敷地内の保存すべきもの、特に保存樹木の養生計画書） (2)杭工事、土工事、鉄骨工事、コンクリート打設および防水工事計画書 (3)監督員が指示した工事の工程計画書、施工計画書 特記されていない場合、通常の工事で作成する施工図は提出し、承認を得なくてはならない。  ・色指定のできる全ての材料は、日本塗装工業会塗料用標準色色見本帳V版を基準として、色を指定する。特に白から黒の間の灰色の色指定に関しては、注意を受ける。  ・仕上材材料については原則として全ての材料について工事に先行して材料見本を提出し、監督員の承認をうけなくてはならない。また、仕上材材でなくとも、コンクリート打ち放し用パネル、見えがかりとなる一連のプレート類等、建物の仕上げに関連する要素に関しては、仕上材と同様の手続きを経て工事が行われなければならない。  ・住宅瑕疵担保責任保険への加入 ①請負者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」（平成19年法律第6号。以下「履行法」という。）に基づく責力確保措置として、住宅瑕疵担保責任保険に加入すること（保証金の供託による責力確保は認めない。）。 ②請負者は、保険の申込みを行なった住宅瑕疵担保責任保険法人の名称等を書面により、工事着手までに監督職員を通じて本市へ報告すること。 ③請負者は、住宅瑕疵担保責任保険契約を締結したことを証する書面を、監督職員を通じて本市へ提出すること。 （参考）保険料3,600円×40戸＋検査料5,300円×3戸＝1,589,400円
---------	---

01. 建築工事 一般事項																																																													
01. 技能士	・本工事の施工に当たっては、別に示す一覧表により技能士を現場に常駐させるものとする。 <table><tr><th>適用</th><th>工事種別</th><th>工事の細分</th><th>技能士</th></tr><tr><td>○</td><td>鉄筋</td><td>加工及び組立</td><td>鉄筋</td></tr><tr><td>○</td><td>コンクリート</td><td>床コテ仕上げ 型枠</td><td>左官 型枠施工</td></tr><tr><td>○</td><td>鉄骨</td><td>搬入及び建て方</td><td>どび</td></tr><tr><td>・</td><td>ブロック・ARCパネル</td><td>ブロック積み</td><td>ブロック施工</td></tr><tr><td>・</td><td>防水</td><td>アスファルト 躯体防水 塗膜防水 シーリング</td><td>防水 防水 防水 防水</td></tr><tr><td>・</td><td>石</td><td>石張り</td><td>タイル張り</td></tr><tr><td>○</td><td>タイル</td><td>タイル張付及び型枠先付</td><td>タイル張り</td></tr><tr><td>・</td><td>屋根・とい</td><td>長尺鉄板葺き スレート葺き ボカーボネート葺き</td><td>板金 スレート施工</td></tr><tr><td>・</td><td>左官</td><td>各種塗り工法</td><td>左官</td></tr><tr><td>○</td><td>塗装</td><td>塗装</td><td>塗装</td></tr><tr><td>○</td><td>建具</td><td>ガラス</td><td>ガラス施工</td></tr><tr><td>○</td><td>内装</td><td>床シート及びタイル張り 壁紙張り</td><td>床仕上げ 表装</td></tr><tr><td>○</td><td>植栽</td><td>植栽</td><td>造園</td></tr><tr><td>○</td><td>電気設備</td><td>一般 防災 冷凍空調調和機 熱絶縁 配管</td><td>電気工事士 消防設備士 冷凍空調調和機 熱絶縁施工 配管</td></tr></table>	適用	工事種別	工事の細分	技能士	○	鉄筋	加工及び組立	鉄筋	○	コンクリート	床コテ仕上げ 型枠	左官 型枠施工	○	鉄骨	搬入及び建て方	どび	・	ブロック・ARCパネル	ブロック積み	ブロック施工	・	防水	アスファルト 躯体防水 塗膜防水 シーリング	防水 防水 防水 防水	・	石	石張り	タイル張り	○	タイル	タイル張付及び型枠先付	タイル張り	・	屋根・とい	長尺鉄板葺き スレート葺き ボカーボネート葺き	板金 スレート施工	・	左官	各種塗り工法	左官	○	塗装	塗装	塗装	○	建具	ガラス	ガラス施工	○	内装	床シート及びタイル張り 壁紙張り	床仕上げ 表装	○	植栽	植栽	造園	○	電気設備	一般 防災 冷凍空調調和機 熱絶縁 配管	電気工事士 消防設備士 冷凍空調調和機 熱絶縁施工 配管
適用	工事種別	工事の細分	技能士																																																										
○	鉄筋	加工及び組立	鉄筋																																																										
○	コンクリート	床コテ仕上げ 型枠	左官 型枠施工																																																										
○	鉄骨	搬入及び建て方	どび																																																										
・	ブロック・ARCパネル	ブロック積み	ブロック施工																																																										
・	防水	アスファルト 躯体防水 塗膜防水 シーリング	防水 防水 防水 防水																																																										
・	石	石張り	タイル張り																																																										
○	タイル	タイル張付及び型枠先付	タイル張り																																																										
・	屋根・とい	長尺鉄板葺き スレート葺き ボカーボネート葺き	板金 スレート施工																																																										
・	左官	各種塗り工法	左官																																																										
○	塗装	塗装	塗装																																																										
○	建具	ガラス	ガラス施工																																																										
○	内装	床シート及びタイル張り 壁紙張り	床仕上げ 表装																																																										
○	植栽	植栽	造園																																																										
○	電気設備	一般 防災 冷凍空調調和機 熱絶縁 配管	電気工事士 消防設備士 冷凍空調調和機 熱絶縁施工 配管																																																										
02. 保証書	・本工事の施工に当たって、下記に定める工事においては、保証期間を明記した保証書を提出するものとする。責任施工を特記してある工事について、請負者の連名による保証書を提出すること。  ○防水工事 ○ガラス工事 ・屋上緑化工事 ・その他( )																																																												
03. 近隣対策	・本工事の施工にあたっては、近隣住民および諸官庁と十分な打合せをし、工事に支障の無いようにすること。 ・下記の事前協議事項を遵守するものとする。																																																												
04. 負担金	・本工事の施工にあたっては、下記に定める項目に要する費用を負担するものとする。																																																												
05. 提出書類等	・本工事の施工にあたり下記に定める図書を監督員に提出して承認を受けるものとする。監督員は下記に定めるもののほか、必要な図書の提出と承認を求めることがある。 <table><tr><th>番号</th><th>提出書類</th><th>期限</th><th>部数</th><th>備考</th></tr><tr><td>○1</td><td>敷地案測図</td><td>工事着手 日前</td><td>1</td><td>部</td></tr><tr><td>○2</td><td>補足工程表</td><td>当該工事 14 日前</td><td>1</td><td>部</td></tr><tr><td>○3</td><td>施工計画書</td><td>当該工事 14 日前</td><td>1</td><td>部</td></tr><tr><td>○4</td><td>見本モックアップ モックアップ</td><td>その都度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>その他</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2. 補足工程表は、或る期間（週間、旬間、1ヶ月）または工事別の工程表であり、工事や工程の変更の場合にもこれによる。  3. 施工計画書の内容には、下記のような計画について作製すること。 ○工程計画 ○仮設計画 ○安全、環境対策計画 ○コンクリート打設計画 ○設備建方計画 ○品質管理計画 ○養生計画 ○その他	番号	提出書類	期限	部数	備考	○1	敷地案測図	工事着手 日前	1	部	○2	補足工程表	当該工事 14 日前	1	部	○3	施工計画書	当該工事 14 日前	1	部	○4	見本モックアップ モックアップ	その都度			5	その他																																	
番号	提出書類	期限	部数	備考																																																									
○1	敷地案測図	工事着手 日前	1	部																																																									
○2	補足工程表	当該工事 14 日前	1	部																																																									
○3	施工計画書	当該工事 14 日前	1	部																																																									
○4	見本モックアップ モックアップ	その都度																																																											
5	その他																																																												

02. 建築工事 仮設工事	
01. 工事仮設計図書	○前定仮設（仮囲い）、資材置き場、クレーン、現場事務所等
02. 敷地測量その他	○工事着手前に下記により測量を行う。 測量の種類 ○平面測量（道路、敷地境界、要記入物件等） ○高低測量（コンター間隔、縦断面図、BIM位置） ・周辺測量 ・建物関係測量 ・各測量の範囲（図示による） ・各測量量7幅尺( )
03. 仮囲い	構造 構築 ○フラットパネル・成形鋼板製・アルミ製・フェンス・有刺鉄線（支柱、金属、木製） 高さ ○高さ 1.5m・1.8m ○2.0m・2.5m ○3m・3m以上 仕上 ○土上なし・ペンキ塗・カッティングシート ○その他 設置位置 ・図示による ・道路に面した箇所及び安全上必要な範囲 工事名表示 ○表示位置、数、表示看板の大きさについては別途協議とする ・材質、色彩表示内容は別途図示による ・文字の字体と大きさ( )

06. 誘導・道方その他	ベンチマーク・設置位置 図示による ・その他( )
07. 材料置場・下小屋・その他仮設建築物	工事監理事務所 構造 ・プレハブ造 ・木造 ・その他( ) 規模 ・10㎡2 ・20㎡2 ・35㎡2 ・40㎡2 ・設備 電灯、給排水、給湯、単独電話、冷蔵庫、消火器、冷暖房機、その他 ・事務所備品 机、椅子、書籍・図書棚、製図板、予定表、黒板、パソコン（モデム付）、デジタルカメラ、温度湿度計、テストハンマー、ノギス、安全靴、安全帽、長靴、ロッカー、その他( )
08. 工事用水、電力	工事用水 ○ 構内既存の設備利用できる( ) ・無償) ・構内既存の設備利用できない( ) 工事用電気 ○ 構内既存の設備利用できる( ) ・無償) ・構内既存の設備利用できない( )
09. 災害防止その他	その他の設備 ・利用できる設備( ) ・(有償 ・無償) ・特に指定する災害防止設備( )
10. 解体・移転等	・養生シート ・金網 ・防音パネル ・朝顔 ・その他 ・解体（範囲、仮設、設備切離し、工法、搬出材の処分方法等については別途指示する） ・移送（範囲、仮設、工法等については別途指示する）  本工事に伴う解体、撤去 ・地盤改良に伴う既存地下残置物の一部解体 ・水回りの撤去 ・予見できない地中障害物は別途協議とする
03. 建築工事 土 工事	
01. 一般事項	・以下で特に支持しない構造力学的仕様については特記仕様書（構造）による。
01. 敷地整理	・樹木移植 ・移植時に樹木等が枯れた場合の補償
02. 敷地内障害物整理	○ 工事に搬入・移送を要する物で軽微な物は、本工事の範囲とする。 ○ その他敷地内障害物の出た場合の処理については協議とする
03. 敷地境界標	・コンクリートブロック製 ・その他( )
04. 掘削	・工事着手前に掘削方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した施工計画書を提出し、仮囲いの承認を得ること。 ・掘削完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、監督員の承認を得るものとする。 ・特殊工法( )
05. 掘削土および盛土	材料 ・掘削土使用 ・搬入土 ・その他( ) 工法 ・水締めと機械による締め固め ・機械による締め固め ・その他（状況による）
06. 地ならし	範囲 建物周囲 ・2.0m ・3.0m ・敷地面全 ・間与部分 ・その他( )
07. 残土処分	・場外処分 処分場所( ) ○ 場内敷きならし ・特記がな場合、残土は場外搬出とする。
08. 山留工法	○ 矢板工法 ○ 鋼矢板工法 ・列柱式地下連続壁工法 ・アンカー工法 ・アンカー工法 ・除去アンカー工法 ・矢板打込み工法 ・打撃式工法 ・圧入式工法 ・凍入式工法 ・裏込注入工法 ○ 簡易山留
09. 排水工法	排水工法 ・重力排水工法 ・垂場工法 ・間引き排水工事 ・暗き排水工事 ・排水戸工法 ・シーメンスワル工法 ・強制排水工法 ・ウルポイント工法 ・真空井戸工法 ・高圧縮のウルポイント工法 ・電気浸透工法 ・圧気工法 ・状況による
04. 建築工事 地業工事	
01. 一般事項	○ 特記仕様書（構造）による。



05. 建築工事 鉄筋工事	
01.一般事項	・特記仕様書（構造）による
02.コンクリート防水適用箇所の配筋	・主筋耐筋共モチアミwφ200以下
06. 建築工事 コンクリート工事	
01.一般事項	・以下に特に定めない構造力学的仕様については特記仕様書（構造）による
02.型枠	・型枠には次の表面材を使用する。 (1)打ち放し型枠 本工事でいう打ち放し型枠とは、普通型枠に通常の剥離剤を塗布するほかに、あくのしみだしを防止する処理を施したものをいう。本工事でいうコンクリート打ち放しとは、この型枠を用いて打設したコンクリート面のことを用いる。以下すべての箇面においてこの定義が適用される。 (2)打ち放しコンクリートの面は、原則として面どりは行わない。 (3)杉板型枠 本美・うづくり加工した杉板を用いる。
03.施工図	・全てのコンクリート工事に対して、施工図を作成し、監督員の承認を得る。化粧型枠打ち放し面の型枠レイアウト、フォームタイ位置等は全ての面について詳細な施工図を作成し監督員の承認を得る。
04.型枠の転用	・見えかけり部分での型枠の再使用は認めない。
05.型枠の出隅、入隅の処理	・1 入隅 次の二つのいずれかとする。 (1)本口をサンドブラスト加工して打ち放し用塗料を塗る。 (2)留め加工をほどこす。 いずれの方法の場合も止水テープを使用する。 ・2 出隅 面木を使用しない場合も止水テープを貼る。
06.セパレーター位置・パネル割付	・セパレーター位置、パネル割付に関しては監督員があらかじめ提出した図、あるいは打ち合せ時の決定事項に従って、セパ/パネル図を制作し監督員の承認を得る。原則として全てのセパレーターは水平、垂直の同じピッチのグリッドの交差点上に位置する様に割付られる。施工上セパレーターの必要のない位置においても、意匠上の必要からセパレーターをいれる場合が有り得る。
07.誘発目地	・打ち放し面の誘発目地位置に関しては監督員の示した図、あるいは打ち合わせ時の決定事項に従って図を製作し監督員の承認を得る。今回の場合は、基本的には誘発目地を考えてはいない。
08.打ち継ぎ	・一般の打ち継ぎ目地部分においては、上層打設の際に水などの漏れを防ぐために打ち継ぎ部分にシートやパッキングテープを挟み込むか、ボンドを用いて密着するようにする。
09.型枠検査	・型枠検査を工務時に区分して行い、監督員の承認を得て立て込みを行う。立て込み後寸法検査を行う。打設直後に検査を行い、修正出来るものは速やかに処置する。
10.コンクリート打設	・コンクリート打設時には、直前に不良なコンクリート面が発生する恐れのある部分を監督員と共に検討する。コンクリート打設時には十分な処理を施す。配筋検査、型枠寸法検査、配管用スリーブ位置確認などを行い、前日中にすべての検査、手直しが終了しない場合は、翌日のコンクリート打ちは延期する。
11.補修	・原則として補修は行わない。全てのコンクリート面の補修は監督員の指示によって行う。
12.打ち直し	・脱型の際検査を行い、監督員が本工事に是不適当であると判断した場合には、無償で打ち直しを行う。
13.躯体防水	・本工事は屋根・屋外階段・テラス・地下躯体に躯体防水を採用するものである。そのため以下のような施工上の条件を遵守して工事を行うものとする。 特許タライ2号液を全躯体に注入すること コンクリートの単位水量を175kg/m2未満とすること

07. 建築工事 鉄骨工事	
01.一般事項	・とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
02.製作工場	製作所の決定についての考慮事項 ・工事経歴 ・鉄骨製作業者の規模・施設及び設備機器備 ・受注能力（年間生産トン数） ・技術能力（溶接技術者の資格・人数） ・品質管理能力（検査・管理体制） ・鉄骨製作業者の資格（建設大臣認定の有無） ・グレードは構造特記による
03.品質管理	・鉄骨製作業者の品質管理要領書を提出のこと
04.材料	材質は使用鋼材決定の上特記する。（構造図による） JISG 3101（一般構造用圧延鋼材）・SS400 ・SS490 ・SS540 JISG 3136（建築構造用圧延鋼材）・SN400A ・SN400B ・SN400C ・SN490B ・SN490C JISG 3106（溶接構造用圧延鋼材）・SM400A ・SM400B ・SM400C ・SM490A ・SM490B ・SM490C JISG 3114（溶接構造用前候製熱間圧延鋼材） ・SMA400AW ・SMA400BW ・SMA400CW ・SMA490AW ・SMA490BW ・SMA490CW JISG 3444（一般構造用炭素鋼管）・STK400 ・STK490 JISG 3466（一般構造用角形鋼管）・STKR400 ・STKR490 JISG 3350（一般構造用軽量型鋼）・SSC400 JISG 3353（一般構造用溶接軽量H型鋼） ・SWH400 ・SWH400L 建築構造用圧延特鋼 ・SNR400B JISG 3352（デッキプレート） ・SDP1T ・SDP2 ・SDP2G ・SDP3 ・EZ50 その他の特殊鋼 ・建築構造用TMCP鋼 ・建築構造用高性炭440鋼 ・耐火鋼（FR鋼） ・極低降伏点鋼（極軟鋼） ・建築構造用冷間成形角型鋼管 ・冷間ロール成形BCR295 ・冷間プレス成形BCP235.325 ・熱間成形角型鋼管
05.高力ボルト	01. ISB 1186（摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット）の規格に適合するもの。 セットの種類 2種（A・B） ・ボルトF10T ・ナットF10 ・座金F35 ・JSS（構造用トルシヤ型高力ボルト・六角ナット・平座金のセット）に準拠して製作したもので建設省告示1795号の規定に適合する物。 セットの種類 ・ボルトS10T ・ナットF10 ・座金F35 ・F8T ・締付け時H法の確認（トルク管理） ・摩擦面の処理 ・自然発錆 ・プラスト処理 ・すべり係数は0.45以上とする ・上記以外の摩擦面処理を行った場合は、すべり試験を実施してすべり係数またはすべり耐力を確認する。
06.ナット	・JIS B1180六角ボルト（強度区分4T） ・JIS B1181六角ナット（強度区分4T） ・JIS B1251ばね座金 ・JIS B1256平座金
07.ワットド	・JIS B1198頭付きスタッドを使用する
08.ターンバックル	建築用ターンバックルブレース ・JIS A5540（ターンバックル） ・JIS A5541（ターンバックル鋼） ・JIS A5542（ターンバックルボルト）
09.角形鋼管	0.とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
10.熱間成形角型鋼管	・
11.ラム（円柱）	0.とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
12.デッキプレート	0.合成スラブ t=φ t=1,6 0.フェローデッキ t=1,6
13.一定H型鋼	0.とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
14.ステンレス	・
15.合金金物	0.とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
16.露出型弾性固定柱脚	・
17.溶接部検査	受入検査方法を指示（ ） 検査項目 ・目視検査 ・超音波検査 検査範囲 ・完全溶込溶接部 ・部分溶込溶接部 ・隅肉溶接 検査方法 ・全数検査 ・抜取検査（JASS6による ・JISZ9015による 合否判定基準 目視試験 日本建築学会「建築工事標準仕様書JASS6-5.13-a」による 超音波検査 日本建築学会「鋼構造建設溶接部の超音波探傷検査・同解説」による。 受入検査に従事する検査技術者の認定機関 社 日本非破壊検査（NDI） 超音波検査技術者 社 日本溶接協会溶接検査認定委員会 超音波主任試験技術者 社 全国鉄構工業連合会 鉄骨精度検査技術者 鉄骨超音波検査技術者
18.溶接部検査	・塗装種類（ ） ・範囲（ ） 素地調整 0.フレン ・フラスト ・種B ・2種 ・JISK 5621 1種（一般用さび止めペイント） ・JISK 5622 1種、2種（鉛丹さび止めペイント） ・JISK 5552 （ジノリチアプライア） ・JISK 5625 1種、2種（シアナミド鉛さび止めペイント 1種） 0. JISK 5674 鉛・ワリドムフリーさび止めペイント1種（シアナミド鉛さび止めペイント 1種） 0.耐火被覆の種類により、下地処理をかくんすること
19.さび止め塗装	・埋込み工法 ・固定埋込み工法 ・可動埋込み工法 ・材質 ・ボルト 径 ・埋込み長さ ・アンカーボルト用急硬定着材 0.とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
20.アンカーボルト	・

19.主脚均しモルタル	・モルタル種別 ・普通モルタル ・混和材 ・無収縮モルタル（混和材入） ・モルタル強度の指定（ ）
20.耐火被覆	0.ロックウール吹付（不燃第1023号） 0.不付圧 0.厚さ 0.乾式 0.湿式 0.原色 0.仕上 0.行押え ・エンボス ・ケイ酸カルシウム板張り付け（不燃第1061号） 厚さ（法令による耐火時間のチェックの事） ・20 ・25 ・35 ・40 ・45 ・50 ・55 ・60 ・セラミックファイバー巻きつけ工法 0.耐火塗料 ・セラミックス耐火被覆材 ・巻き付け耐火被覆材（マキベエ/ニチアス）（FP060BM-0047.9341）
21.特殊構造物	・空気調換構造 ・テント構造 ・恒久蔵材 ・立体トラサ構造 ・立体駐車場
08. 建築工事 ブロック・ALC/パネル及び押出し成形セメント板工事	
00.一般事項	0.とくに定めない限り特記仕様書（構造）による
01.コンクリートブロック	・JISA5406による 形状寸法 基本ブロック ・異型ブロック 基本ブロックの寸法 ・100x190x390 ・120x190x390 ・150x190x390 ・190x190x390 異型ブロックの厚さ ・100 ・120 ・150 ・190 異型ブロックの種類及び寸法 ・横筋用ブロック 190x390 ・すみみ用ブロック 190x390 ・横半切りブロック 90x390 ・横筋用横半切りブロック 90x390 ・縦半切りブロック 190x190 ・すみみ縦半切りブロック 190x190 ・窓枠用ブロック 190x190 ・まてき用ブロック 190x190 品質 種別 全断面に対する圧縮強さ 気乾かさ比重 最大吸水立に対する含湿率比% ・A種 4[41]kg以上 1,7未満 40以下 ・B種 6[61]kg以上 1,9未満 ・C種 8[82]kg以上 軽量ブロックとはA種及びB種をいう。 重量ブロックとはC種をいう。 水密性による区分 ・普通ブロック ・防水性ブロック 防水性ブロックとは、防水加工をしたものをいう。 組積形式 ・塗り下 ・化粧積み ・壁り下 補強鉄筋 ・縦筋 D10 φ400 ・横筋 D10 φ600 ・開口部隅部開口補強筋 D13 ・メーカーはJIS表示許可工場とする
02.化粧コンクリートブロック	JISA5406による 強度による区分 用途による区分 化粧法 ・研磨 ・切削 ・洗い出し ・たつき ・スプリット ・スランプ及びリブ付
03.型枠コンクリートブロック	・JISA5406による
04.特殊コンクリートブロック	・吸音ブロック（ ） ・耐火ブロック（ ） ・すきしブロック（ ）
05.煉瓦	普通レンガ（JIS A 1250） 品質 ・JIS規格品 ・規格外品 品質 圧縮強さ(N/mm2[kgf/cm2]) 吸水率% ・2種 15[153] 以上 15以下 ・3種 20[204] 以上 13以下 ・4種 30[306] 以上 10以下 寸法 ・210X100X60 組積形式 ・床 ・小端立て敷き ・平敷き ・壁 ・塗り下 ・化粧積み ・半枚積み ・一枚積み ・小端立て積み 特殊煉瓦 ・筋筋補強煉瓦 ・多孔煉瓦 ・補強煉瓦ブロック ・二重スラブ用煉瓦 ・上下水道用煉瓦 メーカーはJIS表示許可工場とする
06.耐火煉瓦	JIS R 2304による 品質 ・JIS規格品 ・規格外品 主に使用するものは、8種(31以上)又は、9種(28以上)とする。 種別 ・耐火煉瓦 耐火度ゼーグルコン番号30番以上 寸法 ・耐火煉瓦 ・210x100x80 ・230x114x85 組積形式 ・塗り下 ・化粧積み

07.セメント煉瓦	・品質 ・種類 ・寸法 組積形式 ・塗り下 ・化粧積み
08.耐火石	JIS A 5003による 品質 ・JIS規格品 ・規格外品 寸法 板石状 ・25x300x150 煉瓦状 ・60x210x100 ・65x230x115 ・メーカーはJIS表示許可工場とする
09.プレキャストコンクリート	施工箇所 図示による。 材料 コンクリート ・普通 ・1種軽量 ・2種軽量 強度Fσ=300kg/cm以上 スランプ 8cm以下 ・SR24 ・SD30 補強鉄筋 ・普通鉄筋（JISG3532） ・溶接鉄筋（JISG3531） ・SS41 ・SM50A 鋼材 露出部分は全て亜鉛メッキとする。 ボルト、ナット・JISB1180 ・JISB1181 取付工法 ・溶接 ・ボルト ・ダボ ・バネ 表面仕上 ・打放し ・骨材露し ・石打込み ・タイル打込み 型枠仕様 ・鋼製 ・木製 ・合板製 養生法 ・蒸気養生 シーリング材 変成シリコン系 ・2成分形 ポリウレタン系 ・1成分形 ・2成分形
10.穴あきPC板	品種 JIS A 6511による。 種別 ・30種 ・45種 断面有効平均プレートの量 約30[294,20] 約45[441,30] kgf/cm2(N/cm2) コンクリート圧縮強度は40[408]N/mm2(kgf/cm2) パネルの巾 1000 1200 パネルの厚さ 70 100 120 150 200 250 300 諸H箇所 ・屋根 ・床 ・壁 ・間仕切壁 壁の組積形式 ・縦積 ・横積 シーリング材 ・変成シリコン系 ・ポリサルファイド系 特殊パネル ・デザインパネル(リブ・洗い出し・模様付き) ・断熱材打ち込みパネル
11.GRCブロック	・
12.ALC/パネル	品種 JIS A 5416による。 種別 ・第1種ALC ・第2種ALC 比重 0.5~0.7 1.0~1.2 圧縮強度 3[31]以上 12[122]以上 N/mm2[kgf/cm2] パネルの巾 600 パネルの厚さ ・50 ・75 ・80 ・100 ・120 ・125 ・150 施工箇所 ・屋根 ・床 0.壁 ・間仕切壁 壁の組積形式 ・縦積み ・横積み 金物の防錆処理 ・ジノクワロメート塗装 ・亜鉛メッキ 鋼材の取付 ・影込みアンカー ・溶接 目地用鉄筋の取付 ・コンクリート打込み ・溶接 ・影込みアンカー 塗装目地 ・樹脂セメント目づめ シーリング材 ・シーリング材表面吹付塗装の場合 ・ポリウレタン系 ・シーリング材表面吹付塗装しない場合 ・変成シリコン系 ・アクリルウレタン系 特殊パネル ・デザインパネル(リブ・ウェーブ・ブロック・テーパー) ・撥水パネル ・大型パネル ・下地処理パネル ・デザインパー ・コーナーパネル 施工 ・原則として責任施工とする。 ・施工計画書を提出すること。
13.無石精押出成形板	・押出成型セメント板（FP060NE-9035） 比重 1.90 圧縮強度 58,8N/mm2(600kgf/cm2) パネルの巾 600 900 1000 1200 パネルの厚さ 35 50 60 75 100 施工箇所 ・屋根 ・床 ・壁 ・間仕切壁 ・
14.窓業系押出し成形板	・
15.耐火パネル	外壁耐火1時間 t=35 複合版



project 図書館等複合施設新築(建築主体)工事	akihisa hirata architecture office 株式会社平田晃久建築設計事務所 106-0031 東京都港区西麻布2-9-13F西麻布ビル 2-8-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031 tel 03-3409-1455 fax 03-3409-1458	date R04.06.30	scale -	subject 特記仕様書3	A05
-------------------------------	---	-------------------	------------	-------------------	-----

[illegible]



13. 建築工事 屋根及びい工事	
07.アスファルトシングル ぶき	・勾配が2.5〜3寸以上の場合は釘打ち止めとして下地材は銅板ぶきに準ずる。
08.不燃シングルぶき	・メーカー個別認定 ( )
09.粘土瓦ぶき	製造法による種類 ・いぶし瓦 ・塩焼き瓦 ・釉薬瓦 ・素焼き瓦 形状による種類 ・和型(・スベイン瓦 ・S瓦 ・フランス瓦) ・洋型(・スベイン瓦 ・S瓦 ・フランス瓦) 勾配 ・40/100〜45/100 ・その他( ) 注28/100程度までの緩勾配には緩勾配用逆水止め瓦を使用 その他の事項は JIS A 5208による。
10.ガラス屋根	・合わせガラス TP12+TP12+PW6,8 (TP:強化ガラス/PW:アミ入りガラス)
11.プラスチック屋根	・ポリカーボネイト板 6mm
12.ステンレス防水	・
13.い	材種 ・配管用炭素鋼管(ガス管) JISG3452 (SGP) ・硬質塩化ビニル管 JISK6741 (VP) ・硬質塩化ビニル雨どい JISA5706 ・アルミニウム合金押出材 JISH4100 ○水道用亜鉛メッキ鋼管(配管用鋼管) JISG3442 (SGPW) ・一般構造用炭素鋼管(一般用鋼管) JISG3444 (STK) ・亜鉛鉄板 JISG3302 ・着色亜鉛鉄板 JISG3312 ・ポリ塩化ビニール(塩化ビニール樹脂) JISK6744 金属積層板 ○鋼及び鋼合金の板及び条 JISH3103 ・冷間圧延ステンレス鋼板 JISG4305 ・冷間圧延ステンレス鋼帯 JISG4307 注)硬質塩化ビニール管は屋内には使用しない事。 鋼管製といの防露 ・施工場所 ・防露材料 ・方法 ・共通仕様書による ・その他 一般の屋内露出 ○保温筒取り付け ・粘着テープ巻 ・紙巻巻 ・綿布巻 ・目止め塗装 天井内、壁内 ・保温筒取り付け ・粘着テープ巻 ・ビニルテープ巻 浴室、厨房内露出 ・保温筒取り付け ・粘着テープ巻 ・アスファルトルーフィング巻 ・亜鉛鉄板 t=0.3巻 ・塗装 RC造等のPS内・防露なし ○保温筒取り付け 屋外 ・防露なし ・塗装のみ
14.とい受金物	・共通仕様書による ・その他( )
15.ルーフレドレイン及び 排水金物	種別 ○ルーフレドレイン JIS A 5522 ・フロアドレイン ・ステンレス錆鉄製ルーフレドレイン (躯体打ち込み部) ・中継ドレイン ○グリーストラップ ○その他( 防塵網付 ) ・材質( )
16.網除口	・取付場所( ) ・箇所数( )
14. 建築工事 金属工事	
01.鉄の亜鉛メッキ	亜鉛メッキの種類 ○A種 溶融亜鉛めっきはJIS H 8641(溶融亜鉛めっき)の2種による(どぶづけ) ・B種 電気亜鉛めっきの上にクロム酸処理を行ったものでJIS H 8610(電気亜鉛めっき)の2種による
02.ステンレス鋼の表面 仕上	板厚(mm) ・1.0 ・1.2 ・1.5 ○その他(図示による) JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板) 仕上 ○1.ハ. エッチング ・ミラー ・パフ ○ナンドプラスト ・塗装 ・電解発色(自然発色)

03.アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

無着色陽極酸化皮膜の種類  
○JIS H 8601(アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜)による。  
・その他

種別	○A種	B種	C種	D種
耐食性の種別	A種	B種	C種	D種
L2	20以上	14以上	9以上	6以上
KL1	—	9以上	6以上	—

  
着色陽極酸化皮膜種類  

種別	下地陽極酸化皮膜厚
・電解発色(自然発色)	
電解発色	・A種 ・B種 ・C種 ・D種

  
塗装仕上の種類  

種別	樹脂区分	皮膜厚(μ)
透明合成樹脂塗装	アクリル、ポリウレタン	・9 ・14
熱硬化性樹脂塗装	デュラクロン、マジクロン	・9 ・14
合成樹脂塗装	ウレタン樹脂、その他	・9 ・14

  
溶融亜鉛めっきの付着量(g/m2)  

種別	・A種	・B種	・C種	・D種
亜鉛の一面付着量	500以上	350以上	250以上	180以上

  
電気亜鉛めっきの皮膜厚  

種別	亜鉛めっきの種類	亜鉛めっきの皮膜厚(μ)
・A種 JIS H8610の2種(電気亜鉛めっき)5級以上		20以上
・B種 同上4級以上		13以上
・C種 同上3級以上		

04.鉄部塗装下地

○A種  
1 汚れ及び付着物の除去 ワイヤーブラシ、エメリークロス等を用いて除去する。  
2 油類の除去 弱アルカリ性液加熱処理又は洗剤により除去し、湯洗又は水洗いする。  
3 さび落とし 酸洗い又はこれと同等の効果がある方法を施したうえ、湯洗い又は水洗いを行い、更に弱アルカリ性液加熱処理又は洗剤により完全中和処理の上湯洗い又は水洗いとする。  
4 りん酸塩処理 りん酸塩溶液に浸漬処理又は吹付け処理後、湯洗い又は水洗いとする。  
5 クロム酸処理 クロム酸溶液に浸漬処理又は吹付け処理後、湯洗い又は水洗いとする。  
・B種  
1 汚れ及び付着物の除去 汚れ及び付着物を除去する。  
2 油類の除去 溶剤により除去する。  
3 化学処理 JIS K 5633(エッチング・プライマー)1回塗又は燐酸処理を行う。  
放置時間は2時間以上10時間以内とする。  
湿度80%以上の場合は施工してはならない。

05.軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類  

種別	・A種 一般形	○B種 一般形／特殊形
野縁	成25×巾25X厚さ0.5以上 成22×巾22X厚さ0.7以上	成19×巾25X厚さ0.5以上 成22×巾22X厚さ0.5以上
板継ぎ野縁	成25×巾50X厚さ0.5以上 成22×巾44X厚さ0.7以上	成19×巾50X厚さ0.5以上 成22×巾47X厚さ0.5以上
野縁受け	[-38X12X1.8以上	[38X12X1.2以上

06.軽量鉄骨壁下地

間柱及びランナーの種類 (mm)  

種別	・A種	○B種
間柱	[-90x45x10x0.8以上	[-65x45x10x0.8以上
ランナー	[-90x40x0.8以上	[-65x40x0.8以上

  
開口部補強材の種類  

種別	・A種	○B種
出入口及びこれに準じる開口部	[-75x45x15x2.3以上	[-60x30x10x2.3以上

  
ダクト類の小規模な開口部 間柱又はランナーのA種 間柱又はランナーのB種

・製造所 軽量鉄骨壁下地の製造所による。  
・壁下地の場合間柱の高さが3,000を超える場合は間隔1,200程度に壁面間振れ止めを設ける。

07.鋼製床下地

・図示による

08.インサート

鉄製 ・6mm ・9mm ・12mm ・16mm  
・SSインサート(箱型鋼付)

09.ホールインアンカー

ホールインアンカー ・38S ・48S ・58S ・68S ・78S  
パーフェクトアンカー ・DP-1006 ・DP-1007 ・DP-1209

10.ラス

メタルラス(JIS A5505)  
・平ラス(・1号 ・2号 ・3号 ・4号)  
・コブラス  
・波形ラス  
・リブラス  
ワイヤーラス(JIS A5504)  
・ひし形ラス  
・甲形ラス  
・丸形ラス

11.金属成形板張りス/ンドレil(モルディング)等

・

12.システム天井

・

13.装飾ルーバー

・

14.ひさし

・ステンレス鋼

15.外装材

・電形金網 JIS G3547  
○エキスパンドメタル JIS G3351  
○ステンレス金網 JIS G 3532

16.内装材	○ステンレス金網 JIS G 3532
17.バ/ラベット用金属 覆り	・
18.金属製手摺	材質 ○スチール ・アルミ ・ステンレス ○手摺高さ(1200mm) ○図示による
19.格子類	材質 ・スチール ・ポリカーボネイト類 ・アルミ製 ・積物
20.廻線兼用額吊レ ール	・
21.らせん階段	・
22.バ/ルコー	・図示による
23.アルミブラインドボ ックス	・
24.配線・配管ビッド・ 天井・床点検口	材質 ・鉄鉄 ・ステンレス ○アルミ ○H 450mm x 450mm 仕様(目地タイプ又は図示による)
25.グレーティング	材質 ・どぶづけ亜鉛メッキ ○ステンレス ・CFRP ・その他( ) ・巾 mm mm ( ) 仕様( )
26.ランホール	材質 ・鉄鉄 ・ステンレス ・アルミ 仕様(防水・防臭仕様)
27.エキスパンションジ イントカバー	材質 ・アルミ ・ステンレス ・その他 使用部位( ) 仕様( )
28.その他アルミ内外 装 オーダ製作 板金工事外装材	
15. 建築工事 左官工事	
01.防火材料	・内装制限の適用を受ける場合の壁、天井等は防火認定材を使用する事。使用する防火材料は建築基準法及び関係工事に適合し、これらに基づき認定され、表示のあるものとする。 ・
02.下地	・木ずり ・メタルラス ・ワイヤラス ・リブラス ・ラスシート ・木毛セメント板 ・ラス/ド ・竹こま
03.モルタル塗り	○標準壁厚とする ・その他(図示による) ・防塵塗装
04.混和剤	・モルタル防水剤 ・混和防錆剤 ・硬化促進 ・防凍剤
05.接着増強剤	・モルタル接着増強剤(塗布、混練対応型)
06.接床地の種物下 地モルタル塗り	・接着剤を使用する場合の下地モルタルは防水モルタルを使用する。ただし、土間コンクリートに防水コンクリートを使用した場合この限りではない。
07.プラスター塗り	使用箇所( ) 塗厚( mm) ・特記のない場合は共通仕様書による。 種別 ・せっこうプラスター ・ドロマイトプラスター ・その他
08.軽量骨材	・
09.AL/C(ネル用特殊 プラストー塗り	・
10.つくい塗り	使用箇所(図示による) 塗厚( 2 mm) 色彩( )
11.土壁塗り	・小翼下地
12.特殊仕上と色土	種別 ・土地砂壁 ・砂壁 ・大津壁
13.縦横壁塗り	種別 ・1種(綿状せんい)を主とするもの ・2種(木粉あるいは粒状物を主とするもの) ・3種(糸状せんい)を主とするもの ・4種(有機せんいの他に無機物を含むもの) 調合 ・せんい壁材1種から4種まですべり調合は各製造所の調合仕様による。 ・その他( )

14.人造石塗り	仕上の種類 ・どぶ出し ・洗い出し ・駝石仕上 種石の種類 ・A種(カナリヤ類) ・B種(寒水、じゃ紋の類) ・C種(その他) クラッシュレンガ
15.現場テラゾー塗り	種石の種類 ・A種(カナリヤ類) ・B種(寒水、じゃ紋の類) ・C種(その他) クラッシュレンガ
16.セルフレベリング下 地材	・厚さ( 20 mm)
17.下地調整塗材	・
18.注入剤	・
19.薄塗壁材	・厚さ( mm) ・
20.ラス下地モルタル	・厚さ( 30mm) ・
21.断熱壁材	・厚さ(10 mm) ・断熱モルタル
22.耐酸モルタル	・
23.特殊左官	・建築物内外壁改修 ○新築打放しコンクリート仕上げ ・高耐久性打放しコンクリート仕上げ ・劣化タイル改修 ・外壁下地調整 ・打放しコンクリート改修(モノリシック工法) ・その他( )
16. 建築工事 建具工事	
01.アルミニウム製建具	種別 SYSTEMA31/YKK ap、ARMS/三協アルミ、E-Shape、E=shape window/LIXIL 同等品 ○レディーメイド ・オーダーメイド ・K/Jタイプ 性能 ・強度 ・水密性 ・気密性 ・遮音 ・その他( ) ・枠見込み寸法 70mm 表面処理(膜厚 mm) ・陽極酸化皮膜 JISH8601による(標準9L2以上とする) ・着色陽極酸化皮膜 ・自然発色 ○電解着色 ・熱硬化性アクリル樹脂 ・デュラクロン(20μm以上) ・ヤWワロン ・塗装仕上(合成樹脂塗料) ・その他 取付工法 ・後付工法 ○現場先付工法 ・工場先付け工法
02.鋼製建具	種別 ・レディーメイド ○オーダーメイド ・K/Jタイプ ・気密性水密性を指定する場合( )
03.鋼製軽量建具	種別 ・レディーメイド ○オーダーメイド ・K/Jタイプ 扉見込寸法 ・3φ ・その他( ) 材料 ・塩ビ鋼板 ・ボンデ亜鉛鋼板 芯材 ・ペーパーハニカム ・各種発泡材 防火性能 ・甲種防火戸 ・乙種防火戸 ・その他( )
04.ステンレス	種別 ・レディーメイド ・オーダーメイド 曲げ加工特記 ・普通曲げ ・セミ角出し ・角出し 表面仕上 ・パフ仕上 ・H/L ・サンドブラスト ・電解着色 ・エッチング 保護塗装の有無 ・アクリル系クリアー ・ポリウレタン系クリアー ・その他( )

05.自動扉	開閉形式 ・油圧式 ・空気圧式 ○電動式 ・制御方式 ○タッチスイッチ ・光電スイッチ ・超音波スイッチ ・レーダースイッチ ・ミラクルスイッチ ・セクロアスイッチ
06.オーバードア	・
07.ハンガードア(工場 ・倉庫用)	・
08.ハンガードア(病院 ・学校・ビル用)	・
09.クロゼットドア ホールディングドア	・
10.グレンジアー	・
11.曲線サッシ	・
12.ブラインドサッシ	・
13.軽量ドア	・
14.強化ガラスドア	・
15.取り替えサッシ	・
16.プラスチックサッシ	・
17.特殊防火戸(甲種	・図示による
18.金庫扉、書庫扉	・
19.放射線遮断扉	・
20.気密防音ドア	・図示による
21.防水扉	・
22.スイングドア	・
23.学校間仕切	・
24.シャッター	種別 ・重量シャッター ○防火シャッター ○甲種 ・乙種 ・防塵シャッター (ニチアス ファイアーマククリーン同等品) ・軽量シャッター 開閉方式 ・手動式 ○電動式 スラット ・ステンレス ○鋼板製 レール、まぐさ、座板 ・ステンレス ○鋼製 シャッターケース ・要 ・不要 ・材質( ) ・仕上げ( ) スイッチボックス ・材質 ・仕上げ
25.グリルシャッター	材質 バイブ部 ・スチール ・アルミ ・ステンレス ・ビニルコーティング リング部 ・スチール ・ステンレス
26.特殊シャッター	・防火スクリーン ○カーバーライダー
27.無人制御シャッター	・
28.アルミ製 カーテンウォール	・図示による



project 図書館等複合施設新築(建築主体)工事	akihisa hirata architecture office 一級建築士第339532号 杉山征利 一級建築士事務所 東京都知事登録第57148号	株式会社平田晃久建築設計事務所 106-0031 東京都港区西麻布2-9-13Fa西麻布ビル 2-8-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031 tel 03-3409-1455 fax 03-3409-1458	date R04.06.30	scale -	subject 特記仕様書5	A07
-------------------------------	---	--	-------------------	------------	-------------------	-----

	16. 建築工事 建具工事
29.防虫網戸	網材質 ○ステンレス ・サランネット ○ガラスファイバー ・その他 網寸法 ・#35×16メッシュ ・#35×18メッシュ 網色種 ・グレー ・ライトグレー ・その他
29.防災・設備	○特記仕様書(設備)による
30.木製建具	建具見込寸法 ・#35mm ○の他(42mm ) 建具材の種類 種別 建具材の等級 加工、相立時の含水率 ○A種 1等 15' /Wt以下 ・B種 2等 天然乾燥18' /Wt以下、人工乾燥15' /Wt以下 ○C種 3等 18' /Wt以下 樹種 名称 樹種 ・つり元かまち ・ひのき・ひば・米松・台松(軽量の聞き扉はすぎ) ・定規縁 ・ひのき・ひば・米松・台松 ・その他 ・すぎ 注：生地のまま、また生地を表面塗装を辭け樹種は杉材を標準とする。 輸入木材の定議 米ひ :グランドサイプレス類のメイト・オーフォード・シダー 米ひば :グランドサイプレス類のイエロー・シダー 米とうひ :スプルース類のホワイトスプルース、ウェスタン・スプルース、シトカ・スプルース 米つが :ヘムロック類のウェスタン・ヘムロック 米もみ :ファー類のノーブル・ファ、ホワイト・ファー、バルサム・ファー、アヤリス・ファー 米すぎ :アーボルピタス類のウェスタン・レッドシダー 米赤すぎ :レッドウッド類のレッドウッド 米まつ :ファールス・ヘムロック類のダグラス・ファー ソ連えぞまつ :ゾビエトス・ぞまつ  合板の種類 水がかり部 1類 合板樹種 ・しな ○ウワン
31.木製防火戸	・
32.木製特殊建具	・
33.ふすま	・
34.建具金物・丁香	・建具に取り付ける金物は、サンプルを提出して監督員の承認を受ける。建具リストによりマターキーを製作する。握り玉、押板類の取付位置は、床柱上面より金物の中心まで、握り玉・引き手類は、1000mm、押板・把手類は、1100mmとする。建具開放時に扉が壁に当たる場合は、監督員と協議の上、戸当たり又は偏り止めをもうける。建具の握りは特記なき限り全てレバーハンドルとする。ドアチェック、フロアヒンジは特記なき限り全てストップ付きとする。丁香はリング入りとする。
35.吊(連続)丁香	・図示による
36.各種錠前	・外部扉に設けるシンダー錠はビッキング対応錠とする。
37.非常錠 (本締り型)	・
38.電気錠	・
38.特殊ドアロック(高機)	・
39.ドアクロージャー(ドアチェック)	・建具金物・丁香の項参照
40.ヒポットヒンジ	・特に規定しない開き戸のヒンジはヒポットヒンジとする。
41.カートヒンジ	・建具金物・丁香の項参照
43.フロアヒンジ	・
43.スプリングヒンジ	・
44.タイト・シール金物	・
45.ラバトリヒンジ	・
46.取手・押板	○材質( SUS ) ○仕上( SB ) ○仕上げは図示による
47.各種吊戸用金物(ドアハンガー、ハンガーレール、ブラケット)	・建具表を参照
48.排煙窓開閉装置	・建具表を参照
49.防火戸用作動装置	・建具表を参照
50.回転窓開閉調整器	・
51.マスターキー	・グループ数( )・各グループごとの鍵本数( ) ・グランドマスターキー・フロアマスターキー・コンストラクションキー ○その他(打合せにて決定)
52.建箱(キーケース)	○有 ・無 ・大きさ( 本用)
53.防火戸の工事区分	・電気設備開閉参照、電気設備担当と調整のこと。 ・自動開閉装置等を設備工事とした場合、装置取付用補強プレート及び孔明は建築工事とする。

17. 建築工事 ガラス及びプラスチック工事	
01 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガラスの耐風圧、熱割れ、タワミ等については再度計算して安全を確認すること。</li> <li>特に大判強化ガラスを使用する外部開口部の安全性に関しては関連メーカー、施工者、設計者の間で十分協議し検証をした上で施工する。</li> </ul>
01 一般ガラス	<p>種類及び厚さ記入</p> <p>ガラスの種類とJIS規格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通板ガラス JIS R3201</li> <li>フロート、みがき板ガラス JIS R3202</li> <li>型板ガラス JIS R3203</li> <li>押入型ガラス JIS R3204</li> <li>合せガラス JIS R3205</li> <li>強化ガラス JIS R3206</li> <li>熱線吸収板ガラス JIS R3208</li> <li>複層ガラス JIS R3209</li> <li>Low-Eガラス</li> </ul> <p>ガラス押入の材質及びメーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軟質塩化ビニール製プレイングラスケット</li> <li>金属性金具用ガラスパテ</li> <li>1種(硬化性ガラスパテ) ・2種(非硬化性ガラスパテ)</li> <li>木製鍵具用ガラスパテ</li> <li>シリコーンシーリング材</li> <li>ポリイソプレンシーリング材</li> </ul> <p>ガラスケットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロロプレナム</li> <li>ハイパロン</li> <li>E・P・T</li> <li>シリコーンゴム</li> <li>EPDM</li> </ul> <p>02 飛散防止フィルム 外貼り 透明タイプ、乳白タイプ・紫外線防止フィルム</p>
02 飛散防止と日照調整フィルムなど	
03 特殊ガラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>合せ、強化熱吸収、複層ガラスなど</li> <li>フロアライト</li> <li>×線防護用鉛ガラス</li> <li>ステンドグラス</li> <li>型ガラス</li> <li>ガラスブロック</li> <li>曲板ガラス</li> <li>04 熱断ガラス</li> <li>アルミウムガラス</li> <li>変板ガラス</li> <li>ドーム</li> <li>縦合せガラス</li> <li>穴明きガラス</li> <li>DPGガラス</li> <li>その他</li> </ul>
31. プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポリカーボネート系合成樹脂板</li> <li>アクリル系合成樹脂板</li> <li>塩化ビニール系合成樹脂板</li> <li>ポリエチレン系合成樹脂板</li> <li>強化プラスチック</li> </ul>
32. 帯電防止板	・
33. 装飾樹脂板	・
34. 採光窓	・
18. 建築工事 吹付工事	
01 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルムアルデヒドに関する規制を受ける室のうち、内装仕上げの対象となる部分は、発等級F☆☆☆☆、天井裏等は則F☆☆☆☆以上とする。</li> </ul>
01 防火材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>02 内装材の適用を受ける場合の壁、天井材は防火認定材を使用する事、使用する防火材料は建築基準法及び同施工事に適合し、これらの基準に認定され、表示のあるものとする。</li> </ul>
02. 建築用仕上塗材	<p>JISA6909建築用仕上塗材による</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薄付け仕上塗材</li> <li>・厚付け仕上塗材</li> <li>・複層仕上塗材</li> <li>・軽量骨材仕上塗材</li> </ul>
03. 薄付け仕上塗材	<p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外装セメント系薄付け仕上塗材(外装薄塗材C)</li> <li>・内装セメント系薄付け仕上塗材(内装薄塗材C)</li> <li>・外装(れ)酸質系薄付け仕上塗材(外装薄塗材Si)</li> <li>・内装(れ)酸質系薄付け仕上塗材(内装薄塗材Si)</li> <li>・外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(外装薄塗材E)</li> <li>・内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(内装薄塗材E)</li> <li>・外装合成樹脂溶液系薄付け仕上塗材(外装薄塗材S)</li> <li>・内装合成樹脂溶液系薄付け仕上塗材(内装薄塗材S)</li> <li>・内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材(内装薄塗材W)</li> <li>・可とう形外装(れ)酸質系薄付け仕上塗材(可とう形外装薄塗材Si)</li> <li>・可とう形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(可とう外装薄塗材E)</li> <li>・防水形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(防水外装薄塗材E)</li> </ul>
04. 厚付け仕上塗材	<p>JISA6909建築用仕上塗材による</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外装セメント系厚付け仕上塗材(外装厚塗材C)</li> <li>・内装セメント系厚付け仕上塗材(内装厚塗材C)</li> <li>・外装(れ)酸質系厚付け仕上塗材(外装厚塗材Si)</li> <li>・内装(れ)酸質系厚付け仕上塗材(内装厚塗材Si)</li> <li>・外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材(外装厚塗材E)</li> <li>・内装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材(内装厚塗材E)</li> </ul>

05.複層仕上塗材

JISA6909建築用仕上塗材による  
種別  
・セメント系複層仕上塗材(複層塗材C)  
・ポリマーセメント系複層仕上塗材(複層塗材CE)  
・可とう形ポリマーセメント系複層仕上塗材(可とう形複層塗材CE)  
・防水形ポリマーセメント系複層仕上塗材(防水形複層塗材CE)  
・けい酸質複層仕上塗材(複層塗材SI)  
・可とう形けい酸質複層仕上塗材(可とう形複層塗材SI)  
・合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(複層塗材E)  
・防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(防水形複層塗材)  
・反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(複層塗材RE)  
・防水形反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(防水形複層塗材RE)  
・合成樹脂溶液系複層仕上塗材(複層塗材RS)  
・防水形合成樹脂溶液系複層仕上塗材(防水形複層塗材RS)

05.軽量骨材仕上

JISA6909建築用仕上塗材による  
種別  
・バーライト吹付  
・ひる石吹付(バーミキュライト吹付)  
吹付厚( mm)  
結合材の種別  
・無機質系(セメント)  
・粘結材系(ベントナイト、プラスチック)  
・合成樹脂エマルジョン系  
工法 〇乾式 〇半湿式 〇湿式  
〇耐火被覆については、第7章鉄骨工事を参照の事  
色彩 〇白色 〇素地  
〇厚さ( 25 mm)  
仕上 ・吹散し ・コテ押え

06.コウワール吹付

07.下地調整材

・JISA6916仕上塗材用下地調整塗材による

19. 建築工事 塗装工事

08.一般事項

・ホルムアルデヒドに関する規制を受ける室のうち、内装仕上げの対象となる部分は、発散等級F☆☆☆☆、天井裏等と同F☆☆☆☆以上とする。

09.一般塗料

塗装種別の略号の例		日本建築学会	日本建築家協会	NTT	郵政省	都市基盤整備公団
		学	協	慣	慣	整
		(JASS)		ト		
油性顔料ベント塗り		OP	OP	OP	OP	OP
合成樹脂顔料ベント塗り		SOP	SOP	UP	UP	OP2種
フル樹脂樹脂エマル塗り		FF	FF	UP	UP	FF
アルミニウムベント塗り		AIP	al		AIP	
オイルステイン		OS		OS	OS	OS
オイルステイン・ボイル油塗り		OSO				
オイルステイン・ワックス塗り		OSW				OSW
オイルステイン・ワニス塗り		OSC				OSV
スーパーニス塗り		OC				油ワニス
フル樹脂樹脂ワニス塗り		FC				
1液型ウレタンワニス塗り		1-U	UC			
2液型ウレタンワニス塗り		2-U	UC			
ウレタンカラー塗り		CL		CL	CL	CL
ウレタンカラー塗り		Q			ウレタン	
水系フロアベント塗り		GE	GW			
多彩模様塗り		MP-II	多彩	mp	MP	
合成樹脂エマルジョンベント塗り	1	合成ゴム系	EP	AEP	EP-1	EP-1
合成樹脂エマルジョンベント塗り	種	アクリル系	EP	EP	EP	EP-1
合成樹脂エマルジョンベント塗り2種						
アクリルカラー塗り			AC	AC		
アクリル樹脂エマル塗り			VE	VE	VP	VP
塩化ビニル樹脂エマル塗り			AE	AE	UP	UP
アクリル樹脂エマル塗り			CE	GE		
塩化ゴム塗料塗り			2-U	UC		
2液型ウレタンエマル塗り			1-XE			
エポキシエマルエマル塗り			1-XE	EXP	UP	MCP
2液型エポキシエマル塗り			2-XE			
2液型エポキシエマル塗り			2-XE	TEXP		
練付エナメル塗り			B-ME			
練付エナメル塗り			B-AE			

10.塗装見本

・メーカー作成の塗装見本とする  
〇各種見本下地は、その実用に塗装した見本を作成する事  
〇提出部数( 1 部)

11.塗装施工業者

塗装施工業者  
〇日本塗装工業会会員とする

20. 建築工事 内装工事

12.一般事項

・ホルムアルデヒドに関する規制を受ける室のうち、内装仕上げの対象となる部分は、発散等級F☆☆☆☆、天井裏等と同F☆☆☆☆以上とする。

13.ニル床シート

・JISA5705ニル床系床材による  
種別 構造  
発泡層のないニル床シート  
単体のもの。 \*NM  
織布を積層したもの。 \*NC  
不織布を積層したもの。 \*NF  
織布、不織布以外の材料を積層したもの。 \*NO  
発泡層のあるニル床シート  
織布を積層したもの。 \*DC  
不織布を積層したもの。 \*DF  
織布、不織布以外の材料を積層したもの。 \*DO  
不織布を積層し、印刷画を有するもの。 \*PF  
織布、不織布以外の材料を積層し、印刷画を有するもの。 \*PO  
一般便宜上下記に分類する。  
ニル床シート 発泡層のない場合 一般シート  
ニル床シート 発泡層のある場合 インレイタイプ  
ニル床シート 発泡層のある場合 クッションフロア  
ニル床シート 発泡層のある場合 複合シート

01.ニル床シート (つづき)	<p>厚さ 発泡層のないシート ・2.0 ・2.5 ・3.0 ・その他( ) 発泡層のあるシート ・1.8 ・2.3 ・2.8 ・3.5 ・その他( ) ジョイント部仕様 ・突付け ・溶着 表面仕上げ ・布地 ・水性ワックス ・樹脂ワックス 接着剤の種類と施工箇所記入 ・酢酸ビニル樹脂系 一般の床 ・ゴムラテックス系 一般の床 ・エポキシ樹脂系 土間床、最下階の床、水掛り部、湿気やすい場所 その他 ・異尺防滑塩ビシート・タイル ・スポーツ用ゴム床シート ・天然リノリューム</p>
02.ビニル床タイル ゴム床タイル	<p>・JISA5705ビニル系床材による 種別 ・ホモジニアスビニル床タイル ・コンポジションビニル床タイル 半硬質 ・コンポジションビニル床タイル 軟質 厚さ ・2.0 ・3.0 表面仕上 ・水性ワックス ・樹脂ワックス</p>
03.コルクタイル コルクシート	<p>・厚さ( mm) ・表面仕上( ) ・接着剤の種類( ) ・施工箇所( )</p>
04.ニル巾木	<p>種別 ・軟質 ○硬質 高さ ○60 ・75 ・90 ・100</p>
05.ゴム巾木	<p>高さ ・60 ・75 ・200</p>
06.合成樹脂塗床	<p>材質 ・エポキシ系 ・ウレタン系 ・ビニル系 ・アクリル系 ・ポリエステル系 工法 ・コーティング ・流し延べ ・ノンスリップ ・厚さ( mm)</p>
07.抗菌性床材	<p>・</p>
08.電導床	<p>材質 ・エポキシ系 ・塩ビ系 形状 ・塗床 ・タイル床 ・シート状</p>
09.静電気防止床	<p>・</p>
10.耐酸(油)床材	<p>・</p>
11.耐荷重床	<p>・</p>
12.モルタル強化床材	<p>種別 ○防塵塗料 ○表面硬化耐磨耗材</p>
13.天然木フローリング	<p>樹種 ・5ナ ・なら ・かえで ・ひのき ・かばさくら ・あさださくら ・メープル・パイン○表示による 品種 ・1等 ・1等、2等混合(50%) ・2等 JAS標準寸法 厚さ ・14 ・15 ・18 ・その他(図示による) 巾 ・64 ・75 ・90 ・94 ・100 ・110 ・その他(図示による) 長さ ・500以上10建て ・1800以上100建て 表面仕上 ・合成樹脂塗料塗リ ・ワックス塗リ ・オイルステン着色ワックス塗リ ・その他(各メーカー仕様) ・下張り材( ) ※仕上り表メーカー品番の通りとする。</p>

<b>②</b>	接着フロアリング張り	<p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天然木化粧複合フローリング</li> <li>・特殊加工化粧複合フローリング</li> </ul> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なら ・さくら ・けやき ・ふな</li> <li>・メーブル</li> </ul> <p>JAS標準寸法</p> <p>厚さ ・12 ・15 ・18 巾 ・75 ・90 ・100 ・110 ・150 ・222 ・303 長さ ・900 ・1800 ・1818 ・3000 ・3600 ・3800 ・4000</p> <p>・下張り材(構造用合板 t=15)</p> <p>張り方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘリソールン(75巾)・平行(303巾)</li> </ul> <p>仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オイルフィニッシュ(指定色)</li> </ul> <p>※仕上げ表メーカー品番の通りとする。</p>
	15.フローリングブロック張り	<p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フローリングブロック</li> <li>・天然木化粧複合ブロック</li> <li>・特殊加工化粧複合ブロック</li> </ul> <p>材種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふな ・さくら ・なら</li> </ul> <p>JAS標準寸法</p> <p>フローリングブロック 天然木化粧複合ブロック及び特殊加工化粧複合ブロック</p> <p>厚さ ・15 ・18      ・12 ・15 ・18 巾 ・240 ・300 ・303    240 ・300 ・303 長さ ・240 ・300 ・303    240 ・300 ・303</p> <p>表面仕上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合成樹脂塗料張り ・ワックス塗り ・オイルステン着色ワックス塗り</li> </ul> <p>・下張り材( )</p>
<b>③</b>	16.モザイクパーケット張り	<p>JAS標準寸法</p> <p>モザイクパーケット/ピース      モザイクパーケット</p> <p>厚さ ・6 ・8 ・9                  ・6 ・8 ・9 巾 ・18以上1建て                 ・ピース巾の整数倍P長さ・ピース巾の整数倍P</p> <p>表面仕上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合成樹脂塗料張り ・ワックス塗り ・オイルステン着色ワックス塗り</li> </ul>
	17.たたみ敷き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JISA5902 畳による</li> </ul> <p>たたみ床</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JISA5901 畳床による</li> </ul> <p>たたみ表P・最上級品(いぐさ135cm以上 経糸：マコノ、麻) ・上級品(いぐさ120cm以上 経糸：麻、緯) ・中級品(いぐさ110cm以上 経糸：麻、緯) ・下級品(いぐさ90cm以上 経糸：緯)</p> <p>たたみ入り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足跡バレイ ・化学繊維バレイ ・純綿光輝バレイ</li> </ul> <p>化学薬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーラスチックタイプ</li> <li>・T級インシュレーションXドタイプ</li> <li>・サンドイッチタイプ</li> </ul>
<b>④</b>	18.ジョイント及びカーペット敷き	<p>材種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羊毛 ・ナイロン ・アクリル ・ポリプロピレン ・ポリエステル</li> <li>・サイザル麻</li> </ul> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんつう ・ウィルトン ・フックダグ ・タフテッド ・ニードルパンチ</li> </ul> <p>厚さ</p> <p>長尺カーペット(羊毛) ・毛足(カットパイル) ・厚さ( mm) タイルカーペット(サイザル麻) ・毛足(ループ) ・厚さ( mm)</p> <p>下敷き ・有(材料： ) ・無</p> <p>・土間床等の場合は防湿に注意の事</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリッド工法 ・全面粘着テープ張り ・接着張り</li> <li>・人工芝</li> <li>・発泡系床下地</li> </ul>
	19.クロス、シート張り	<p>JISA6921 壁紙による</p> <p>材種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・布織物 ・布プリント ・紙 ・ビニル</li> </ul> <p>検定等級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1級 ・2級 ・3級 ・4級 ・5級</li> </ul> <p>検定等級による防火性能P級別 基材の防火性能 1級 2級 3級 4級 5級</p> <p>不燃 不燃 準不燃 不燃 準不燃 難燃 難燃 難燃</p> <p>準不燃 準不燃 準不燃 難燃 難燃 難燃</p>
<b>⑤</b>	20.せっこうボード張り	<p>① JISA6901 セっこうボード製品による</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○セっこうボード GB-R</li> <li>●化粧せっこうボード GB-D</li> <li>●せっこうラスボード GB-L</li> <li>●シーシングせっこうボード GB-S</li> <li>○強化せっこうボード GB-F</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●底目地張り</li> <li>○カット工法</li> <li>●テーバージョイント工法</li> </ul> <p>厚さ</p> <p>○9.5mm ●2.5mm ○5mm</p> <p>防火認定番号( )</p> <p>不燃 不燃 準不燃</p> <p>せっこうボード @12.5 15mm NM-9619 @9.5mm QM-9828</p> <p>化粧せっこうボード @12.5 15mm NM-9614 @9.5mm QM-9824</p> <p>(トラバーチン模様)</p> <p>(注)壁装材の下地としては、不燃でも準不燃扱いとなる。</p>
	21.ガラスボード貼りの壁面、天井面は角部、ボード接合部に特記がある部分にはカンレシヤ貼りし、完全に平坦な面を得るためにパテゴキを繰り返し行う。出隅部には、コーナー用エッジテープまたはカンレシヤ貼し、パテゴキを繰り返し行う。	



20. 建築工事 内装工事		33.合成樹脂板張り	材質 厚さ メラミン樹脂板 ・1.0 ・1.2 ダップ樹脂板 ・0.5	42.襖	・	66.ゾット枠、蓋	・材質( )・仕様( ) ・寸法( mm× mm) ・蓋( )	24.既成トップライト	形式 ・丸型 ・角型 ・連続型 ・ドーム二重型 ・ガラリ付 ・網入ガラス付 寸法 ・600φ ・900φ ・1300φ ・□600 ・□900 ・□1300 ドーム色調 ・透明 ・乳白色半透明 ・その他( )
22.ロウクウール 化粧吸音板張り	22.石綿セメント板張り	34.既製間仕切	形式 ・スクリーン式(自立式) ・スタッド式 ・パネル1体式 ・パネル分割式 ・表面仕上(メーブル・バーズアイメーブル突板練りつけ・不燃基材 ) ・パネル厚( ) ・防火番号( )	43.押出し成形セメント板	・	69.旗竿	・形状( ) ・寸法(図示による ) 基礎の形状 ・埋め込み型 ・ベースプレート ・その他 ハンドル ・有 ・無 受け金物 材質 ・真鍮 ・ステンレス	25.非煙装置	・形式
	23.繊維板	35.断熱吸音材	種別 ○ロックウール ○グラスウール ○難燃発泡ウレタンフォーム厚さ(90、100、150mm) ○押出法ポリスチレンフォーム厚さ(100mm) 密度(32kg/m2)(ロウクウール、グラスウールの場合) 規格 ロウクウール保温材 JIS A 9504 不燃第1022号 グラスウール保温材 JIS A 9504 不燃第1031号 グラスウールメ[ド JIS A 9504 不燃第1031号 ○床下型枠兼用断熱パネル	44.内壁材	・	10.黒板、掲示板	種類 ・研ぎ出し黒板 JISS8007 ・焼付け黒板 JISS8045 枠の種類 ・アルミ製 ・木製 掲示板表面仕上 ・スポンジシート ・ナイロンラシヤ ・スポンジコルク ・その他	25.非煙口	・固定式 ○可動式 ○防虫網 ・防鼠網
	24.1ーティクルボード	36.アークアクセス床	パネル材質 ・万箇フロア YPEタイプ同等品 ・難歩行タイプ 自重500kg/m以上 ・アルミダイカスト ・スチール ・ハニカムコア ・ケイカル系 ・GRC系 ○グラスチック樹脂系 床高さ及び床仕上記入 ・フローリングh=15 OAFフロアh=100 ・フローリングh=15 OAFフロアh=200 ・塩化ビニルシート OAFフロアh=400 ・磁器質タイル300□ OAFフロアh=400	45.パネル式グリーンルーム	・	11.飛拭マット	材質 ・ステンレス ・アルミ ・塩ビ ・ゴム ○樹脂 受枠 ・ステンレス ・アルミ 水抜きパイプ ・有(材質: 径: ) ・無	27.防煙垂れ壁	・種別( ) ・形式( ) ・寸法( )
25.木毛セメント板 モウセン板	26.木片セメント板	37.システム天井	・帯電防止VAT ・その他耐震補強等	46.放射線防護シート	・	12.壁拭表示	材質 枠 ・ステンレス ・真鍮 ・アルミ ○図示による 表示板 ・アクリル板 ・塩ビ板 ・ステンレス ・アルミ 形状 ・壁付形 ・持ち出し形 ○その他(図示による)	28.避難用器具	・すべり台式 ・救助袋(垂直降下式) ・救助袋(斜降式) ・屋外非難階段(収納式) ・代替進入口(避難はしご式) ・緩降機 ・避難ハッチ ・避難はしご ・避難ロープ 形状 ・パイプ ○ジスター ○ガラリ ○め虫、防鳥、防鼠網 材質 ・プラスチック製 ○アルミ製 ○ステンレス製
27.バルブセメント板	28.スラグセッコう板	38.カーテンボックス	材質 ・木製 (材質、塗装、記入) ・スチール製 (塗装記入) 寸法( )	47.特殊材	・	13.建物名表示	仕上種類及び材質 金属板腐食仕上 ・ステンレス ・真ちゅう 金属板腐食仕上の上切抜き文字張り付け ・ステンレス ・真ちゅう 金属飾物(木型流し込み) ・ブロンズ ・鍍鉄 ・鋳鉄 ・アルミ ・天然石文字彫込み 形状 ・壁付形 ・明暗 ○その他(図示による)	30.クレーンスリールキャップ	・材質( ) ・径( )
29.金板張り 普通合板	30.難燃合板	39.フローデオンドア及び スライディングドア	形式 ・伸縮式 ○折れ板式 ・スライド式	01.特殊材	・	14.郵便受、乳箱 宅配ボックス	同等品 ○質 ・鋼製 ・ステンレス製 ・寸法(図示による ) ・価数( )	31.物干金物	浴室・ユニットバス内 ・材質( ) ・形式( ) ・パイプ支持金物(観望用 GP-55W(川口技研)同等品×5セット、 窓除用 HK-55W(川口技研)同等品×7セット)
31.天然木化粧合板	32.特殊合板	40.カーテンレール	材質 ・アルミ ○ステンレス ・スチール 形式 ・シンブル ○ダブル ・電動カーテンレール	03.コンクリート系	・使用箇所( ) ・使用コンクリート種類( ) ・4週強度、型枠脱型時強度( ) ・鉄筋品質( ) ・バルト、ナット、金物品質( ) ・表面仕上( ) ・型枠仕様( ) ・養生法( ) ・設計性能基準( )	15.焼却炉	・能力( ) ・容量( ) ・形式( )	32.ドラップ	材質 ・スチール ○ステンレス ・径( ) ・寸法( )
33.合成樹脂板張り	34.既製間仕切	41.カーテン	布地の種類 ・ドレープ ・カーズメント ・レース ・暗幕 ひだの種類 ・プレーン ・箱ひだ ・片ひだ ・3つひだ ・2つひだ ・シーリング ひだの山・・1.5倍 ・2倍 ・3倍形式 ・引分 ・片引 防炎加工 ・有 ・無 (イベントスペースと視聴覚ホールのみ) ・その他 (図示による)	04.目地枠	材質(台部分) ○ステンレス ・貴鋼 ・アルミ (ダイヤ部分)・ビニル ・合成ゴム ・寸法( ) ○形状図示による ・接着式 ・はめ込み式 ・脚付式 ・ビス止め式	16.住宅用厨房機器	・種別(展開図および設備図参照のこと) ・形式(展開図および設備図参照のこと) ・寸法(展開図および設備図参照のこと)	33.テント	・
35.断熱吸音材	36.アークアクセス床	42.ブラインド	種別 ・ベネシャン(スラットが水平方向) ・バーチカル(スラットが垂直方向) ・ローラー ・バルーンシェード 材質 ベネシャン ・アルミ バーチカル ・アルミ ・クロス ・ガラス繊維 ローラー ・クロス ・ガラス繊維 スダレ ・織物 ・竹 スラット、巾( ) 形状 ( ) 開閉方法 ・手動 ・電動 ・遮光膜	05.天井見切縁	材質 ・アルミ ・プラスチック ・形状(十字形状)(岩綿吸音板を使う部分のみ) )	18.サニタリーユニット 洗面化粧台	・種別(展開図および設備図参照のこと) ・形式(展開図および設備図参照のこと) ・寸法(展開図および設備図参照のこと)	34.消火器ボックス	・図示による
37.システム天井	38.カーテンボックス	43.押出し成形セメント板	・帯電防止VAT ・その他耐震補強等	06.ビクチャーレール	材質 ・アルミ ・プラスチック ・形状 ・美術館用吊り金具	19.浴槽	材質 ・ステンレス ・FRP ・ホーロー ・木 ・その他(アクリル) 形式 ・埋込式 ・半埋込式 ・置式 ・寸法( )	35.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる
39.フローデオンドア及び スライディングドア	40.カーテンレール	44.内壁材	・	07.天井点検口 床下点検口	○アルミ製枠 ・鍍鉄製 ○その他(図示による) ・ステンレス製	20.シャワーブース	・形式(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと) ・寸法(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと)	36.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる
42.襖	43.押出し成形セメント板	45.パネル式グリーンルーム	・	08.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )	21.流し・ガス台	・形式(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと) ・寸法( )	37.サイン	・現場にてサインデザイナーによる調整有
44.内壁材	45.パネル式グリーンルーム	46.放射線防護シート	・	09.手摺り	材質 笠木 ・ビニル ・木 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 受け材 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 落下防止網 ・ステンレスメッシュ(原金網)	22.イレブース	材質 ・銅板 ・化粧合板 ・その他 人造大理石 ・寸法(水回り詳細図参照のこと) ・巾木 ・有(材質・ステンレスh=60) ・無		
46.放射線防護シート	47.特殊材	47.特殊材	・	09.手摺り	材質 笠木 ・ビニル ・木 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 受け材 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 落下防止網 ・ステンレスメッシュ(原金網)	23.鏡	○材質(鏡面ガラスh=5) ○寸法(図参照のこと)		
47.特殊材	01.設計性能基準項目	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	性能項目 (1)強さ及び変形性能 (イ)耐風圧性能 正圧 Pa[kg/m2] 負圧 Pa[kg/m2] (ロ)耐震性能 層間変位=1/4000 H(Hは階高) (ハ)耐熱変形性能 ΔT= C(℃) ～ (℃) (2)耐火性能 時間以上 (3)耐熱性能 熱貫流抵抗 m2・h・C/Kcal以上 (4)遮音性能 30 dB以上 (5)水密性能 Pa[kg/m2] 以上 (6)気密性能 m2/h・m以下 (7)精度 辺長 mm 厚み mm 対角線 mm ねじれ、反り mm 曲がり mm 以内 (8)耐久性	02.金属系	材質 ○アルミニウム ・スチール ・ステンレス ○フッ素樹脂鋼板 ・ホーロー鋼板 ・耐候性鋼板 ○表面仕上( 電解着色 )	24.既成トップライト	形式 ・丸型 ・角型 ・連続型 ・ドーム二重型 ・ガラリ付 ・網入ガラス付 寸法 ・600φ ・900φ ・1300φ ・□600 ・□900 ・□1300 ドーム色調 ・透明 ・乳白色半透明 ・その他( )	25.非煙装置	・形式
01.設計性能基準項目	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		03.コンクリート系	・使用箇所( ) ・使用コンクリート種類( ) ・4週強度、型枠脱型時強度( ) ・鉄筋品質( ) ・バルト、ナット、金物品質( ) ・表面仕上( ) ・型枠仕様( ) ・養生法( ) ・設計性能基準( )	25.非煙口	・固定式 ○可動式 ○防虫網 ・防鼠網	27.防煙垂れ壁	・種別( ) ・形式( ) ・寸法( )
02.金属系	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		04.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )	26.木片セメント板	・材質( ) ・径( )	28.避難用器具	・すべり台式 ・救助袋(垂直降下式) ・救助袋(斜降式) ・屋外非難階段(収納式) ・代替進入口(避難はしご式) ・緩降機 ・避難ハッチ ・避難はしご ・避難ロープ 形状 ・パイプ ○ジスター ○ガラリ ○め虫、防鳥、防鼠網 材質 ・プラスチック製 ○アルミ製 ○ステンレス製
03.コンクリート系	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		05.天井見切縁	材質 ・アルミ ・プラスチック ・形状(十字形状)(岩綿吸音板を使う部分のみ) )	27.バルブセメント板	・材質( ) ・径( )	30.クレーンスリールキャップ	・材質( ) ・径( )
04.目地枠	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		06.ビクチャーレール	材質 ・アルミ ・プラスチック ・形状 ・美術館用吊り金具	28.スラグセッコう板	・材質( ) ・径( )	31.物干金物	浴室・ユニットバス内 ・材質( ) ・形式( ) ・パイプ支持金物(観望用 GP-55W(川口技研)同等品×5セット、 窓除用 HK-55W(川口技研)同等品×7セット)
05.天井見切縁	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		07.天井点検口 床下点検口	○アルミ製枠 ・鍍鉄製 ○その他(図示による) ・ステンレス製	29.金板張り 普通合板	○金板はJAS(日又林規格)規格品とする 樹種 ○クワン ○しな 耐水種類 ・1類→完全耐水 (水がかり部分に使用) ・2類→高度な耐水性(湿度の特に高い所に使用) ・3類→通常の耐湿性(比較的乾燥した場所に使用) 厚さ ラウン ・2.7・3・5.5・9・12・15・18・21・24 ○図示による しな ・4・5.5・6	32.ドラップ	材質 ・スチール ○ステンレス ・径( ) ・寸法( )
06.ビクチャーレール	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		08.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )	30.難燃合板	・防火番号 難燃 第3011号	33.テント	・
07.天井点検口 床下点検口	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		09.手摺り	材質 笠木 ・ビニル ・木 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 受け材 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 落下防止網 ・ステンレスメッシュ(原金網)	31.天然木化粧合板	・表面化粧材の樹種 メーブル(シカモア)指定色染色 クリアフラット50%つや消し仕上げ バーズアイメーブル指定色染色 クリアフラット50%つや消し仕上げ ・厚さ t=0.6 ・下地材の種別 不燃基材 防火番号 不燃 第1011号→化粧単板@0.2 基材 石綿ケイ酸カルシウム板 石綿スレート板 準不燃 第2071号→化粧単板@0.4 基材同等 その他個別認定は「耐火構造材料等便覧」による	34.消火器ボックス	・図示による
08.目地枠	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		10.黒板、掲示板	種類 ・研ぎ出し黒板 JISS8007 ・焼付け黒板 JISS8045 枠の種類 ・アルミ製 ・木製 掲示板表面仕上 ・スポンジシート ・ナイロンラシヤ ・スポンジコルク ・その他	32.特殊合板	・種別 厚さ プリント合板 ・2.7 ・4.0 ポリエステル化粧合板 ・2.7 ・4.0 メラミン化粧合板 ・3.0 塩化ビニル化粧合板 ・2.7 ダップ樹脂化粧合板 ・2.7	35.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる
09.手摺り	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		11.飛拭マット	材質 ・ステンレス ・アルミ ・塩ビ ・ゴム ○樹脂 受枠 ・ステンレス ・アルミ 水抜きパイプ ・有(材質: 径: ) ・無	33.サイン	・現場にてサインデザイナーによる調整有		
10.黒板、掲示板	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		12.壁拭表示	材質 枠 ・ステンレス ・真鍮 ・アルミ ○図示による 表示板 ・アクリル板 ・塩ビ板 ・ステンレス ・アルミ 形状 ・壁付形 ・持ち出し形 ○その他(図示による)	34.消火器ボックス	・図示による		
11.飛拭マット	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		13.建物名表示	仕上種類及び材質 金属板腐食仕上 ・ステンレス ・真ちゅう 金属板腐食仕上の上切抜き文字張り付け ・ステンレス ・真ちゅう 金属飾物(木型流し込み) ・ブロンズ ・鍍鉄 ・鋳鉄 ・アルミ ・天然石文字彫込み 形状 ・壁付形 ・明暗 ○その他(図示による)	35.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる		
12.壁拭表示	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		14.郵便受、乳箱 宅配ボックス	同等品 ○質 ・鋼製 ・ステンレス製 ・寸法(図示による ) ・価数( )	36.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる		
13.建物名表示	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		15.焼却炉	・能力( ) ・容量( ) ・形式( )	37.サイン	・現場にてサインデザイナーによる調整有		
14.郵便受、乳箱 宅配ボックス	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		16.住宅用厨房機器	・種別(展開図および設備図参照のこと) ・形式(展開図および設備図参照のこと) ・寸法(展開図および設備図参照のこと)	38.目地枠	○材質(鏡面ガラスh=5) ○寸法(図参照のこと)		
15.焼却炉	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		17.厨房機器	・種別(別途厨房機器表および詳細図による) ・形式(別途厨房機器表および詳細図による) ・寸法(別途厨房機器表および詳細図による)	39.手摺り	材質 笠木 ・ビニル ・木 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 受け材 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 落下防止網 ・ステンレスメッシュ(原金網)		
16.住宅用厨房機器	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		18.サニタリーユニット 洗面化粧台	・種別(展開図および設備図参照のこと) ・形式(展開図および設備図参照のこと) ・寸法(展開図および設備図参照のこと)	40.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )		
17.厨房機器	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		19.浴槽	材質 ・ステンレス ・FRP ・ホーロー ・木 ・その他(アクリル) 形式 ・埋込式 ・半埋込式 ・置式 ・寸法( )	41.カーテン	布地の種類 ・ドレープ ・カーズメント ・レース ・暗幕 ひだの種類 ・プレーン ・箱ひだ ・片ひだ ・3つひだ ・2つひだ ・シーリング ひだの山・・1.5倍 ・2倍 ・3倍形式 ・引分 ・片引 防炎加工 ・有 ・無 (イベントスペースと視聴覚ホールのみ) ・その他 (図示による)		
18.サニタリーユニット 洗面化粧台	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		20.シャワーブース	・形式(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと) ・寸法(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと)	42.ブラインド	種別 ・ベネシャン(スラットが水平方向) ・バーチカル(スラットが垂直方向) ・ローラー ・バルーンシェード 材質 ベネシャン ・アルミ バーチカル ・アルミ ・クロス ・ガラス繊維 ローラー ・クロス ・ガラス繊維 スダレ ・織物 ・竹 スラット、巾( ) 形状 ( ) 開閉方法 ・手動 ・電動 ・遮光膜		
19.浴槽	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		21.流し・ガス台	・形式(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと) ・寸法( )	43.押出し成形セメント板	・		
20.シャワーブース	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		22.イレブース	材質 ・銅板 ・化粧合板 ・その他 人造大理石 ・寸法(水回り詳細図参照のこと) ・巾木 ・有(材質・ステンレスh=60) ・無	44.内壁材	・		
21.流し・ガス台	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		23.鏡	○材質(鏡面ガラスh=5) ○寸法(図参照のこと)	45.パネル式グリーンルーム	・		
22.イレブース	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		24.既成トップライト	形式 ・丸型 ・角型 ・連続型 ・ドーム二重型 ・ガラリ付 ・網入ガラス付 寸法 ・600φ ・900φ ・1300φ ・□600 ・□900 ・□1300 ドーム色調 ・透明 ・乳白色半透明 ・その他( )	46.放射線防護シート	・		
23.鏡	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		25.非煙装置	・形式	47.特殊材	・		
24.既成トップライト	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		25.非煙口	・固定式 ○可動式 ○防虫網 ・防鼠網	47.特殊材	・		
25.非煙装置	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		27.防煙垂れ壁	・種別( ) ・形式( ) ・寸法( )	01.特殊材	・		
25.非煙口	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		28.避難用器具	・すべり台式 ・救助袋(垂直降下式) ・救助袋(斜降式) ・屋外非難階段(収納式) ・代替進入口(避難はしご式) ・緩降機 ・避難ハッチ ・避難はしご ・避難ロープ 形状 ・パイプ ○ジスター ○ガラリ ○め虫、防鳥、防鼠網 材質 ・プラスチック製 ○アルミ製 ○ステンレス製	02.金属系	材質 ○アルミニウム ・スチール ・ステンレス ○フッ素樹脂鋼板 ・ホーロー鋼板 ・耐候性鋼板 ○表面仕上( 電解着色 )		
27.防煙垂れ壁	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		30.クレーンスリールキャップ	・材質( ) ・径( )	03.コンクリート系	・使用箇所( ) ・使用コンクリート種類( ) ・4週強度、型枠脱型時強度( ) ・鉄筋品質( ) ・バルト、ナット、金物品質( ) ・表面仕上( ) ・型枠仕様( ) ・養生法( ) ・設計性能基準( )		
28.避難用器具	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		31.物干金物	浴室・ユニットバス内 ・材質( ) ・形式( ) ・パイプ支持金物(観望用 GP-55W(川口技研)同等品×5セット、 窓除用 HK-55W(川口技研)同等品×7セット)	04.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )		
30.クレーンスリールキャップ	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		32.ドラップ	材質 ・スチール ○ステンレス ・径( ) ・寸法( )	05.天井見切縁	材質 ・アルミ ・プラスチック ・形状(十字形状)(岩綿吸音板を使う部分のみ) )		
31.物干金物	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		33.テント	・	06.ビクチャーレール	材質 ・アルミ ・プラスチック ・形状 ・美術館用吊り金具		
32.ドラップ	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		34.消火器ボックス	・図示による	07.天井点検口 床下点検口	○アルミ製枠 ・鍍鉄製 ○その他(図示による) ・ステンレス製		
33.テント	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		35.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる	08.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )		
34.消火器ボックス	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		36.ネット道具	・図示による 仕様はメーカーによる	09.手摺り	材質 笠木 ・ビニル ・木 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 受け材 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 落下防止網 ・ステンレスメッシュ(原金網)		
35.ネット道具	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		37.サイン	・現場にてサインデザイナーによる調整有	10.黒板、掲示板	種類 ・研ぎ出し黒板 JISS8007 ・焼付け黒板 JISS8045 枠の種類 ・アルミ製 ・木製 掲示板表面仕上 ・スポンジシート ・ナイロンラシヤ ・スポンジコルク ・その他		
36.ネット道具	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		38.目地枠	○材質(鏡面ガラスh=5) ○寸法(図参照のこと)	11.飛拭マット	材質 ・ステンレス ・アルミ ・塩ビ ・ゴム ○樹脂 受枠 ・ステンレス ・アルミ 水抜きパイプ ・有(材質: 径: ) ・無		
37.サイン	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		39.手摺り	材質 笠木 ・ビニル ・木 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 受け材 ・ステンレス ・アルミ ○スチール ・ステンレス 落下防止網 ・ステンレスメッシュ(原金網)	12.壁拭表示	材質 枠 ・ステンレス ・真鍮 ・アルミ ○図示による 表示板 ・アクリル板 ・塩ビ板 ・ステンレス ・アルミ 形状 ・壁付形 ・持ち出し形 ○その他(図示による)		
38.目地枠	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		40.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )	13.建物名表示	仕上種類及び材質 金属板腐食仕上 ・ステンレス ・真ちゅう 金属板腐食仕上の上切抜き文字張り付け ・ステンレス ・真ちゅう 金属飾物(木型流し込み) ・ブロンズ ・鍍鉄 ・鋳鉄 ・アルミ ・天然石文字彫込み 形状 ・壁付形 ・明暗 ○その他(図示による)		
39.手摺り	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		41.カーテン	布地の種類 ・ドレープ ・カーズメント ・レース ・暗幕 ひだの種類 ・プレーン ・箱ひだ ・片ひだ ・3つひだ ・2つひだ ・シーリング ひだの山・・1.5倍 ・2倍 ・3倍形式 ・引分 ・片引 防炎加工 ・有 ・無 (イベントスペースと視聴覚ホールのみ) ・その他 (図示による)	14.郵便受、乳箱 宅配ボックス	同等品 ○質 ・鋼製 ・ステンレス製 ・寸法(図示による ) ・価数( )		
40.目地枠	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		42.ブラインド	種別 ・ベネシャン(スラットが水平方向) ・バーチカル(スラットが垂直方向) ・ローラー ・バルーンシェード 材質 ベネシャン ・アルミ バーチカル ・アルミ ・クロス ・ガラス繊維 ローラー ・クロス ・ガラス繊維 スダレ ・織物 ・竹 スラット、巾( ) 形状 ( ) 開閉方法 ・手動 ・電動 ・遮光膜	15.焼却炉	・能力( ) ・容量( ) ・形式( )		
41.カーテン	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		43.押出し成形セメント板	・	16.住宅用厨房機器	・種別(展開図および設備図参照のこと) ・形式(展開図および設備図参照のこと) ・寸法(展開図および設備図参照のこと)		
42.ブラインド	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		44.内壁材	・	17.厨房機器	・種別(別途厨房機器表および詳細図による) ・形式(別途厨房機器表および詳細図による) ・寸法(別途厨房機器表および詳細図による)		
43.押出し成形セメント板	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		45.パネル式グリーンルーム	・	18.サニタリーユニット 洗面化粧台	・種別(展開図および設備図参照のこと) ・形式(展開図および設備図参照のこと) ・寸法(展開図および設備図参照のこと)		
44.内壁材	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		46.放射線防護シート	・	19.浴槽	材質 ・ステンレス ・FRP ・ホーロー ・木 ・その他(アクリル) 形式 ・埋込式 ・半埋込式 ・置式 ・寸法( )		
45.パネル式グリーンルーム	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		47.特殊材	・	20.シャワーブース	・形式(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと) ・寸法(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと)		
46.放射線防護シート	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		01.特殊材	・	21.流し・ガス台	・形式(平面詳細図・拡大図および展開図参照のこと) ・寸法( )		
47.特殊材	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		02.金属系	材質 ○アルミニウム ・スチール ・ステンレス ○フッ素樹脂鋼板 ・ホーロー鋼板 ・耐候性鋼板 ○表面仕上( 電解着色 )	22.イレブース	材質 ・銅板 ・化粧合板 ・その他 人造大理石 ・寸法(水回り詳細図参照のこと) ・巾木 ・有(材質・ステンレスh=60) ・無		
01.設計性能基準項目	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		03.コンクリート系	・使用箇所( ) ・使用コンクリート種類( ) ・4週強度、型枠脱型時強度( ) ・鉄筋品質( ) ・バルト、ナット、金物品質( ) ・表面仕上( ) ・型枠仕様( ) ・養生法( ) ・設計性能基準( )	23.鏡	○材質(鏡面ガラスh=5) ○寸法(図参照のこと)		
02.金属系	21.建築工事 外装カーテンウォール工事	22.建築工事 その他工事		04.目地枠	材質 ○ステンレス ・真ちゅう 寸法 ・3×12 ・4×12 ・5×15 ・その他( )	24.既成トップライト	形式 ・丸型 ・角型 ・連続型 ・ドーム二重型 ・ガラリ付 ・網入ガラス付 寸法 ・600φ ・900φ ・1300φ ・□600 ・□900 ・□1300 ドーム色調 ・透明 ・乳白色半透明 ・その他( )		



23. 建築工事 外構工事	
01.外柵	種別 ・ネットフェンス ・角パイプフェンス ・デザインフェンス ・その他(エキス/ドメタル) ・高さ H=1800 mm 控柱      ・有 <b>○</b>
02.門扉	材種 ・木製 ・鋼製 ・アルミ製 ・鋳物 開閉方式 ・手動 ・電動 ・電子錠 形式 ・片開き ・両開き ・片引き ・引分け ・巾 図示による      ・高さ 図示による
03.防漏扉	形式 ・手動 ・電動 材質 ・アルミ ・スチール ・ステンレス 寸法(      )
<b>04.</b> 車止め金物	
<b>05.</b> 自転車置場	・サイクルラック <b>○</b> 自転車置場
<b>06.</b> コンクリート舗装	種別 ・無筋コンクリート <b>○</b> 拼接金網入りコンクリート ・鉄筋コンクリート ・コンクリート強度 ・舗装厚 ・路盤厚 目地板 ・木製 ・アスファルト目地 ・表面仕上
07.アスファルト乳剤舗装	・舗装厚 ・路盤厚 ・仕上げ
08.通熱式アスファルトコンクリート舗装	表層厚 ・基層(粗粒度アスコン)(      mm) ・表層(細粒度アスコン)(      mm) ・路盤厚      (      150mm)
09.コンクリート平板舗装	材料 ・規格 JISA5304(歩道用コンクリート平板)による。 ・規格寸法 300口×厚60 ・カラー平板 ・舗装用ブロック ・インターロックングブロック ・木れんが ・れんが ・特殊舗装
<b>10.</b> 敷地境界石	材種 ・花こう岩 <b>○</b> 鉄筋コンクリート製 形式 ・彫刻記号型 ・彫刻記号文字型 ・金物押込型
11.擁壁・土留	種別は構造特記による ・鉄筋コンクリート ・コンクリートブロック ・間知ブロック ・間知石 ・雑割石 ・自然石
<b>12.</b> 街キョ、緑石及び側溝	水抜き ・個数 8      ・ピッチ 3平米ごと ・水抜きパイプ材質(      ステンレス      )  種類 コンクリート境界ブロック ・歩車道境界ブロック <b>○</b> 地先境界ブロック ・規格 JISA5307による 形状、寸法  歩車道境界ブロック A      150      170      200      20      600 B      180      205      250      30      600 C      180      210      300      30      600 地先境界ブロック A      120      120      120      —      600 B      150      150      120      —      600 C      150      150      150      —      600  ・緑石緑石 U形側溝 <b>○</b> 規格 JISA5305による 形状、寸法 呼び名      a      b      c      d      l 150      150      30      150      35      600 180      240      35      180      40      600 240      240      45      240      50      600 300A      300      50      240      60      600 300B      300      50      300      60      600 300C      300      50      360      65      600 360A      360      50      300      65      600 360B      360      50      360      65      600 U形側溝蓋 <b>○</b> 規格 JISA5334による L形側溝 ・規格 JISA5306による 形状、寸法 呼び名      a      b      c      l 250A      350      100      155      600      無筋の場合C=175とする 250B      350      100      155      600 300      400      100      155      600 350      450      100      155      600

<b>13.</b> グレーチング	<b>○</b> 材質(ステンレス曲げ加工) <b>○</b> 巾( 100ミリ ) ・蓋(      ) <b>○</b> 仕様(逆い字タイプ 滑り止め加工) ・特記仕様書(設備)による
<b>14.</b> 排水工事(汚水排水を除く)	材料 ・透心力鉄筋コンクリート管 JIS A 5303 ・鉄筋コンクリート管 JIS A 5302 ・鋼管 JIS G 3442(水道用亜鉛メッキ鋼管) ・硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 ・陶管 JIS R 1201 JIS R 1202  継手種類 ・カラー継手 ・ソケット管 ・ゴム接合 ・捻込形継手 ・溶接継手 ・金所樹 種別 ・既製品 ・現場打ち 寸法 蓋種別 ・コンクリート ・鋳鉄 ・石 ・グレーチング ・ステンレス 蓋強度 ・荷重型 ・荷重型 ・荷重型
15.噴水装置	・
16.フラーベース ガストボックスプランター	・
<b>17.</b> ベンチ、バーグラ	・
18.擬木・擬岩	・
19.屋外道具	・
20.免震エキスパンション	・
<b>21.</b> 透導ブロック	・ステンレス製 図示による
24. 建築工事 植栽工事	
<b>01.</b> 植栽、造園工事	生垣 ・材種      ・高さ      ・ピッチ 生垣として十分な密度を確保 庭木 ・材種      ・樹高      ・葉張り 直径3.5m ・根廻り寸法      ・幹 その他 ・西、北隣地境界沿いにも適宜植樹(アオキ・アセビ各15本程度) 支柱 材料 ・杉丸太 ・松丸太 ・竹 ・鋼製 組方 ・派え木 ・1脚×柱 ・2脚鳥居(派え木付) ・2脚鳥居 ・3脚鳥居 ・十文字鳥居 ・2脚鳥居組合せ ・3脚八つ掛 ・4脚八つ掛 ・布掛 樹木保護蓋 材質 ・鉄鉄製 ・鋼製 ・ステンレス製 芝類 種類 <b>○</b> 野芝 ・高麗芝 ・西洋芝 植付 ・目地張り ・べた張り ・筋芝張り 地被植物類 種類 ・ 吹き付け方法 ・ガン使用 ・ポンプ使用 材種 ・ワイピングガラス ・ケンタッキー31フェスク ・ハミューダグラス ・ハーバフトレフオイル 土壌改良 ・有 ・無 客土 ・有 ・無 ・肥料 科学肥料、農薬はそれぞれ取締法の基準に適合したもの。 有機肥料は完全に発酵し、6ヵ月後発酵によって樹木を傷めないもの。 補償規定 ・植栽の補償期間 原則として1年
<b>02.</b> その他	<b>○</b> 樹木の選定に関しては監督員の承認を得ること



各設備共通事項	本体工事					再エネ工事別			備 考
	建築	電気	空調	衛生	昇降機	太陽光	地中熱	蓄電池	
1.構造躯体（RC造）の貫通スリーブまたは箱入れ		○	○	○				○	
2.同上鉄筋補強		○							
3.同上穴埋め補修			○	○				○	
4.ダクト、配管等の防水貫通部補修		○	○	○				○	
5.鉄骨梁貫通スリーブ及び補強		○							
6.CB、ALC板等の開口		○							スベークサ、補強等含む
7.CB、ALC板等の穴開及び埋戻し			○	○				○	
8.機械、電気機器のための床、梁補強		○							
9.同上床土基礎		○							仕上げ共
10.屋上及び屋外設置機器のコンクリート基礎		○							構造躯体と一体なもの
11.同上機器設置のアンカー取付及び補修			○	○				○	
12.シンダー・コンクリート（電気室）		○							
13.シンダー・コンクリート（機械室）		○							
14.シンダー・コンクリート（厨房）		○							
15.シンダー・コンクリート（エレベーター機械室）		○							
16.同上ビット、縁金物、清蓋、格子蓋		○							
17.コンクリートダクト内仕上、清掃		○							
18.コンクリート水槽及び防水		○							雑水、汚水、湧水、蓄熱、中水
19.コンクリート水槽及び防水		○							消火
20.同上用サクションビット、マンホール		○							化粧蓋共、タラップ含む
21.同上用内部仕上、通風管、通気管、人通孔		○							
22.グリーストラップ				○					
23.フロアドレイン		○		○					
24.ルーフトレイン		○							
25.地階二重壁内排水		○							
26.外壁貫通スリーブの防水処理		○	○	○				○	
27.フリーアクセスフロア		○							簡易型 含
28.フリーアクセスフロアの吹出口（ファン付吹出口含む）				○					
29.フリーアクセスフロアの吹出口予備用ノリ板				○					
30.フリーアクセスフロアの設備器具用穴開け補強		○							
31.フリーアクセスフロアの耐震		○							
32.機械室、電気室の防音遮音		○							
33.壁、天井の設備器具取付用穴開け補修及び下地補強		○							外壁を含む
34.同上設備器具取付意出し		○	○	○				○	外壁を含む
35.同上設備器具取付用アンカーボルト、金具類の取付			○	○				○	
36.石仕上の設備器具取付用穴開け及び仕上		○							
37.壁ボード類下地の切込及び補強		○							
38.床、壁、天井の点検口		○							化粧蓋含む
39.機械室内の排水溝及び排水樹		○							
40.同上用清蓋、格子蓋		○							
41.厨房内の排水溝及び排水樹		○							
42.同上用清蓋、格子蓋		○							
43.駐車場の排水溝及び排水樹		○		○					図示による
44.同上用清蓋、格子蓋		○							
45.機器点検用グレーティング床及びキャットウォーク		○							
46.ドアガラリ		○							
47.外壁面の各種ガラリ		○							
48.化粧用特殊ガラリ、化粧用吹出、吸込口		○		○					図示による
49.機械室、電気室のトレンチ、ビット及び蓋		○							
50.電気室、EPS等の防塵塗装		○							
51.機械室の防塵塗装		○							
52.エレベーター機械室の防塵塗装		○							
53.システム天井		○							
54.リフト天井の設備器具取付部分のリブ落とし		○							
55.マンホール、ハンドホールの設置		○	○	○					雨水（建築）、汚水（衛生）、ハンドホール（電気）
56.化粧用マンホール、ハンドホールの充填及び仕上げ		○		○					
57.機器付風の制御壁及び二次側配管配線工事		○		○				○	
58.各機器及び盤類までの接地線の配線及び接続			○						
59.各機器内の接地線の配線及び接続		○	○	○					
60.コンセント接地端子より各機器までの接地線及び接続		○	○					○	
61.床埋込コンセント設置、配管配線及び接続			○						
62.床埋込冷暖房配管				○					
63.床埋込レールの設置		○							

敷地外接続工事、その他	本体工事					再エネ工事別			備 考
	建築	電気	空調	衛生	昇降機	太陽光	地中熱	蓄電池	
1.敷地外接続工事 電気									○
2.敷地外接続工事 電話									○
3.敷地外接続工事 給水				○					
4.敷地外接続工事 排水				○					
5.敷地外接続工事 ガス				○					
6.各種負担金 電気									○
7.各種負担金 給水									○ 又はなし
8.各種負担金 排水									○ 又はなし
9.各種負担金 ガス									○ 又はなし
10.建物引き渡しまでの電気基本料金		○	○	○	○				
11.建物引き渡しまでの電気使用料金		○	○	○	○				
12.建物引き渡しまでの上下水道料金		○	○	○	○				
13.建物引き渡しまでのガス料金		○	○	○	○				
14.電柱外線引込費									○
15.テレビ受信障害調査費			○						着工時、上棟時、竣工時
16.テレビ受信障害工事費									○
17.CATV引込費									○
18.有線放送引込費									○

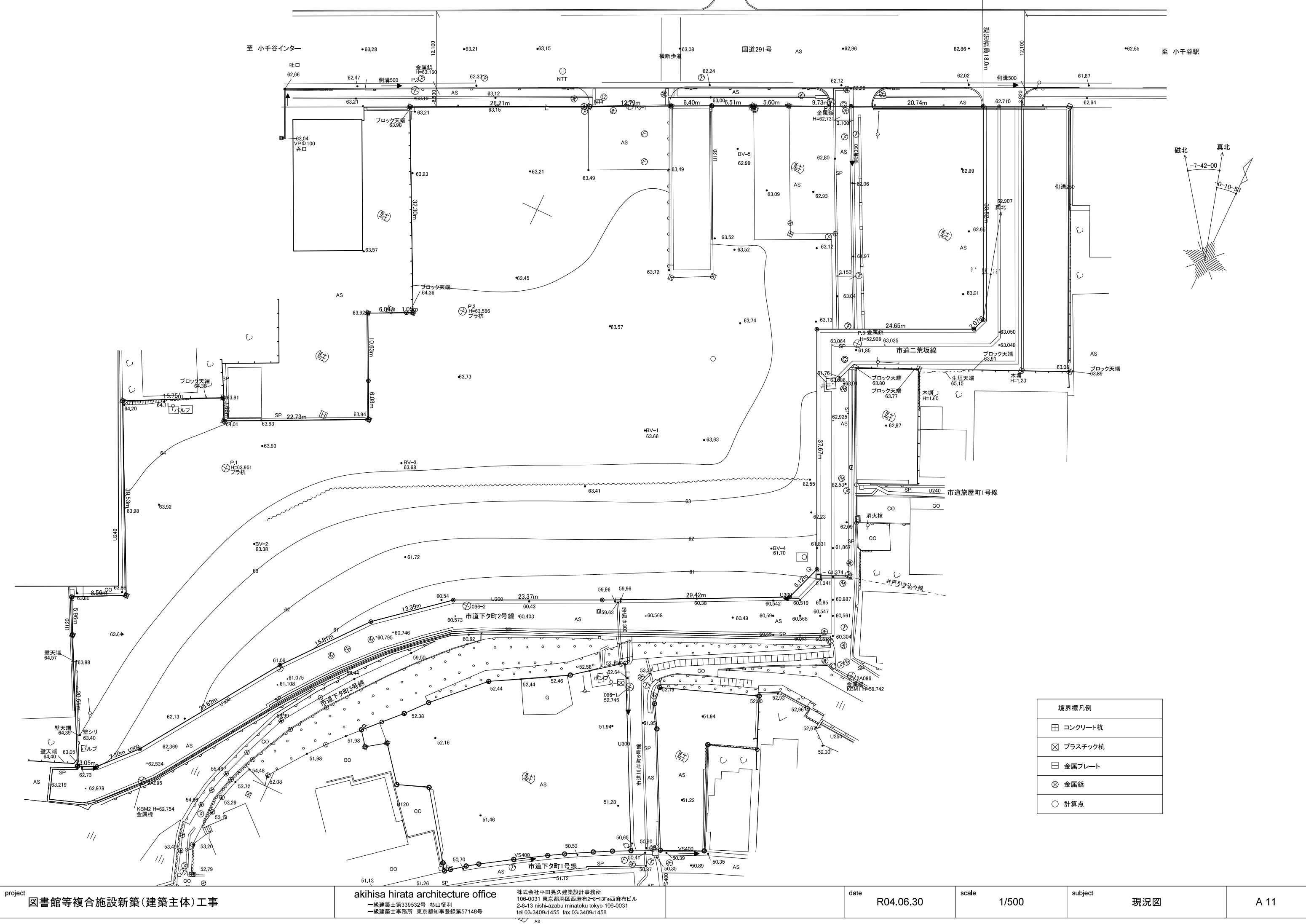
電気設備関連事項	本体工事					再エネ工事別			備 考
	建築	電気	空調	衛生	昇降機	太陽光	地中熱	蓄電池	
1.建築化照明器具の内部仕上、放熱口		○							
2.電動シャッター、自動扉の操作機器		○							
3.同上二次側配管配線		○							
4.同上電源供給			○						
5.同上スイッチ等の配管		○							
6.同上スイッチ等の配線		○							
7.電動昇降バンの操作機器									
8.同上二次側配管配線									
9.同上電源供給									
10.同上スイッチ等の配管									
11.同上スイッチ等の配線									
12.図書管理システムの操作機器								○	
13.同上二次側配管配線								○	
14.同上電源供給		○							
15.電話通信設備用空配管		○							
16.電話通信設備配線								○	
17.太陽光パネル配管配線						○			
18.太陽光パネル架台、パネル受鉄骨、太陽電池モジュール						○			
19.太陽光パネル基礎及び架台等		○							
20.接続箱、パワーコンディショナー、降雪センサー						○			その他接続機器共
19.コンセントプレート		○							
20.漏出分電盤等の箱裏装		○							

空調設備関連事項	本体工事					再エネ工事別			備 考
	建築	電気	空調	衛生	昇降機	太陽光	地中熱	蓄電池	
1.動力制御盤及び二次側配管配線		○							電動機接続共
2.自動制御盤及び二次側配管配線			○			○	○		
3.自動制御盤への電源供給		○							
4.防塵・バキューム・エアコン用化粧カバー及び吹出口		○							
5.バキューム・エアコンのスイッチ取付		○							
6.同上用配管配線		○							
7.バキューム・エアコンへの電源供給		○							
8.換気扇取付		○							
9.同上用木枠およびガラリ取付		○							
10.煙道									
11.中央監視盤 空調			○						
12.バキューム型空調器用電源の平元開閉器		○							
13.平元開閉器以降配管配線		○							
14.全熱交換器のスイッチ取付			○						
15.同上用配管配線			○						
16.厨房内フード及び化粧面い			○						
17.空調機ガラリ制作、据付		○							
18.チャンバーボックスへのつなぎ込み			○						
19.空調機器、ダクト等防塵架台			○				○	○	
20.空調機などのドレイン配管			○				○	○	

衛生設備関連事項	本体工事					再エネ工事別			備 考
	建築	電気	空調	衛生	昇降機	太陽光	地中熱	蓄電池	
1.雨水縦樋		○							
2.縦樋配管及び第一軒への配管接続		○			○				
3.汚水樹、雨水樹及び屋外配管				○	○				
4.J字溝、L型側溝、縁石類					○				
5.排水清潔蓋、蓋取付					○				
6.屋内外排水化粧蓋の仕上					○				石貼、タイル貼等
7.水槽用液面制御スイッチ				○					
8.同上配管配線			○						
9.便所用設		○							
10.大型化粧鏡		○							
11.塵式流し		○							
12.受水槽									
13.水中ポンプのケーブル				○			○		
14.低圧ガス引込配管				○					
15.動力制御盤及び二次側配管配線		○							電動機接続も含む
16.厨房機器				○					
17.厨房機器に接続する各種配管				○	○				
18.厨房の流し台（トラップ共）、吊り戸棚、水切棚、レンジフード等		○	○	○					
19.レンジフードへのダクト接続				○					
20.荷捌きスペース流し台等（流し排水金具共）				○					
21.屋外排水管（雨水）		○				○			
22.屋外排水管（汚水）				○					汚雑合流
23.屋外排水管（雑排水）				○					汚雑合流
24.湯沸器				○					
25.空気調和器加湿用給水工事		○							
36.身障者便所用鏡及びミラー灯				○					
37.同上用手擦				○					
38.同上下地補強		○							
39.各種トイレベビーシート、ベビーチェア、オストメイト、汚物流し				○					
40.同上下地補強		○							
41.シャワーパン、洗濯パン				○					
42.消雪パイプ配管				○	○				

防災関連事項	本体工事					再エネ工事別			備 考
	建築	電気	空調	衛生	昇降機	太陽光	地中熱	蓄電池	
1.火災警知、防煙煙、受煙器		○							以降配管配線機器接続共
2.自然排煙用窓及び開放装置		○							二次側配管配線共
3.防火扉（熱煙感運動）		○							
4.熱、煙感運動建具及び防煙重壁の運動装置、手動操作面（作動調整共）		○							
5.熱・煙感知器及び運動装置までの配管配線工事		○							
6.防災壁より運動装置までの配管配線工事		○							
7.同上自動閉鎖装置取付用切込開口及び補強		○							
8.同上自動閉鎖装置		○							
9.防火防煙シャッターの降下装置		○							
10.同上二次側配管配線		○							
11.防煙重壁本体の降下装置		○							
12.同上二次側配管配線		○							
13.防火ダンパー			○						
14.防災用監視盤		○							
15.消火栓				○					総合盤含む
16.消火栓箱の電気設備用穴開補強				○					
17.総合盤箱込		○							
18.テスト弁の表示灯		○							
19.消火器		○							
20.同上用壁埋込ボックス		○							
21.消火器置台		○							
22.電気錠		○							
23.電気錠用制御盤		○							
24.同上配管配線		○							
25.避難器具		○							
26.非常放送スピーカー		○							床面下のパーの製作は建築工事
27.同上二次側配管配線		○							

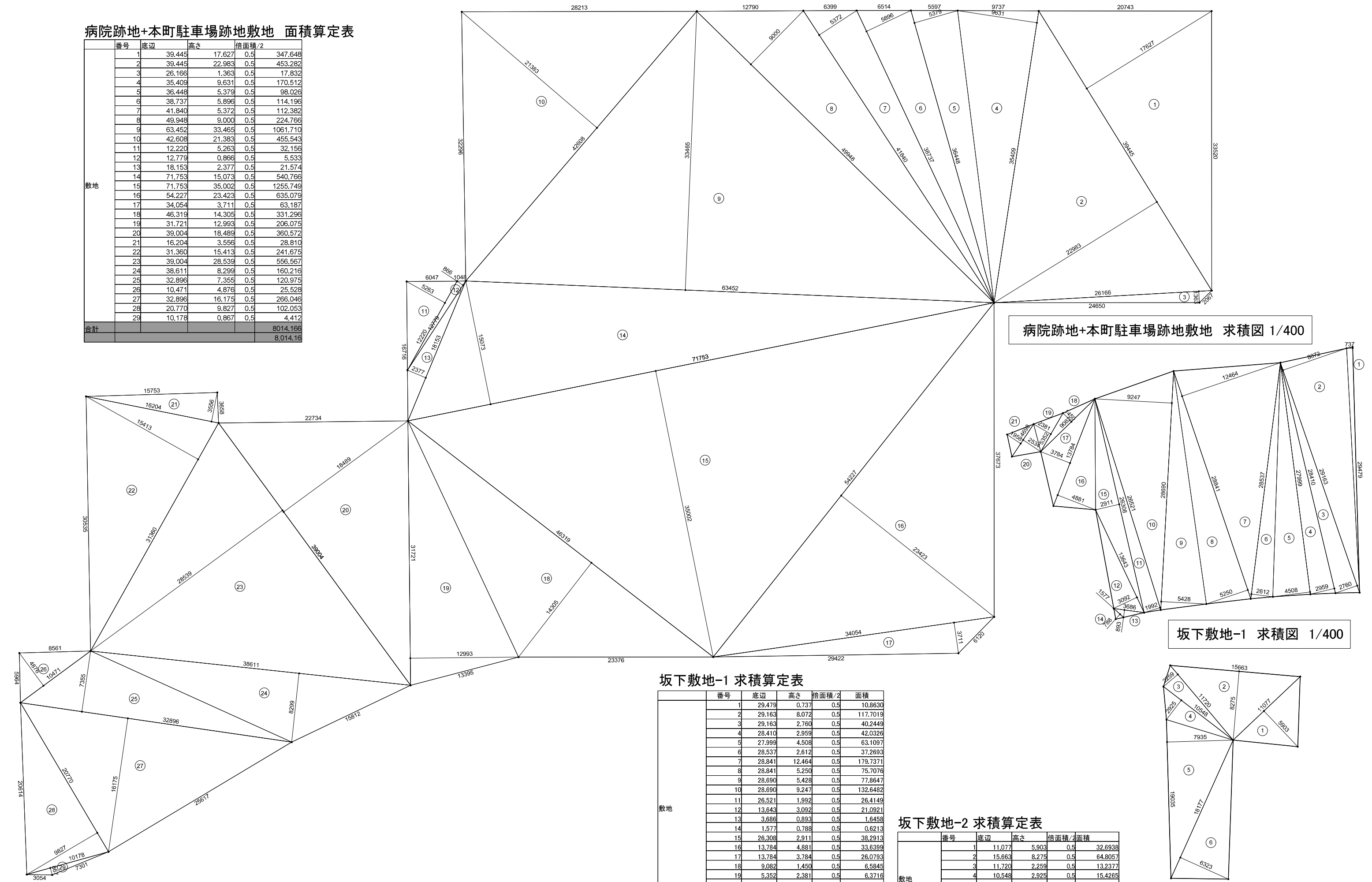




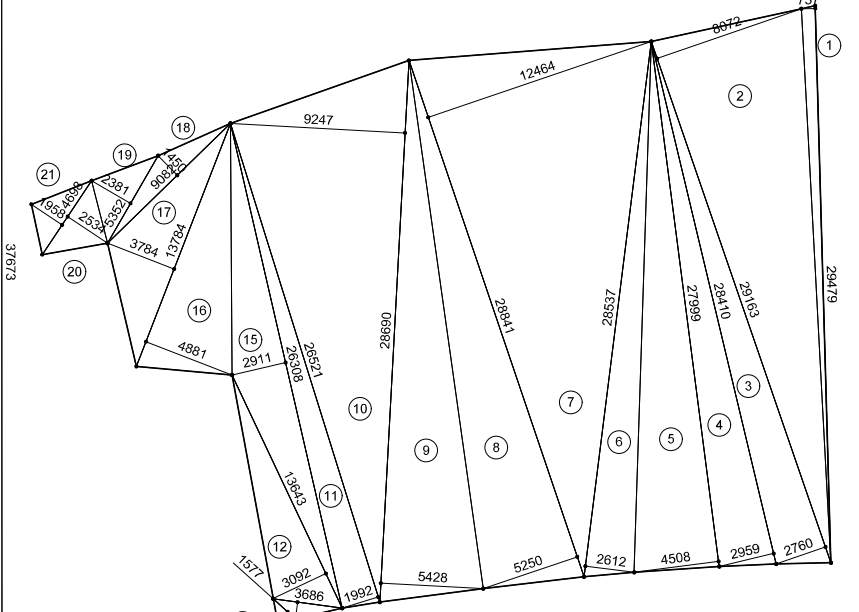


病院跡地+本町駐車場跡地敷地 面積算定表

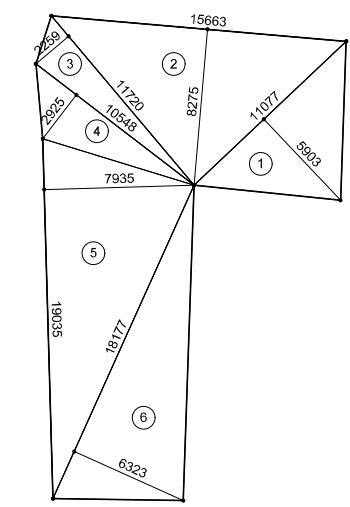
	番号	底辺	高さ	倍面積/2	
敷地	1	39.445	17.627	0.5	347.648
	2	39.445	22.983	0.5	453.282
	3	26.166	1.363	0.5	17.832
	4	35.409	9.631	0.5	170.512
	5	36.448	5.379	0.5	98.026
	6	38.737	5.896	0.5	114.196
	7	41.840	5.372	0.5	112.382
	8	49.948	9.000	0.5	224.766
	9	63.452	33.465	0.5	1061.710
	10	42.608	21.383	0.5	455.543
	11	12.220	5.263	0.5	32.156
	12	12.779	0.866	0.5	5.533
	13	18.153	2.377	0.5	21.574
	14	71.753	15.073	0.5	540.766
	15	71.753	35.002	0.5	1255.749
	16	54.227	23.423	0.5	635.079
	17	34.054	3.711	0.5	63.187
	18	46.319	14.305	0.5	331.296
	19	31.721	12.993	0.5	206.075
	20	39.004	18.489	0.5	360.572
	21	16.204	3.556	0.5	28.810
	22	31.360	15.413	0.5	241.675
	23	39.004	28.539	0.5	556.567
	24	38.611	8.299	0.5	160.216
	25	32.896	7.355	0.5	120.975
	26	10.471	4.876	0.5	25.528
	27	32.896	16.175	0.5	266.046
	28	20.770	9.827	0.5	102.053
	29	10.178	0.867	0.5	4.412
	合計				8014.166
					8,014.16



病院跡地+本町駐車場跡地敷地 求積図 1/400



坂下敷地-1 求積図 1/400



坂下敷地-2 求積図 1/400

坂下敷地-1 求積算定表

	番号	底辺	高さ	倍面積/2	面積
敷地	1	29.479	0.737	0.5	10.8630
	2	29.163	8.072	0.5	117.7019
	3	29.163	2.760	0.5	40.2449
	4	28.410	2.959	0.5	42.0326
	5	27.999	4.508	0.5	63.1097
	6	28.537	2.612	0.5	37.2693
	7	28.841	12.464	0.5	179.7371
	8	28.841	5.250	0.5	75.7076
	9	28.690	5.428	0.5	77.8647
	10	28.690	9.247	0.5	132.6482
	11	26.521	1.992	0.5	26.4149
	12	13.643	3.092	0.5	21.0921
	13	3.686	0.893	0.5	1.6458
	14	1.577	0.788	0.5	0.6213
	15	26.308	2.911	0.5	38.2913
	16	13.784	4.881	0.5	33.6399
	17	13.784	3.784	0.5	26.0793
	18	9.082	1.450	0.5	6.5845
	19	5.352	2.381	0.5	6.3716
	20	4.698	2.534	0.5	5.9524
	21	4.698	1.958	0.5	4.5993
	合計				948.4714
					948.47

坂下敷地-2 求積算定表

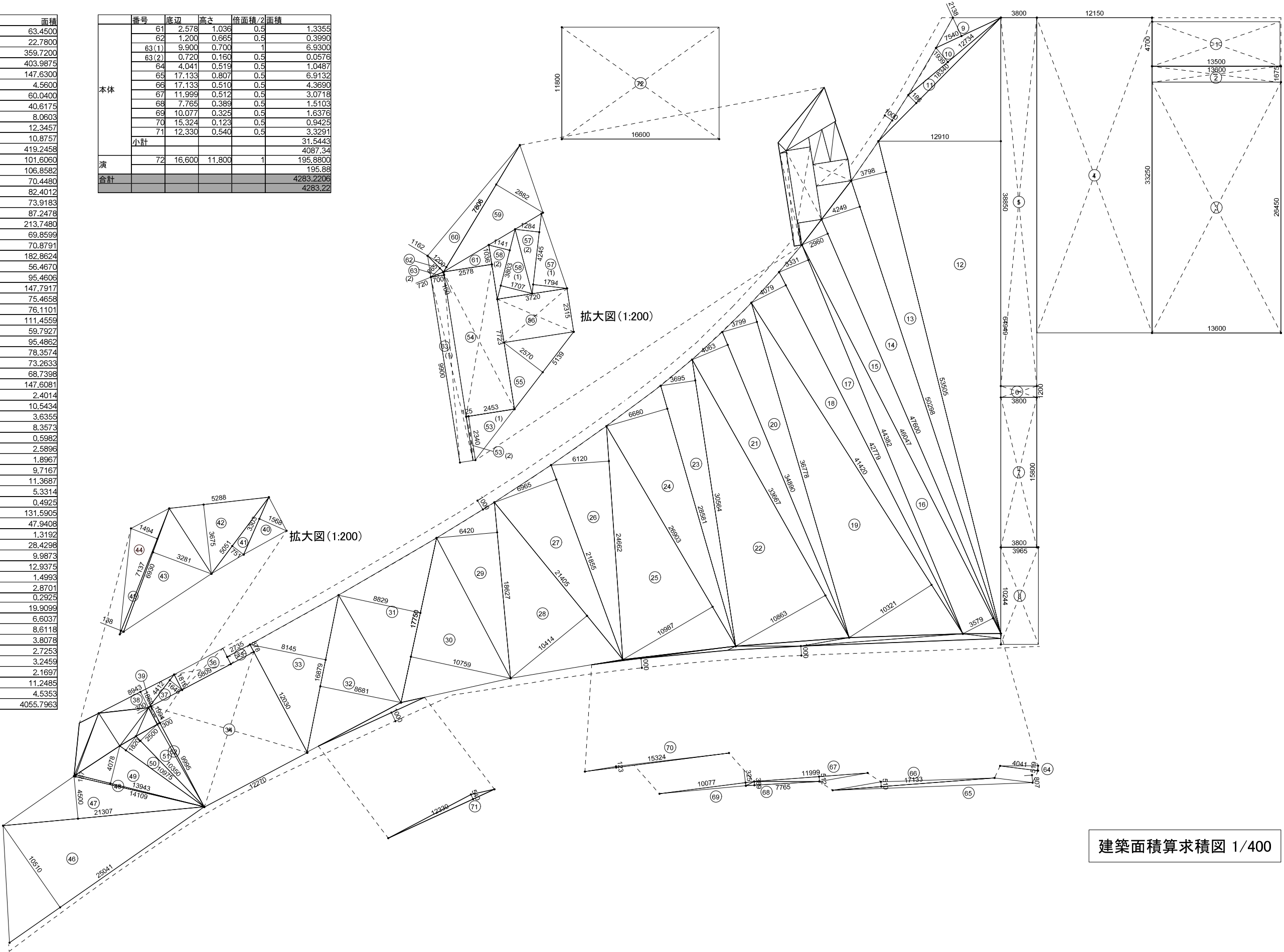
	番号	底辺	高さ	倍面積/2	面積
敷地	1	11.077	5.903	0.5	32.6938
	2	15.663	8.275	0.5	64.8057
	3	11.720	2.259	0.5	13.2377
	4	10.548	2.925	0.5	15.4265
	5	19.035	7.935	0.5	75.5214
	6	18.177	6.323	0.5	57.4666
	合計				259.1516
					259.15



建築面積算定表

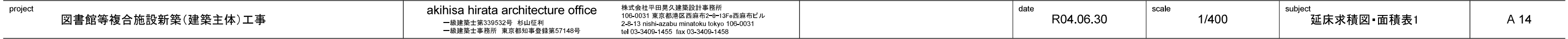
	番号	底辺	高さ	倍面積/2	面積
本体	1	13.500	4.700	1	63.4500
	2	13.600	1.675	1	22.7800
	3	26.450	13.600	1	359.7200
	4	33.250	12.150	1	403.9875
	5	38.850	3.800	1	147.6300
	6	3.800	1.200	1	4.5600
	7	15.800	3.800	1	60.0400
	8	10.244	3.965	1	40.6175
	9	7.540	2.138	0.5	8.0603
	10	12.734	1.939	0.5	12.3457
	11	18.340	1.186	0.5	10.8757
	12	64.949	12.910	0.5	419.2458
	13	53.505	3.798	0.5	101.6060
	14	50.298	4.249	0.5	106.8582
	15	47.600	2.960	0.5	70.4480
	16	46.047	3.579	0.5	82.4012
	17	44.382	3.331	0.5	73.9183
	18	42.779	4.079	0.5	87.2478
	19	41.420	10.321	0.5	213.7480
	20	36.778	3.799	0.5	69.8599
	21	34.890	4.063	0.5	70.8791
	22	33.667	10.863	0.5	182.8624
	23	30.564	3.695	0.5	56.4670
	24	28.581	6.680	0.5	95.4606
	25	26.903	10.987	0.5	147.7917
	26	24.662	6.120	0.5	75.4658
	27	21.855	6.965	0.5	76.1101
	28	21.405	10.414	0.5	111.4559
	29	18.627	6.420	0.5	59.7927
	30	17.750	10.759	0.5	95.4862
	31	17.750	8.829	0.5	78.3574
	32	16.879	8.681	0.5	73.2633
	33	16.879	8.145	0.5	68.7398
	34	12.270	12.030	1	147.6081
	35	2.735	0.878	1	2.4014
	36	1.815	5.809	1	10.5434
	37	4.412	1.648	0.5	3.6355
	38	8.943	1.869	0.5	8.3573
	39	1.994	0.300	1	0.5982
	40	3.303	1.568	0.5	2.5896
	41	5.051	0.751	0.5	1.8967
	42	5.288	3.675	0.5	9.7167
	43	6.930	3.281	0.5	11.3687
	44	7.137	1.494	0.5	5.3314
	45	7.137	0.138	0.5	0.4925
	46	25.041	10.510	0.5	131.5905
	47	21.307	4.500	0.5	47.9408
	48	14.109	0.187	0.5	1.3192
	49	13.943	4.078	0.5	28.4298
	50	10.975	1.820	0.5	9.9873
	51	10.350	2.500	0.5	12.9375
	52	9.995	0.300	0.5	1.4993
	53(1)	2.453	2.340	0.5	2.8701
	53(2)	0.125	2.340	1	0.2925
	54	7.723	2.578	1	19.9099
	55	5.139	2.570	0.5	6.6037
	56	3.720	2.315	1	8.6118
	57(1)	4.245	1.794	0.5	3.8078
	57(2)	4.245	1.284	0.5	2.7253
	58(1)	3.803	1.707	0.5	3.2459
	58(2)	3.803	1.141	0.5	2.1697
	59	7.806	2.882	0.5	11.2485
	60	7.806	1.162	0.5	4.5353
	小計				4055.7963

	番号	底辺	高さ	倍面積/2	面積
本体	61	2.578	1.036	0.5	1.3355
	62	1.200	0.665	0.5	0.3990
	63(1)	9.900	0.700	1	6.9300
	63(2)	0.720	0.160	0.5	0.0576
	64	4.041	0.519	0.5	1.0487
	65	17.133	0.807	0.5	6.9132
	66	17.133	0.510	0.5	4.3690
	67	11.999	0.512	0.5	3.0718
	68	7.765	0.389	0.5	1.5103
	69	10.077	0.325	0.5	1.6376
	70	15.324	0.123	0.5	0.9425
	71	12.330	0.540	0.5	3.3291
	小計				31.5443
					4087.34
演	72	16.600	11.800	1	195.8800
合計					195.88
					4283.2206
					4283.22



建築面積算求積図 1/400





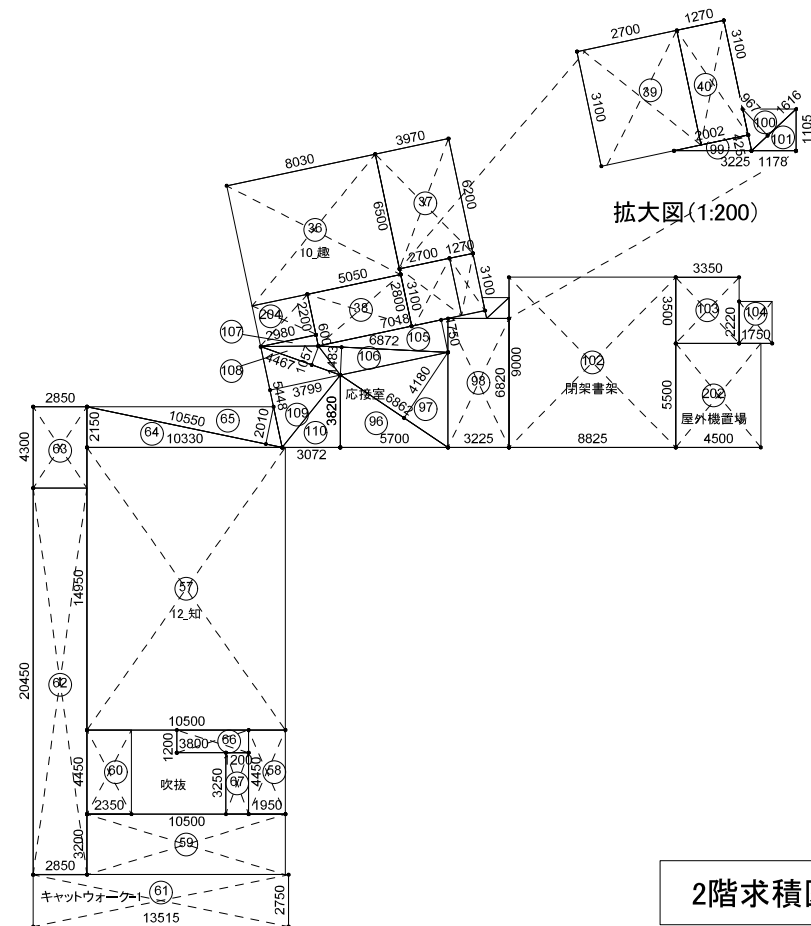


延床面積算定表

室名		番号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積/2	面積(m <sup>2</sup> )	小計(m <sup>2</sup> )
01_子	01_子	1	9.500	4.875	1.0	46.3125	
	収納	2	3.350	0.800	1.0	2.6800	
	子どもトイレ	3	3.825	3.200	1.0	12.2400	
		4	1.925	1.850	1.0	3.5613	
	シャワー室	5	1.900	1.850	1.0	3.5150	
	授乳室	6	3.350	3.025	1.0	10.1338	
	前室	7	3.825	1.100	1.0	4.2075	
							82.6501
02_和+03_会	02_和+03_会	8	9.000	7.000	1.0	63.0000	
	WC(男・女)→2	9	7.000	1.450	1.0	10.1500	
		10	4.350	2.000	1.0	8.7000	
		11	3.275	1.525	1.0	4.9944	
		12	3.275	0.825	1.0	2.7019	
		13	4.350	2.250	1.0	9.7875	
		14	2.177	0.400	1.0	0.8708	
		15	2.173	0.400	1.0	0.8692	
前室	16	2.350	1.075	1.0	2.5263		
							103.6001
04_展	04_展	17	12.500	8.000	1.0	100.0000	
	準備室	18	3.800	3.575	1.0	13.5850	
	前室	19	3.800	2.225	1.0	8.4550	
	空調機械室	20a	5.800	4.200	1.0	24.3600	
	DS	20b	3.745	0.150	0.5	0.2809	
		20c	3.713	0.150	0.5	0.2785	
							146.9594
05_鏡+09_奏	05_鏡+09_奏	21	10.657	6.375	1.0	67.9384	
	収納	22	4.700	2.843	1.0	13.3621	
	前室	23	2.693	1.675	1.0	4.5108	
							85.8113
06_発+07_作	06_発+07_作	24	8.200	6.300	1.0	51.6600	
		25	6.923	3.735	0.5	12.9288	
		26	6.923	1.500	0.5	5.1923	
		27	6.500	1.095	0.5	3.5588	
		28	7.598	3.218	0.5	12.2252	
							85.5651
13_食	13_食	41	8.920	6.590	1.0	58.7828	
	厨房・バックヤード	42	6.830	3.230	1.0	22.0609	
	WC(従業員用)	43	2.090	1.900	1.0	3.9710	
	WC(客用)	44	2.090	1.330	1.0	2.7797	
							87.5944
12_知(1F)	12_知(1F)	45	15.175	10.500	1.0	159.3375	
		46	3.675	3.275	1.0	12.0357	
	WC(男・女)→1	47	4.150	2.150	1.0	8.9225	
		48	2.600	1.700	1.0	4.4200	
		49	3.600	3.425	1.0	12.3300	
		50	2.525	2.150	1.0	5.4288	
	前室	51	4.750	1.625	1.0	7.7188	
		52	2.600	0.825	1.0	2.1450	
	空調機械室	53	3.600	0.725	1.0	2.6100	
		54	6.475	3.275	1.0	21.2057	
		55	1.450	0.350	1.0	0.5075	
		56	0.625	0.350	1.0	0.2188	
							236.8803
管理棟(1F)	事務室	70	11.275	0.995	0.5	5.6094	
		71	11.726	4.605	0.5	26.9992	
		72	11.726	6.093	0.5	35.7233	
		73	6.100	1.699	0.5	5.1820	
		74	8.955	5.100	1.0	45.6705	
	作業室	75	3.900	3.050	1.0	11.8950	
	更衣室	76	3.900	1.900	1.0	7.4100	
		77	3.500	1.225	1.0	4.2875	
	清掃員詰所	78	3.500	2.150	1.0	7.5250	
	搬入口(外部)	79	1.725	0.305	1.0	0.5262	
	搬入口(内部)	80	3.195	1.725	1.0	5.5114	
		81	4.005	1.001	0.5	2.0046	
	倉庫	82	1.001	0.678	0.5	0.3394	
		83	4.414	2.940	0.5	6.4886	
		84	4.414	1.376	0.5	3.0369	
		85	3.876	1.070	0.5	2.0737	
		86	1.070	0.549	0.5	0.2938	
		87	2.077	0.650	0.5	0.6751	
	給湯室	88	2.077	0.600	0.5	0.6231	
		89	1.814	1.136	0.5	1.0304	
		90	2.376	1.136	0.5	1.3496	
		91	1.268	0.451	0.5	0.2860	
	消火ポンプ室	92	2.950	3.820	1.0	11.2690	
	階段室	93	3.250	2.950	1.0	9.5875	
		94	2.800	1.950	1.0	5.4600	
	駐車場	95	5.500	5.100	1.0	28.0500	
							228.9072

室名		番号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積/2	面積(m <sup>2</sup> )	小計(m <sup>2</sup> )
電気機械室		111	9.550	5.300	1.0	50.6150	50.6150
雪室(1F)	雪室	112	10.510	6.507	0.5	34.1943	
		113	10.510	9.371	1.0	98.4893	
		114	10.887	2.925	0.5	15.9223	
		115	11.748	2.259	0.5	13.2694	
		116	11.748	4.907	0.5	28.8238	
		117	10.404	1.969	0.5	10.2428	
		118	10.404	3.238	0.5	16.8441	
		119	10.307	2.519	0.5	12.9817	
		120	10.000	0.302	1.0	3.0200	
		階段	121	9.850	2.000	1.0	19.7000
							253.4877
エントランス	エントランスホール	124	3.041	2.150	0.5	3.2691	
		125	8.997	1.052	0.5	4.7325	
		126	11.236	4.399	0.5	24.7136	
		127	18.452	4.118	0.5	37.9927	
		128	9.025	0.138	0.5	0.6228	
		129	18.620	2.092	0.5	19.4766	
		130	12.725	4.496	0.5	28.6058	
		131	12.725	5.798	0.5	36.8898	
		132	15.290	2.819	0.5	21.5513	
133	6.481	2.383	0.5	7.7222			
							185.5764
フロート	フロートエリア・子ども	134	6.733	3.041	0.5	10.2376	
		135	10.405	3.765	0.5	19.5875	
		136	13.833	5.977	0.5	41.3400	
		137	9.025	5.953	0.5	26.8630	
		138	27.526	3.941	0.5	54.2400	
		139	30.394	19.904	0.5	302.4811	
		140	7.000	3.965	1.0	27.7550	
		141	9.963	6.133	0.5	30.5516	
		142	9.963	3.663	0.5	18.2473	
		143	9.509	2.606	0.5	12.3903	
		144	30.394	4.889	0.5	74.2982	
		145	22.999	8.684	0.5	99.8617	
		146	13.557	5.491	0.5	37.2208	
		147	13.488	0.261	0.5	1.7602	
		148	13.488	6.452	0.5	43.5123	
		149	18.128	10.004	0.5	90.6763	
		150	18.128	8.260	0.5	74.8687	
		151	18.718	11.654	0.5	109.0698	
		152	18.718	3.911	0.5	36.6031	
		153	8.348	2.565	0.5	10.7064	
		154	7.206	4.743	0.5	17.0891	
		155	9.437	5.202	0.5	24.5457	
		156	9.437	2.908	0.5	13.7214	
		157	9.820	1.918	0.5	9.4174	
		158	2.307	1.077	0.5	1.2424	
		159	2.127	0.296	0.5	0.3148	
							1188.6017
屋内広場		160	7.407	2.553	0.5	9.4551	
		161	8.860	5.602	0.5	24.8169	
		162	8.860	4.105	0.5	18.1852	
		163	4.780	0.150	0.5	0.3585	
		164	7.837	5.773	0.5	22.6216	
		165	13.159	4.993	0.5	32.8515	
		166	2.890	1.073	0.5	1.5505	
		167	2.890	0.695	0.5	1.0043	
		168	15.844	0.984	0.5	7.7953	
		169	22.546	9.050	0.5	102.0207	
		170	22.546	13.576	0.5	153.0423	
		171	17.846	2.504	0.5	22.3432	
							396.0451
風除室	風除室(06_発)	172	7.492	4.997	1.0	37.4376	
	サブエントランス	173	2.725	0.371	0.5	0.5055	
		174	4.255	2.327	0.5	4.9507	
		175	4.567	3.669	0.5	8.3782	
	風除室	176	5.739	1.177	0.5	3.3775	
177	3.965	3.250	1.0	12.8863			
							67.5358
屋根付き屋外広場		178	12.417	3.620	0.5	22.4748	
		179	12.911	4.597	0.5	29.6760	
		180	20.963	3.701	0.5	38.7921	
		181	13.038	5.851	0.5	38.1427	
		182	13.038	6.374	0.5	41.5522	
		183	12.404	5.493	0.5	34.0676	
		184	8.098	4.029	0.5	16.3135	
		185	8.370	1.165	0.5	4.8756	
		186	12.466	10.369	0.5	64.6300	
		187	12.466	3.760	0.5	23.4361	
		188	7.069	2.808	0.5	9.9249	
		189	6.888	1.855	0.5	6.3887	
		190	10.409	5.828	0.5	30.3319	
		191	8.909	6.355	0.5	28.3084	
							388.9148

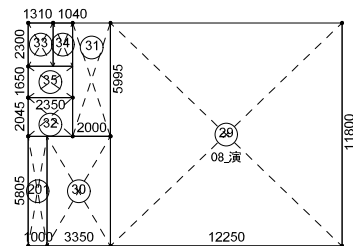




2階求積図 1/400

延床面積算定表

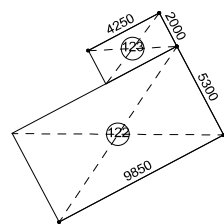
室名		番号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積/2	面積(㎡)	小計(㎡)	
10_趣	10_趣	36	8.030	6.500	1.0	52.1950		
		37	6.200	3.970	1.0	24.6140		
		階段室-1	38	5.050	2.800	1.0	14.1400	
		EPS	39	3.100	2.700	1.0	8.3700	
		PS	40	3.100	1.270	1.0	3.9370	
							103.2560	
12_知(2F)	12_知(2F)	57	14.950	10.500	1.0	156.9750		
		58	4.450	1.950	1.0	8.6775		
		59	10.500	3.200	1.0	33.6000		
		60	4.450	2.350	1.0	10.4575		
	キャットウォーク-1	61	13.515	2.750	1.0	37.1663		
		62	20.450	2.850	1.0	58.2825		
	キャットウォーク-2	63	4.300	2.850	1.0	12.2550		
		64	10.330	2.150	0.5	11.1048		
		65	10.550	2.010	0.5	10.6028		
	階段	66	3.800	1.200	1.0	4.5600		
67		3.250	1.200	1.0	3.9000			
							347.5814	
管理棟(2F)	応接室・休憩室	96	5.700	3.820	0.5	10.8870		
		97	6.862	4.180	0.5	14.3416		
	閉架書庫	98	6.820	3.225	1.0	21.9945		
		99	2.002	0.425	0.5	0.4255		
		100	1.616	0.967	0.5	0.7814		
		101	1.178	1.105	0.5	0.6509		
		102	9.000	8.825	1.0	79.4250		
		103	3.500	3.350	1.0	11.7250		
		104	2.220	1.750	1.0	3.8850		
	EVホール・廊下	105	7.018	1.750	0.5	6.1408		
		106	6.872	1.483	0.5	5.0956		
		107	2.980	0.600	0.5	0.8940		
		108	4.467	1.057	0.5	2.3609		
		109	5.448	3.799	0.5	10.3485		
110		3.820	3.072	0.5	5.8676			
							174.8233	
室外機置場(2F)		202	5.500	4.500	1.0	24.7500	24.7500	
容積対象外面積 延床面積合計	EV(2F)	204	2.980	2.200	1.0	6.5560	6.5560	
							656.9660	



別棟求積図 1/400

延床面積算定表

室名		番号	底辺(m)	高さ(m)	階面積/2	面積(m <sup>2</sup> )	小計(m <sup>2</sup> )
08_演	08_演	29	12.250	11.800	1.0	144.5500	
	収納スペース	30	5.805	3.350	1.0	19.4468	
		31	5.995	2.000	1.0	11.9900	
	HWC-2	32	2.350	2.045	1.0	4.8058	
	WC(男・女)-3	33	2.300	1.310	1.0	3.0130	
		34	2.300	1.040	1.0	2.3920	
	前室	35	2.350	1.650	1.0	3.8775	
							190.0751
室外機置場		201	5.805	1.000	1.0	5.8050	
延床面積合計(容積対象)							195.8801



BH階求積図 1/400

延床面積算定表

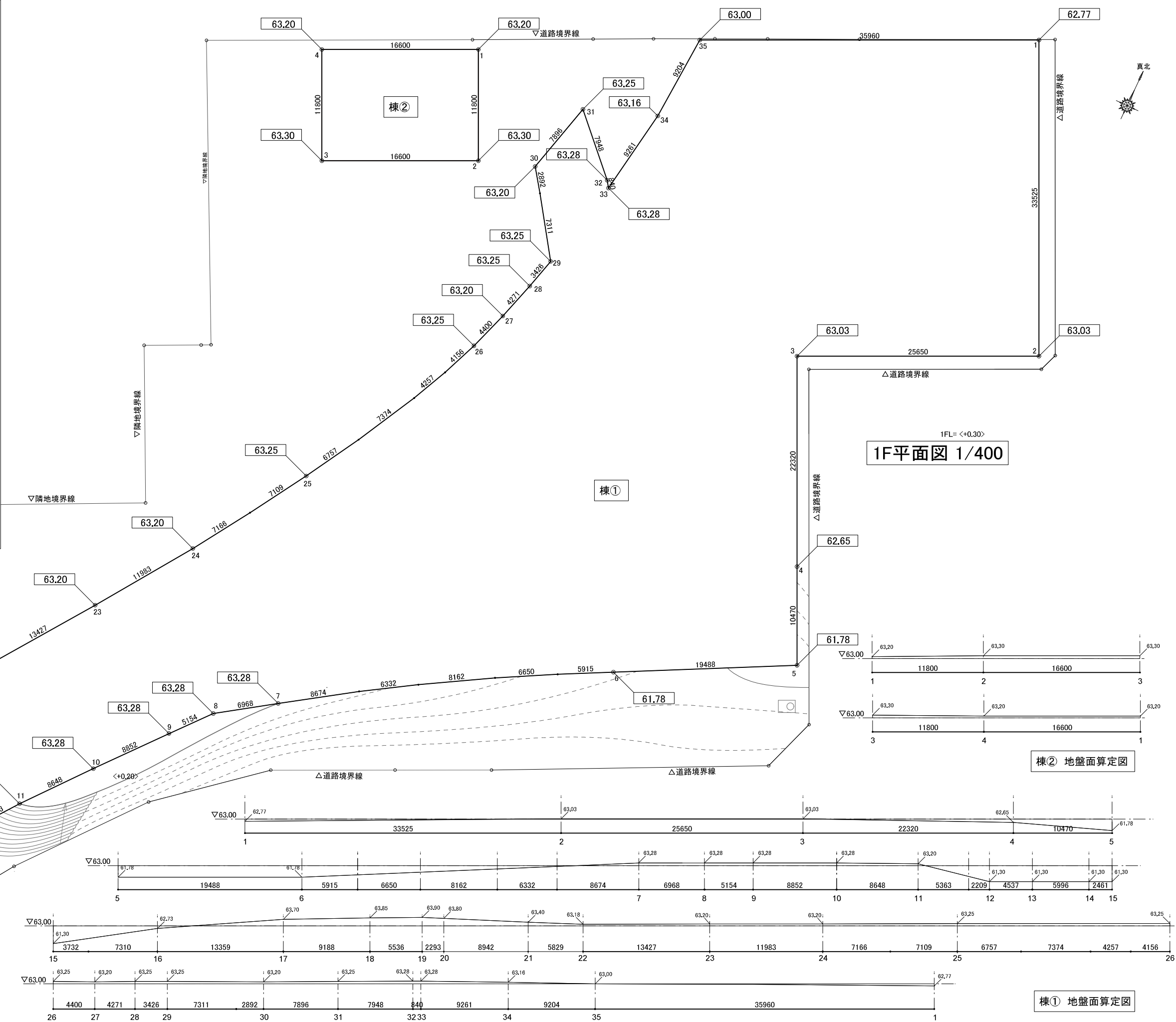
室名		番号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 /	面積 (㎡)	小計 (㎡)
雪室 (BH)	地中熱・雪室機械室	122	9.850	5.300	1.0	52.2050	
		123	4.250	2.000	1.0	8.5000	
							60.7050
延床面積合計 (容積対象)							60.7050



棟① 地盤面積算定表					
方位	No	底辺 a(mm)	底辺 b(mm)	高さ(mm)	面積(mm <sup>2</sup> )
東	1 - 2	62.77	63.03	33,525	2,108,722.50
	2 - 3	63.03	63.03	25,850	1,616,719.50
南	3 - 4	63.03	62.65	22,320	1,402,588.80
	4 - 5	62.65	61.78	10,470	651,391.05
東	5 - 6	61.78	61.78	19,488	1,203,968.64
	6 - 7	61.78	63.28	35,733	2,234,384.49
	7 - 8	63.28	63.28	4,968	440,935.04
	8 - 9	63.28	63.28	5,154	326,145.12
	9 - 10	63.28	63.28	8,852	560,154.56
	10 - 11	63.28	63.20	8,648	546,899.52
	11 - 12	63.20	61.30	7,572	471,357.00
	12 - 13	61.30	61.30	4,537	278,118.10
	13 - 14	61.30	61.30	5,996	367,554.80
	14 - 15	61.30	61.30	2,461	150,859.30
	15 - 16	61.30	62.73	11,042	684,769.63
	16 - 17	62.73	63.70	13,359	844,489.19
西	17 - 18	63.70	63.85	9,188	585,964.70
	18 - 19	63.85	63.90	5,536	353,612.00
南	19 - 20	63.90	63.80	2,293	146,408.08
	20 - 21	63.80	63.40	8,942	568,711.20
	21 - 22	63.40	63.18	5,829	369,917.41
	22 - 23	63.18	63.20	13,427	848,452.13
	23 - 24	63.20	63.20	11,983	757,325.60
	24 - 25	63.20	63.25	14,275	902,536.88
	25 - 26	63.25	63.25	22,544	1,425,908.00
	26 - 27	63.25	63.20	4,400	278,190.00
	27 - 28	63.20	63.25	4,271	270,033.98
	28 - 29	63.25	63.25	3,426	216,694.50
	29 - 30	63.25	63.20	10,203	645,084.68
	30 - 31	63.20	63.25	7,896	499,224.60
南	31 - 32	63.25	63.28	7,948	502,830.22
	32 - 33	63.28	63.28	840	53,155.20
東	33 - 34	63.28	63.16	9,261	585,480.42
	34 - 35	63.16	63.00	9,204	580,588.32
西	35 - 1	63.00	62.77	35,960	2,261,344.60
北				409,201	25,739,519.71
計				周長L (mm)	SQLを基準とした面積S (mm <sup>2</sup> )
S/L					62,901,898.36
AQL=				SQL=	0.10

棟② 地盤面積算定表					
方位	No	底辺 a(mm)	底辺 b(mm)	高さ(mm)	面積(mm <sup>2</sup> )
北	1 - 2	63.20	63.30	11,800	746,350
東	2 - 3	63.30	63.30	16,600	1,050,780
南	3 - 4	63.30	63.20	11,800	746,350
西	4 - 1	63.20	63.20	16,600	1,049,120
計				周長L (mm)	3,592,600
S/L					SQLを基準とした面積S (mm <sup>2</sup> )
AQL=				SQL+	0.25

SGL=63.00





[illegible]

W-1	AEP艶消し塗装	不燃認定NM-8585	J	有孔板(ケイカル板) t=12 LGS下地 グラスウール 32K t=50充填	外部に面する場合は硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50
			欠番		
			L	コンクリート打放し補修	
			欠番		
			N	構造用合板 t=12 PB t15+15 LGS下地(グラスウール32K50t又は100t充填) 千鳥スタッド	
			O	構造用合板 t=12+12 LGS下地	外部に面する場合は硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50
W-2	撥水材		コンクリート打放し	シランコートL/菊水化学工業同等品	
W-3	左官仕上(指定色)	不燃認定NM-8572	コンクリート打放し	ジョリパッド/アイカ工業同等品	
W-4	ビニルクロス(防汚)	不燃認定NM-0391	A	PB t=12.5+9.5 LGS下地	外部に面する場合は硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50
			B	PB t=15+15 LGS下地 グラスウール32K t=50充填	
			C	耐水PB t=9.5 + PB t=12.5 LGS下地	外部に面する場合は硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50
			D	耐水PB t=15+15 LGS(グラスウール32K50t充填)	
			E	耐水PB t=15+15 LGS(グラスウール32K50t充填)千鳥スタッド	
			F	耐水PB t=21+9.5 LGS(グラスウール32K50t充填)千鳥スタッド	
W-5	クリア塗装塗布		ラワン合板 t=9 LGS下地	外部に面する場合は硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50	
W-6	鏡 t=5	A/A+	接着剤 PB t=12.5 LGS下地	W-6+はコンクリート下地	
			B	耐水PB t12+t15 LGS下地(グラスウール32K50t充填) 千鳥スタッド	接着金物併用工法
			C	耐水合板 t12 LGS コンクリート下地	接着金物併用工法 外部面:硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t50
			D	PB t21+耐水PB t9.5 LGS下地(グラスウール32K50t充填) 千鳥スタッド	接着金物併用工法
W-7	SVS溶融亜鉛メッキ		グラスウール32K t=50充填 鉄骨下地 コンクリート打放しの上撥水剤塗布		
W-8	ロックウール吹付 こて押え	不燃認定NM-8601	鉄骨材 構造用合板 t=9		
W-9	グラスウールボード 32K t=50	不燃認定NM-8606	A	PB t=21+9.5 LGS下地(グラスウール32K50t充填) 千鳥スタッド	マグボード/マグ・イソペール同等品
			B	コンクリート打放し	マグボード/マグ・イソペール同等品 外部に面する場合は硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50
			C	構造用合板 t=9 LGS下地	
			D	PB t=9.5 GL工法の上に構造用合板t=9	
W-10	キーストンプレート 溶融亜鉛メッキ SDPITG-AKD12		胴縁 150×75×6.5@900 L-100×75×7 2M16 HT8 硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=150	SDPITG-AKD12同等品	
W-11	スレート		構造用合板 t=9 胴縁 st.c-100×50×2.3		
W-12	キッチンパネル		耐水PB t=12.5 LGS工法		
W-13(欠番)					
W-14 (欠番)					
W-15	素地	A/A+/A++	調湿ボード素地 t=12.5 LGS工法	外部に面する箇所:硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t50 A+はGW32K t=50充填 A++は耐火遮音間仕切りに上貼り	
			B/B+	PB t=12.5 外部に面する箇所:硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t50 B+はGW32K t=50充填	
			C	耐火遮音壁	
W-16 (欠番)					
W-17/W-17+ (欠番)					

project 図書館等複合施設新築(建築主体)工事	akihisa hirata architecture office 株式会社平田晃久建築設計事務所 106-0031 東京都港区西麻布2-8-13Fe西麻布ビル 2-8-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031 tel 03-3409-1455 fax 03-3409-1458	date R04.06.30	scale NS	subject 仕上表1	A 18
-------------------------------	--	-------------------	-------------	-----------------	------



内部天井仕上					
C-1/C-1+	AEP艶消し塗装   不燃認定NM-8585	A	PB t=12.5 LGS下地	C-1+はLGS下地なし	
		B	ケイ酸カルシウム板 t=6+6 LGS下地		
		C	硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=150 岩綿吸音板 素地仕上 t=12 LGS下地		展示室スリット内(矩計図参照)
		D	岩綿吸音板 素地仕上 t=12 LGS下地		
C-2	和紙(不燃加工)	不燃認定NM-0996	鉄骨下地	不燃和紙/丸ハテント同等品 ※天井を覆う飾りとしての不燃材	
C-3	パーティ合板、クリア塗装塗布		LGS下地		
C-4	グラスウールボード 32K t=50 不燃認定NM-8606	A	コンクリート打放し	マグボード/マグ・イゾペール同等品	
		B	構造用合板 t=9 LGS下地	マグボード/マグ・イゾペール同等品	
		C	硬質ウレタンフォーム吹付 A種1H t=50 コンクリート打放し		
C-5(欠番)					
C-6	冷凍庫用断熱パネル	不燃認定NM-2157	LGS下地		
C-7	フェローデッキ		鉄骨下地		
C-8	撥水材		コンクリート打放し	シランコートL/菊水化学工業同等品	
C-9	調湿ボードt=12.5 素地仕上		LGS下地		
C-10/C-10+	コンクリート打放し素地仕上			C-10+硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=100	
C-11	ガルバリウム製波板		鉄骨下地		
C-12	アルミ製ルーバー		鉄骨下地		
外部床仕上					
EF-1	カラーアスファルト		プライムコートPK3 砕石 t=150		
EF-2	防塵塗装	A	コンクリート金鍍押え t=80 ポリスチレンフォーム t=100 複合塗膜防水 コンクリートスラブ	ワイヤーメッシュΦ6	
		B	コンクリート金鍍押え t=100 砕石 t=100	ワイヤーメッシュΦ6	
		C	コンクリート金鍍押え t=100 アスファルト防水		
EF-3	野芝		客土 t=300		
EF-4	透水性コンクリート t=100				
EF-5	土間コンクリート t=100		砕石 t=150		
外部壁仕上					
EW-1	撥水材		コンクリート打放し補修	シランコートHS/菊水化学工業同等品	
EW-2/EW-2+	ウレタン塗装		コンクリート打放し補修	EW-2+は下地スチールパネル t=1.6曲げ	
EW-3/EW-3+	メタリック塗装(シルバー/ゴールド)	A	コンクリート打放し補修(型枠馬張り)	EW-3+はメタリック塗装(ゴールド)	
		B	スチールパネル t=1.6曲げ 鉄骨下地		
EW-4/EW-4+ (欠番)					
EW-5	杉板 t=15見張り キシラデコール塗布		縦胴縁 米松45x30@455 コンクリート打放しの上撥水材塗布		
EW-6	スレート	A	防水シート t=2 構造用合板 t=9 縦胴縁 t=12 @455 透湿防水シート t=0.2 ケイカル板 t=12+12+12 胴縁 st.φ=100x50x2.3 硬質ウレタンフォーム吹付A種1H t=50		
		B	防水シート t=2 構造用合板 t=9 縦胴縁 st □=50x50x1.6@ コンクリート打放し		
EW-7	防塵塗装		モルタル t=30 ワイヤーメッシュ 複合塗膜防水 構造用合板 t=12+12 鉄骨下地	SKバリアーコート/エスケー化研同等品	

[illegible]

※下記共通 不燃認定番号

PB t=9.5 NM-1864  
PB t=12.5 NM-8619  
PB t=15 NM-8612  
耐水PB t=12.5 NM-9639  
ケイカル板 t=6,8,12 NM-3522  
調湿ボード t=12.5 NM-0530

project	akihisa hirata architecture office	株式会社平田晃久建築設計事務所 106-0031 東京都港区西麻布2-9-13F西麻布ビル 2-8-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031 一級建築士事務所 東京都知事登録第57148号	date	R04.06.30	scale	NS	subject	仕上表2	A 19
図書館等複合施設新築(建築主体)工事									



階	室名		床	巾	壁	天井		備考
			仕上記号	仕上記号	仕上記号	仕上記号	CH	
BHF	地中熱・雪室機械室		F-6	-	W-2	C-10	3700	
	階段室-2		F-6	-	W-2	C-10	-	
1F	屋内広場		F-1B	-	W-1 W-2 W-6	C-7	3790	天井装飾材:和紙/丸ハテント同等品
	エントランスホール		F-1B	-	W-2	C-7	3790-4790	天井装飾材:和紙/丸ハテント同等品
	フロートエリア		F-1B	-	W-2	C-7	4790-6290	天井装飾材:和紙/丸ハテント同等品
	こどもとしょかん		F-1B	-	W-2	C-7	6290(-7790)	天井装飾材:和紙/丸ハテント同等品
知 Anchor	12_知 (開架閲覧室-1)		F-2A	-	W-1A W-2	C-1A	2650	
	WC(男)-1		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4A,C,F W-6D	C-1A	2100	防汚
	WC(女)-1		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4A,C,F W-6D	C-1A	2100	防汚
	HWC-1		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4C	C-1A	2100	防汚
	WC前通路-1		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4A	C-1A	2100	防汚
	SK		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4A W-2	C-1A	2100	防汚
	空調機械室-1		F-6	-	W-9A,B	C-4A	3500	
展 Anchor	04_展 (展示室)		F-1A	金属製巾木 H=60	W-1E,E+,E++	C-1A	3500	
	準備室		F-1A	金属製巾木 H=60	W-15 A,A+,A++	C-9	3500	
	前室		F-1A	金属製巾木 H=60	W-15A,A+,A++	C-9	3500	
	空調機械室-2		F-1A	金属製巾木 H=60	W-15C W-9B	C-4A	4740	
子 Anchor	01_子 (読み聞かせ室)		F-5	木製巾木 H=60	W-4A,B	C-1D	2800	
	授乳室		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4C,D W-12	C-1A	2300	
	こどもトイレ		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4C,D	C-1A	2300	
	洗濯室		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-2 W-4C,D	C-1A	2300	
	通路		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4A,B	C-1A	2400	
	SK		F-7B	ソフト巾木 H=60	W-4C W-2	C-1A	2300	
鏡+奏 Anchor	05_鏡+09_奏 (ダンス・演奏 スタジオ)		F-4A	-	W-9A,C,D W-6A	C-4A	3640	
	収納		F-4A	-	W-9C W-1D	C-4A	3640	
作+発 Anchor	06_発+07_作 (撮影・デジタル スタジオ)		F-4A	-	W-9C W-1D	C-4A	3640	
	前室		F-4A	-	W-9C W-1D	C-4A	3640	
	06_発+07_作 (撮影・デジタル スタジオ)		F-0A,C	-	W-2 W-9B,C	C-4B	2450	
	収納		F-0A,C	-	W-9B,C	C-4B	450-2450	

階	室名		床	巾木	壁	天井		備考
			仕上記号	仕上記号	仕上記号	仕上記号	CH	
1F	和+会 Anchor	02_和+03_会 (談話室)	F-1A	-	W-2 W-1A	C-1A	2500	
		収納	F-7C	-	W-2 W-1A,G	C-1A	2500	
		WC(男)-2	F-7B	-	W-2 W-4C W-6C	C-1A	2300	
		WC(女)-2	F-7B	-	W-2 W-4C W-6C	C-1A	2300	
		WC前通路-2	F-1A	-	W-2 W-1A	C-1A	2300	
演 Anchor	08_演(集会室)		F-4A	-	W-9C,D	C-4C	3000-4765	
	収納スペース		F-4A	-	W-1N,O W-9C W-1B	C-1A	3450	
	WC(男)-3		F-7C	-	W-1I,G	C-1A	2500	
	WC(女)-3		F-7C	-	W-1I,G	C-1A	2500	
	HWC-2		F-7C	-	W-1I,G	C-1A	2500	
	前室		F-7C	-	W-1G W-6D	C-1A	2500	
食 Anchor	13_食 (客席)		F-1A	-	W-1A	C-1A	2500	
	厨房・バックヤード		F-1A	-	W-1G	C-1A	2500	
	WC(客用)		F-1A	-	W-1G	C-1A	2500	
	WC(従業員用)		F-1A	-	W-1G	C-1A	2500	
管理棟	事務室・給湯室		F-1A	-	W-1A	C-1A	2300	
	作業室		F-1A	-	W-1A	C-10	2900	
	倉庫		F-1A	-	W-1A W-2	C-1A	2300	
	更衣室-1		F-1A	-	W-1A W-2	C-1A	2300	
	更衣室-2		F-1A	-	W-1A W-2	C-1A	2300	
	消火ポンプ室		F-1A	-	W-0	C-10	2800	
	清掃員詰所		F-1A	-	W-1A W-2	C-1A	2300	
	階段室-1		F-1A	-	W-2	C-10	-	
	EVシャフト		F-6	-	W-2	C-10	-	
	風除室(発)		F-0B	-	W-1A	C-1A	2450	
	風除室		F-0B	-	W-1A	C-1A	2450	

\* 内部仕上げ材(接着剤含む)及び家具、建具仕上げ材にはすべて無垢材またはF☆☆☆☆(JAS)を使用するものとする。天井裏はF☆☆☆☆またはF☆☆☆☆・無垢材を使用するものとする。



階	室名		床	巾	壁	天井		備考
			仕上記号	仕上記号	仕上記号	仕上記号	CH	
1F	サブエントランス		F-0B	-	W-2	C-5	4790	
	屋外倉庫		F-0A,B	-	W-2	C-10	4440	
	電気機械室		F-0A	-	W-9B	C-4A	4440	
	雪室		F-0B	-	W-10	C-6,8	5590	
駐車場		EF-2B	-	EW-1	EC-1	3730		
2F	知 Anchor	12_知 (開架閲覧室-2)	F-2	-	W-2	C-1A	2340	
	キャットウォーク-1		F-1A	-	W-2	C-7	2100-2300	
	キャットウォーク-2		F-1A	-	W-2	C-7	2100-2300	
	管理棟	EVホール・廊下	F-1A	-	W-1A W-2	C-1A	2400	
		応接室・休憩室	F-1A	-	W-1A	C-1A	2350	
		閉架書庫	F-1A	-	W-1A	C-1A	3040	
		EPS	F-0A	-	W-0 W-15A	C-10	4380	
		PS	F-0A	-	W-0 W-15A	C-10	4380	
		室外機置場	EF-2A	-	EW-1	EC-2	2270	
	趣 Anchor	10_趣 (作業室)	F-0A	-	W-2 W-1A	C-7	3200	
		収納	F-0A	-	W-2 W-1A	C-7	3200	
	共通	消火水槽(ピット)		F-6	-	W-0+	C-10	
雪融水槽(ピット)		F-6	-	W-0+	C-10			

\* 内部仕上げ材(接着剤含む)及び家具、建具仕上げ材にはすべて無垢材またはF☆☆☆☆(JAS)を使用するものとする。天井裏はF☆☆☆またはF☆☆☆☆・無垢材を使用するものとする。

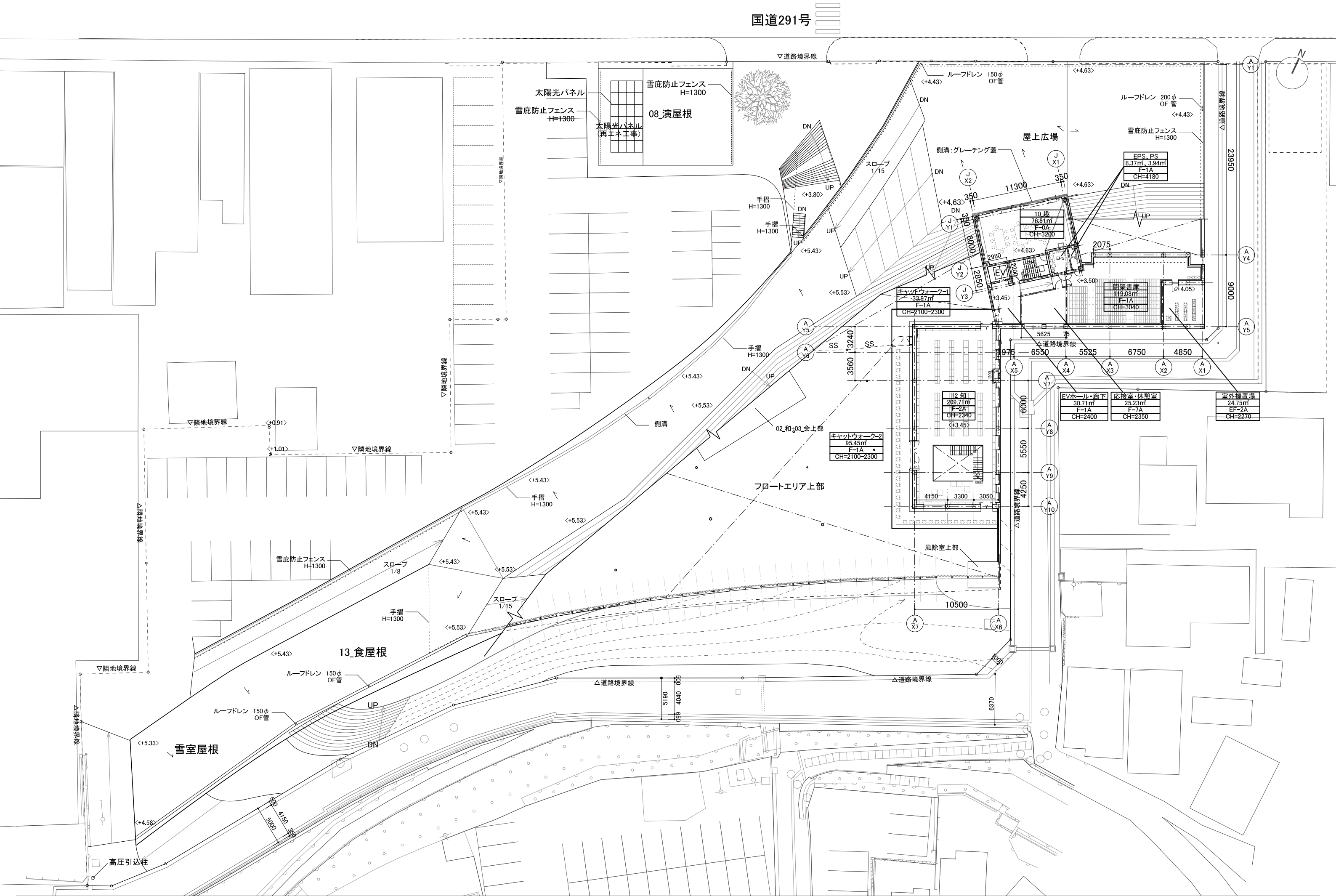




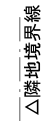




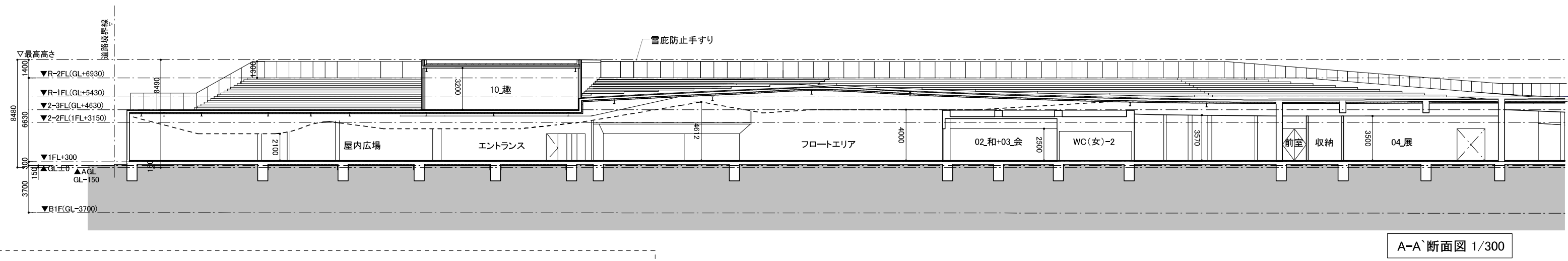




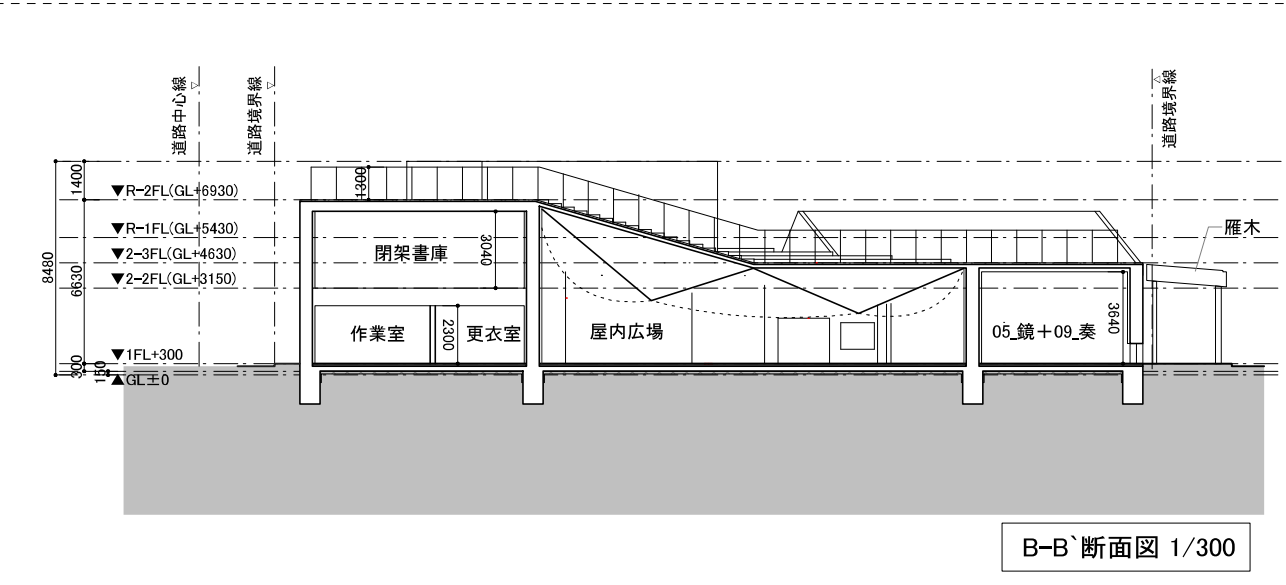




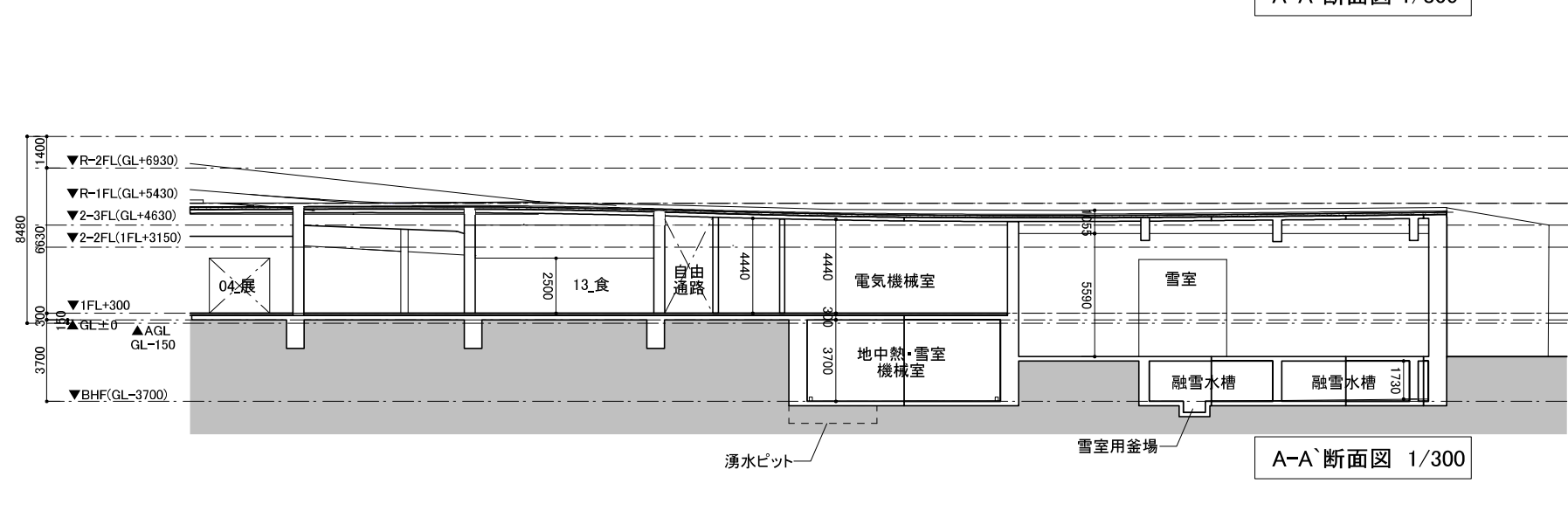




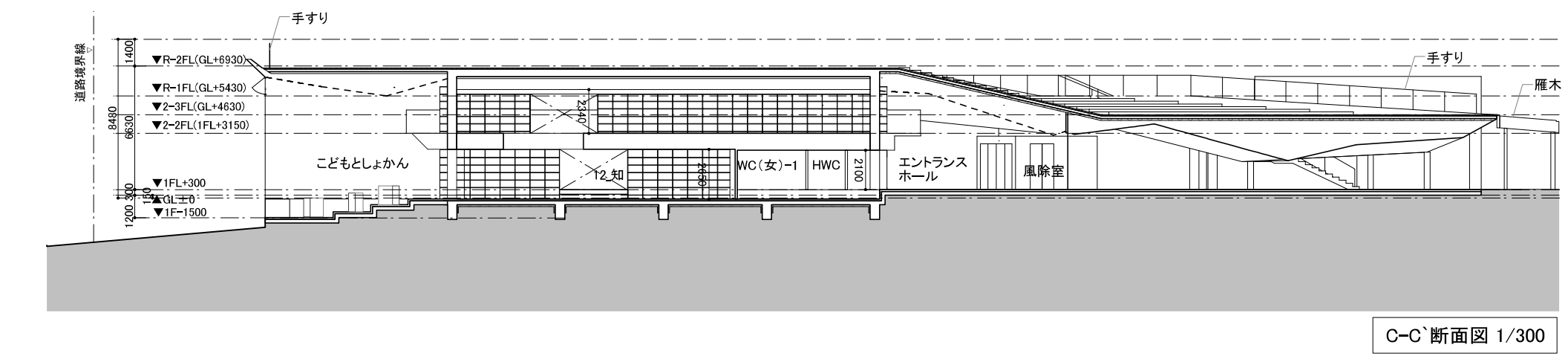
A-A`断面図 1/300



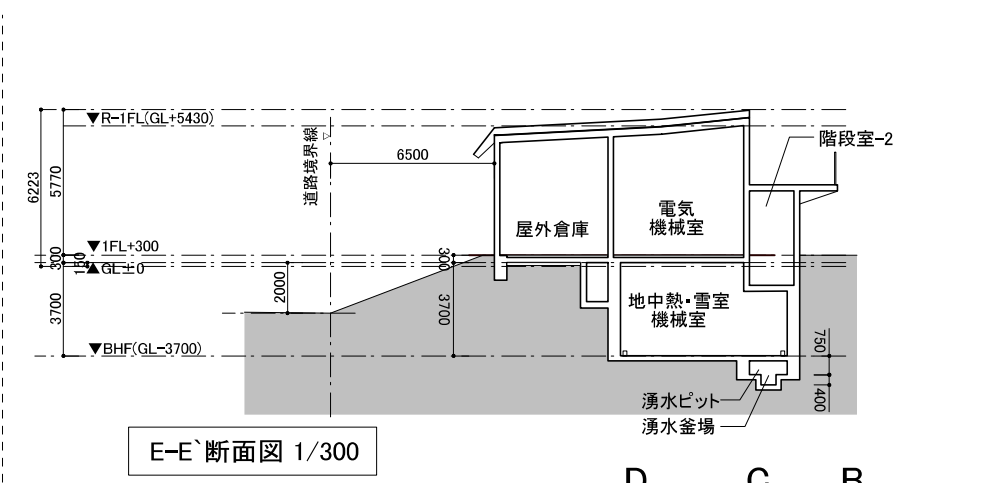
B-B`断面図 1/300



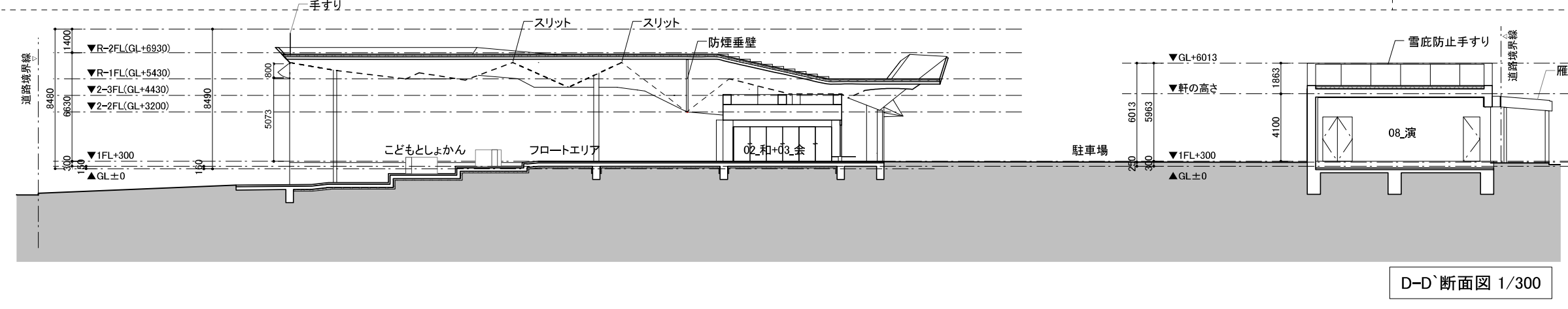
A-A`断面図 1/300



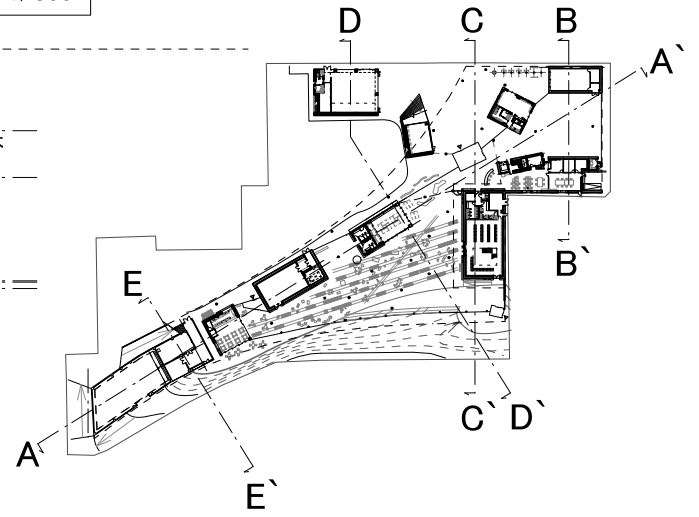
C-C`断面図 1/300



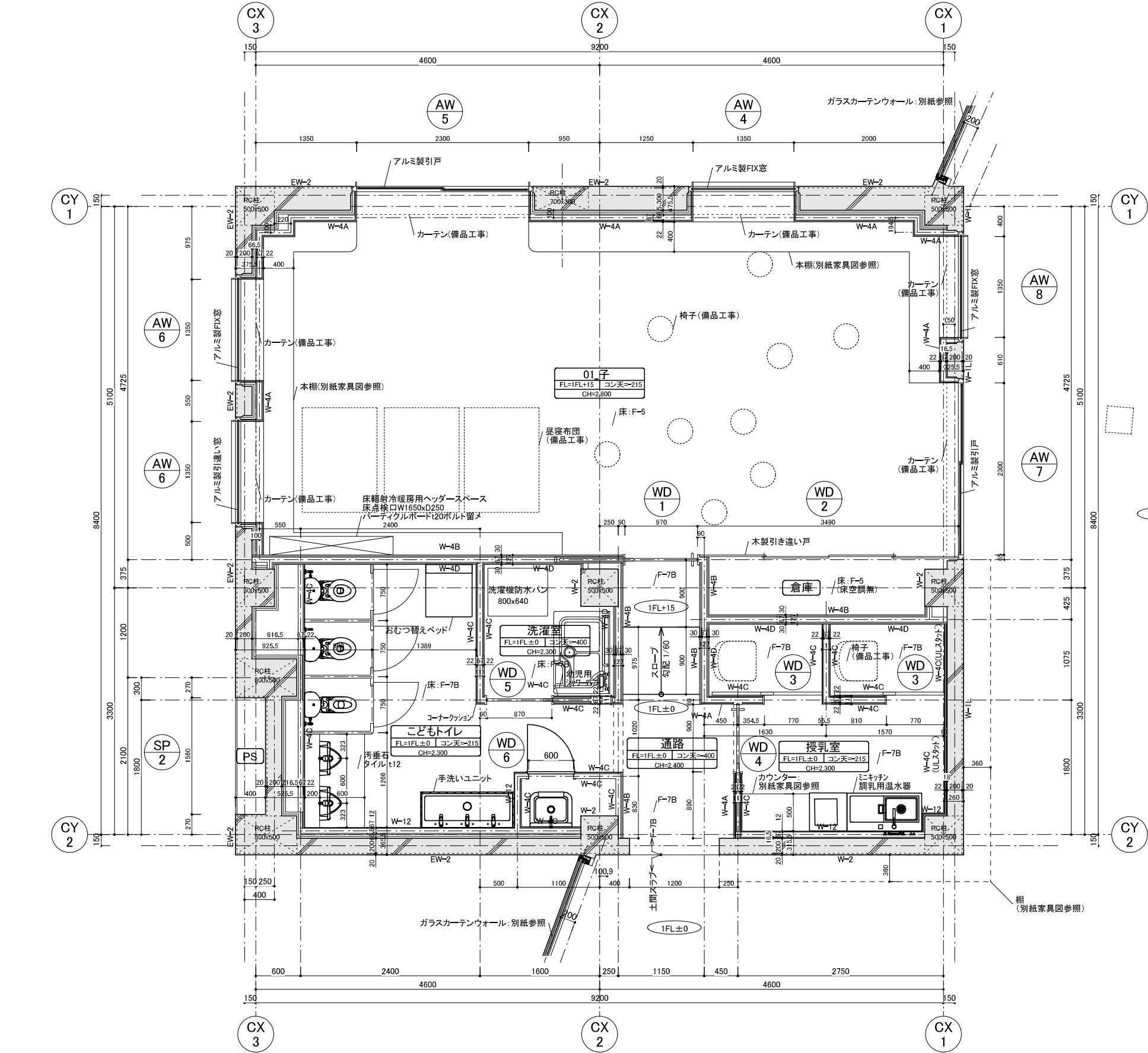
E-E`断面図 1/300



D-D`断面図 1/300



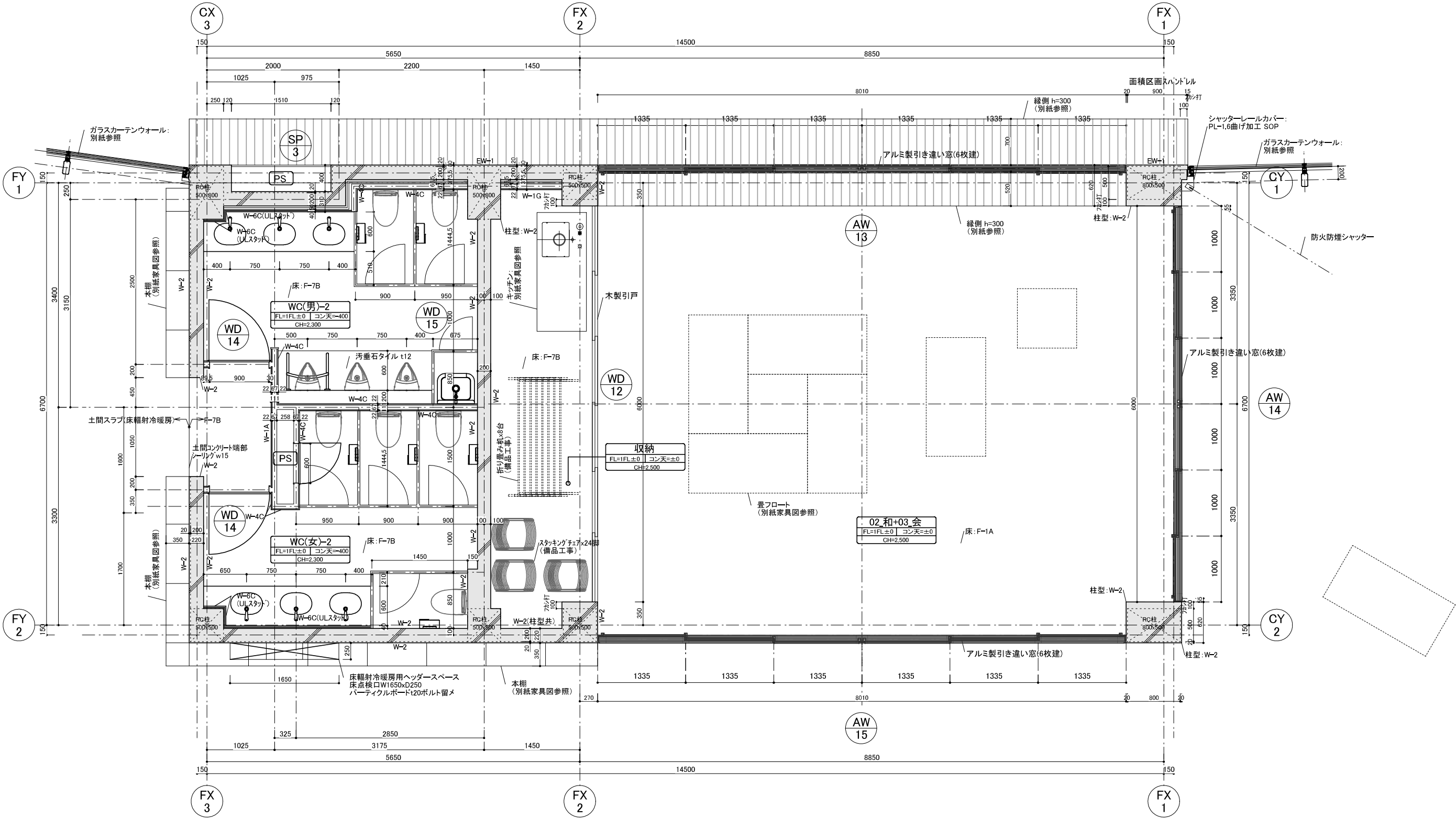




水廻り器具リスト					
名称	仕様	数量			備考
		こどもトイレ	洗濯室	授乳室	
幼児用大便器(高月齢)	機械設備図参照	2	-	-	衛生設備工事
幼児用大便器(低月齢)	機械設備図参照	1	-	-	衛生設備工事
幼児用小便器	機械設備図参照	2	-	-	衛生設備工事
手洗いユニット	機械設備図参照	1	-	-	衛生設備工事
掃除用流し	機械設備図参照	1	-	-	衛生設備工事
幼児用シャワーパン	機械設備図参照	-	1	-	衛生設備工事
ミニキッチン	機械設備図参照	-	-	1	衛生設備工事
調乳用温水器	機械設備図参照	-	-	1	衛生設備工事
児童用トイレブース	メラミン化粧板 t40 H1,200 扉W=500	3ブース	-	-	
トイレブース	メラミン化粧板 t40 H2,000 扉W=600	1ブース (SK用)	-	-	
大便器ライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	-	-	-	
小便器ライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	1列 (2台分)	-	-	
SKライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	-	-	-	
紙巻器	既製トイレアクセサリー スペア付	3	-	-	
大便器用手摺	既製トイレアクセサリー I型	-	-	-	
小便器用手摺	既製トイレアクセサリー	2	-	-	
フック	既製トイレアクセサリー	-	2	2	
おむつ替えベッド	既製トイレアクセサリー	1	-	-	
おむつ用ゴミボックス	既製トイレアクセサリー	1	-	-	
洗濯機用防水パン	既製品	-	1	-	

※器具設置用壁下地補強は耐水合板t12とする





水廻り器具リスト(WC(男)-2、WC(女)-2)				
名称	仕様	数量		備考
		WC(男)-2	WC(女)-2	
大便器	機械設備図参照	2	4	衛生設備工事
小便器	機械設備図参照	3	-	衛生設備工事
洗面器	機械設備図参照	3	3	衛生設備工事
掃除用流し	機械設備図参照	1	-	衛生設備工事
トイレブース	メラミン化粧板 t40 H2,000 扉W-600	3ブース	4ブース	
大便器ライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	-	-	
小便器ライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	1列 (3台分)	-	
SKライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	-	-	
洗面カウンター	天板・前垂れ・バックガード:人工大理石 t9 既製壁持出ブラケット+耐水合板t12 前板:メラミン化粧板、ステンレス巾木 h60	1列 (3台分)	1列 (3台分)	
洗面化粧台ライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板:人工大理石 t9	-	-	

水廻り器具リスト(WC(男)-2、WC(女)-2)				
名称	仕様	数量		備考
		WC(男)-2	WC(女)-2	
紙巻器	既製トイレアクセサリ	2	4	
大便器用手摺	既製トイレアクセサリ 1型	-	-	
小便器用手摺	既製トイレアクセサリ	1	-	
ベビーチェア	既製トイレアクセサリ	-	-	
戸当りフック	既製トイレアクセサリ	2	4	
フック	既製トイレアクセサリ	3	-	
チャームボックス	既製トイレアクセサリ	-	4	
ハンドドライヤー	既製トイレアクセサリ	-	-	
ベビーシート	既製トイレアクセサリ	-	-	
おむつ用ゴミボックス	既製トイレアクセサリ	-	-	

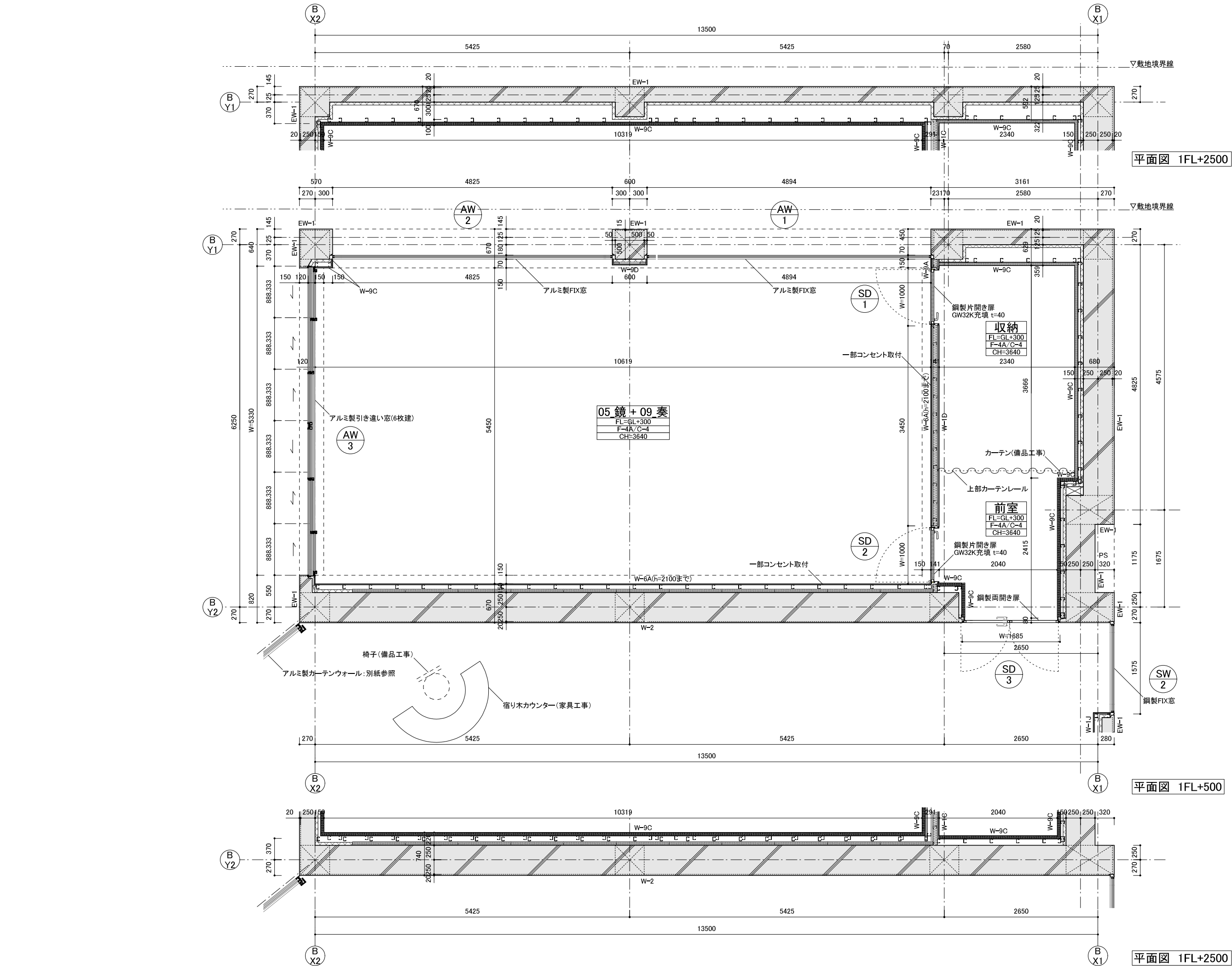
※器具設置用壁下地補強は耐水合板t12とする

水廻り器具リスト(倉庫)				
名称	仕様	数量	備考	
師範用調理台	W1800xD800 別紙家具図参照	1		
シンク及び水栓器具	上記調理台組込み 機械設備図参照	1	衛生設備工事	
IH調理器(師範用)	上記調理台組込み 機械設備図参照	1	衛生設備工事	
レンジフード(師範用)		無し		
IH調理器(生徒用)	可搬式 床コンセント(200V)より給電	8	別途備品工事	
レンジフード(生徒用)		無し		

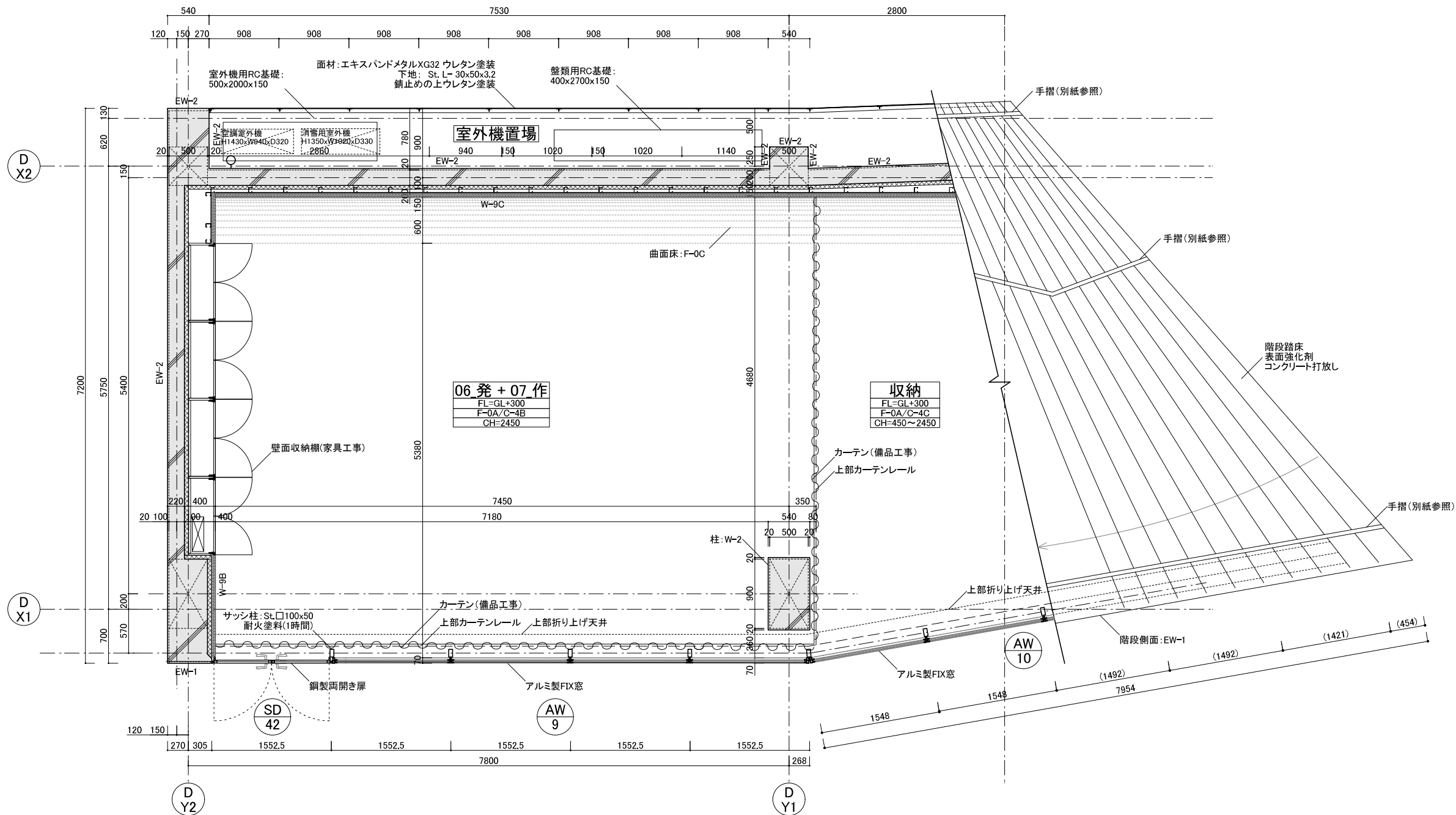




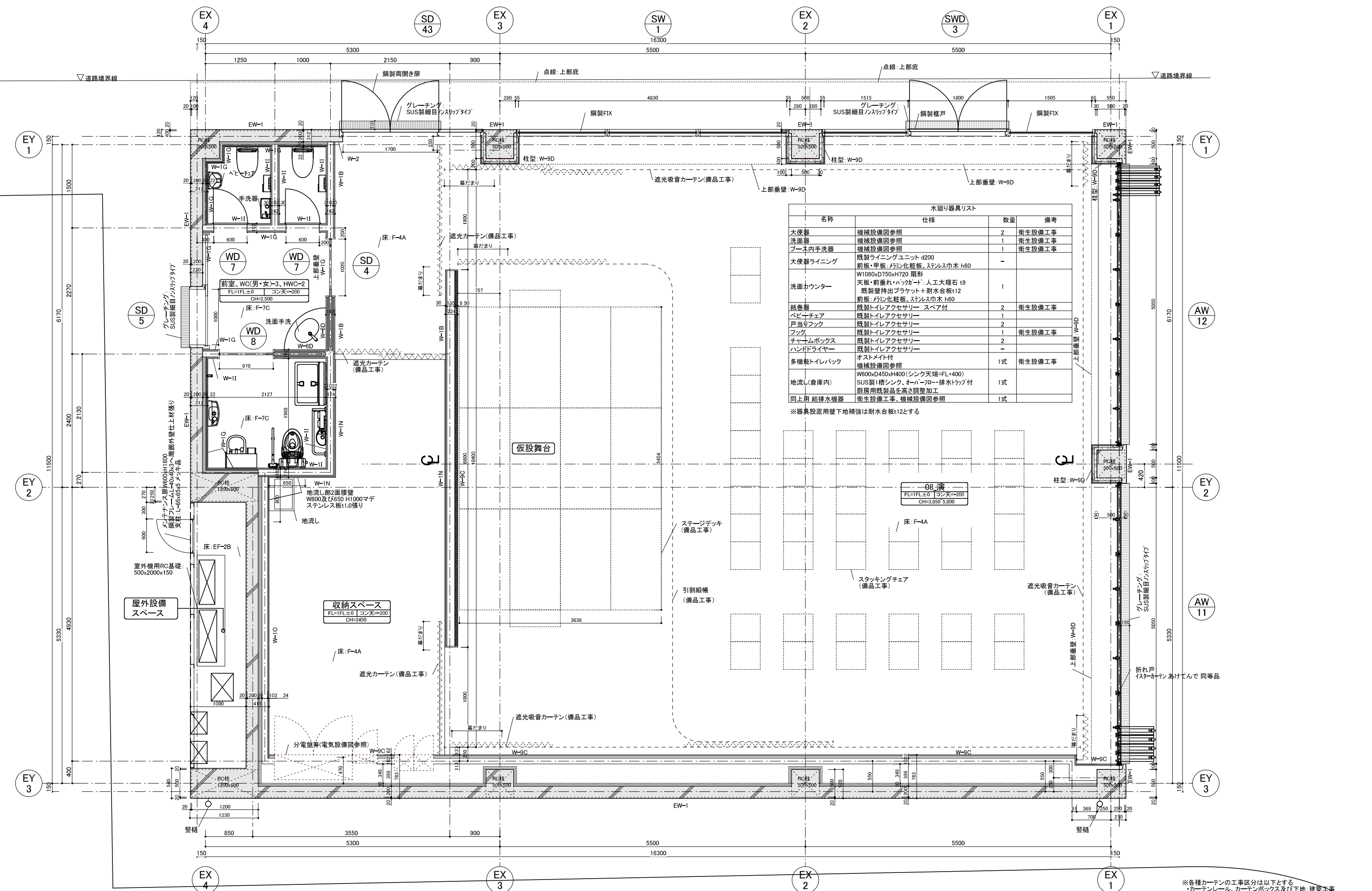












水廻り器具リスト			
名称	仕様	数量	備考
大便器	機械設備図参照	2	衛生設備工事
洗面器	機械設備図参照	1	衛生設備工事
フース内手洗器	機械設備図参照	1	衛生設備工事
大便器ライニング	既製ライニングユニット d200 前板・甲板: マシン化粧板、ステンレス巾木 h60	-	
洗面カウンター	W1060xD750xH720 扇形 天板・前垂れ・バックガード: 人工大理石 t9 既製壁持出ブラケット+耐水合板t12 前板: マシン化粧板、ステンレス巾木 h60	1	
紙巻器	既製トイレアクセサリ ｽﾍﾞｱ付	2	衛生設備工事
ベビーチェア	既製トイレアクセサリ	1	
戸当りフック	既製トイレアクセサリ	2	
フック	既製トイレアクセサリ	1	衛生設備工事
チャームボックス	既製トイレアクセサリ	2	
ハンドドライヤー	既製トイレアクセサリ	-	
多機能トイレバック	オストメイト付 機械設備図参照	1式	衛生設備工事
地流し(倉庫内)	W600xD450xH400 (シンク天端=FL+400) SUS製1槽シンク、オーバーフロー排水トラップ付	1式	
同上用 給排水機器	厨房用既製品を高さ調整加工 衛生設備工事、機械設備図参照	1式	

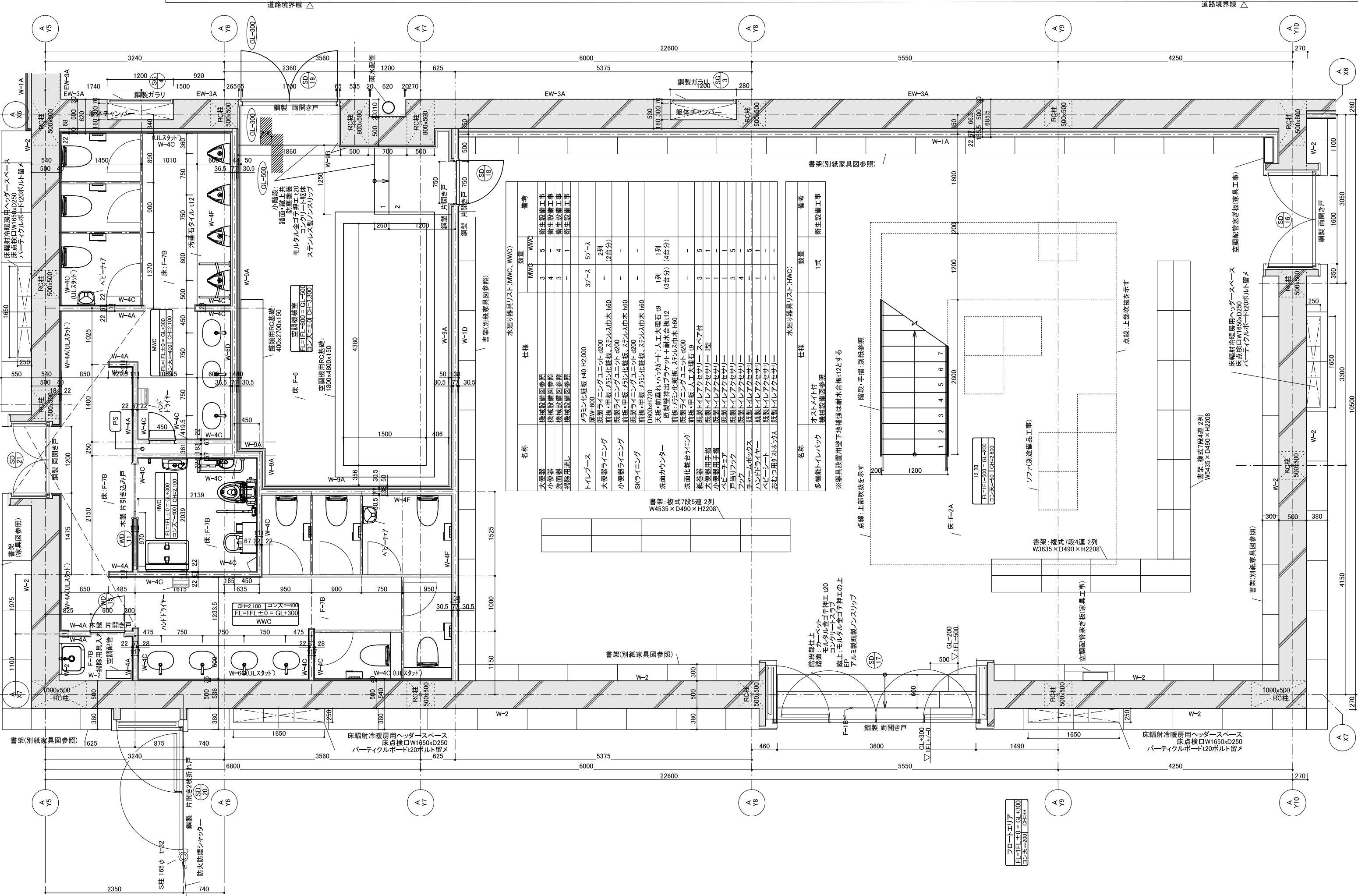
※器具設置用壁下地補強は耐水合板t12とする

※各種カーテンの工事区分は以下とする  
・カーテンレール、カーテンボックス及び下地: 建築工事  
・カーテン、幕地: 備品工事





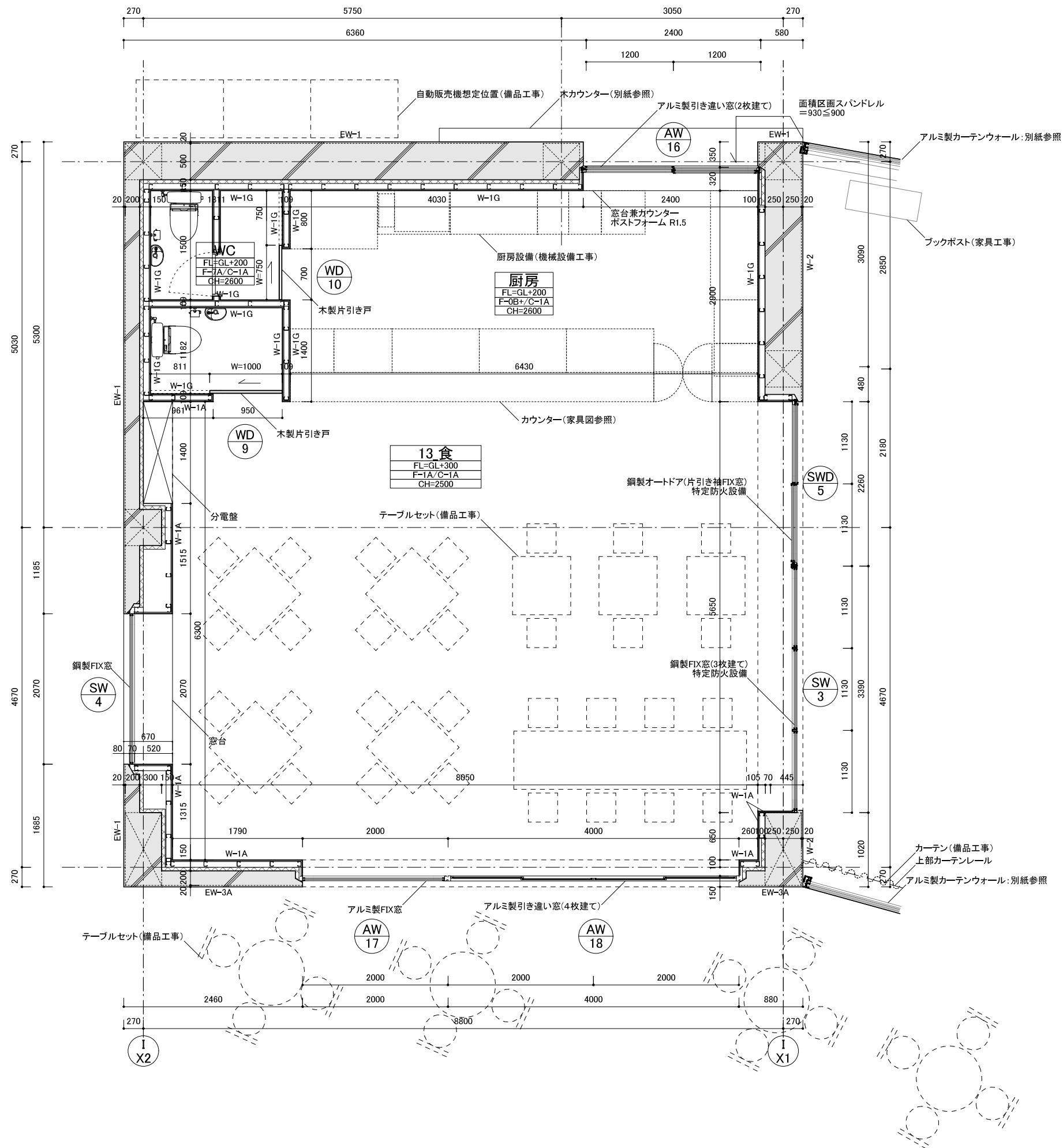




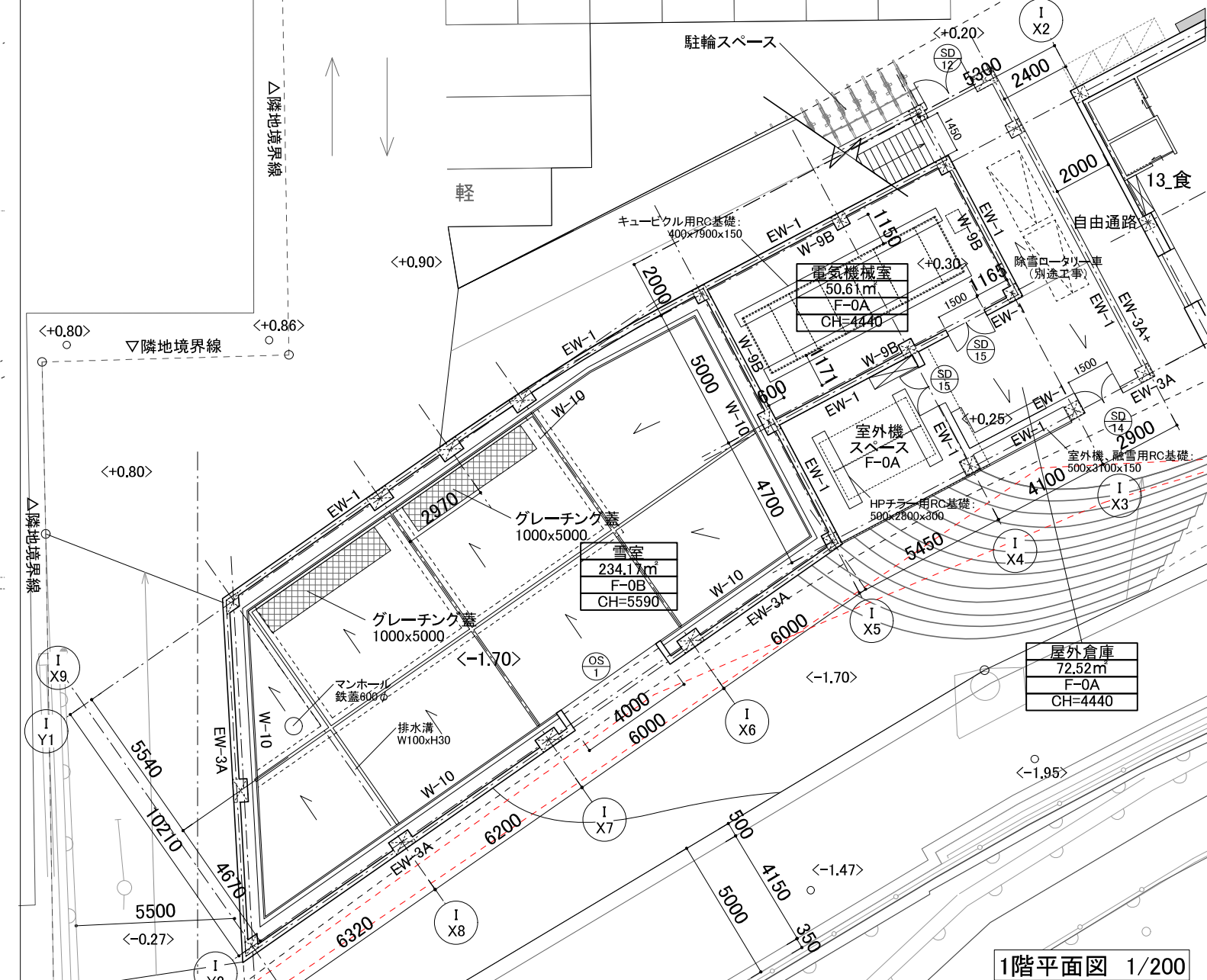
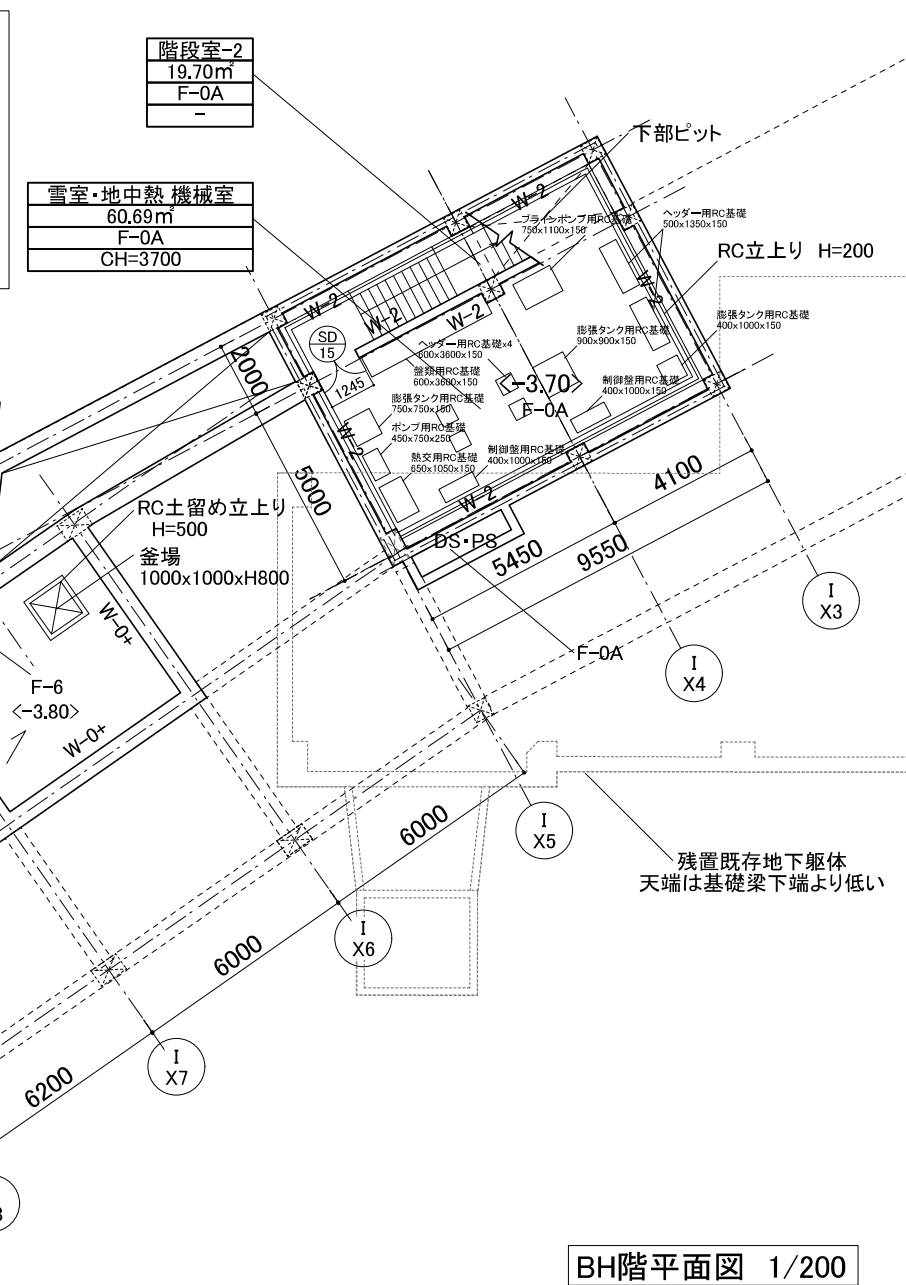
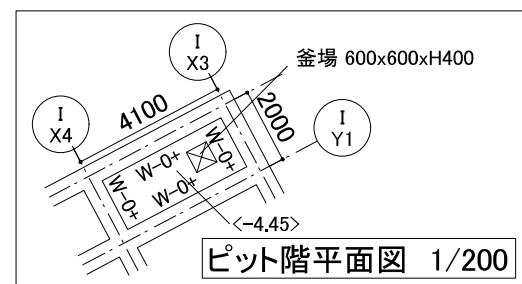
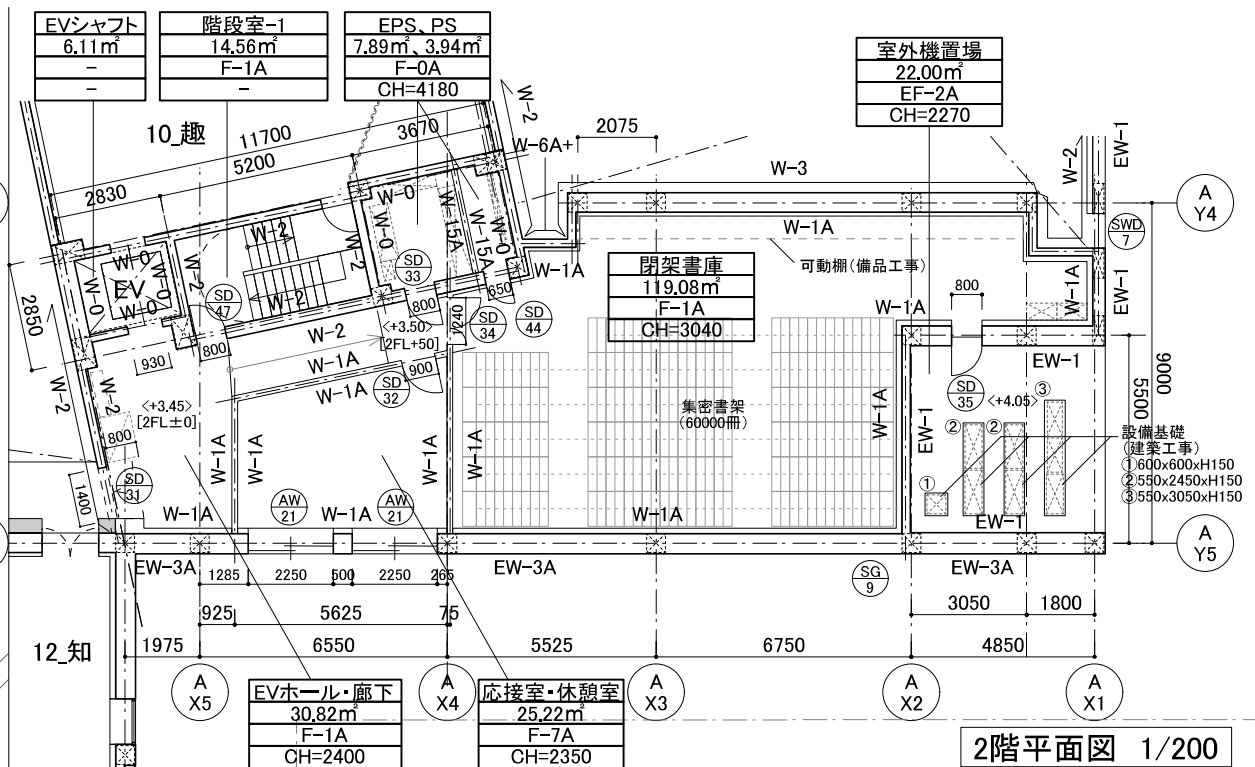
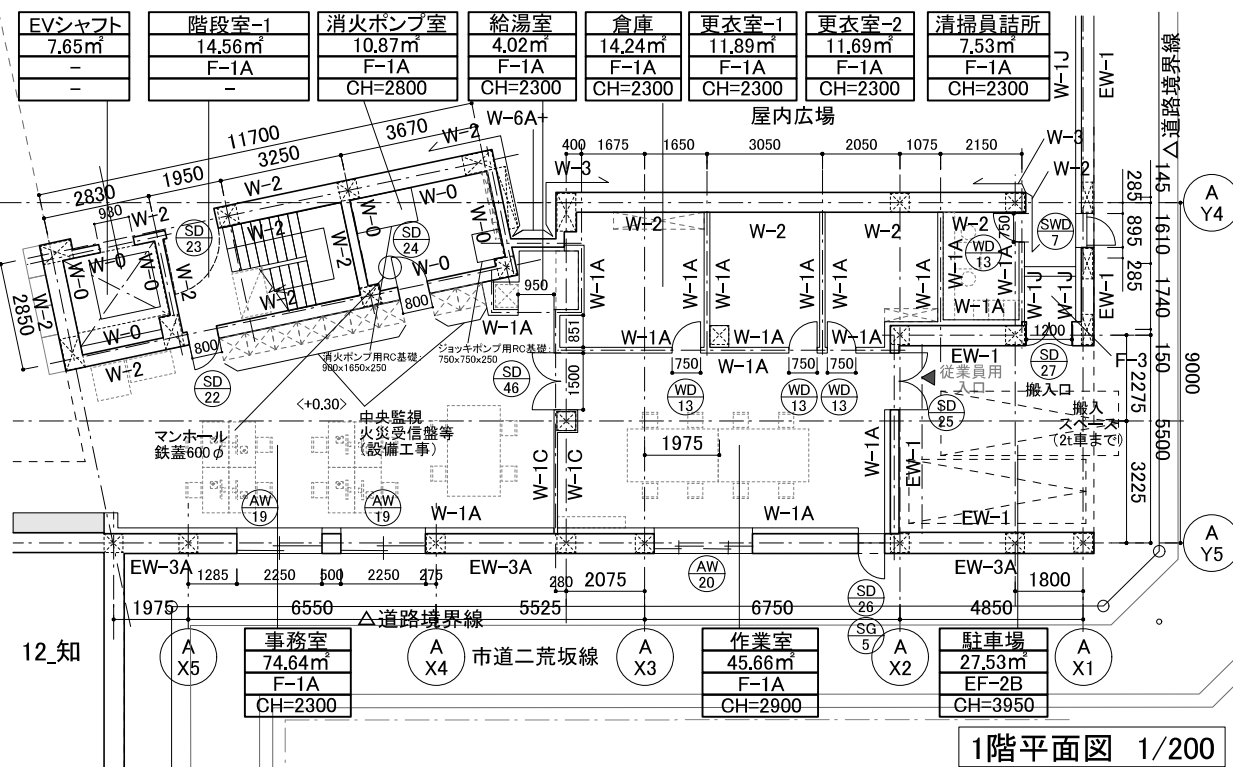
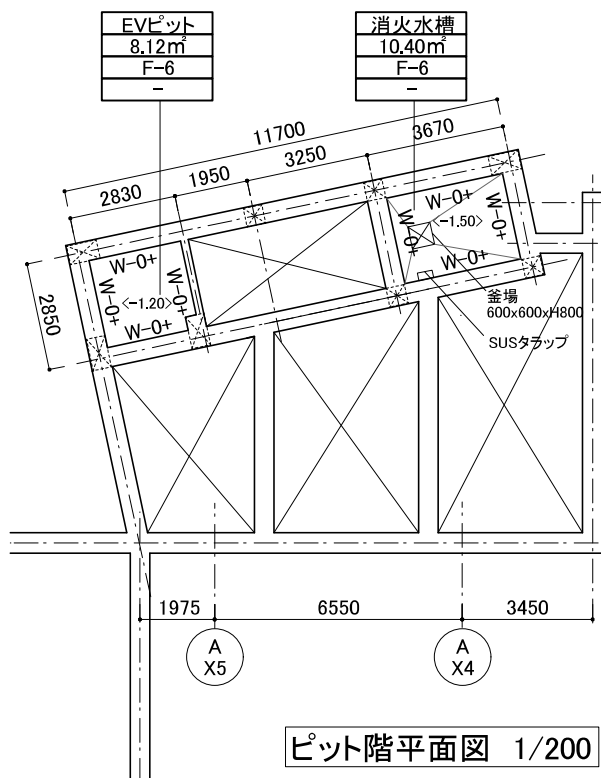




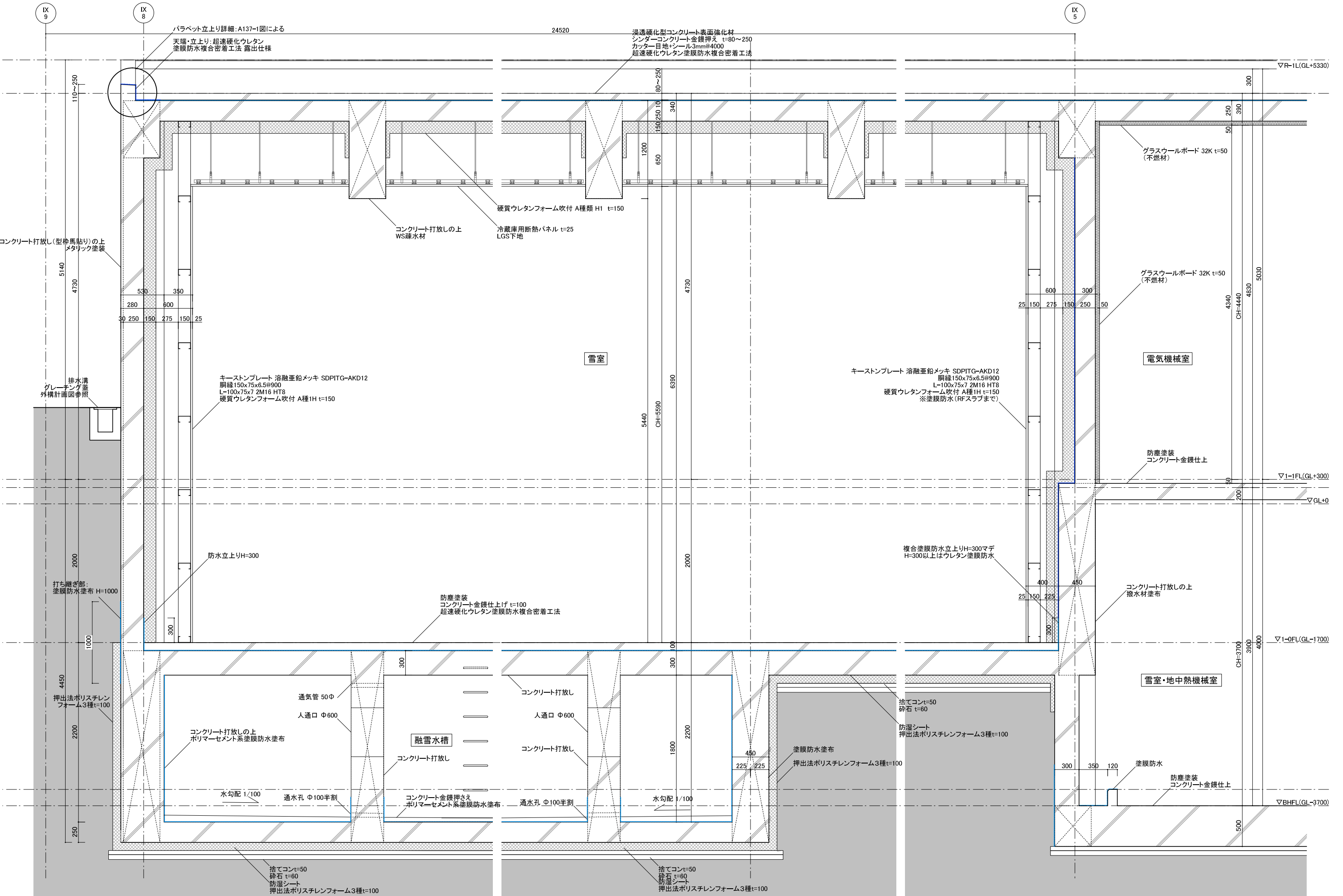




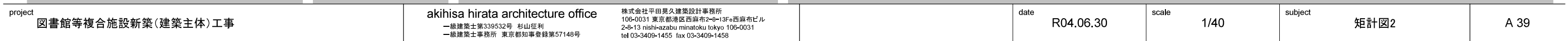








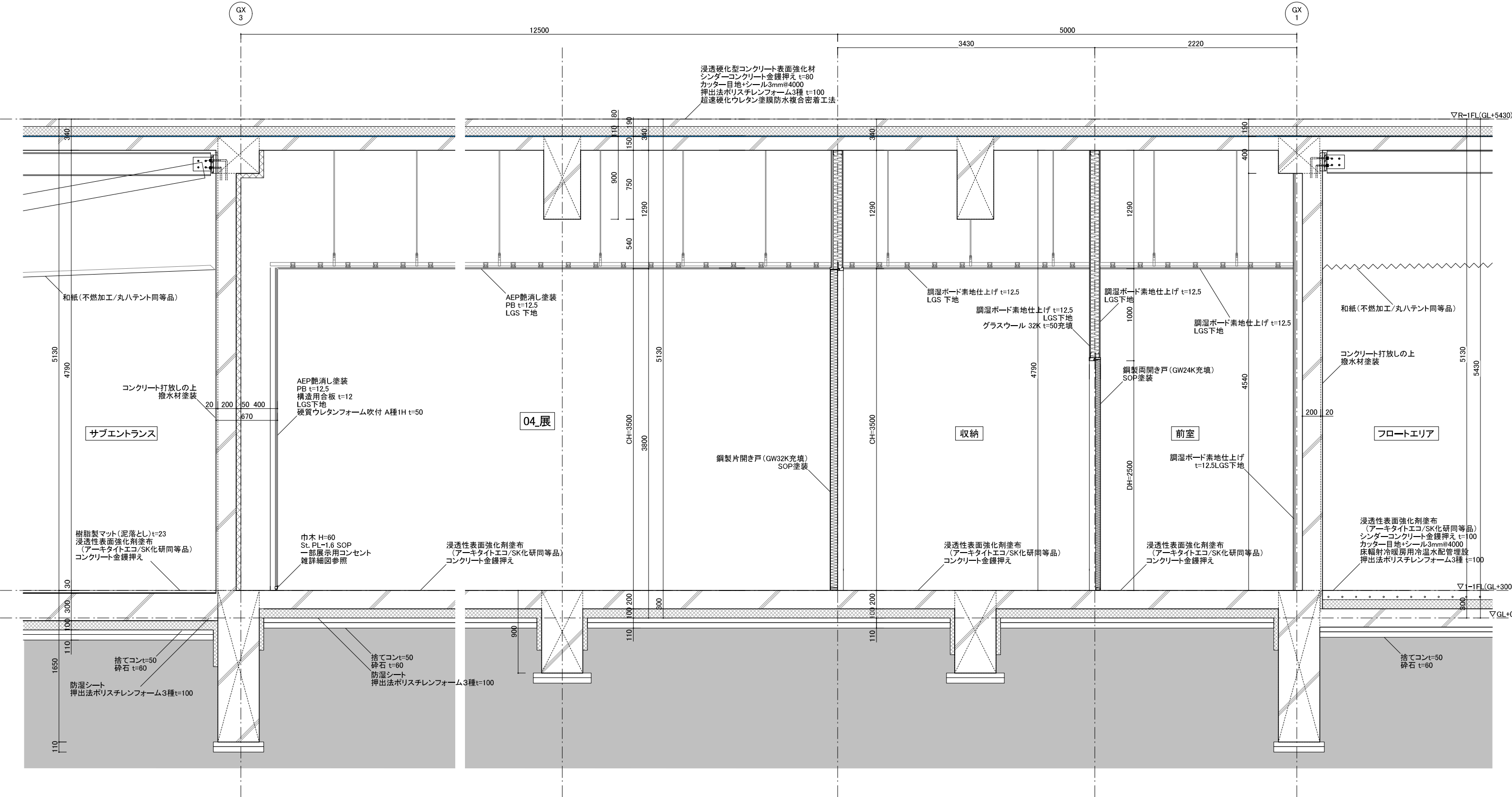




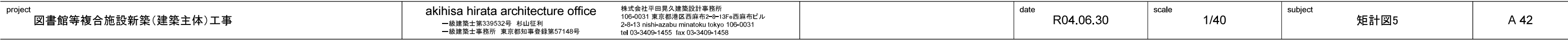




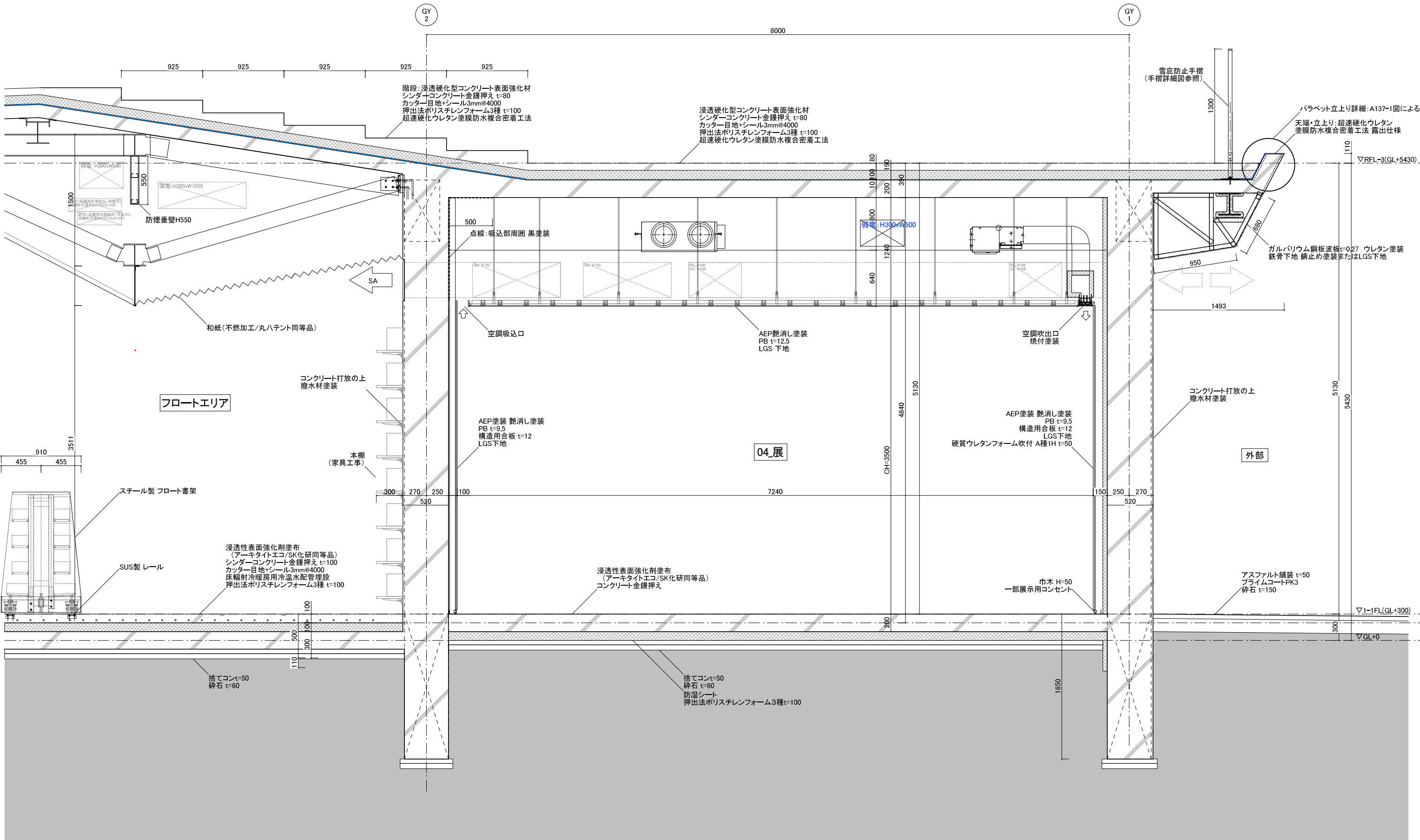




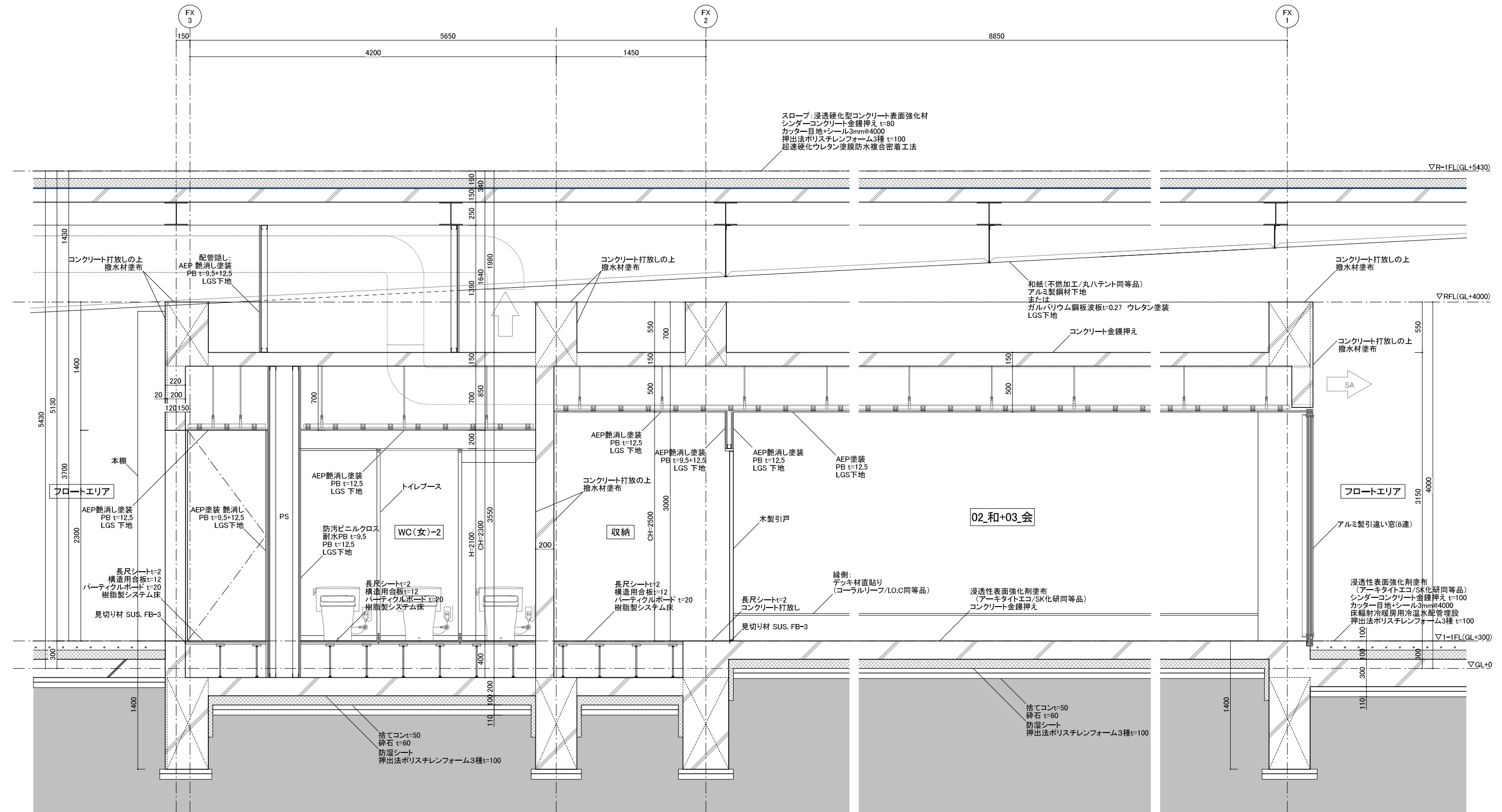




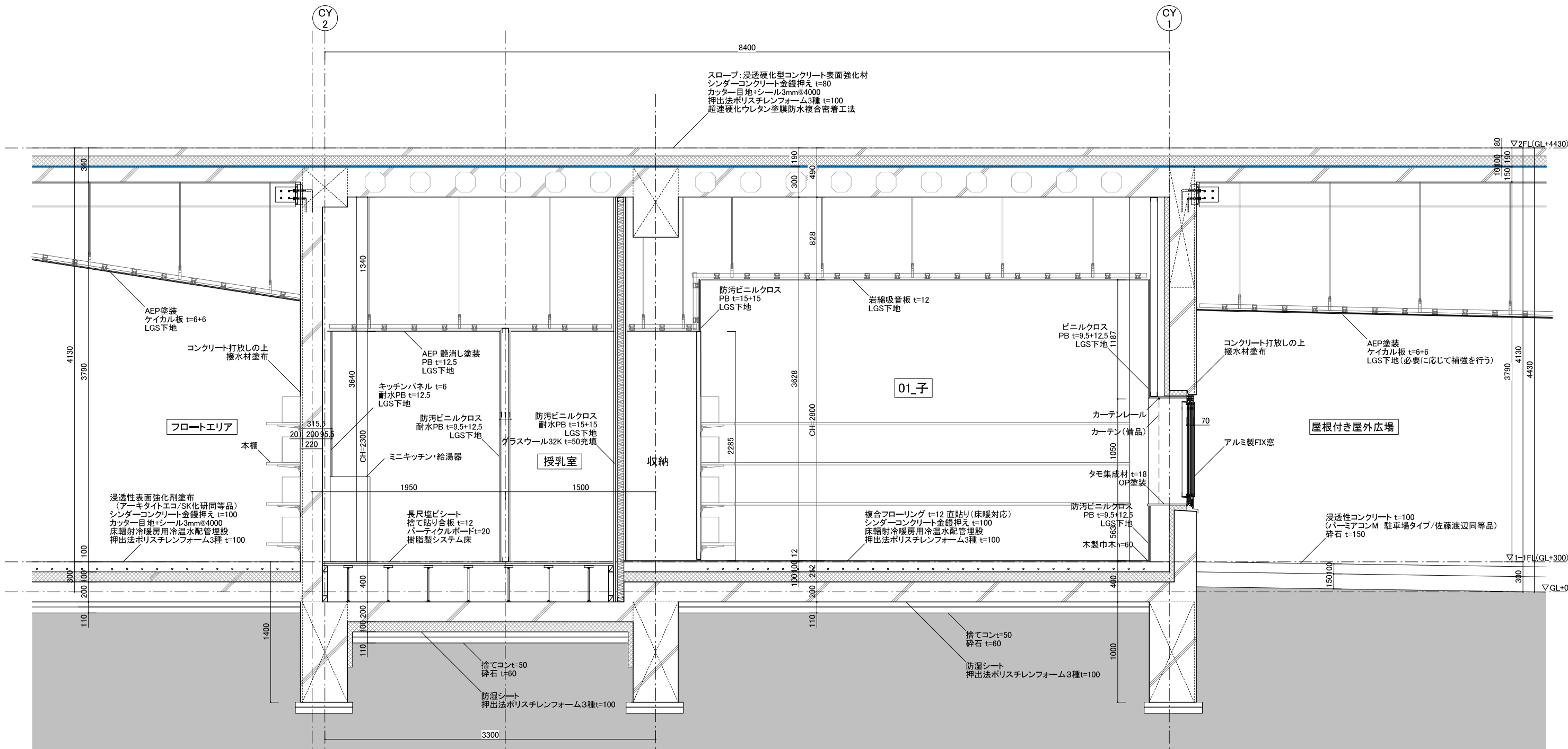








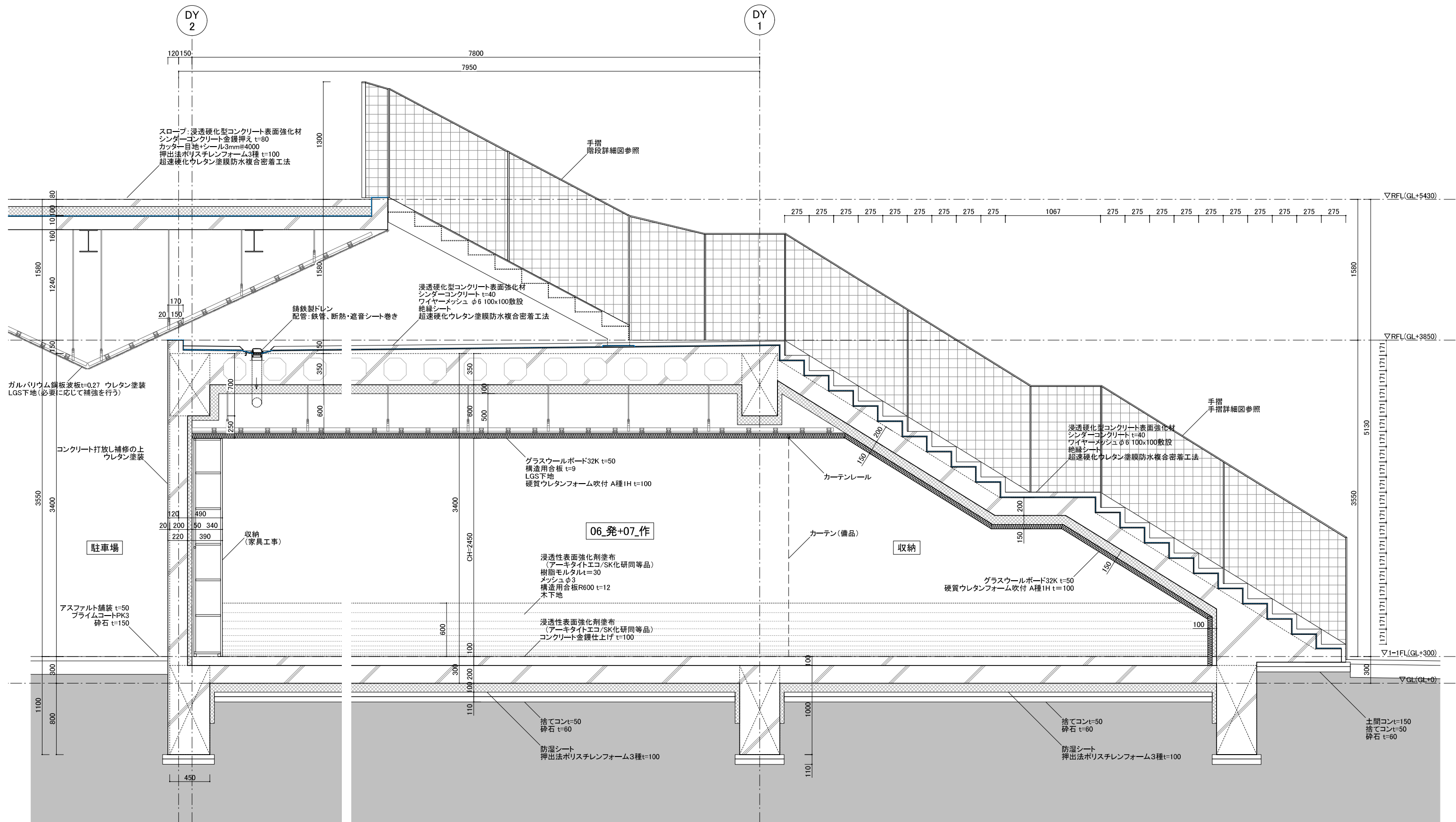




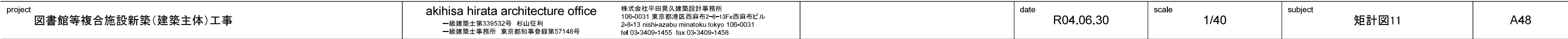




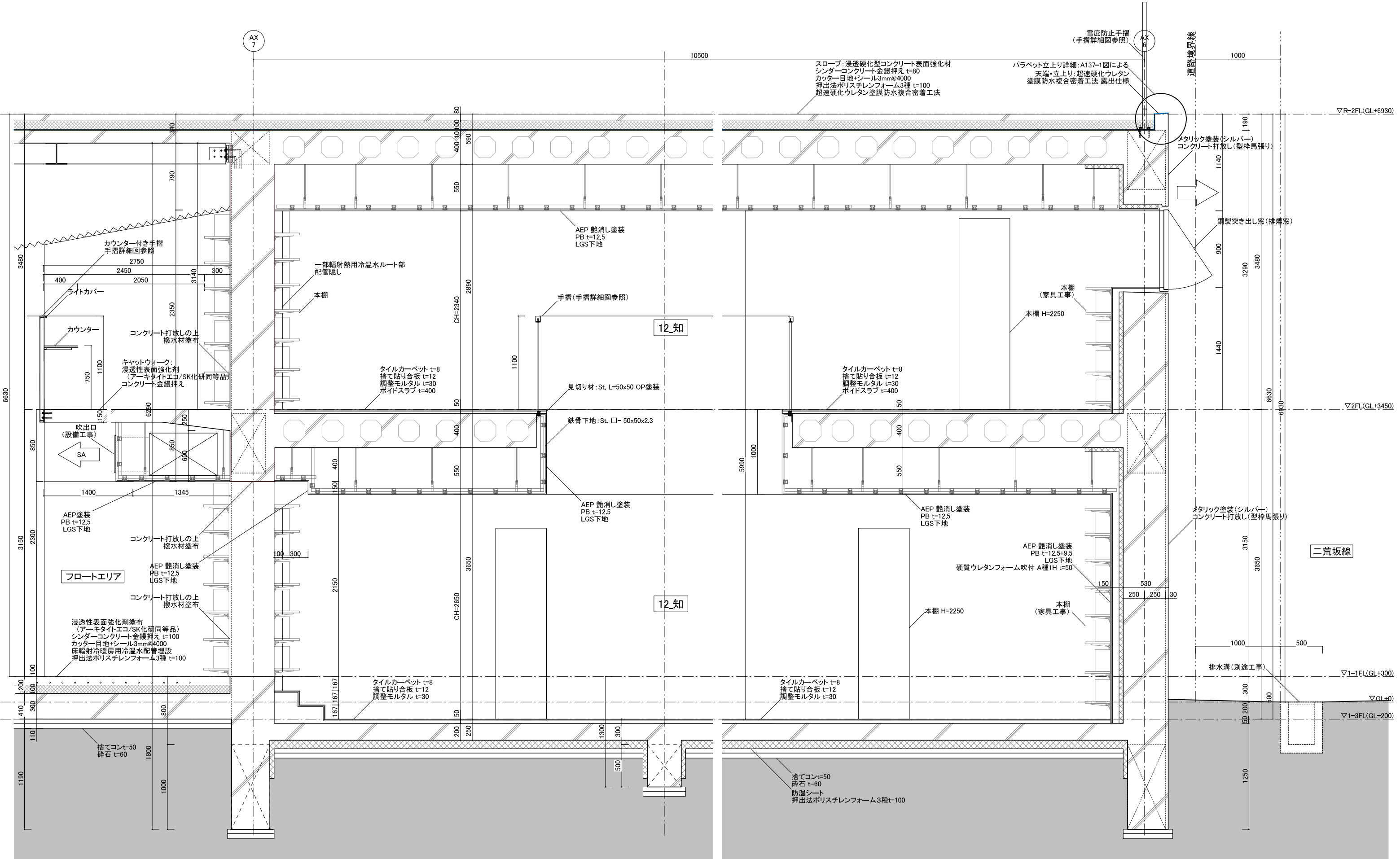




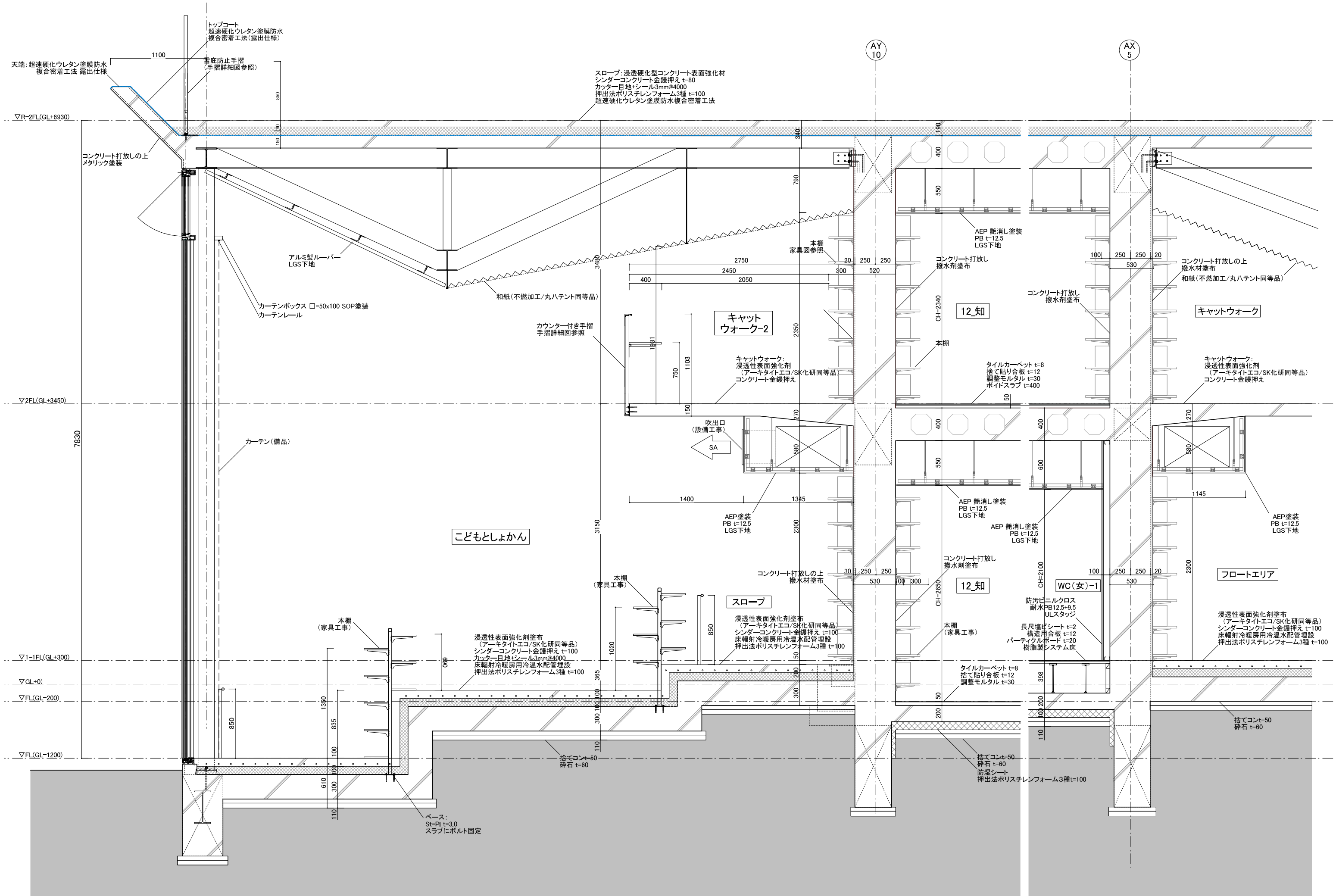




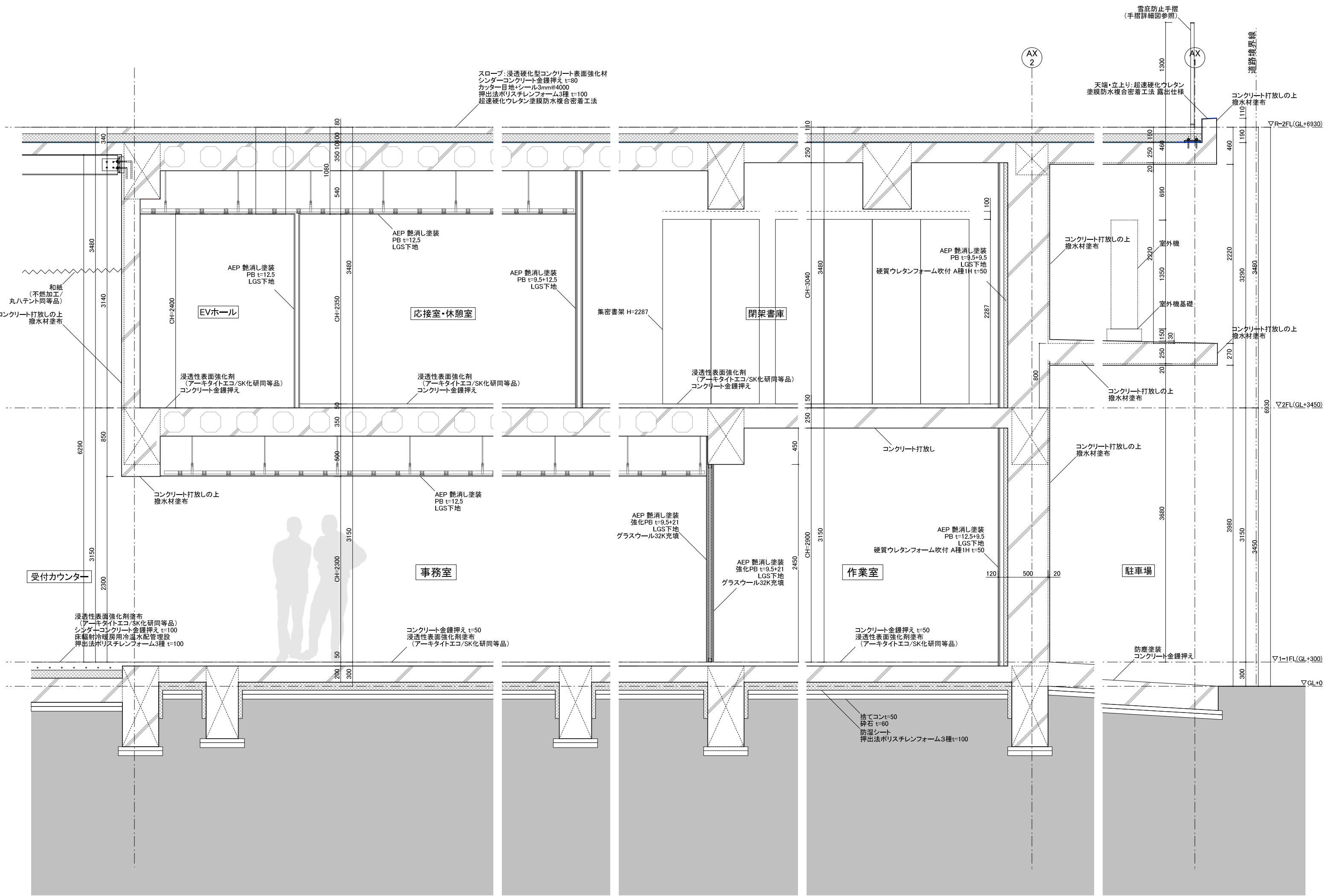




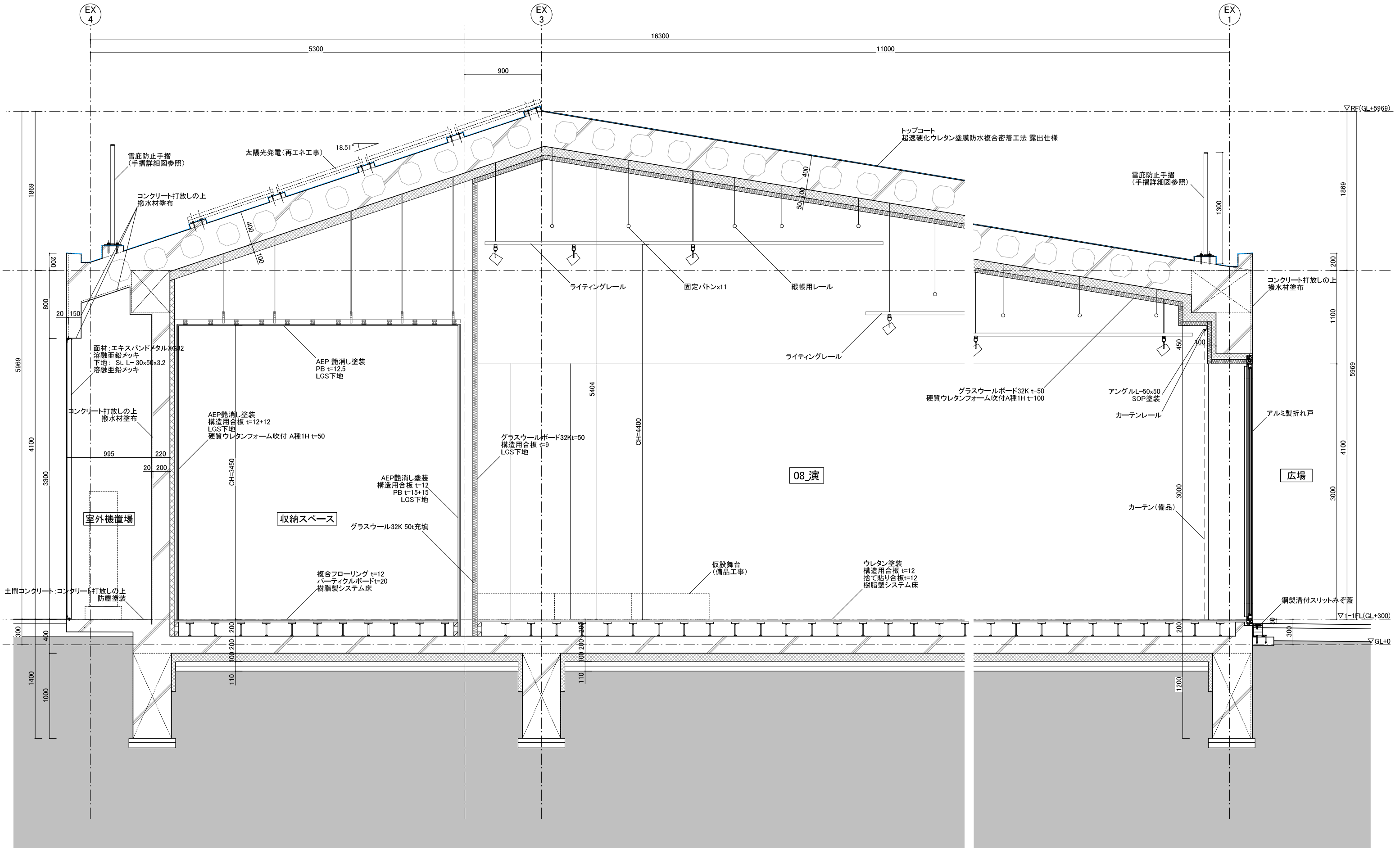




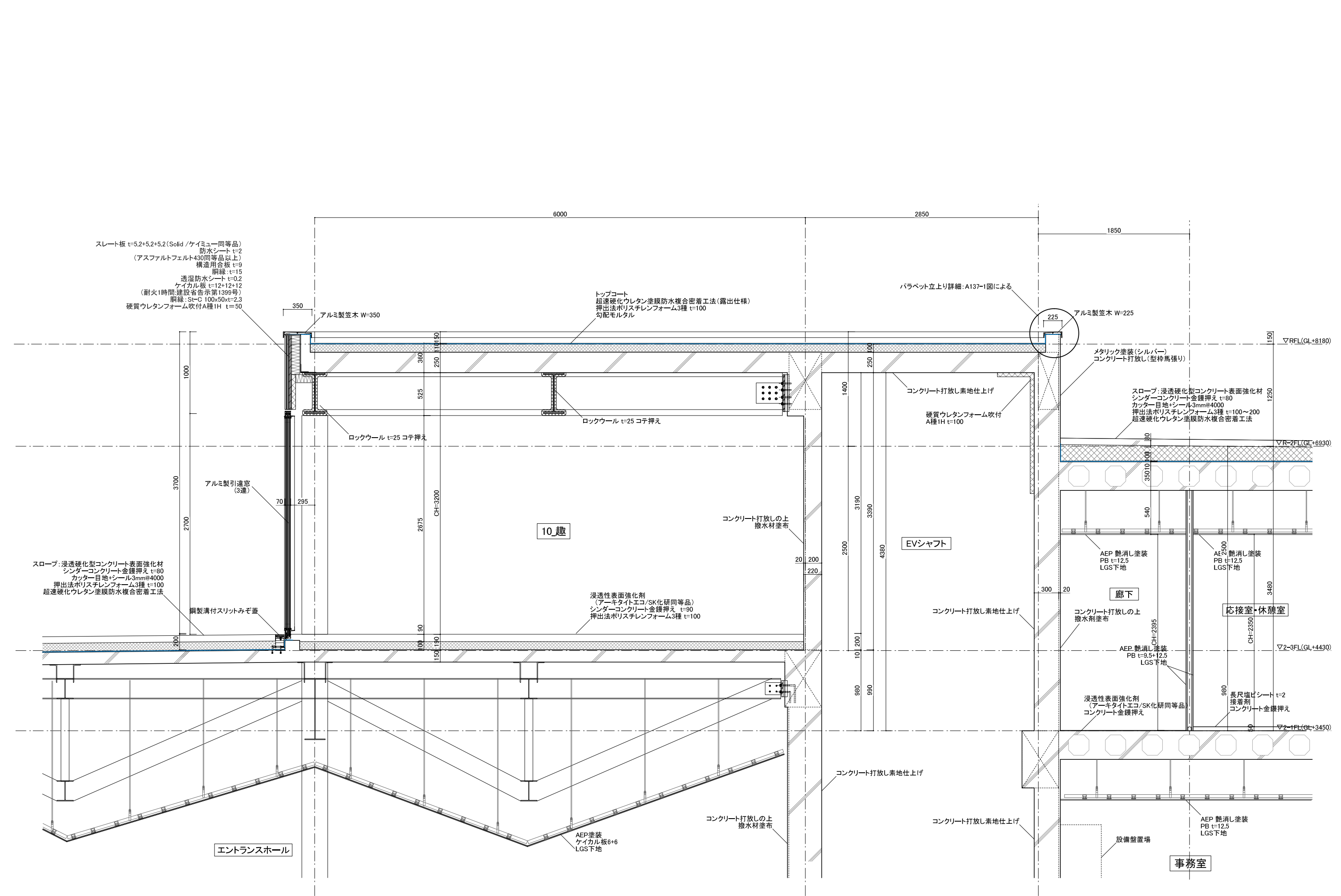




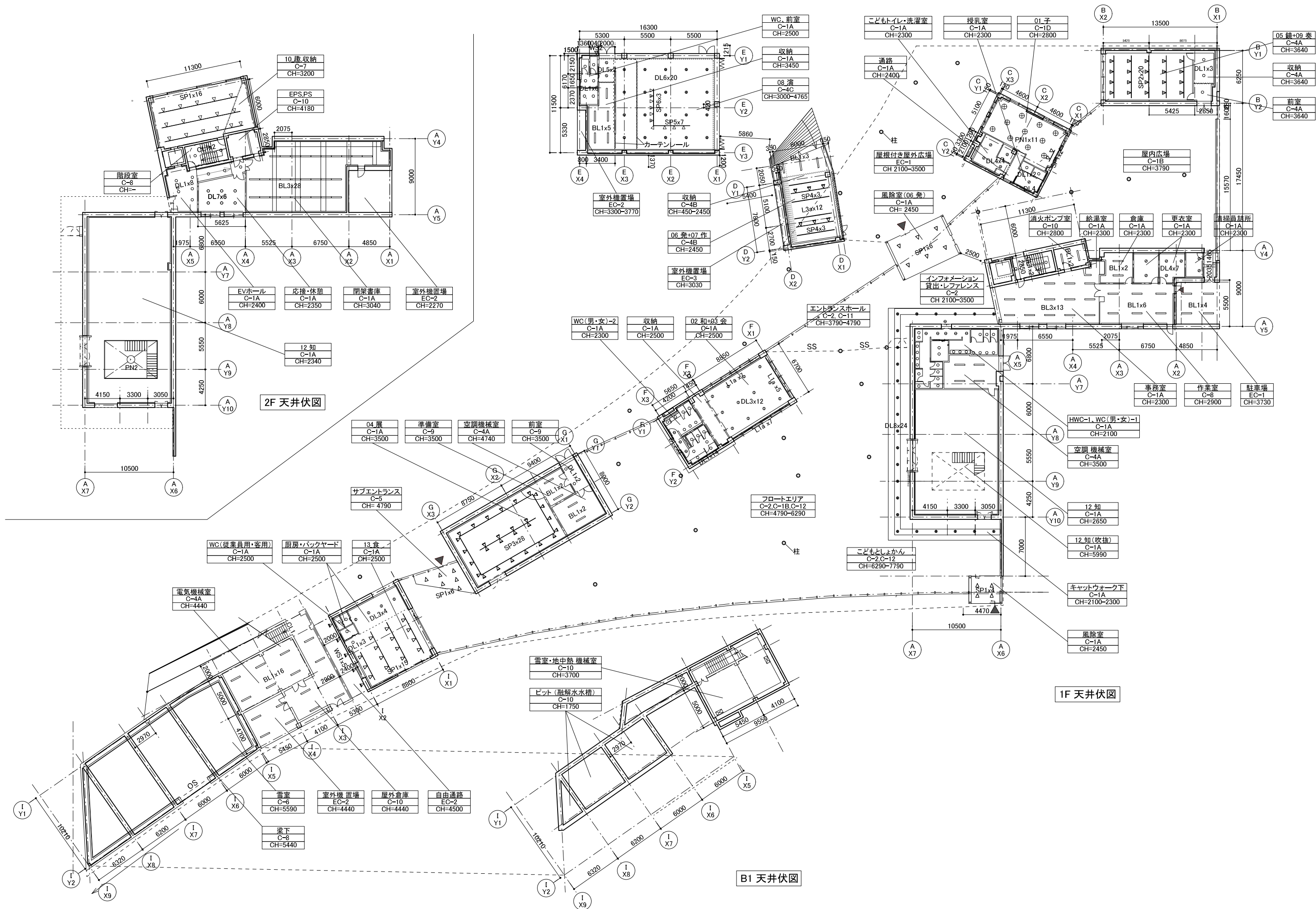




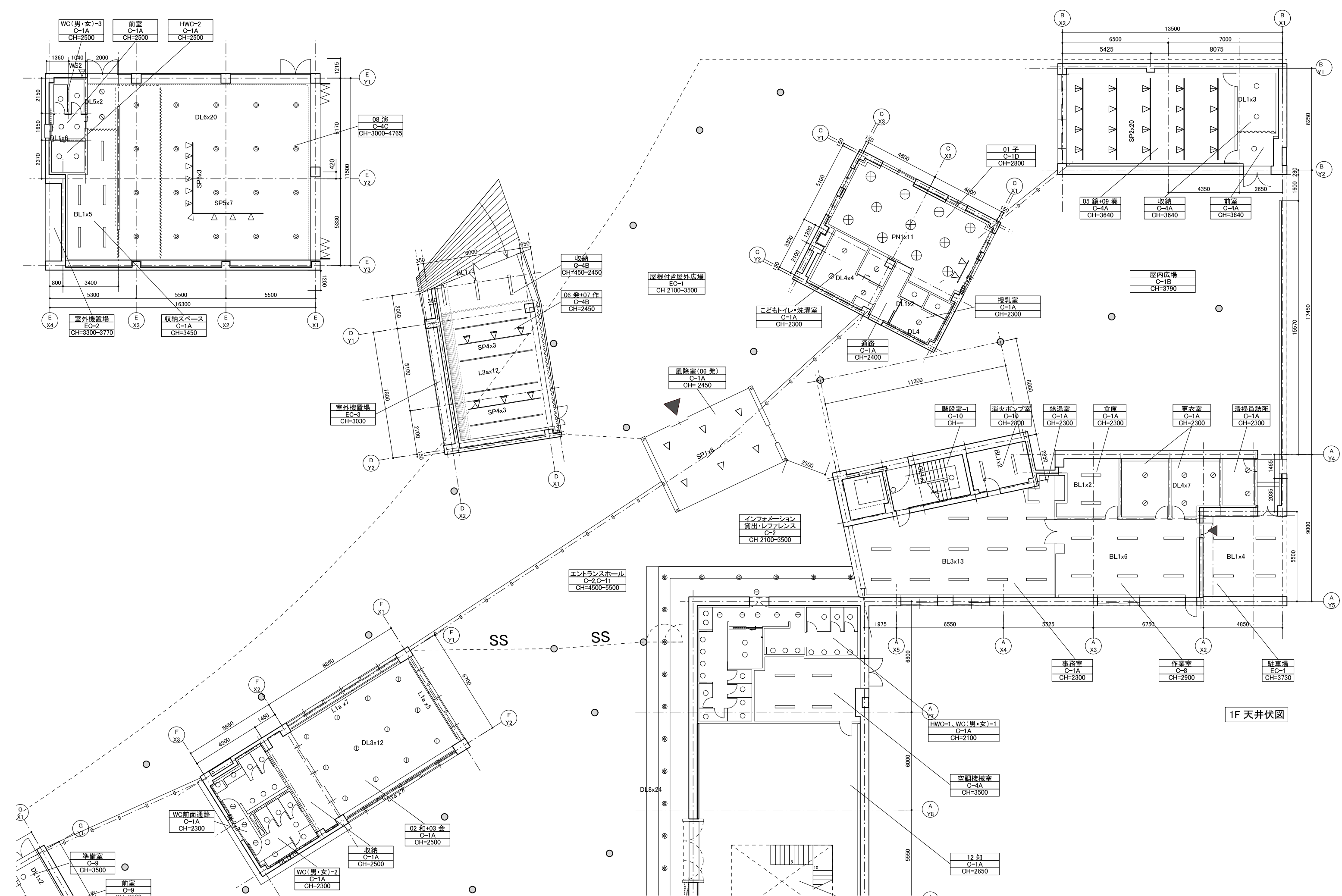




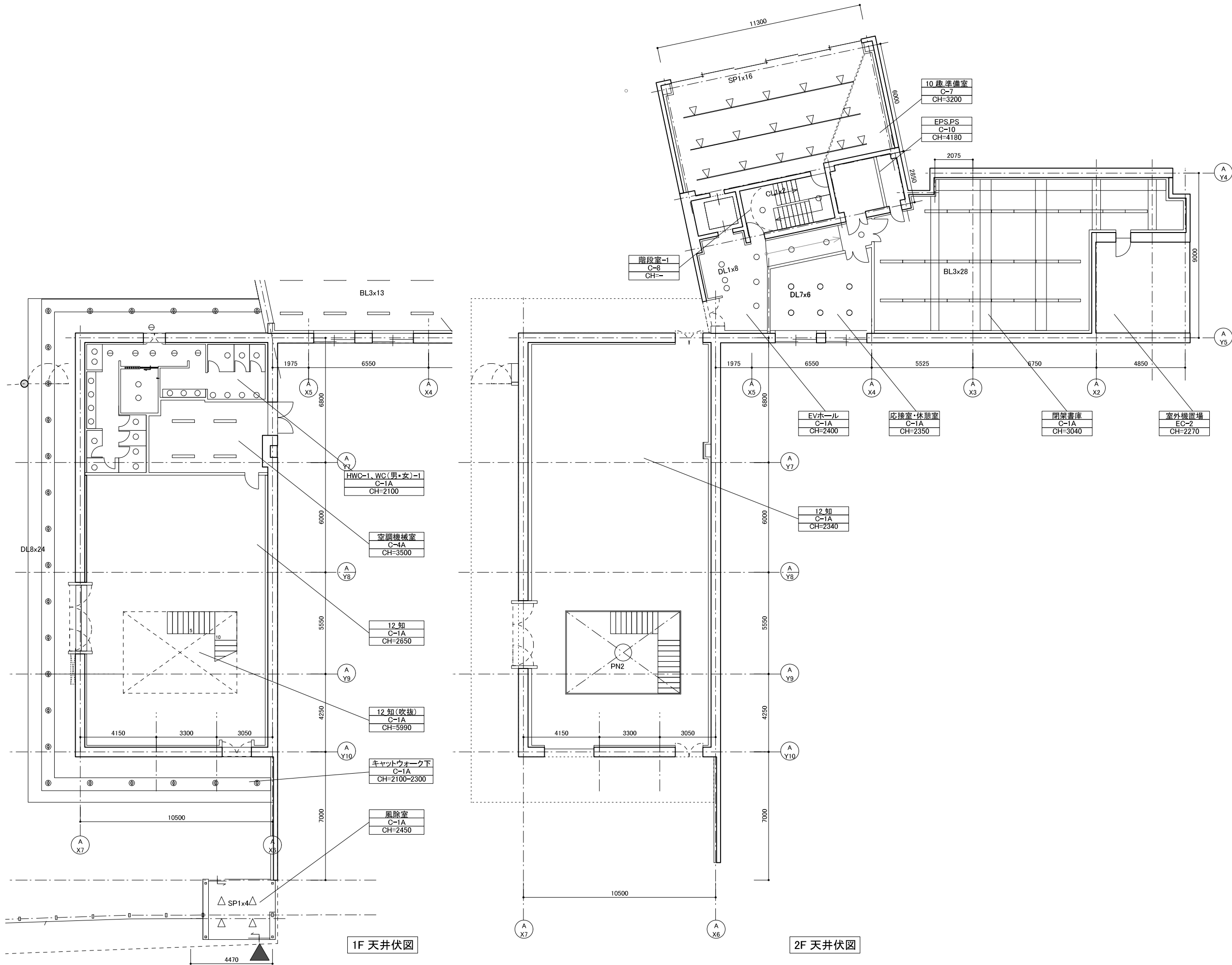










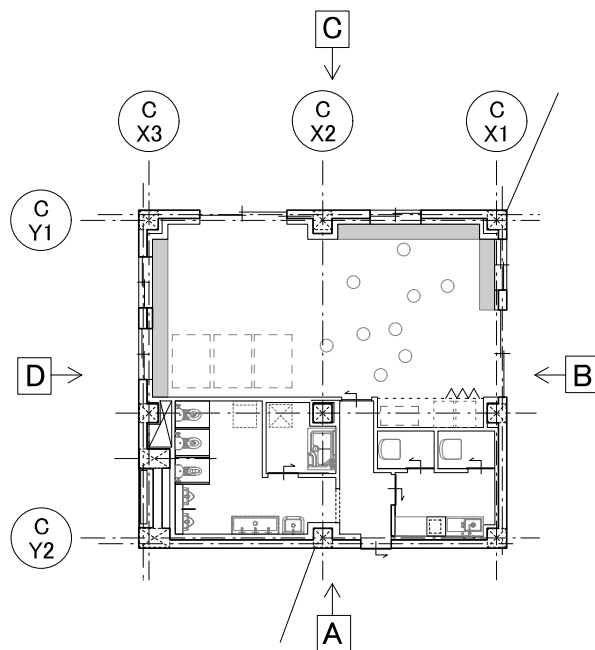




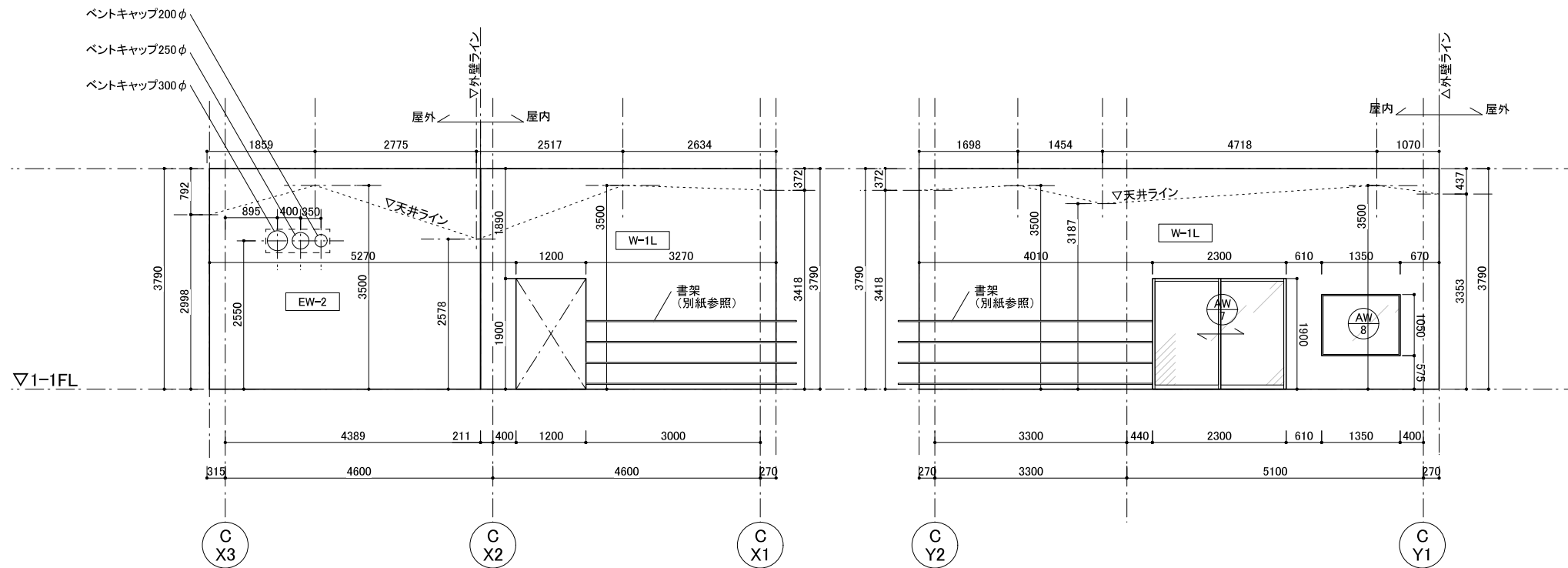




01\_子

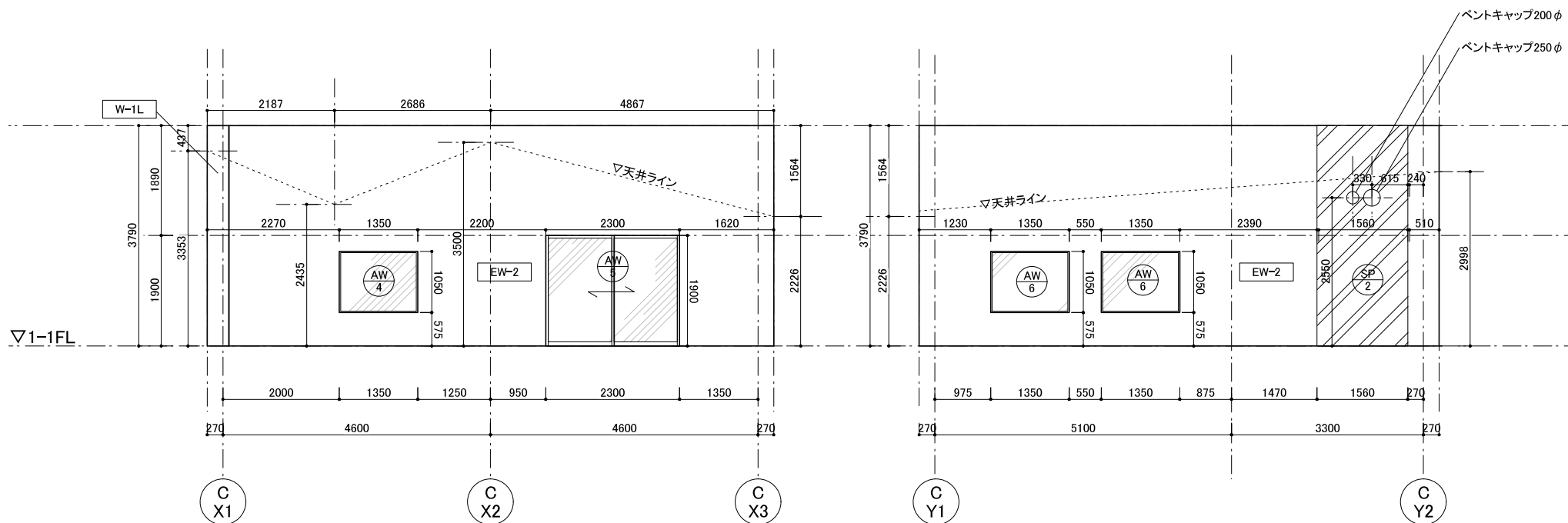


キープラン S=1/200



立面図A

立面図B

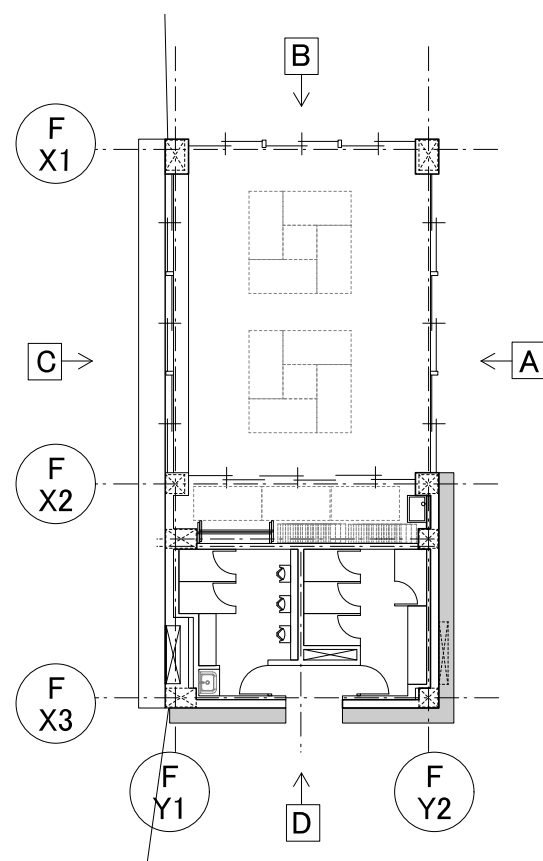


立面図C

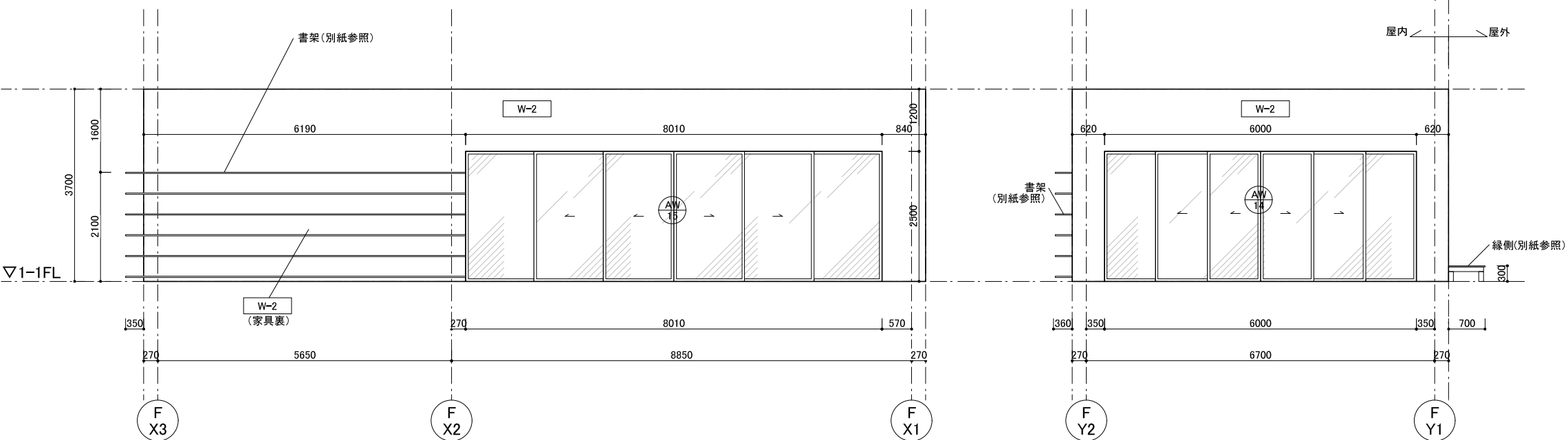
立面図D



02\_和 + 03\_会

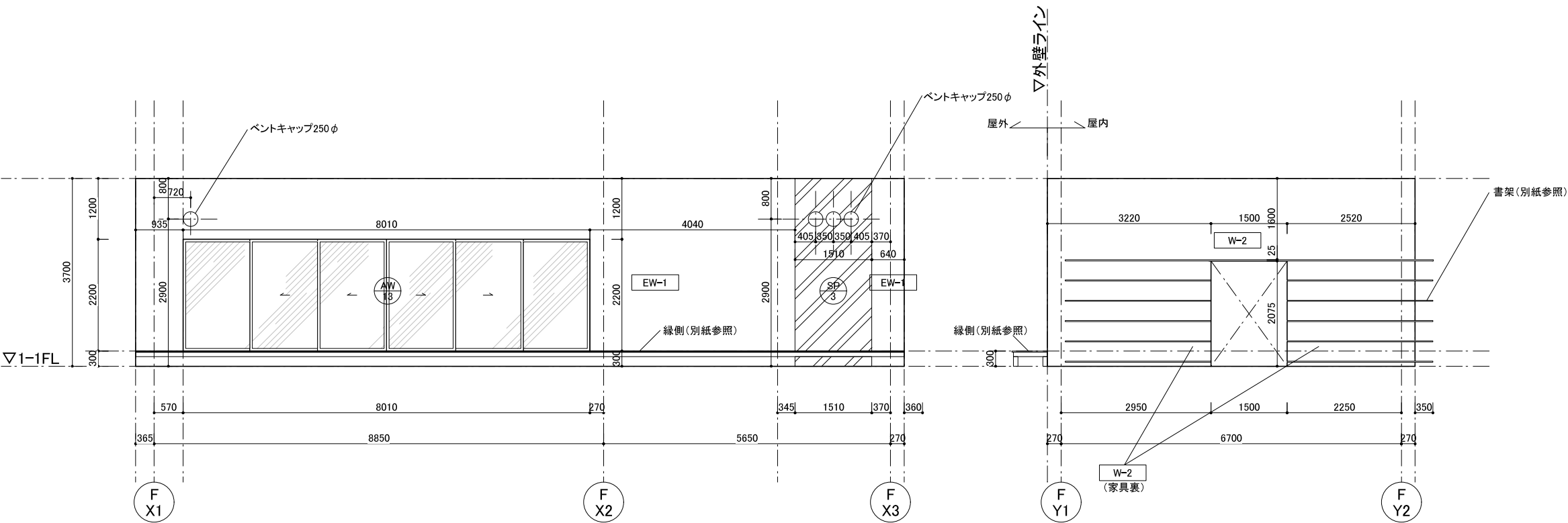


キープラン S=1/200



立面図A

立面図B

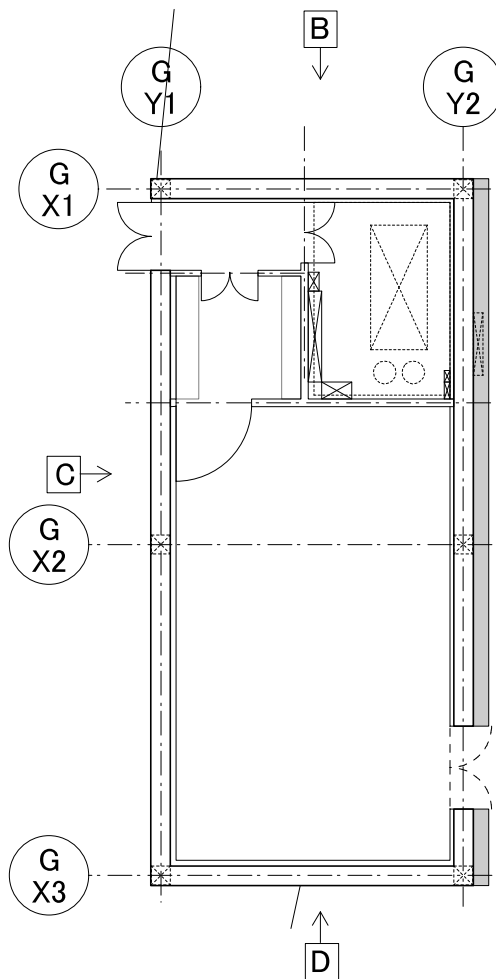


立面図C

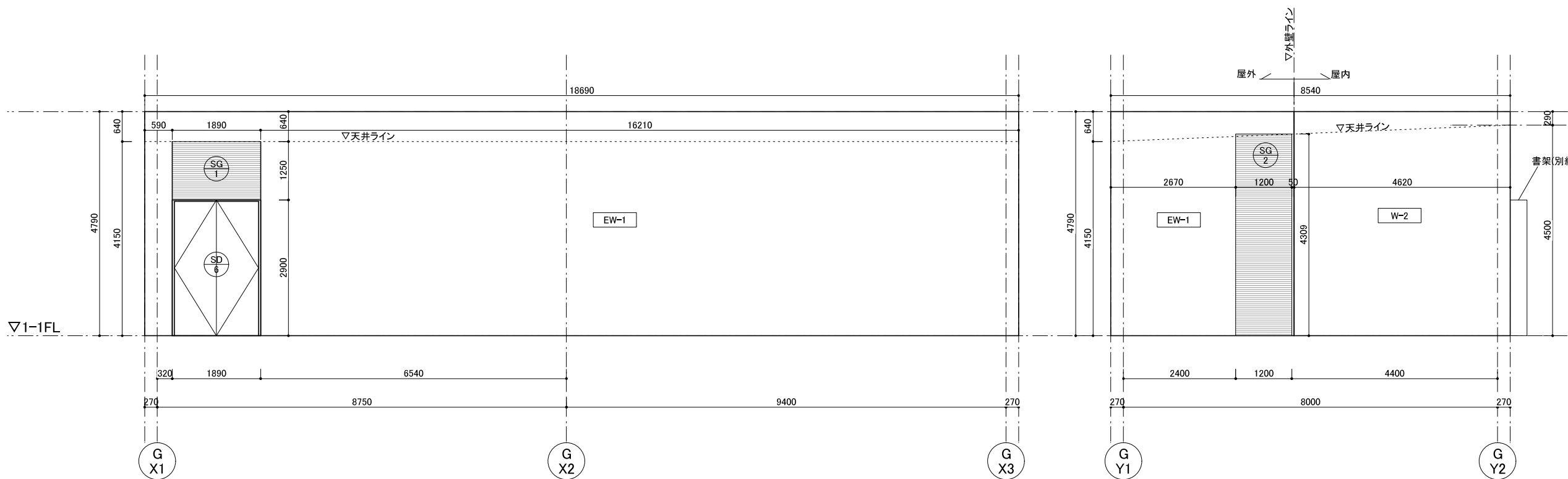
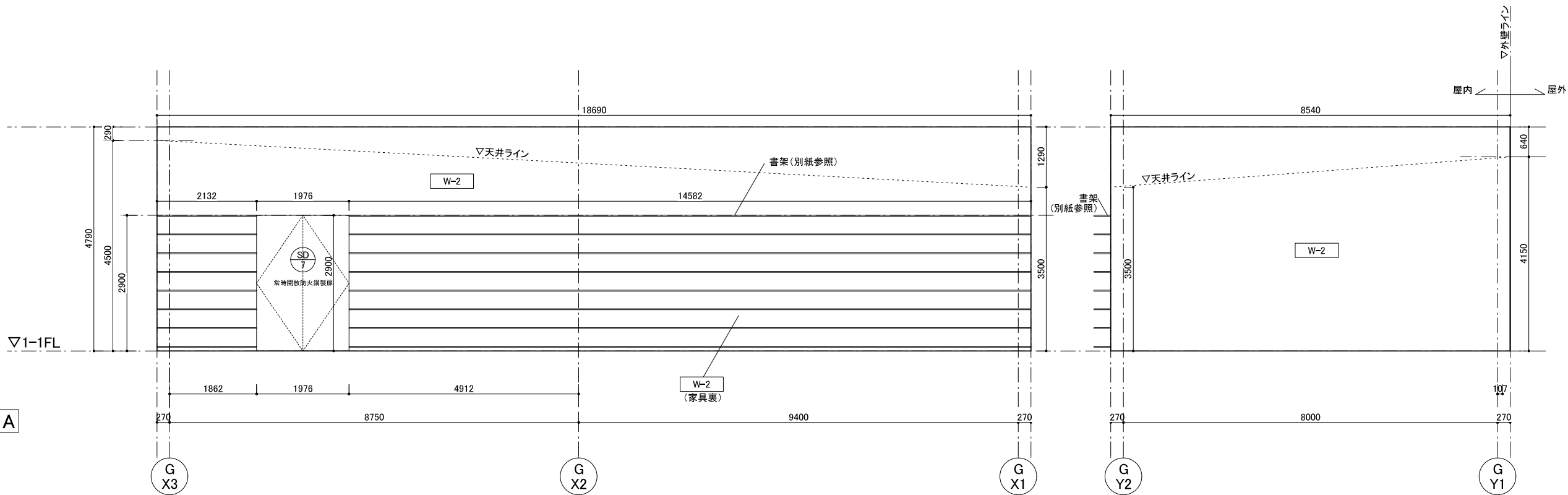
立面図D



04\_展

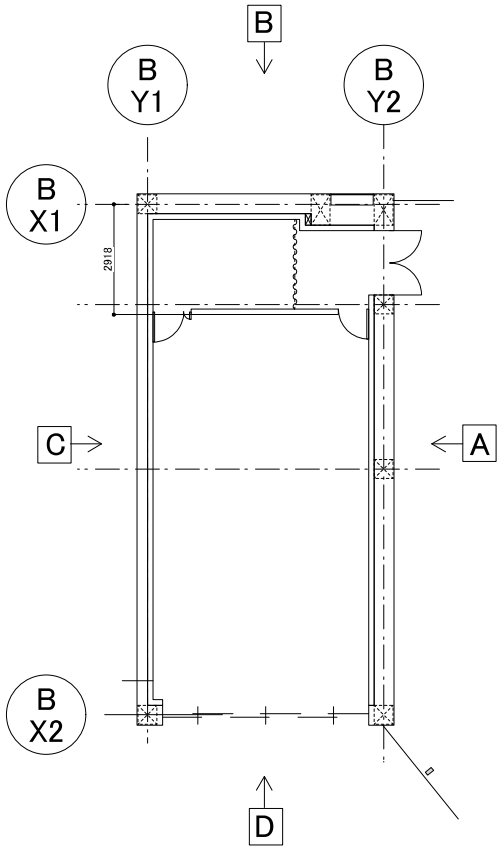


キープラン S=1/200

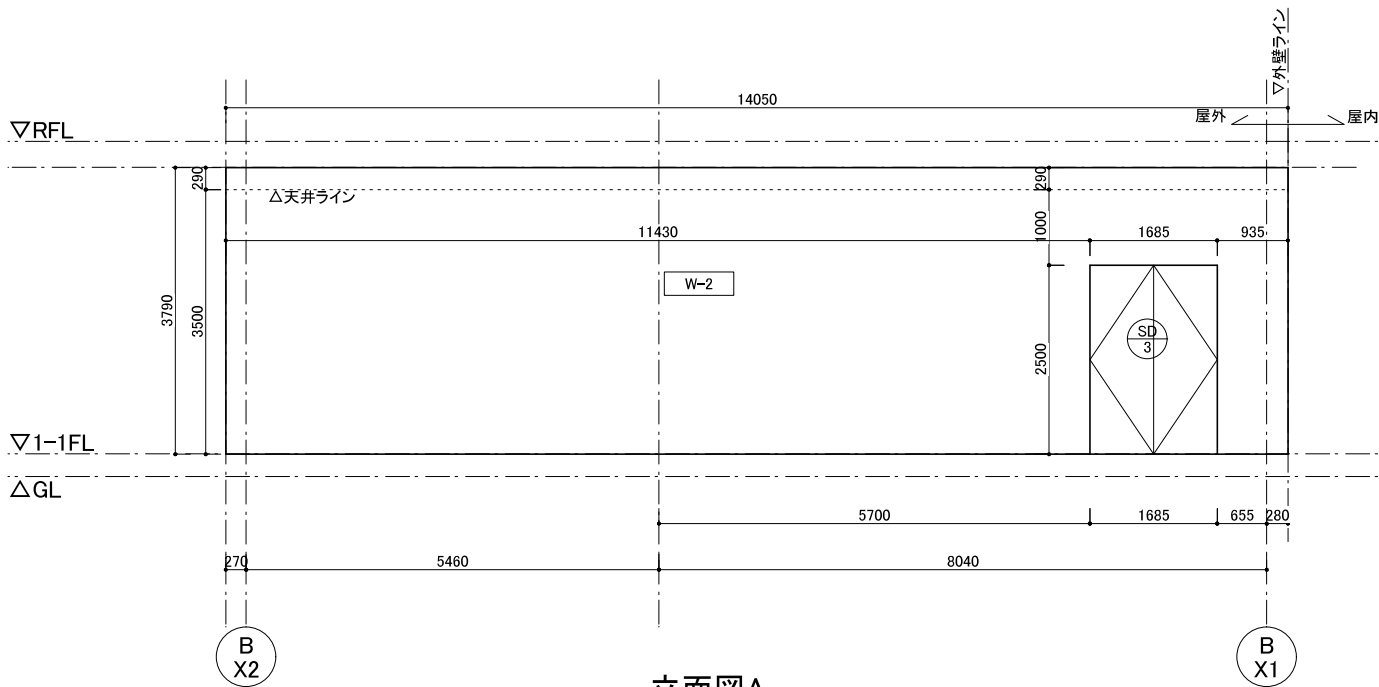




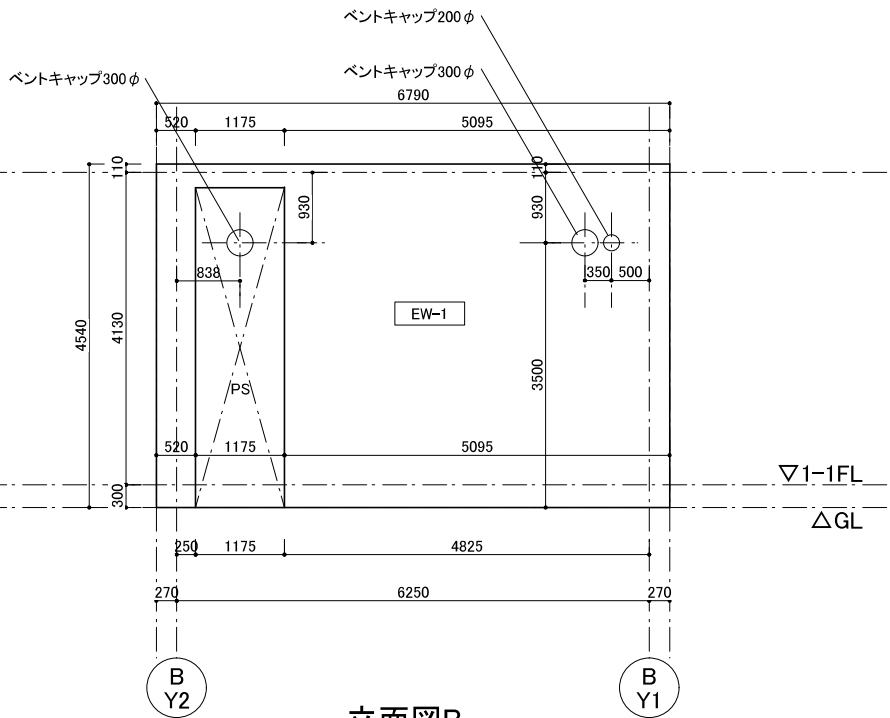
05\_鏡 + 09\_奏



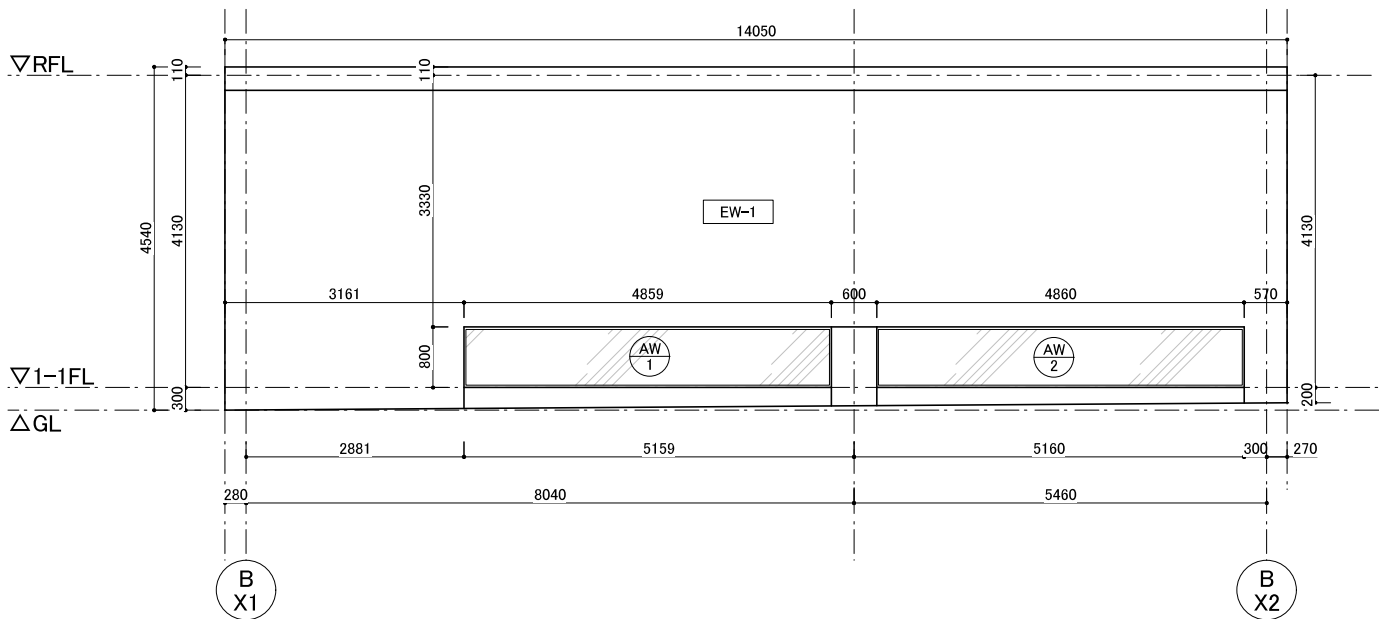
キープラン S=1/200



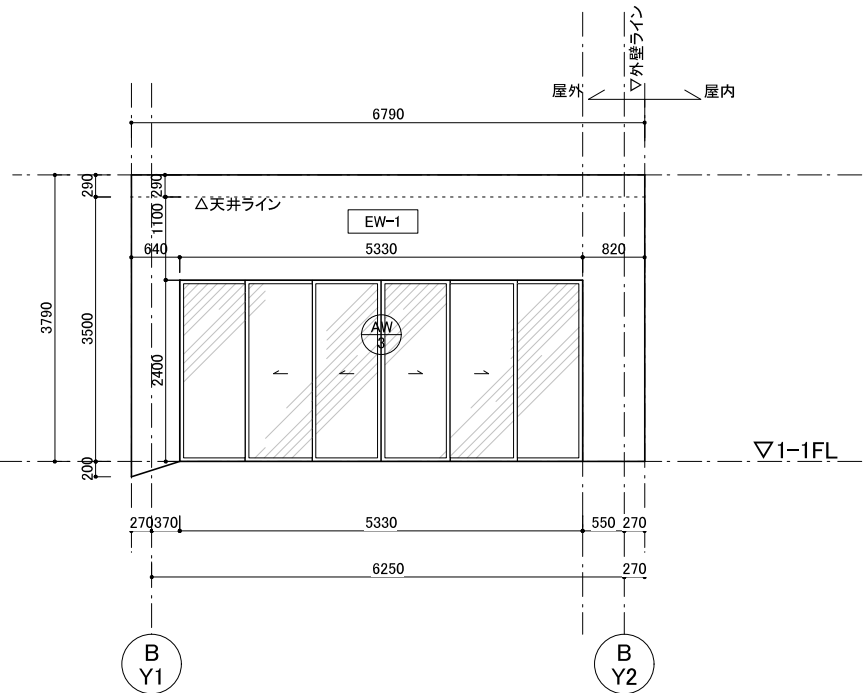
立面図A



立面図B

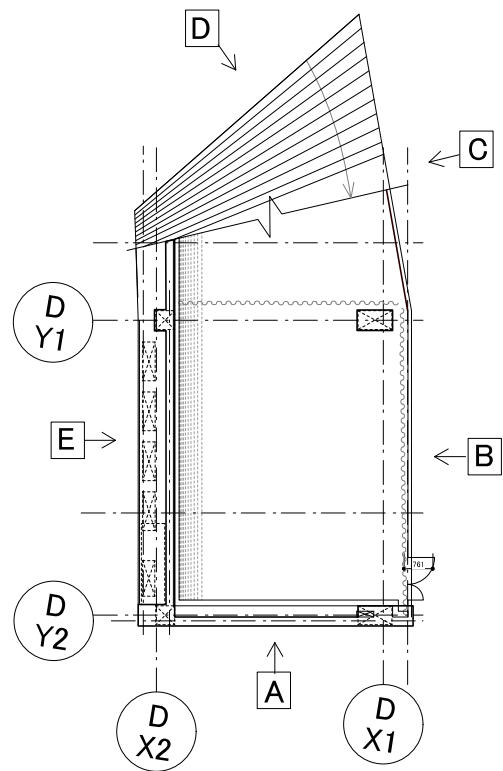


立面図C

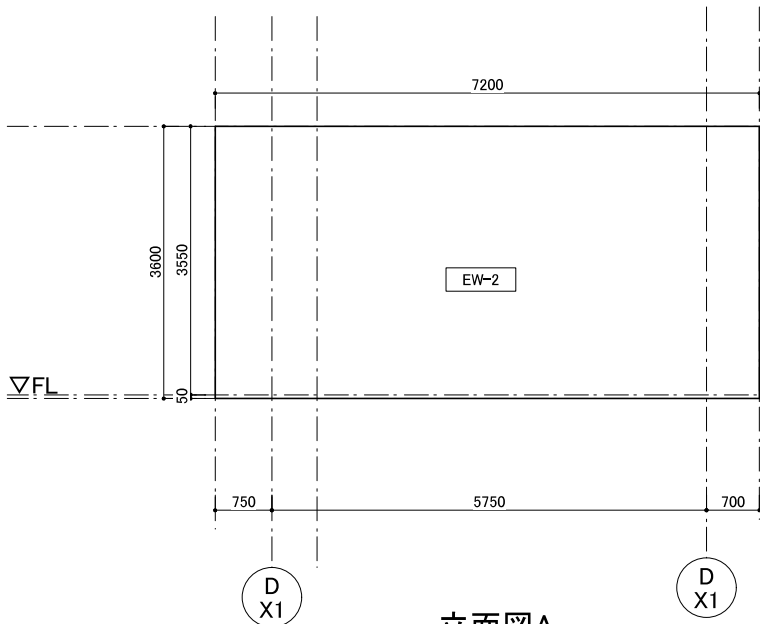


立面図D

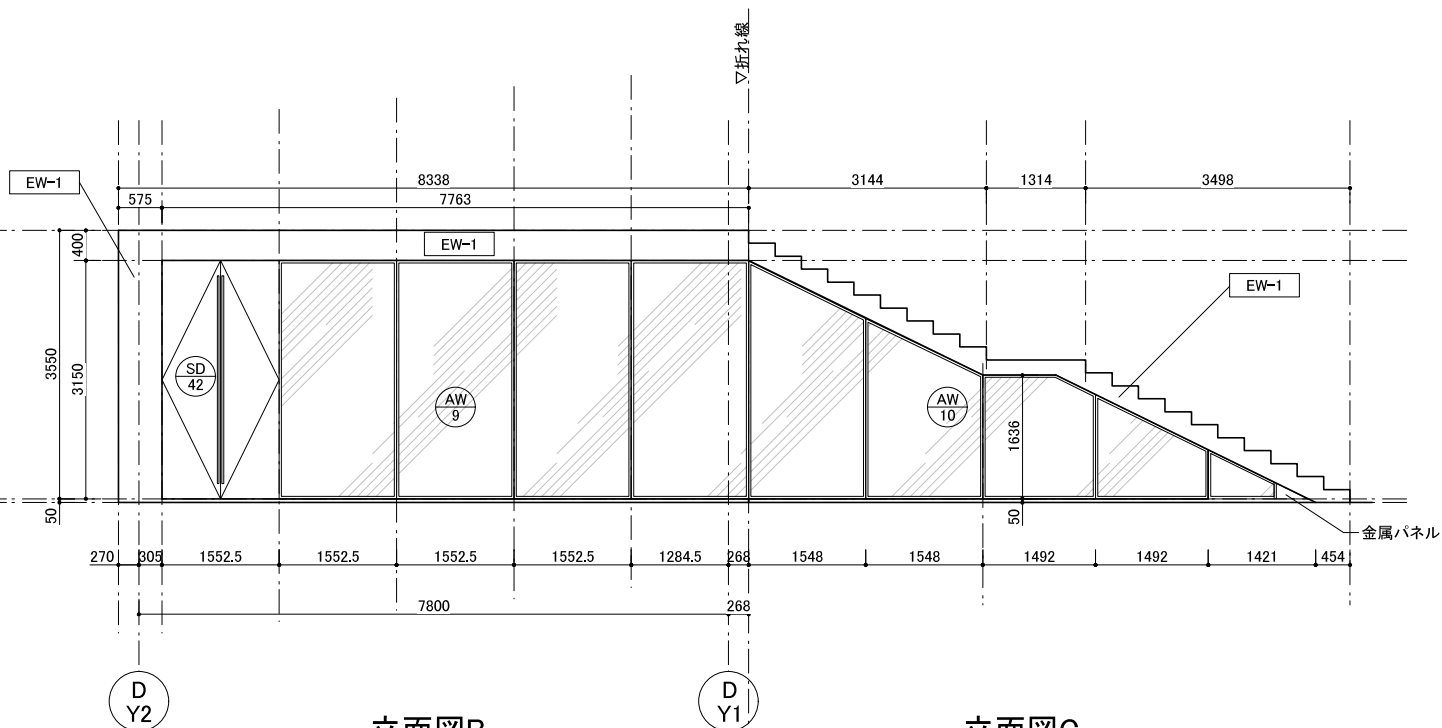




キープラン S=1/200

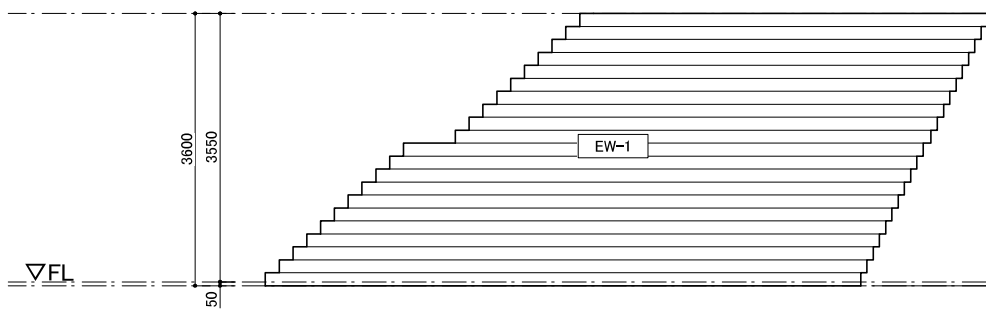


立面図A

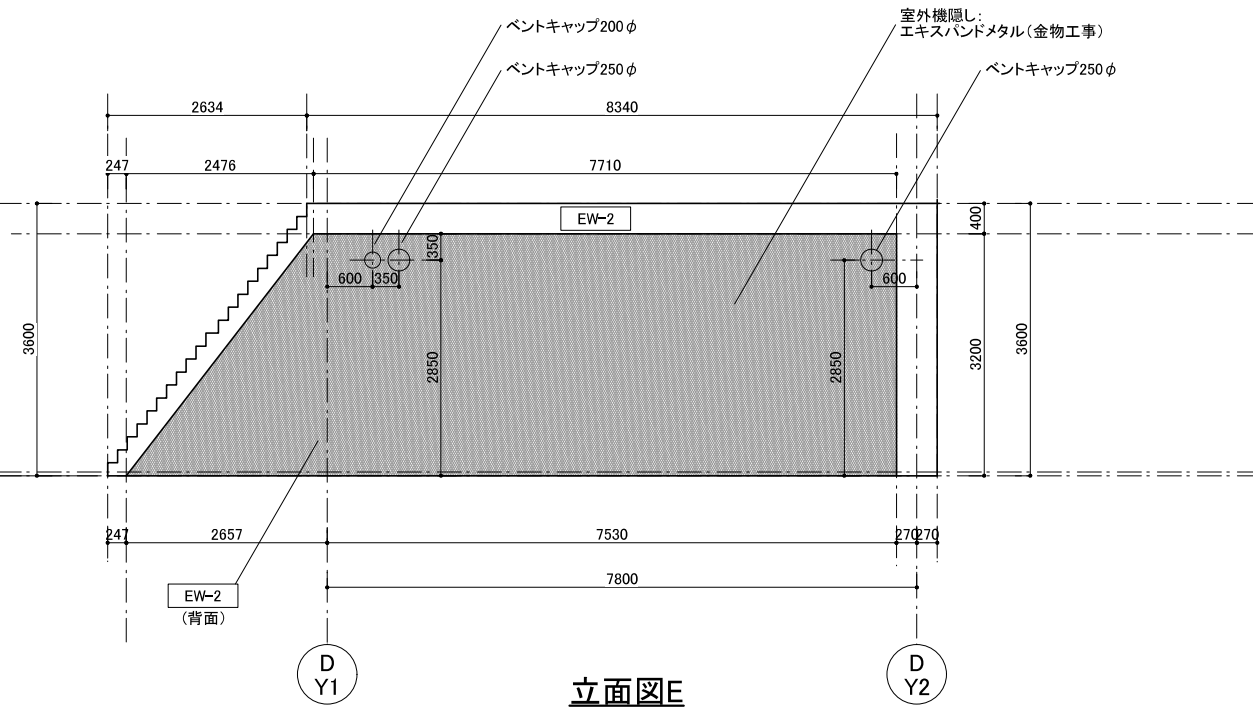


立面図B

立面図C



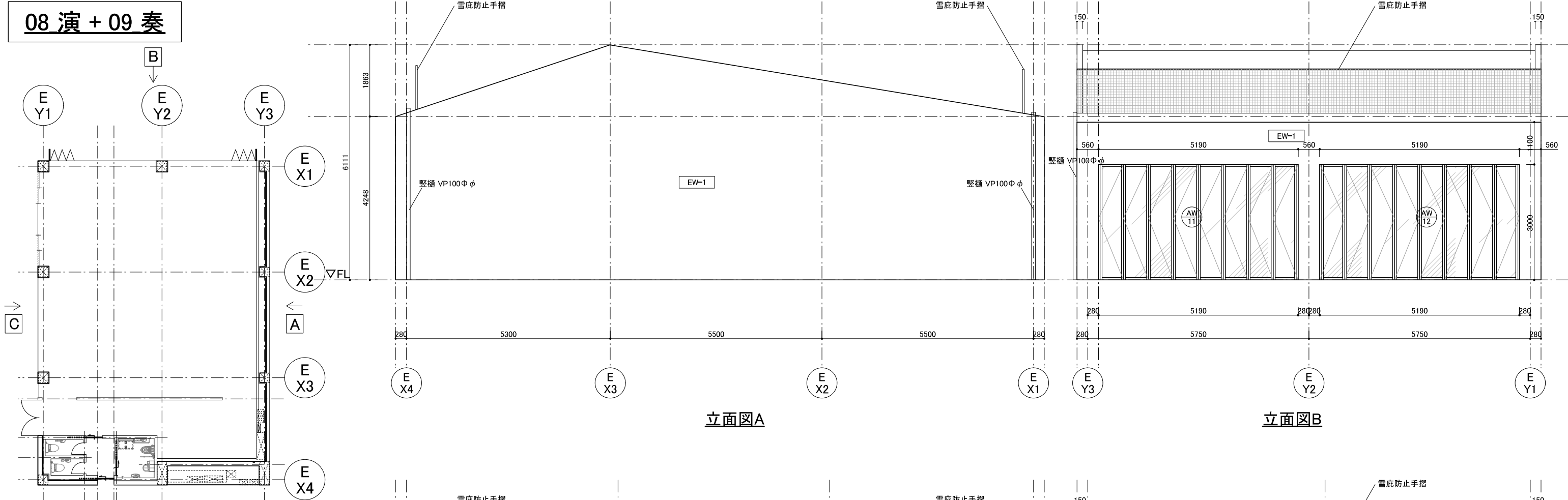
立面図D



立面図E

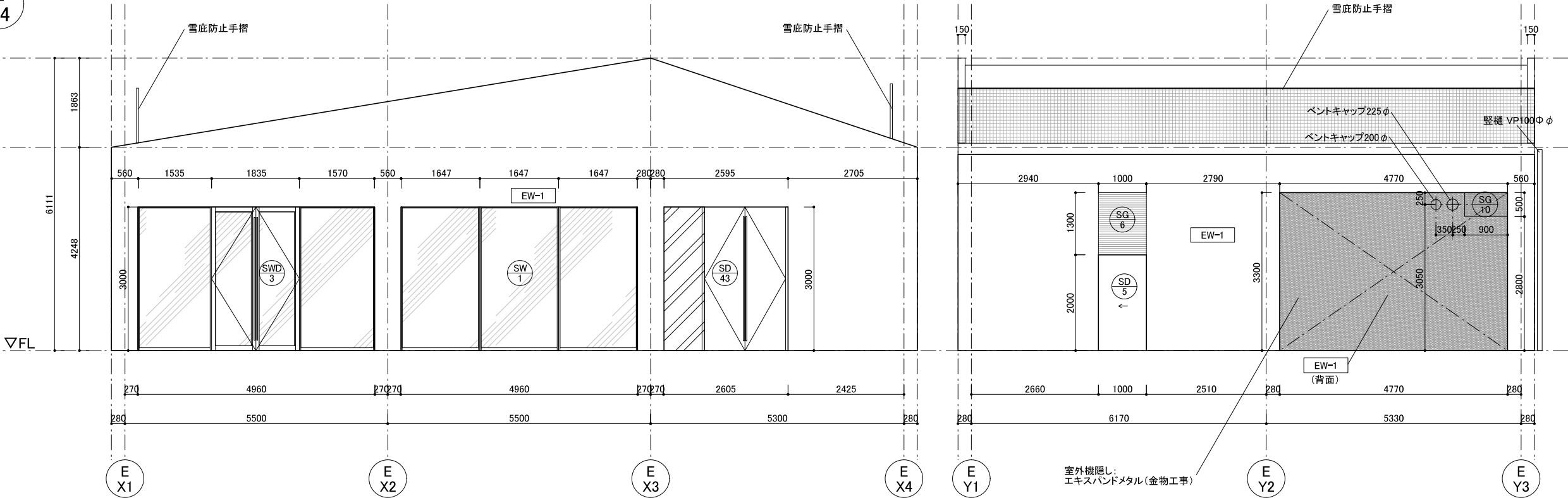


08 演 + 09 奏



立面図A

立面図B

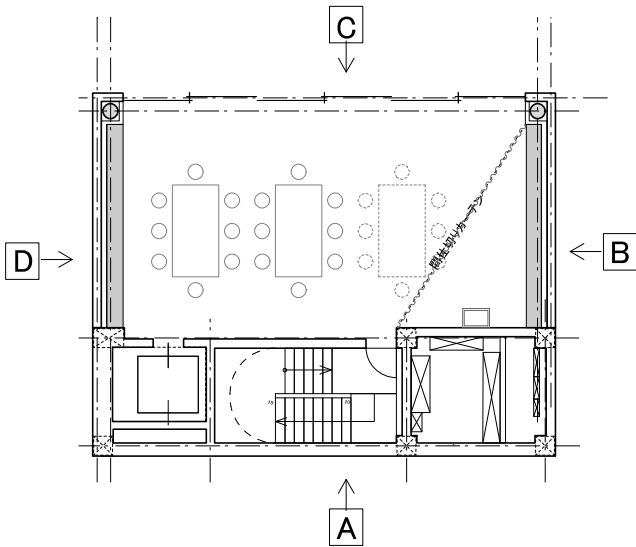


立面図C

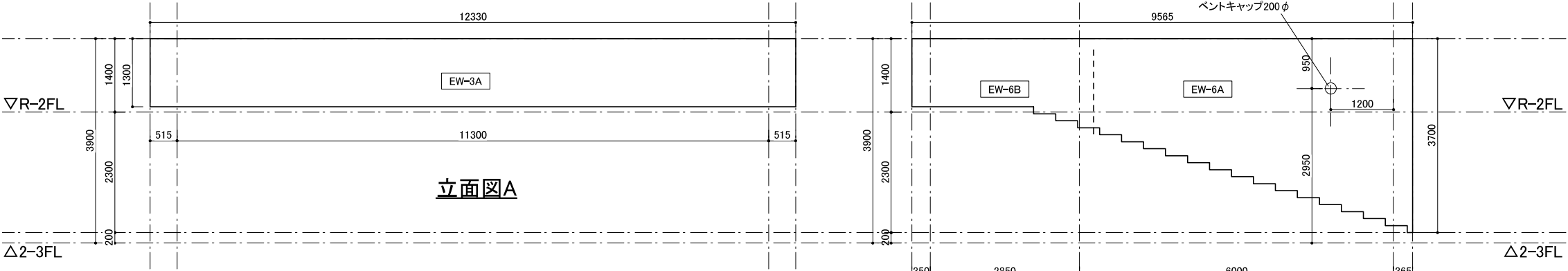
立面図D



10 趣

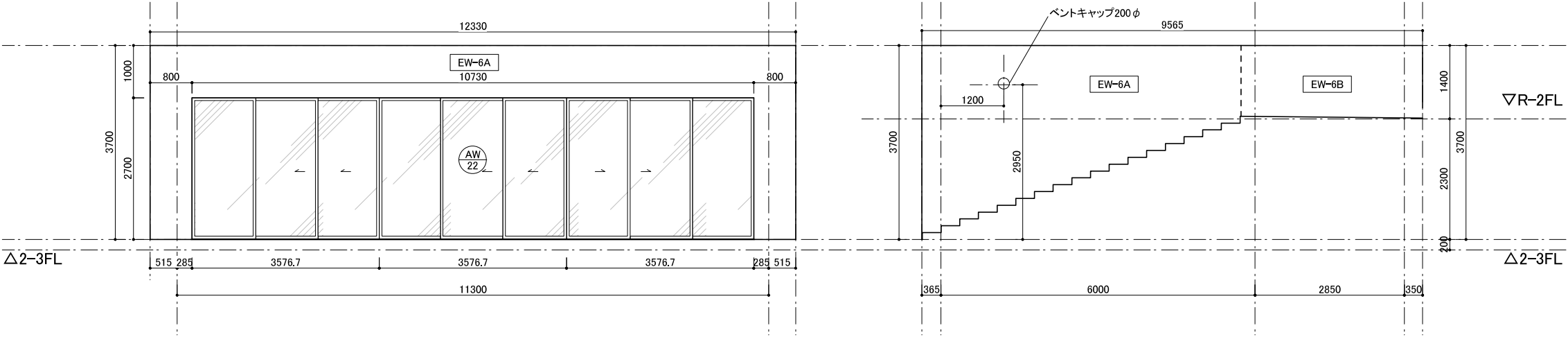


キープラン S=1/200



立面図A

立面図B

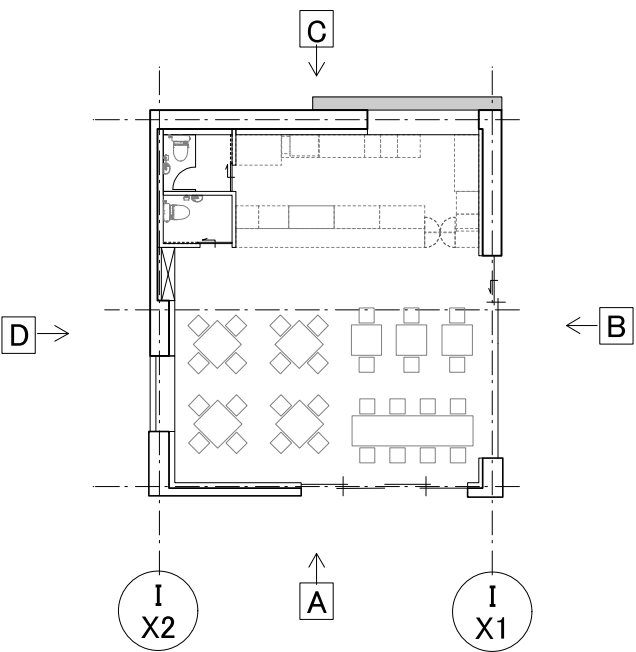


立面図C

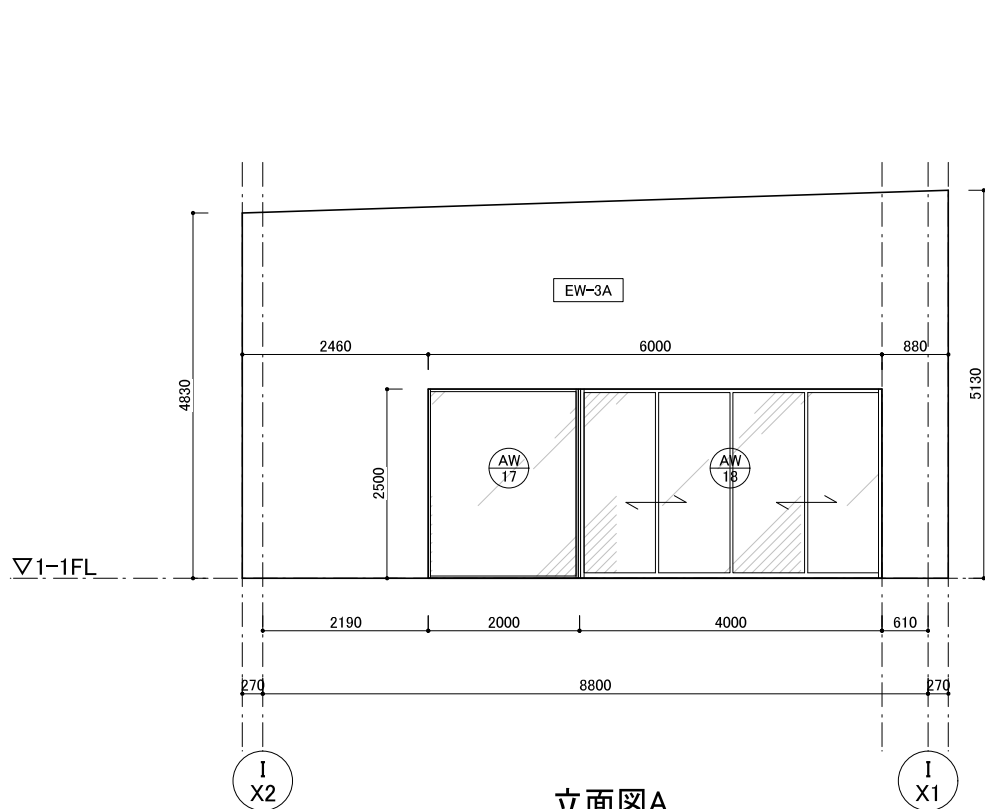
立面図D



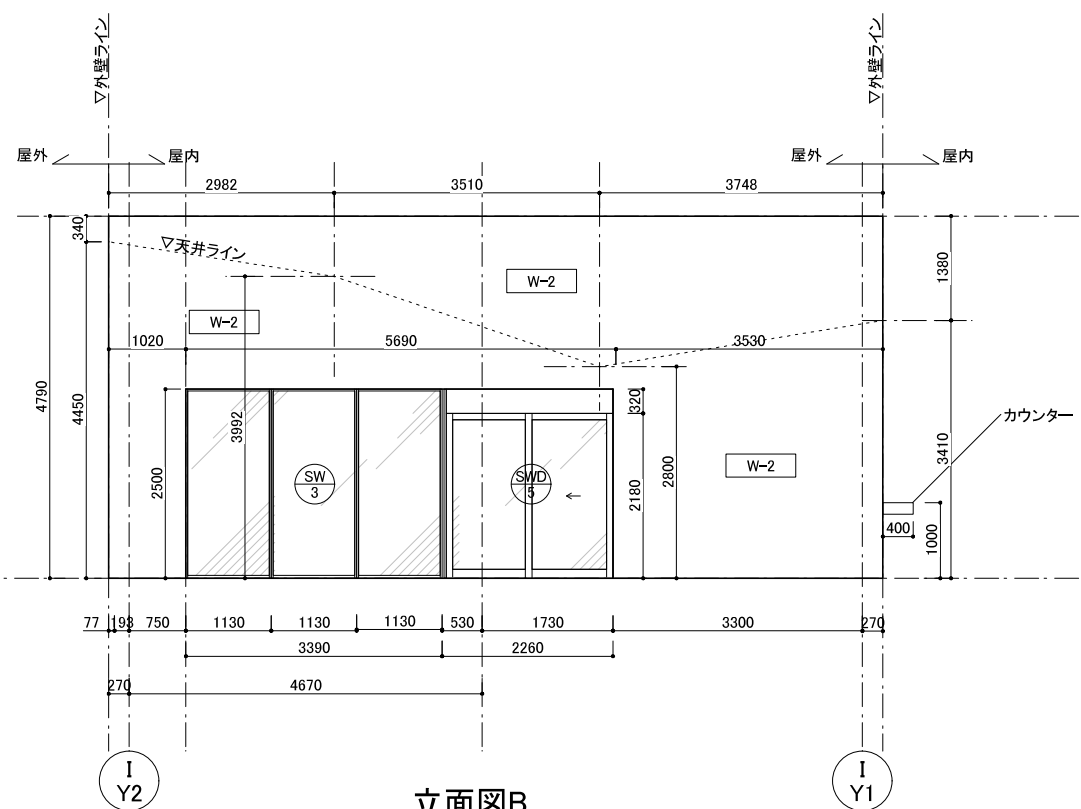
13 食



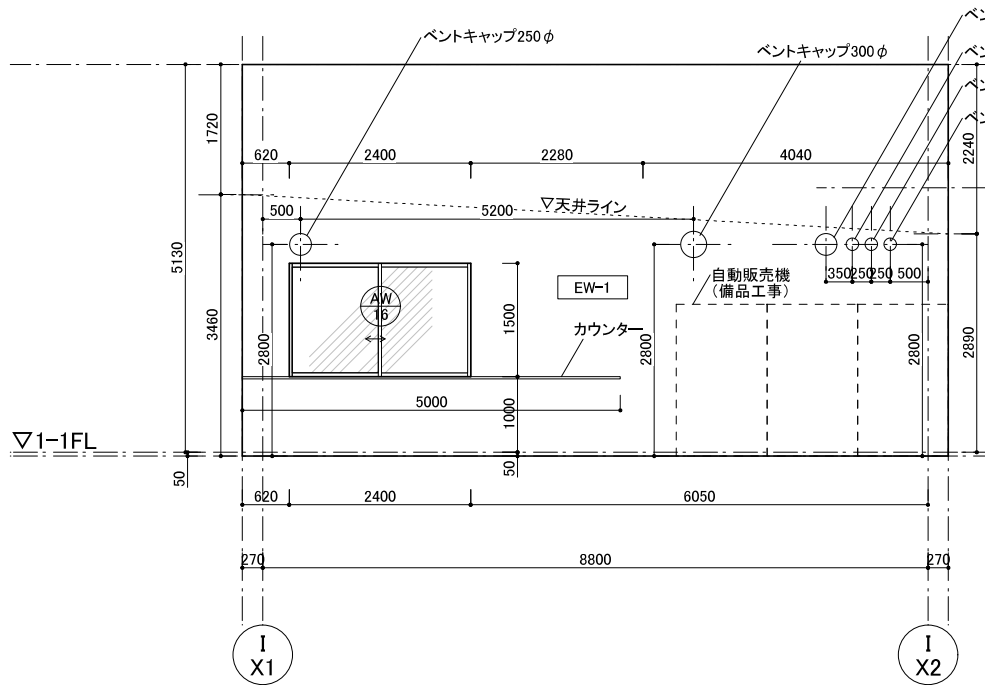
キープラン S=1/200



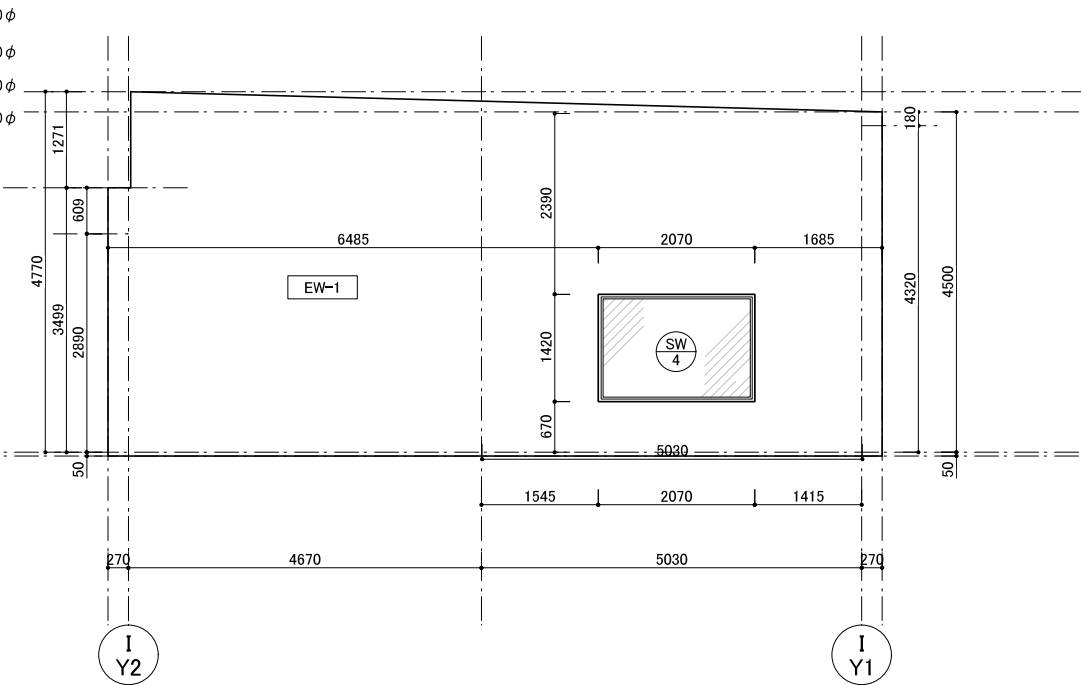
立面図A



立面図B

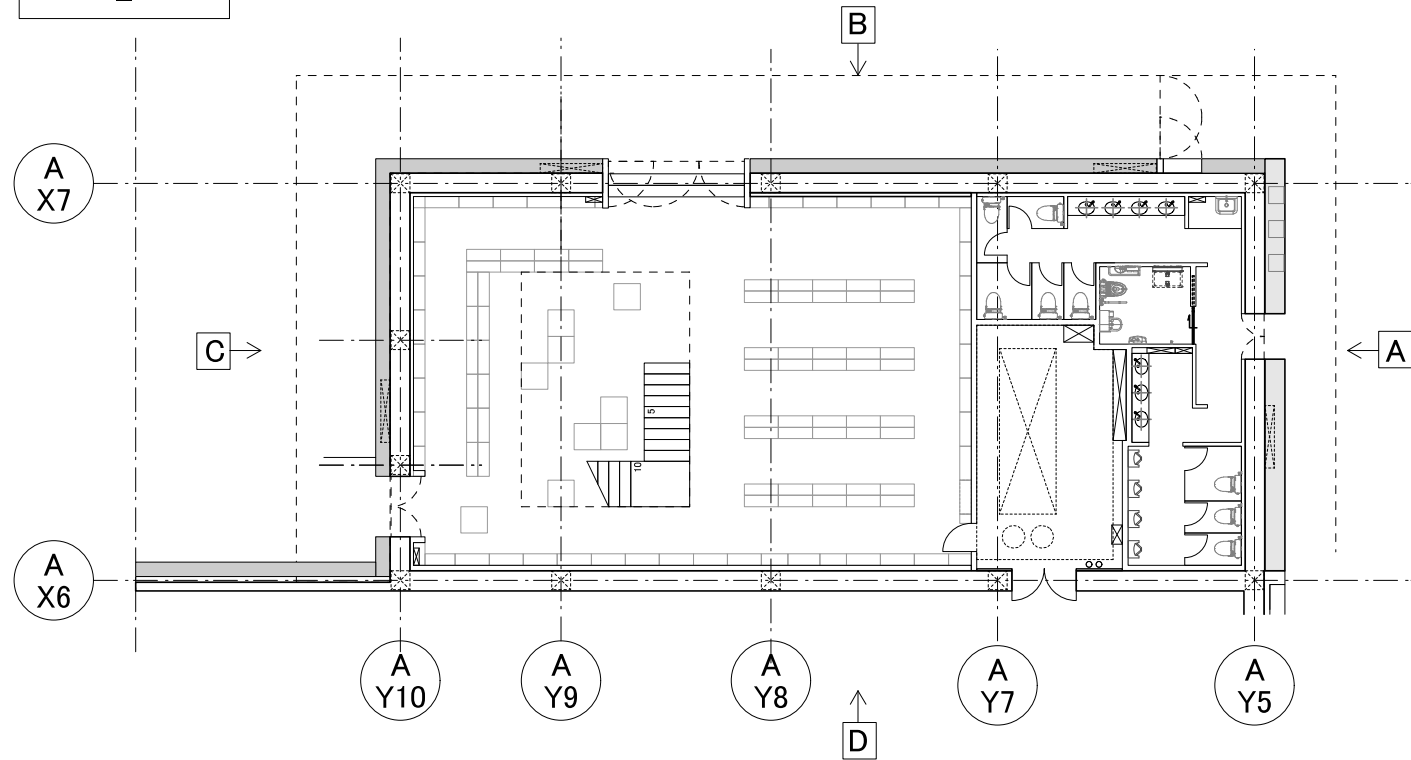


立面図C

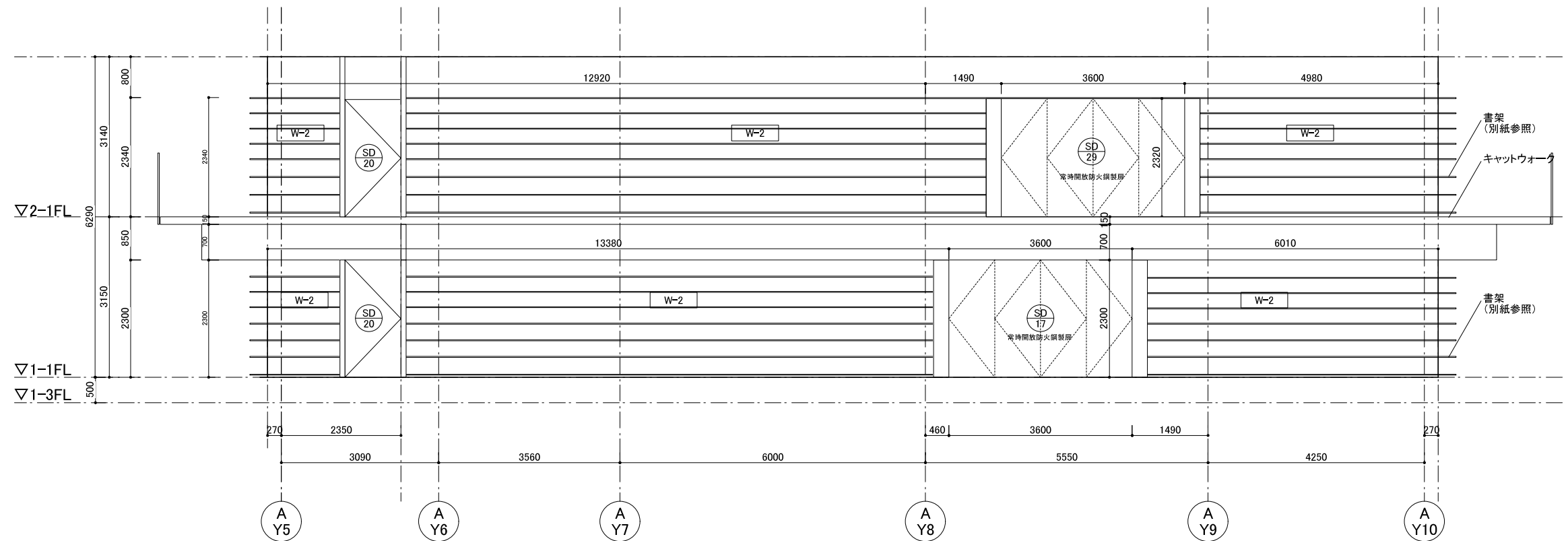
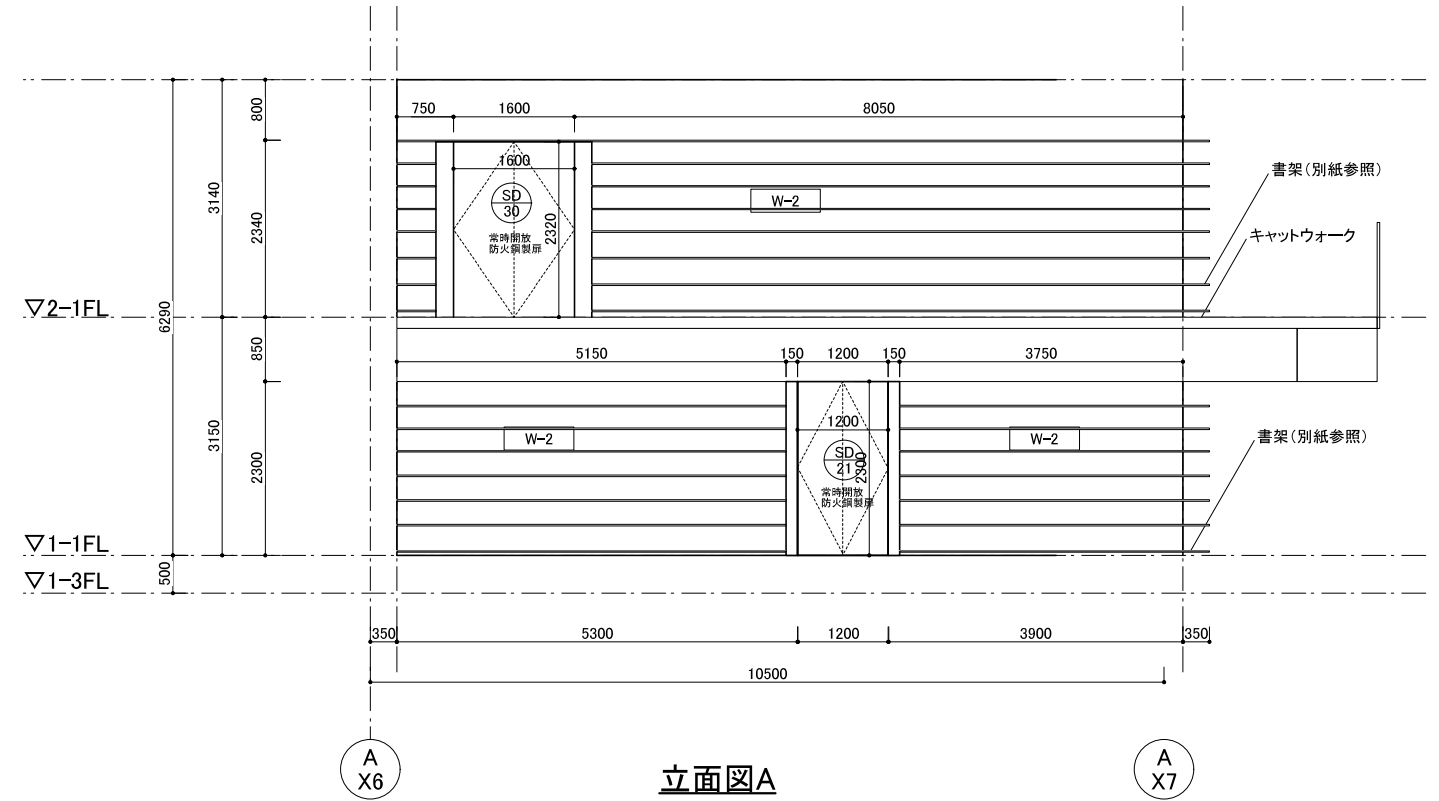


立面図D





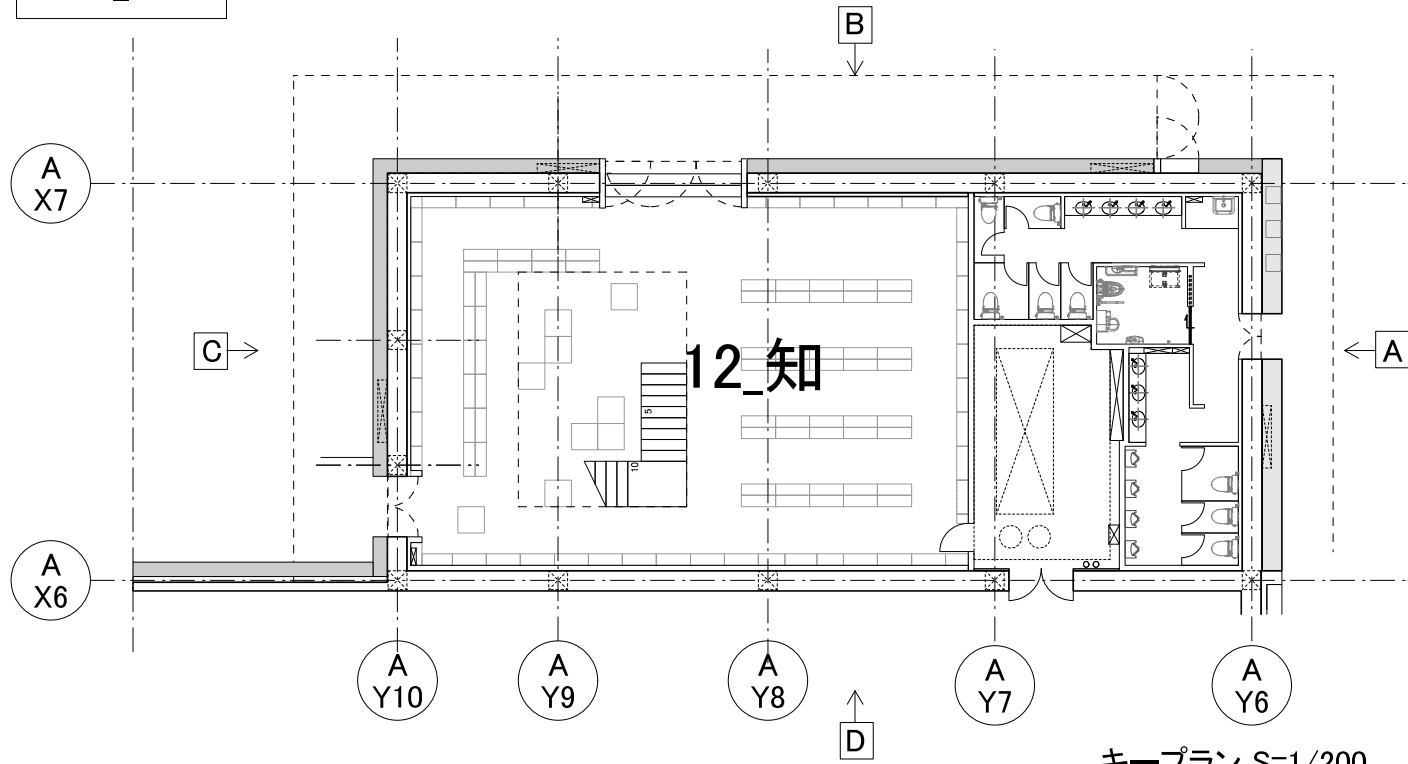
キープラン S=1/200



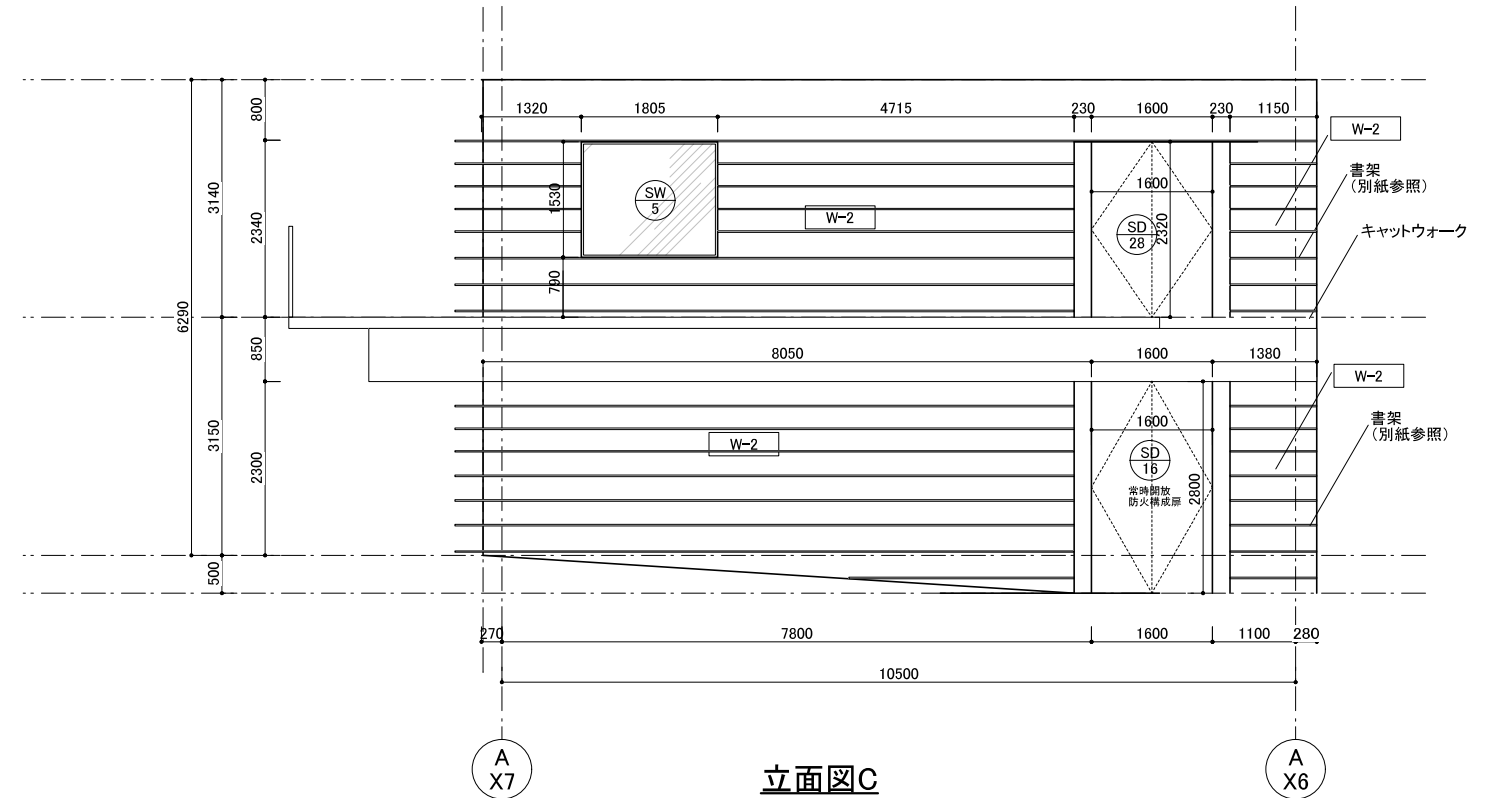
立面図B



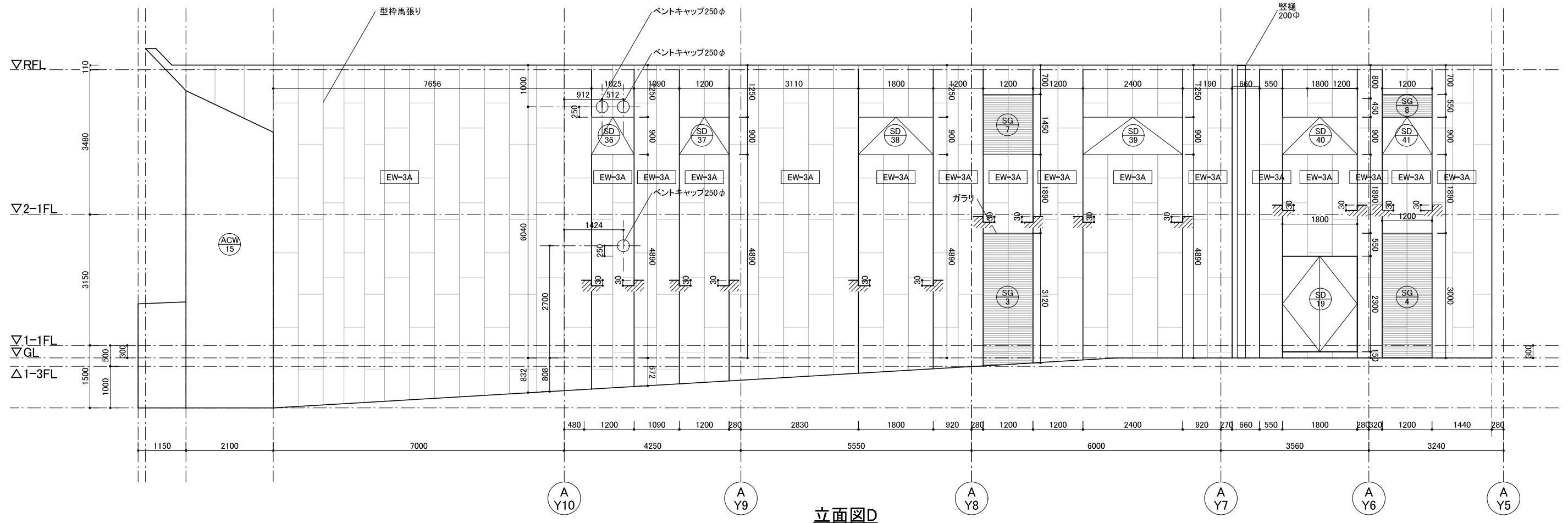
12\_知



キープラン S=1/200



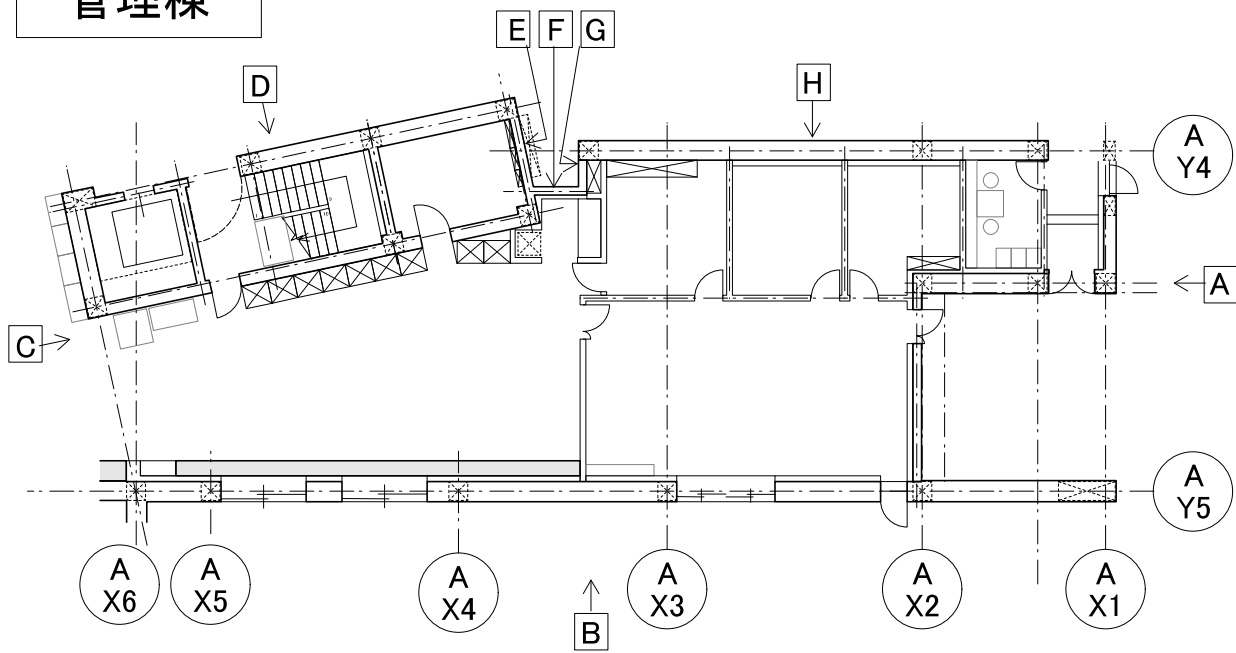
立面図C



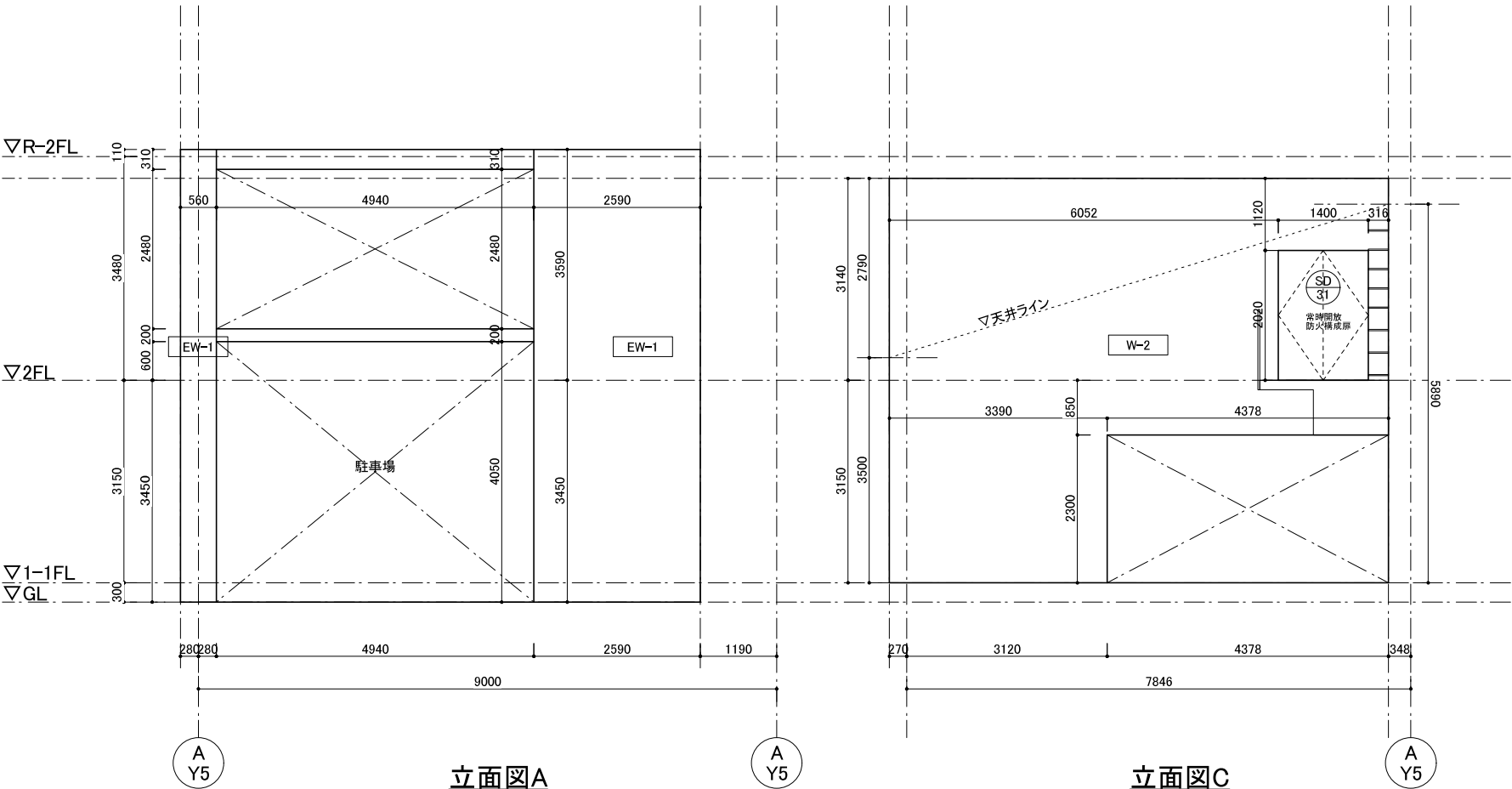
立面図D



管理棟

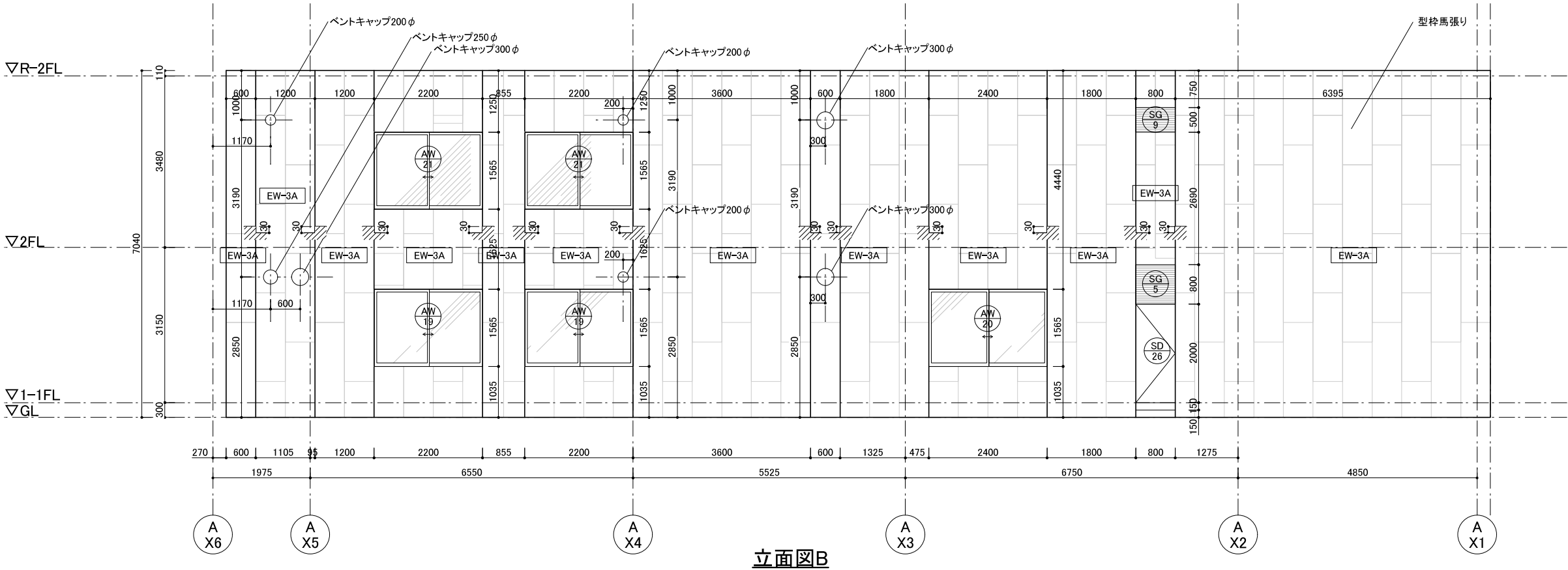


キープラン S=1/200



立面図A

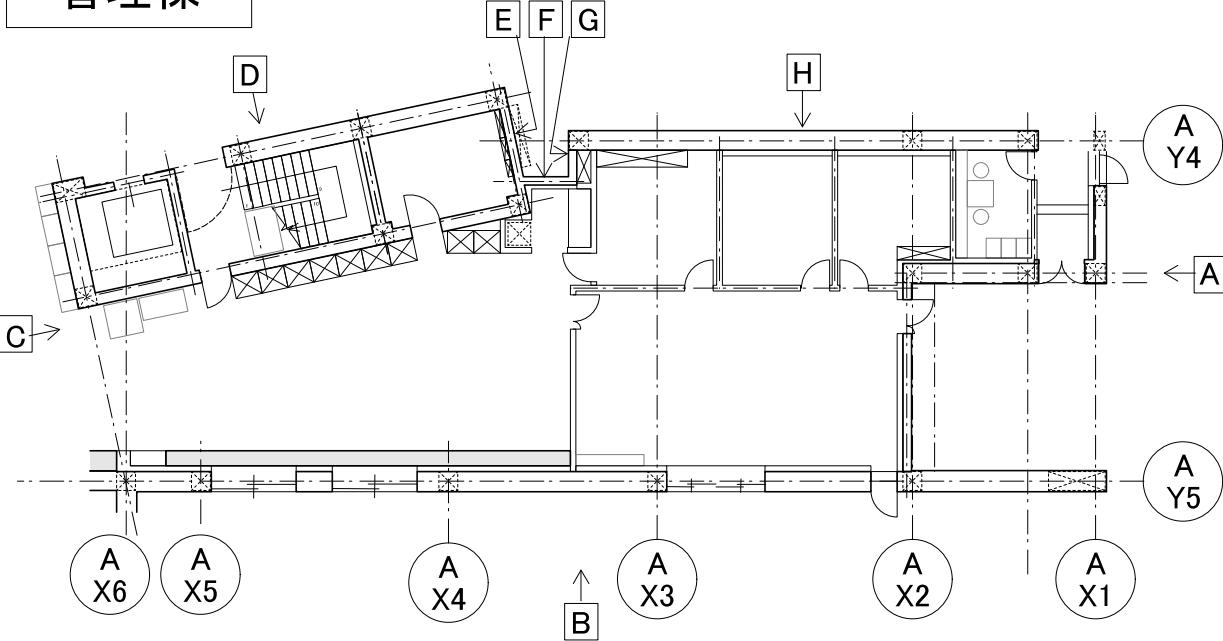
立面図C



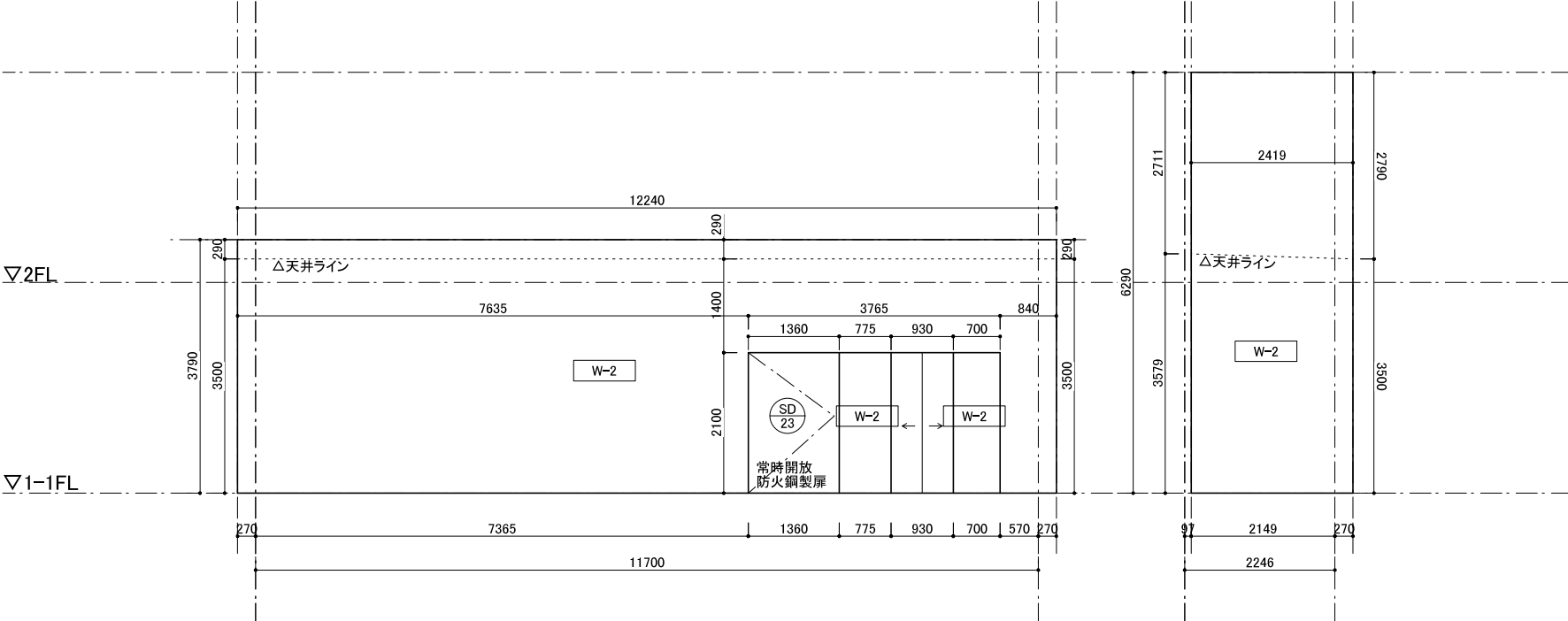
立面図B



管理棟

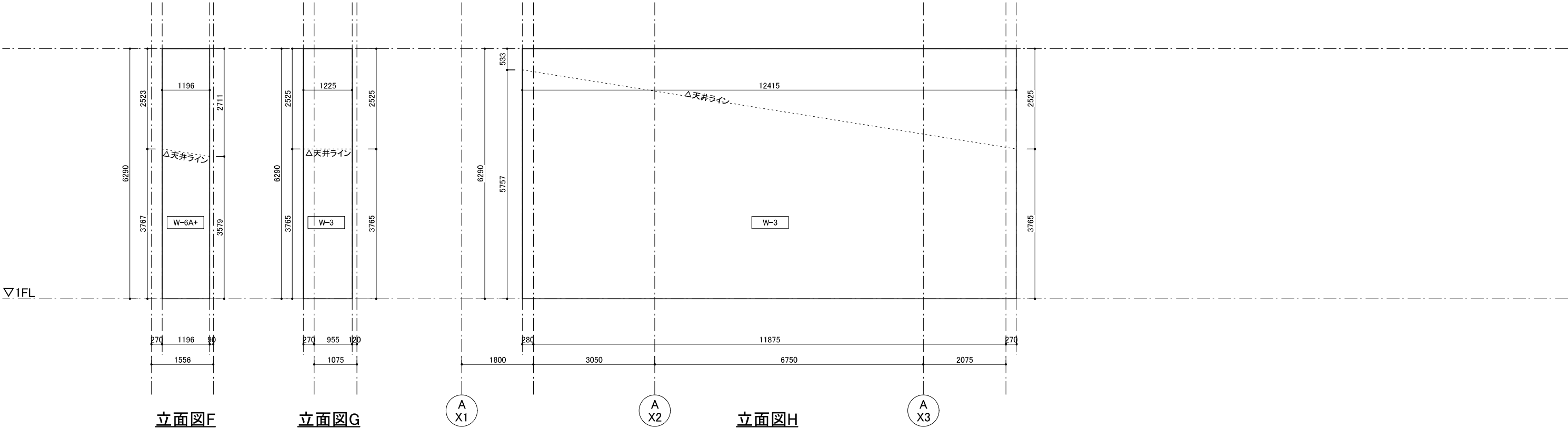


キープラン S=1/200



立面图D

立面图E



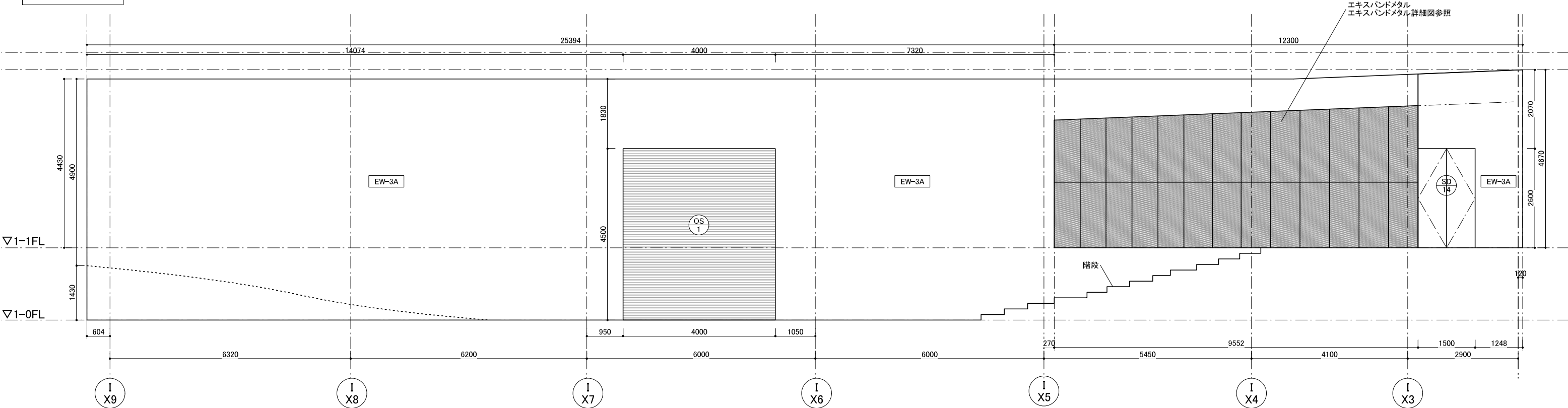
立面图F

立面图C

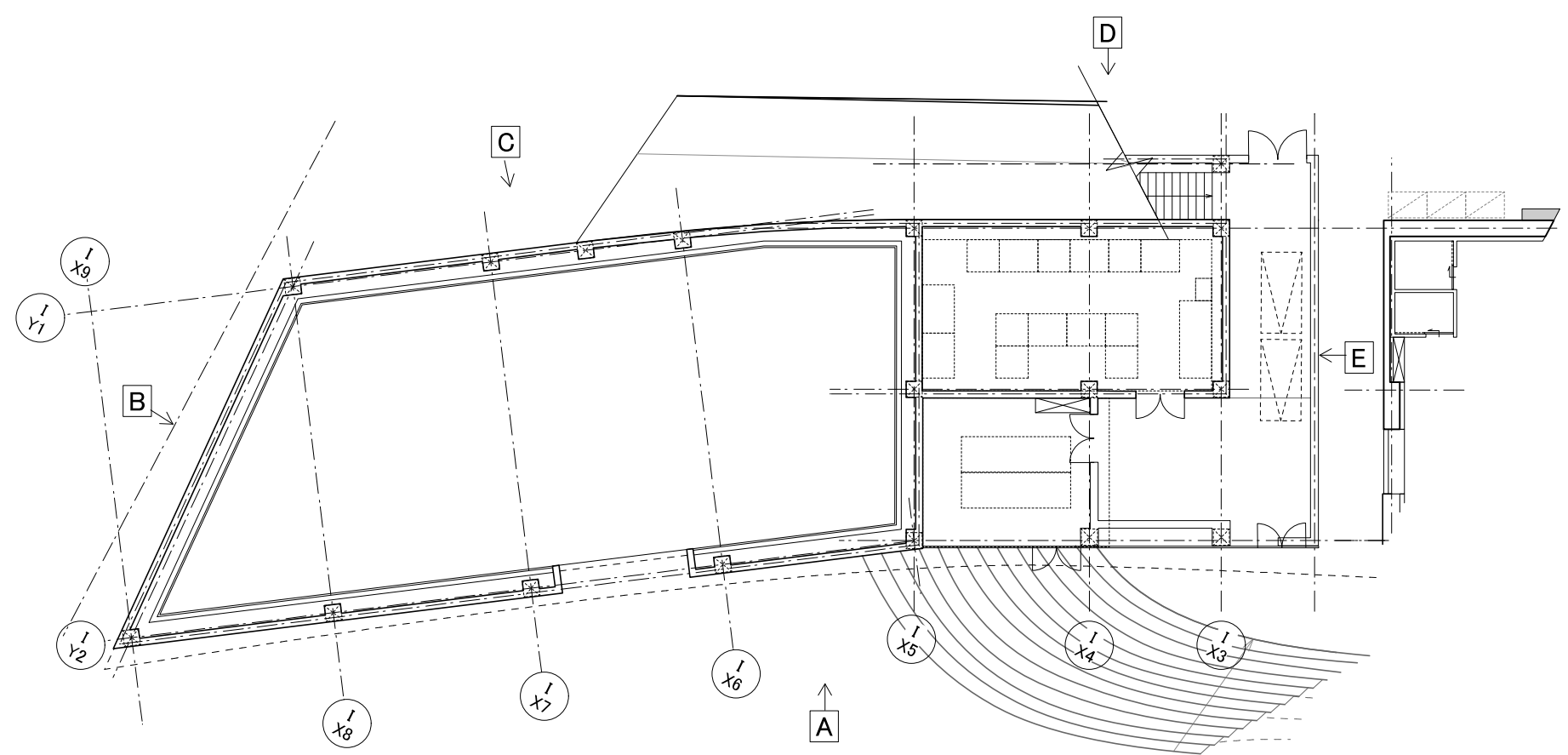
### 立面图



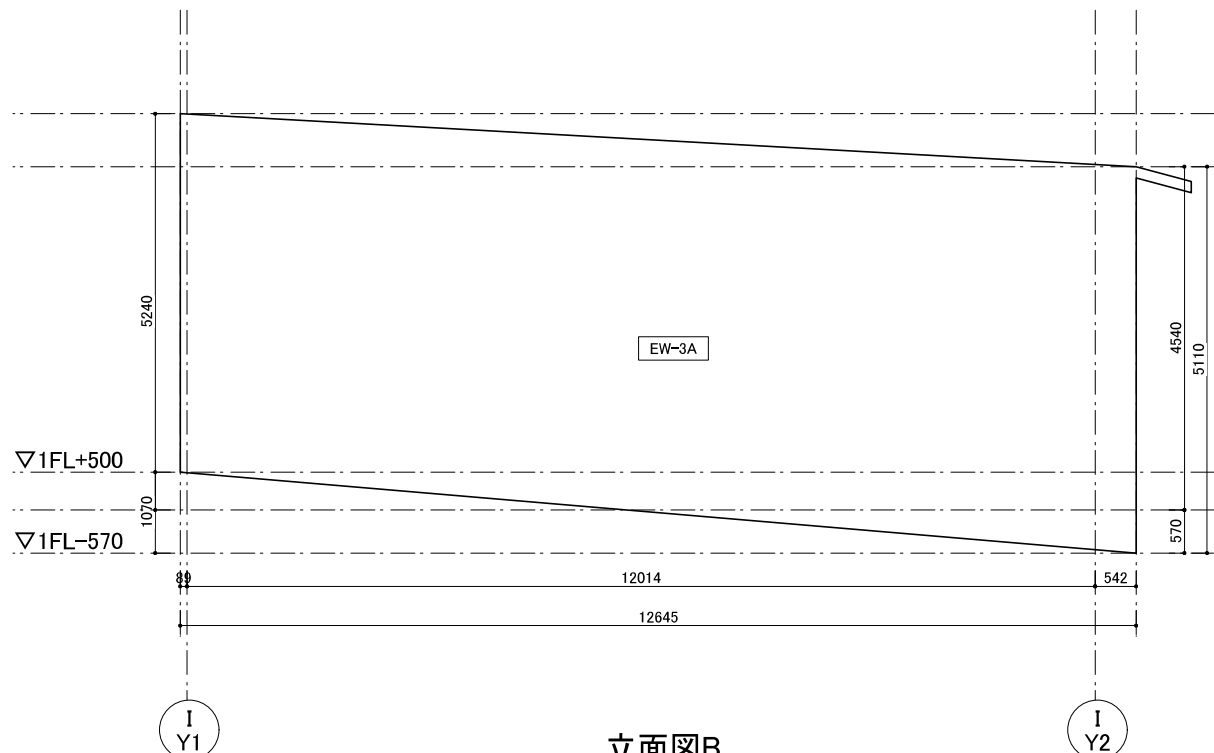
雪室



立面図A



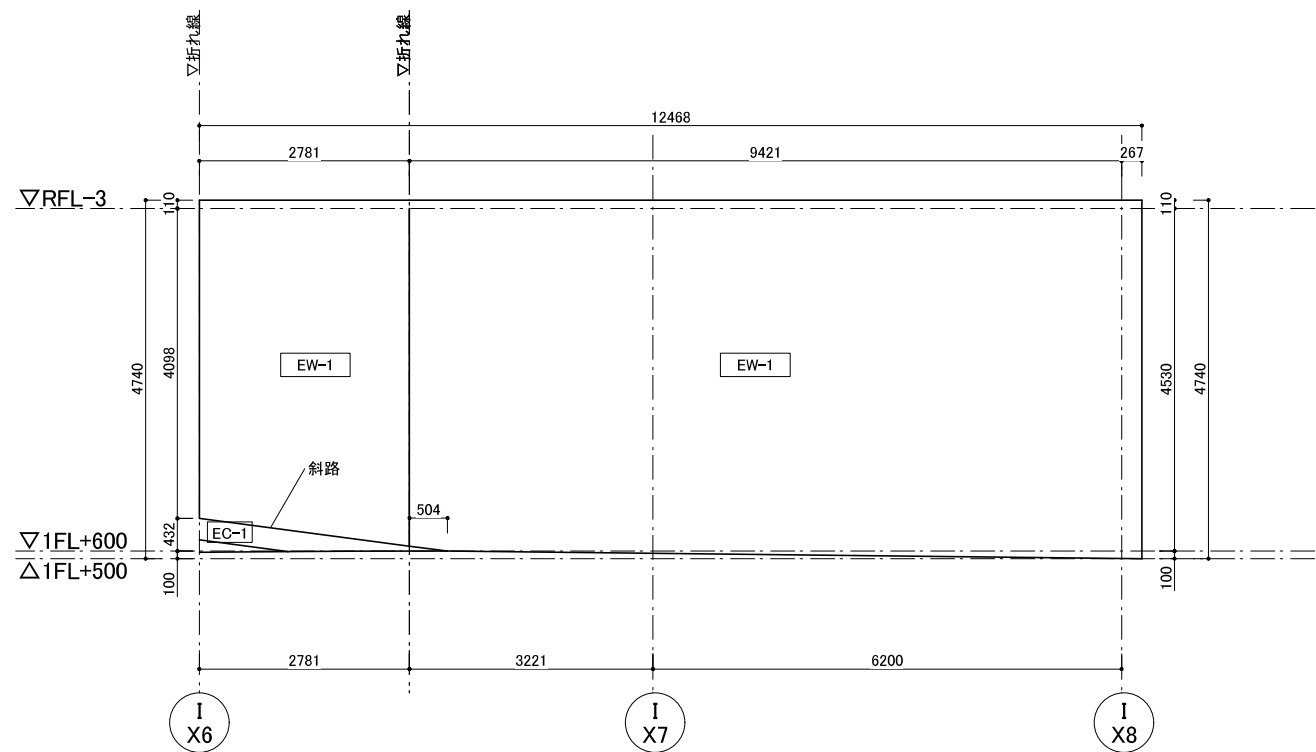
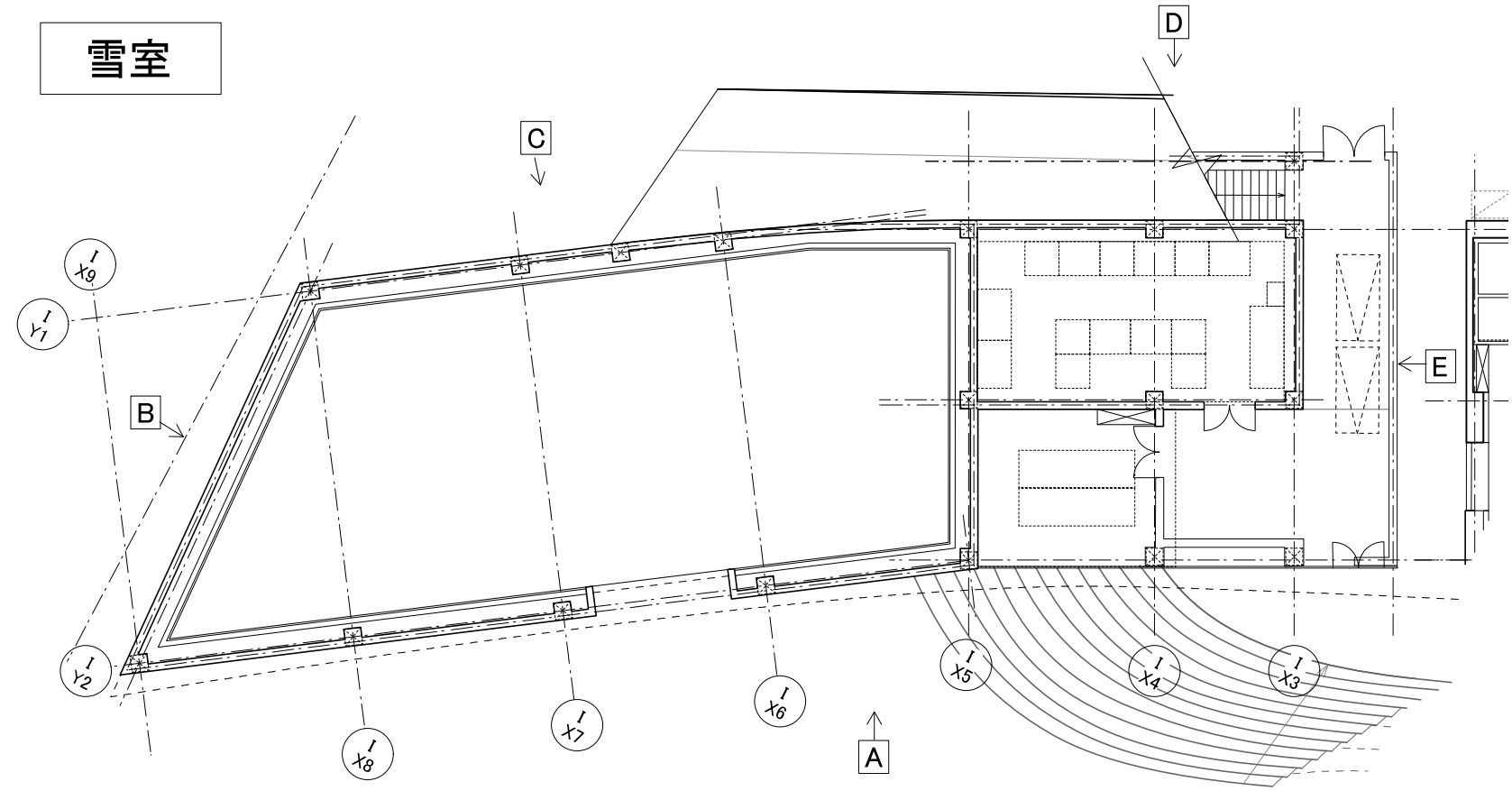
キープラン S=1/200



立面図B

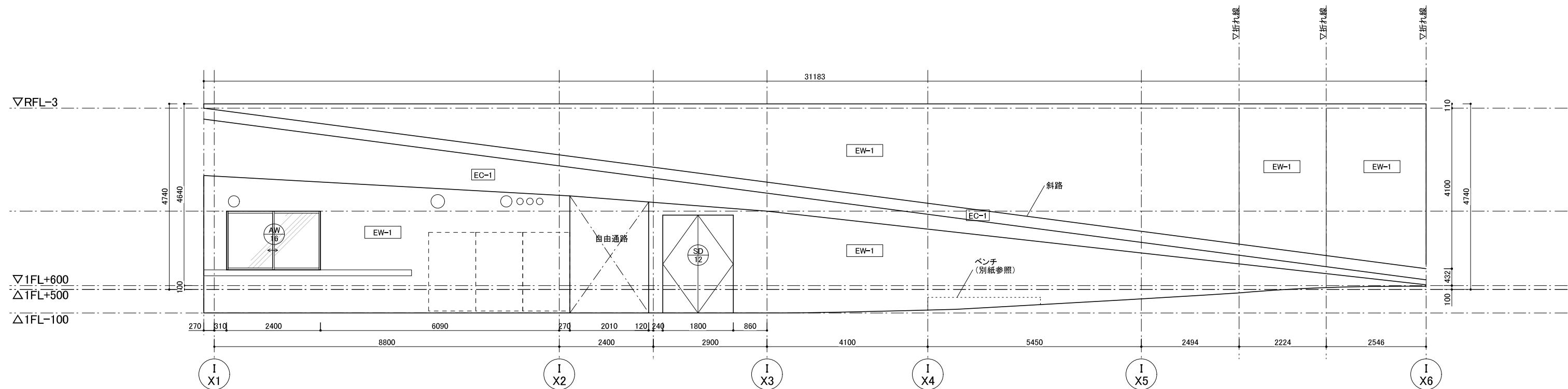


雪室



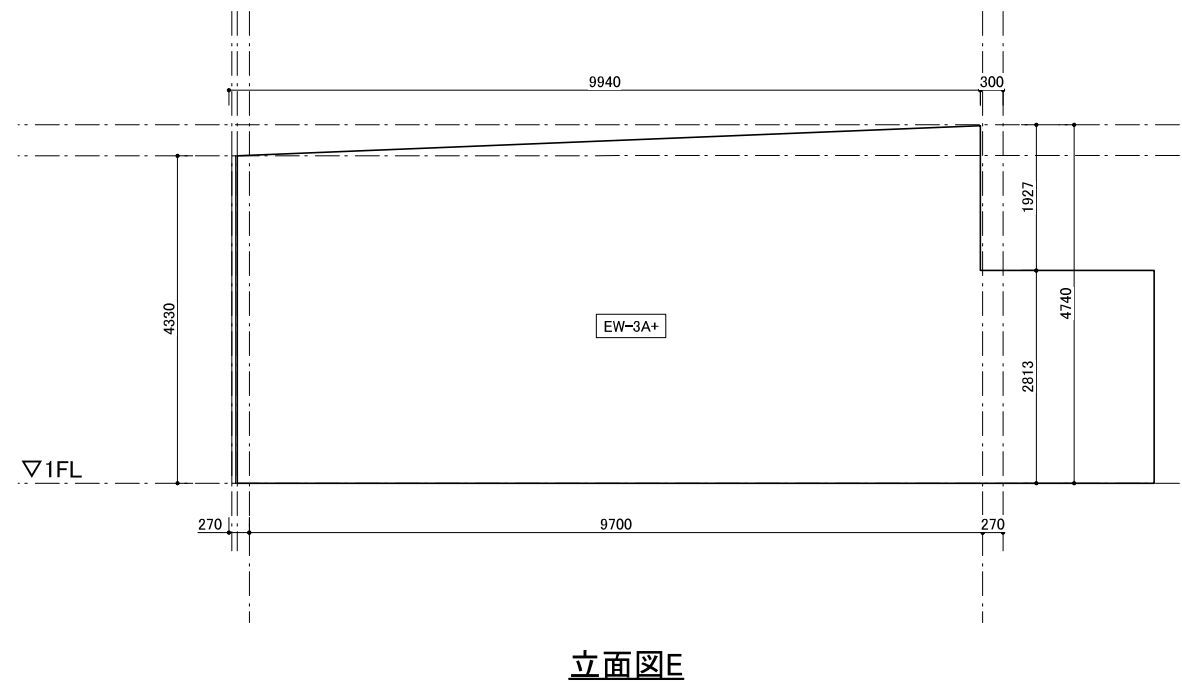
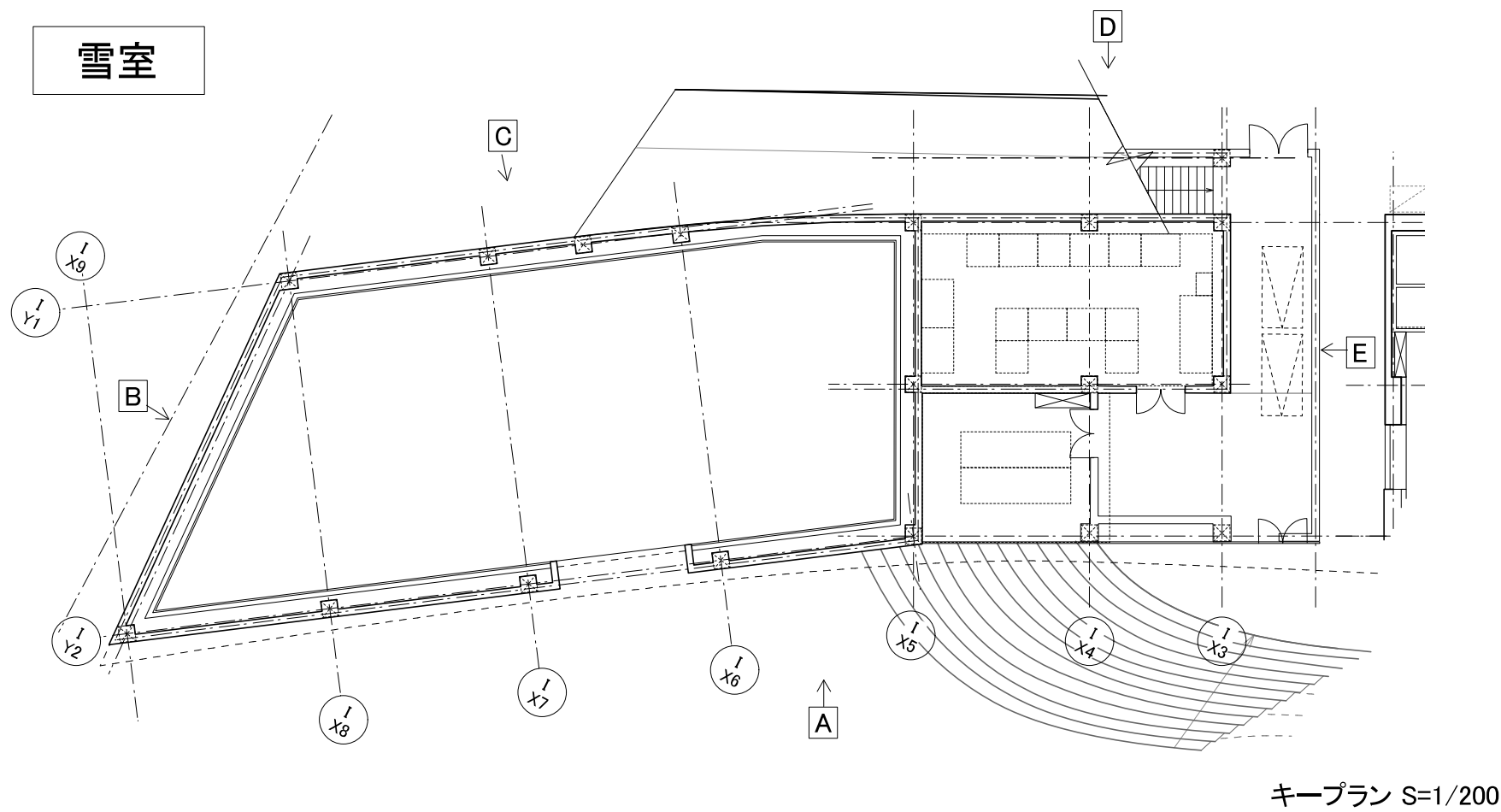
立面図C

キープラン S=1/200



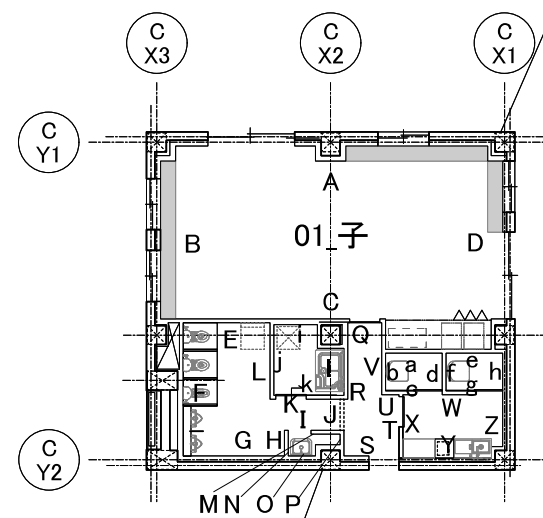
立面図D



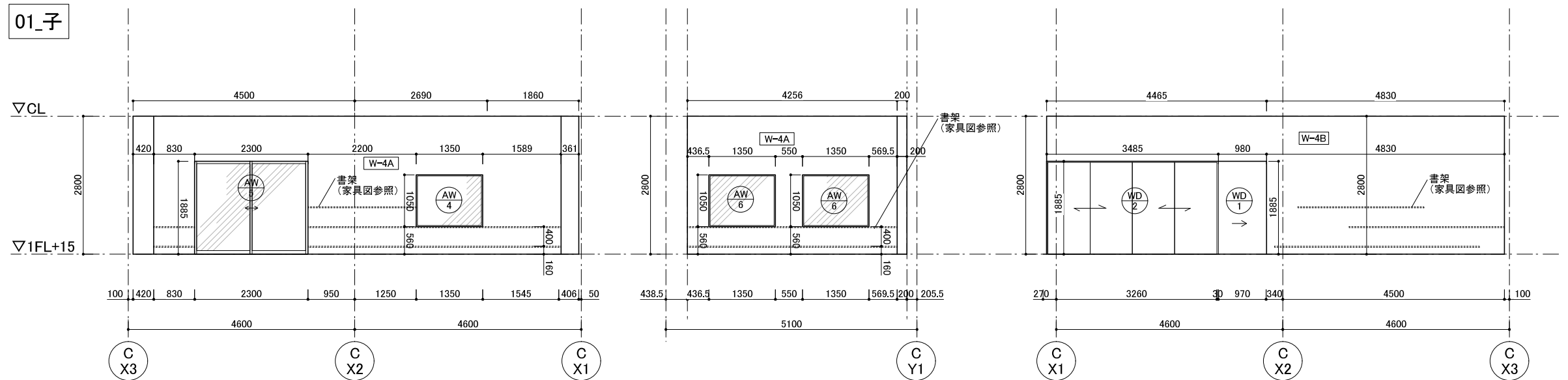




## 01\_子



キープラン S=1/200

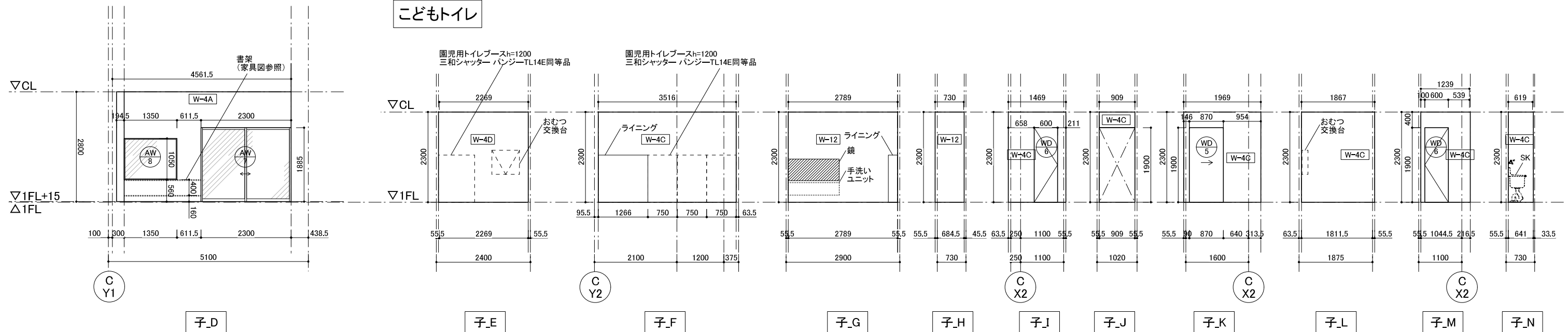


子\_A

子\_B

子\_C

こどもトイレ



子\_D

子\_E

子\_F

子\_G

子\_H

子\_I

子\_J

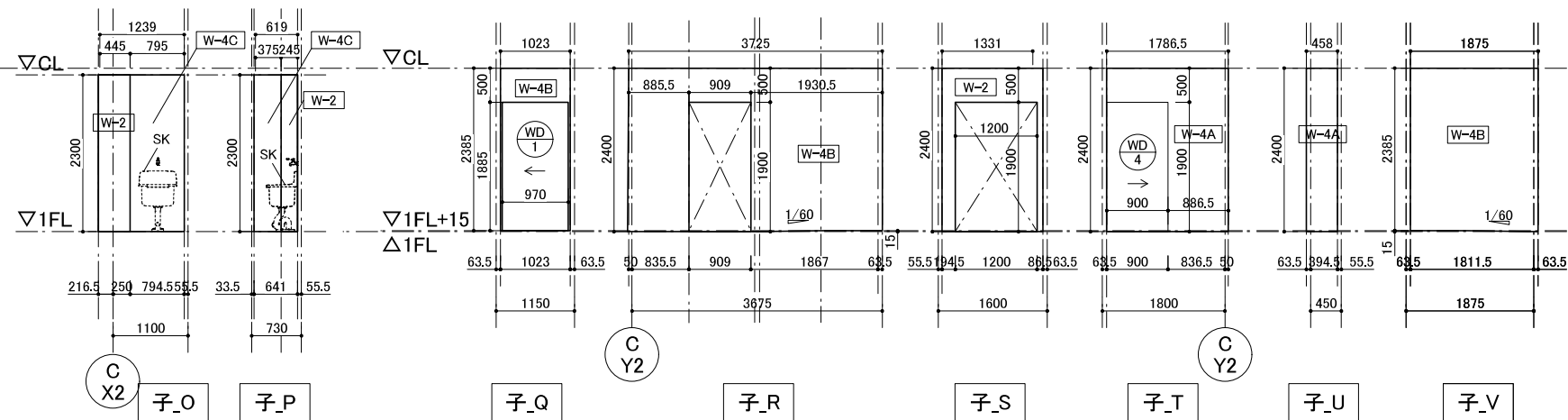
子\_K

子\_L

子\_M

子\_N

通路



子\_0

子\_P

子\_Q

子\_R

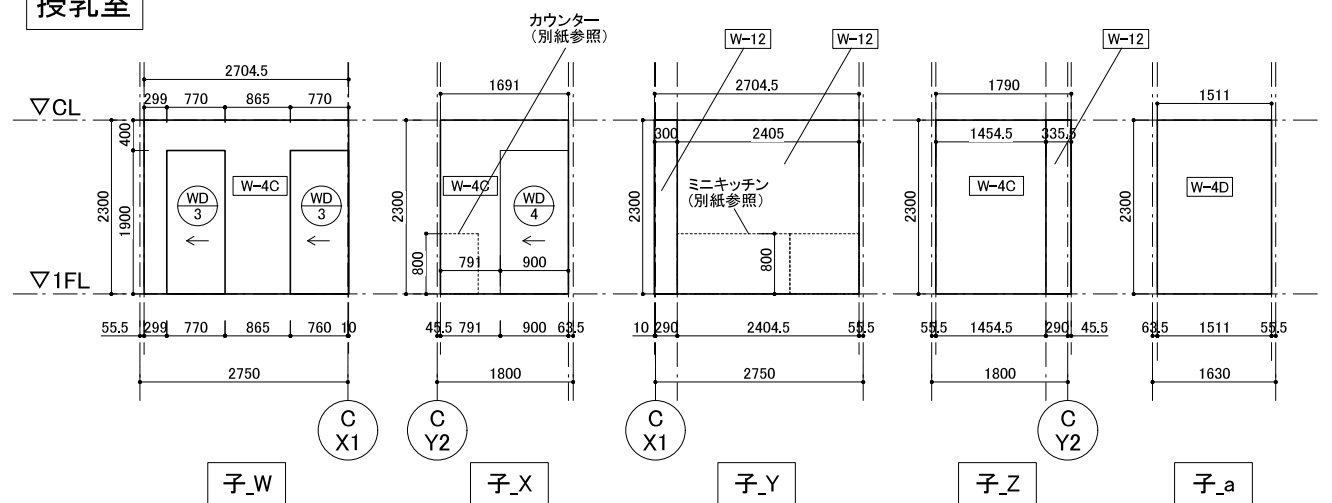
子\_S

子\_T

子\_U

子\_v

## 授乳室



子\_W

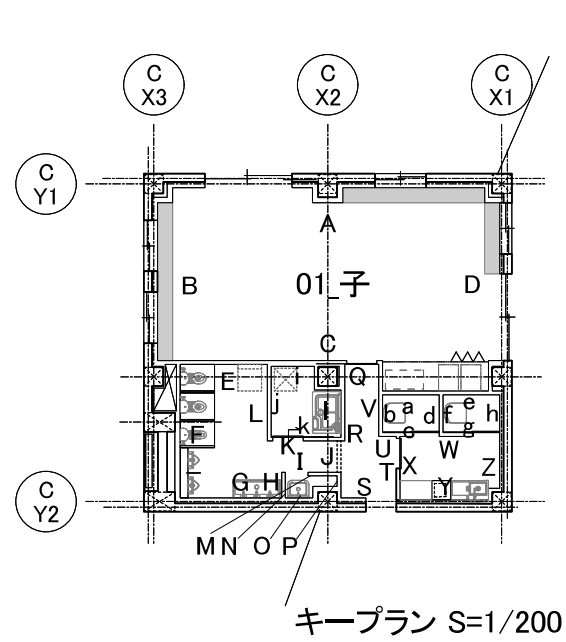
子\_X

子\_Y

子\_Z

子\_a

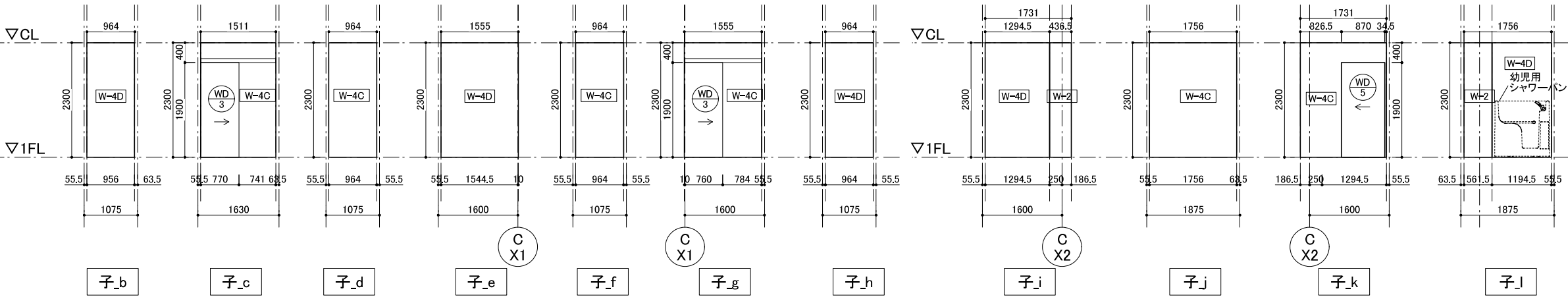




## 01\_子

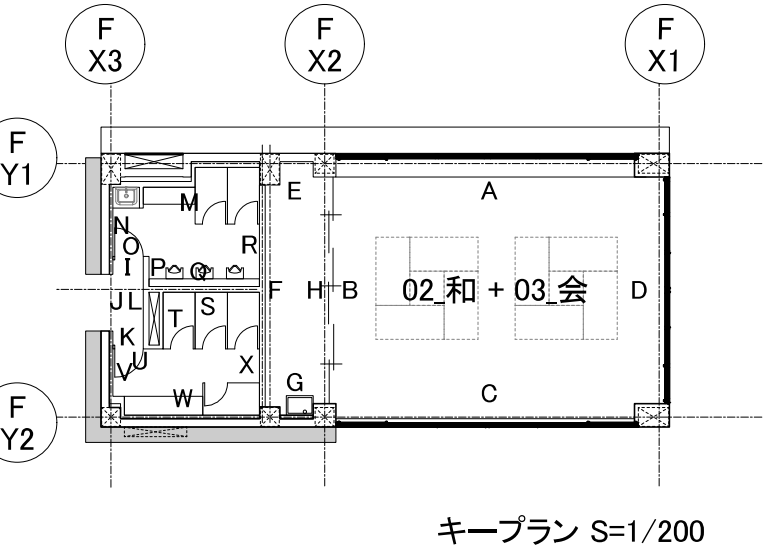
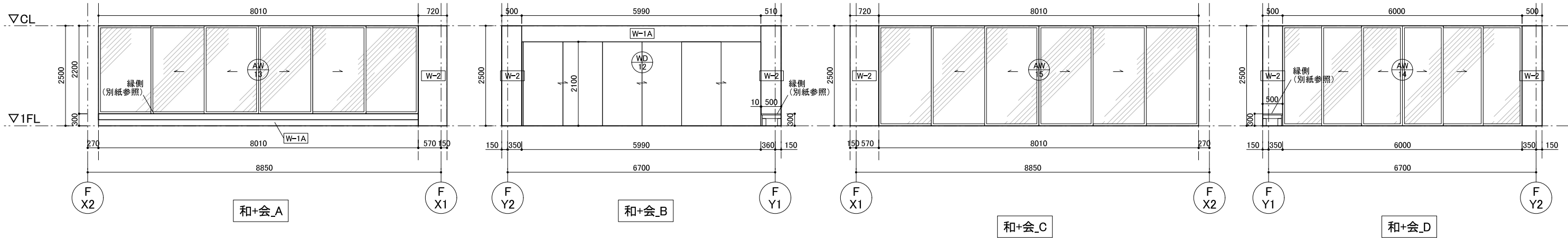
授乳室

洗濯室

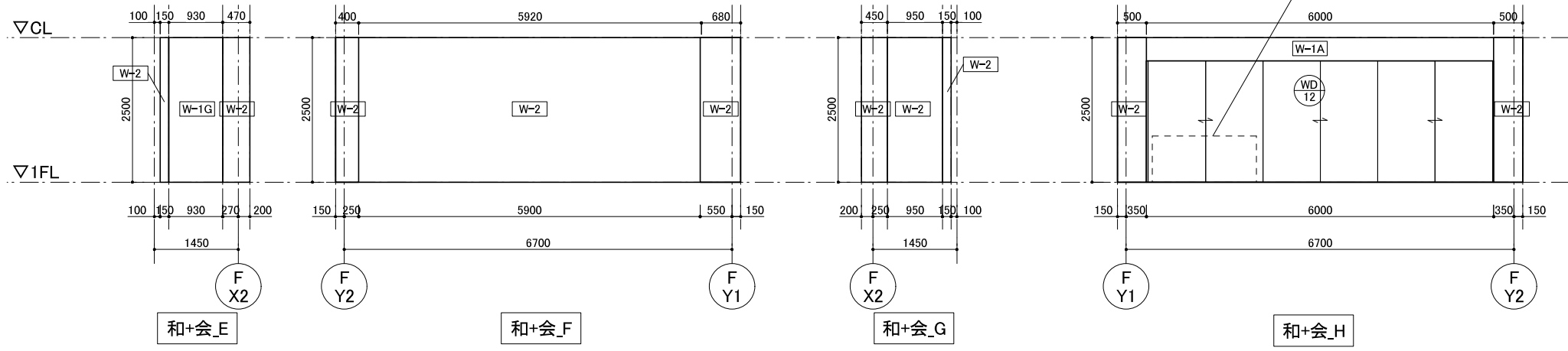


## 02\_和 + 03\_会

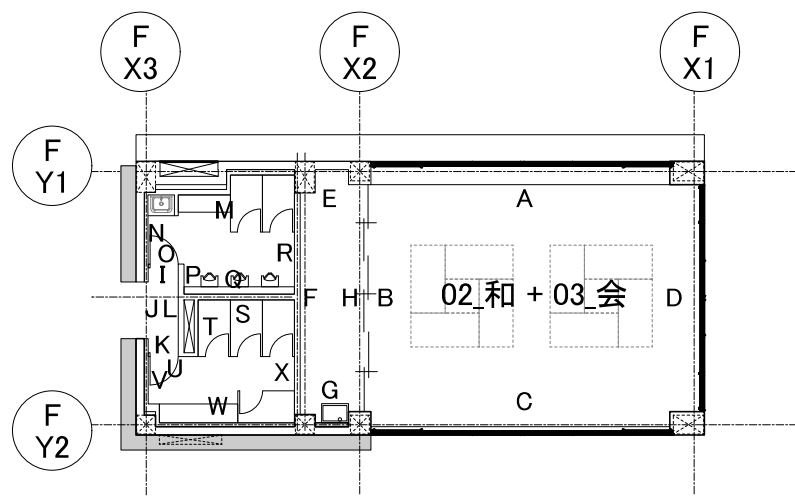
02\_和 + 03\_会



収納



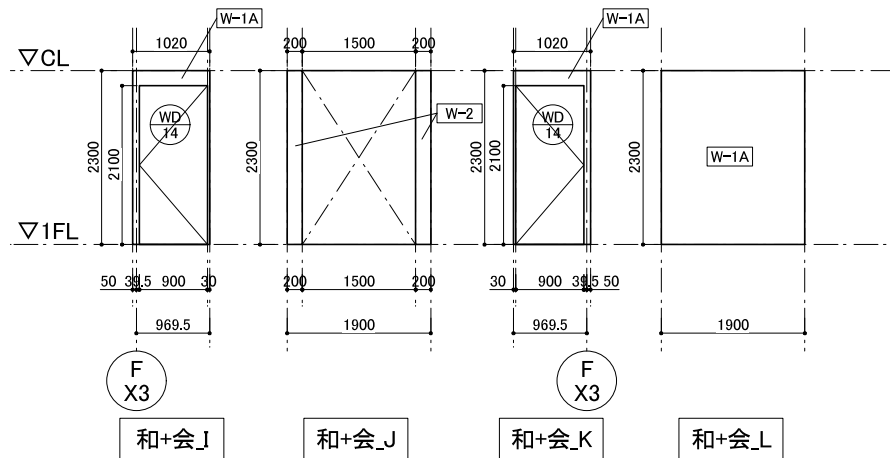




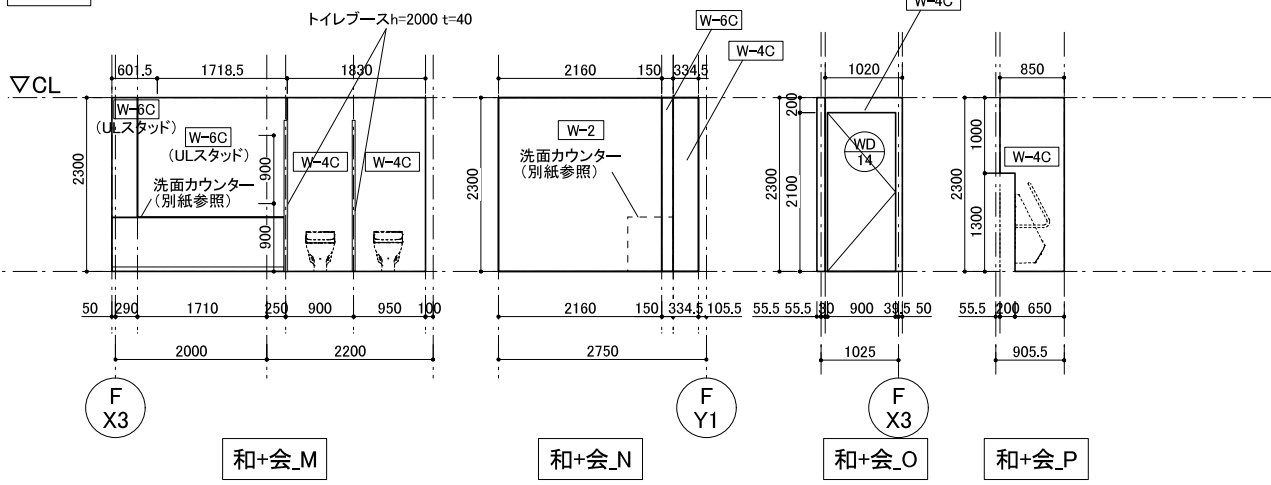
キープラン S=1/200

## 02\_和 + 03\_会

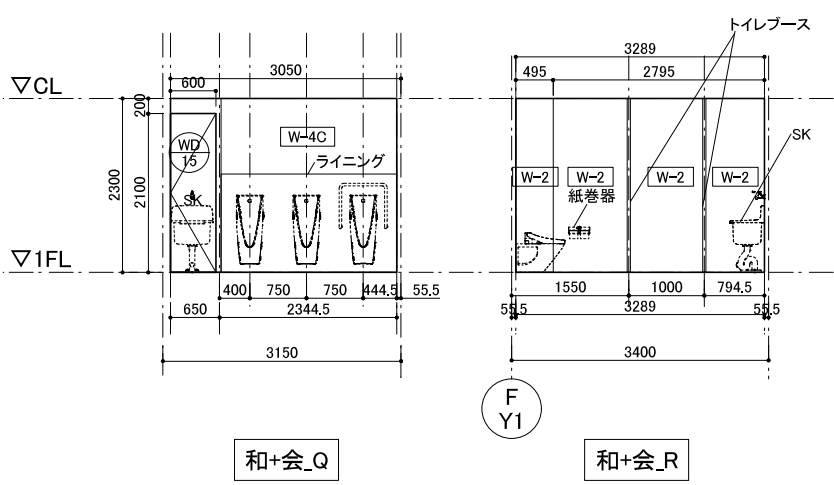
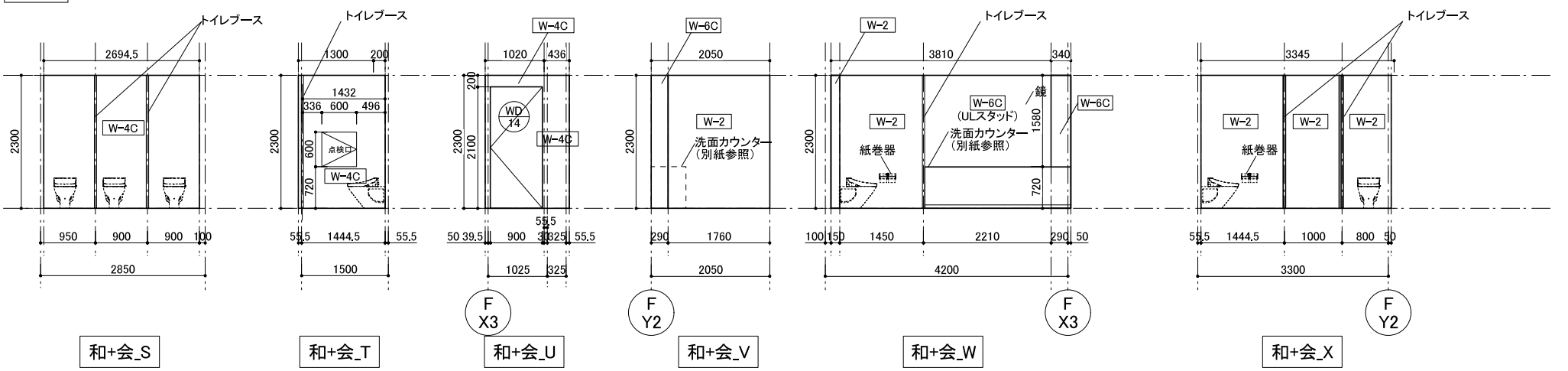
前室



MWC

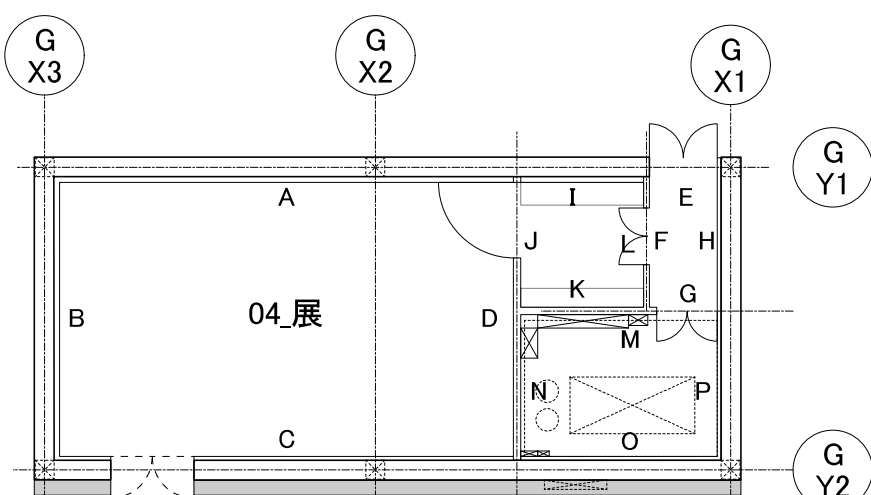
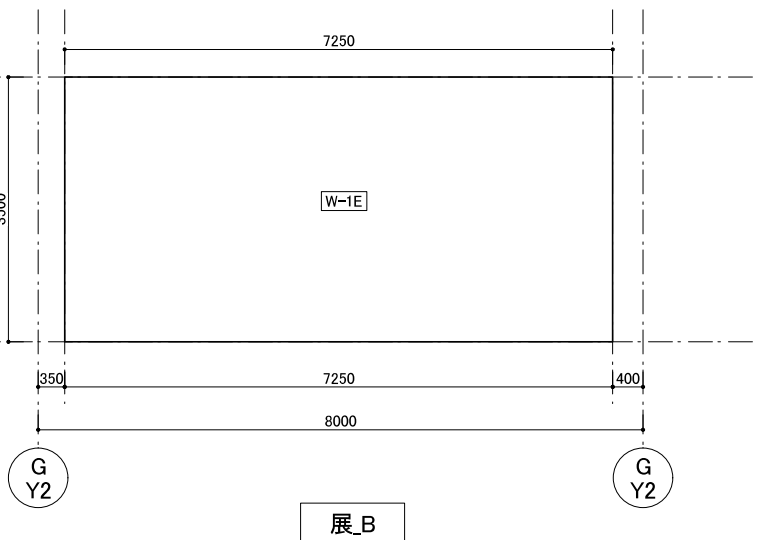
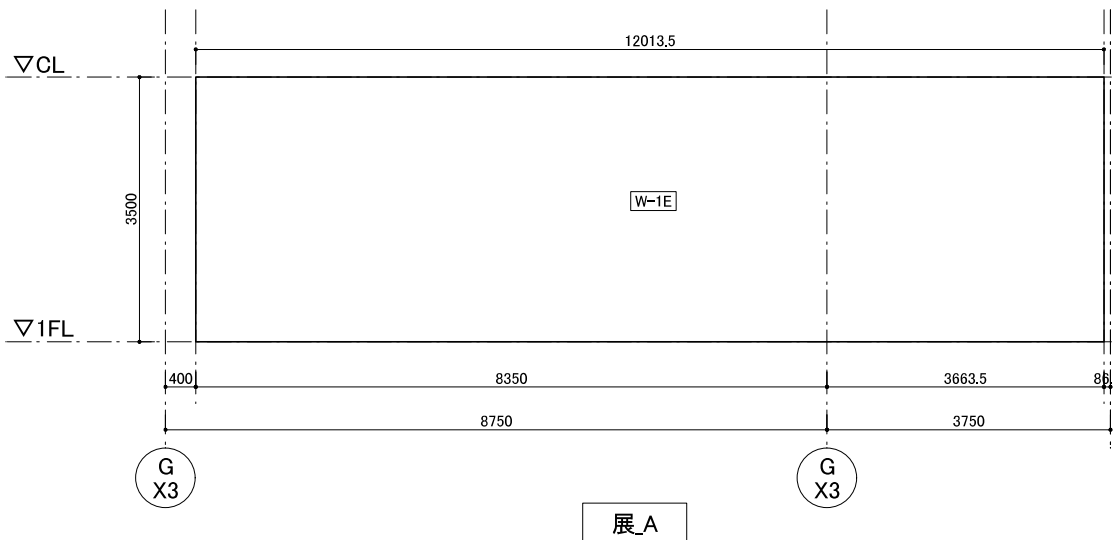


WWC



## 04\_展

04\_展

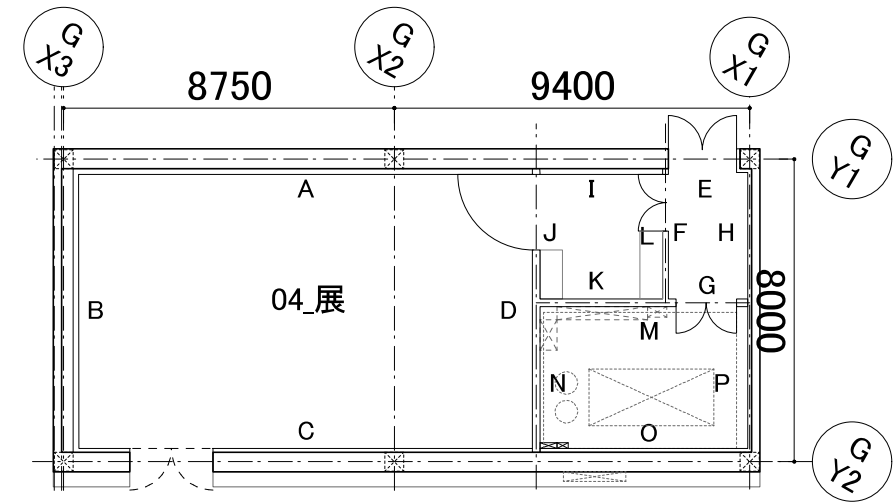


キープラン S=1/200

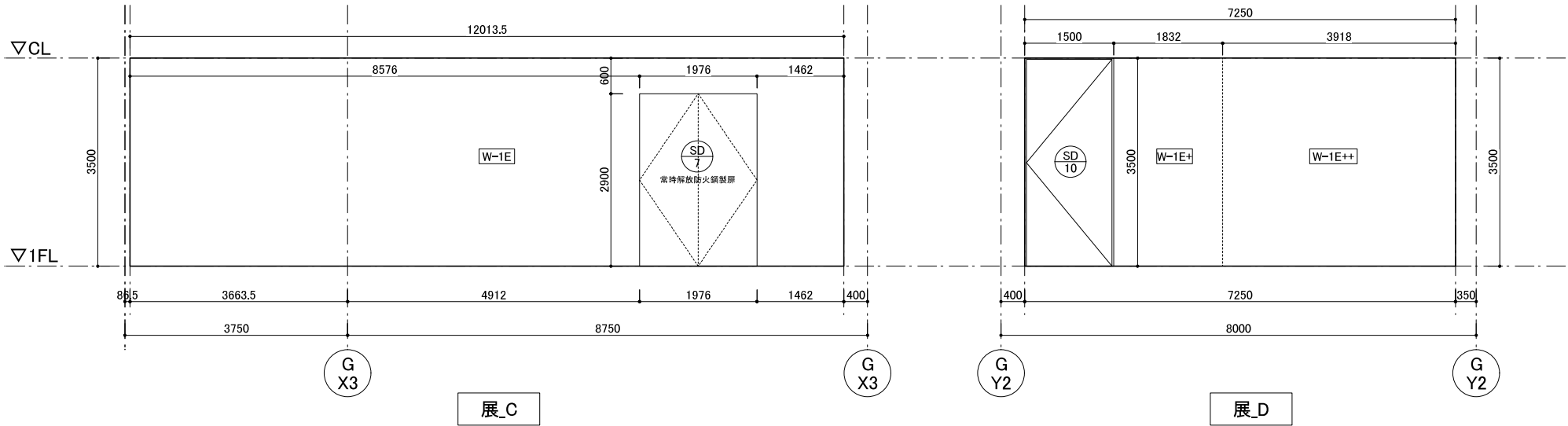


04\_展

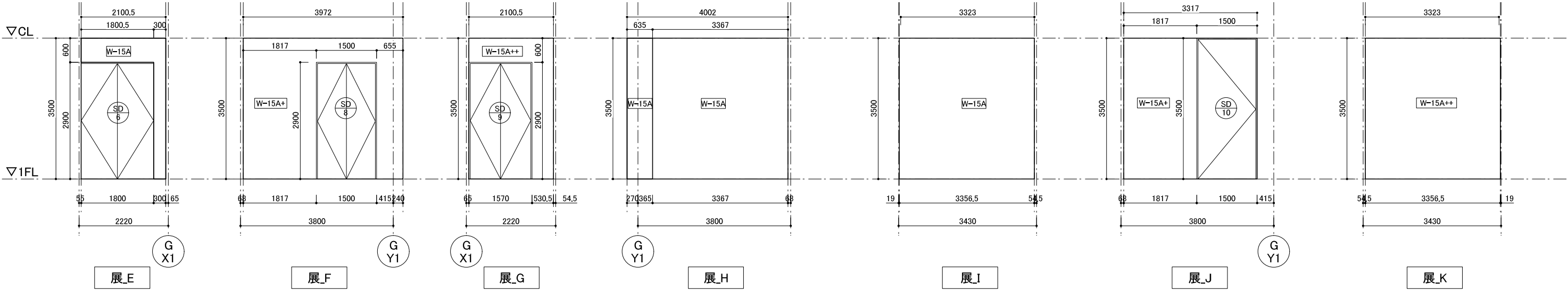
04\_展



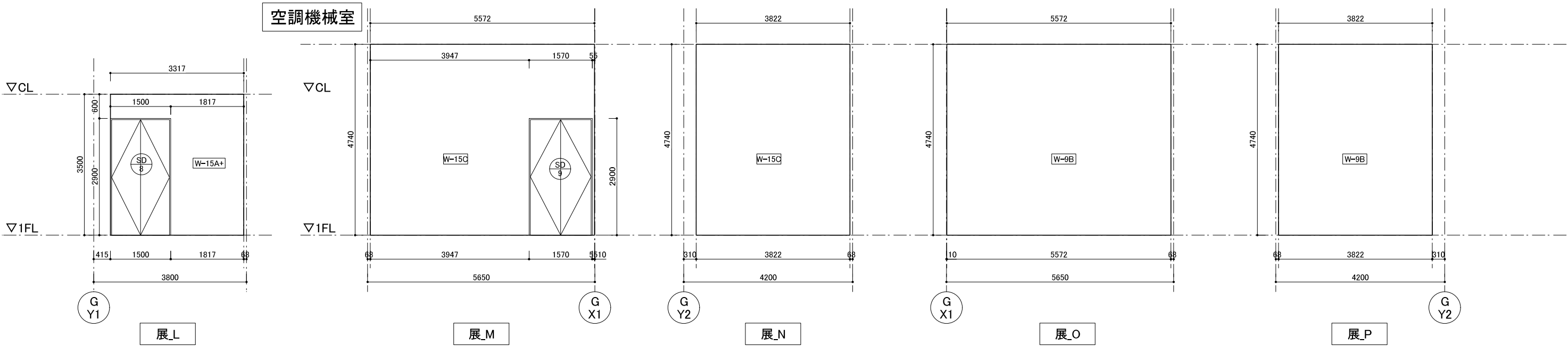
キープラン S=1/200



前室

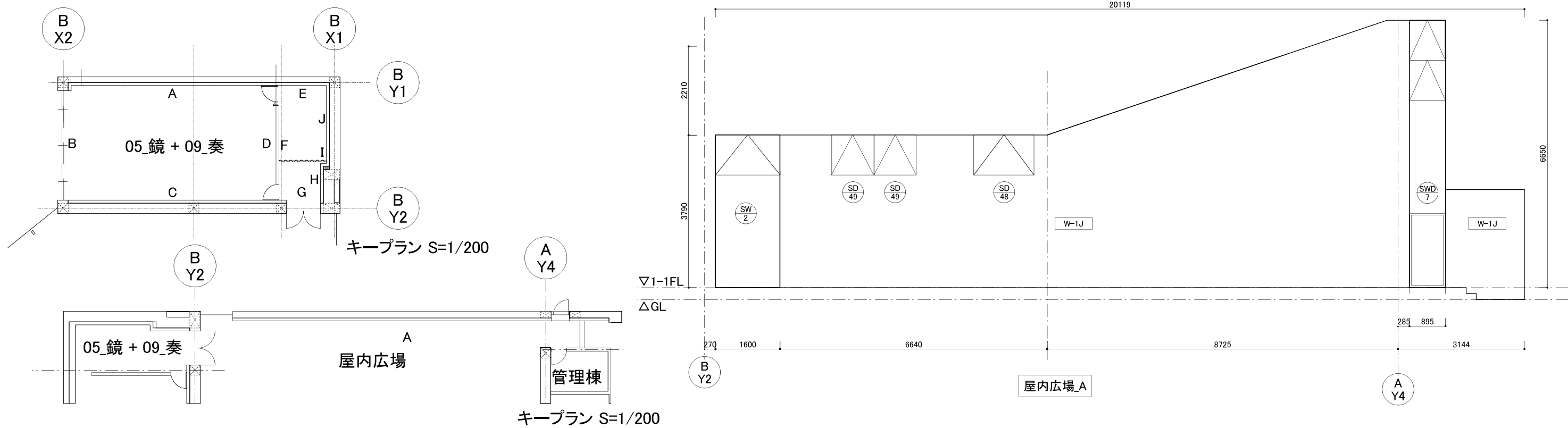


準備室

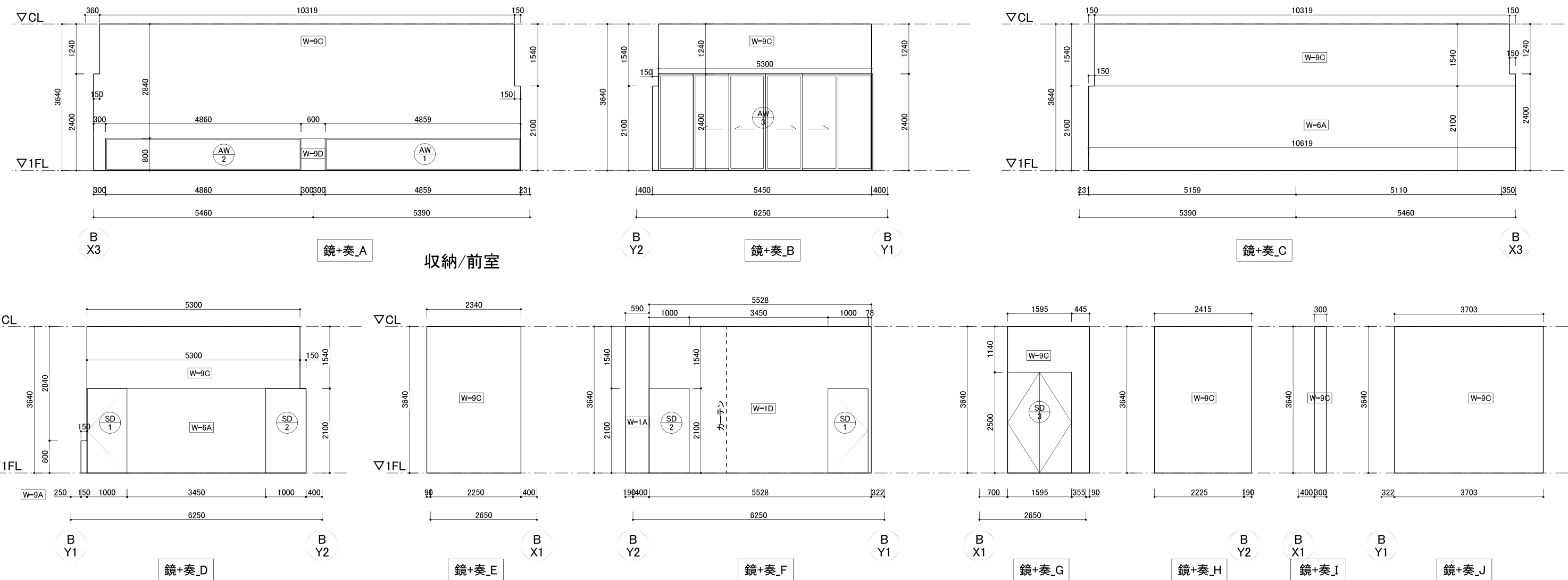


空調機械室





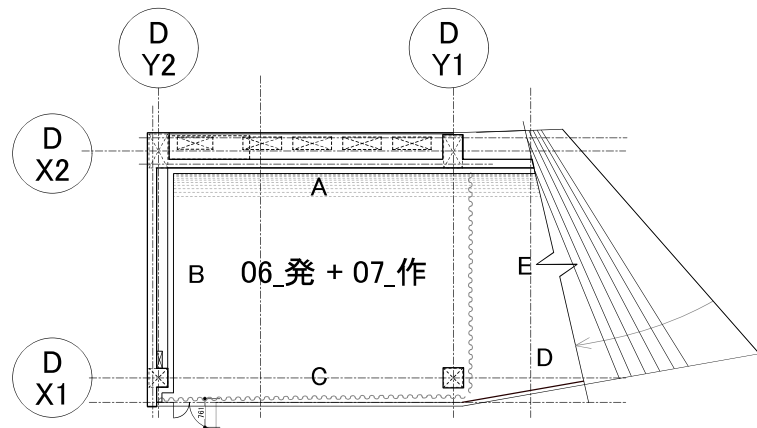
05\_鏡 + 09\_奏 05\_鏡 + 09\_奏



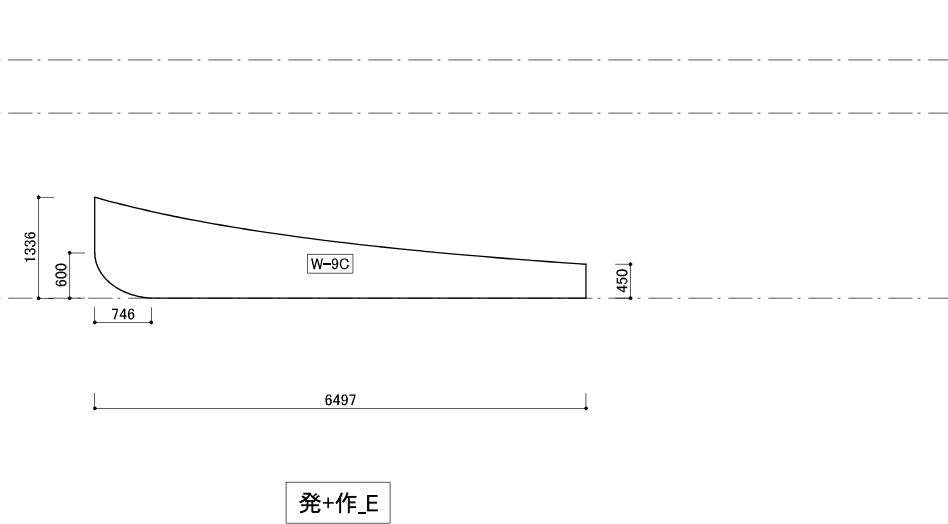
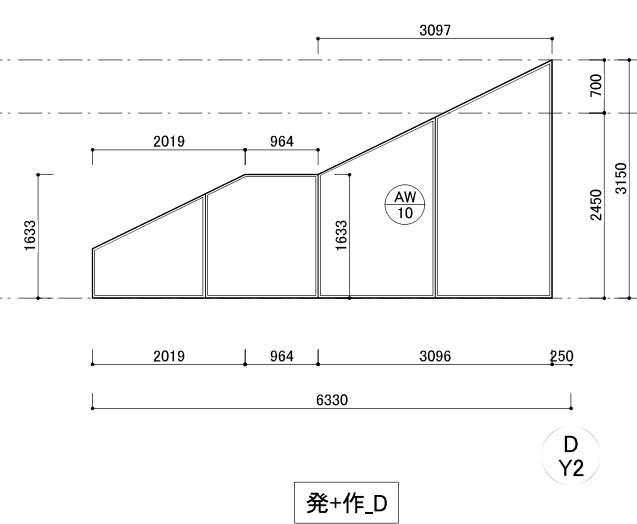
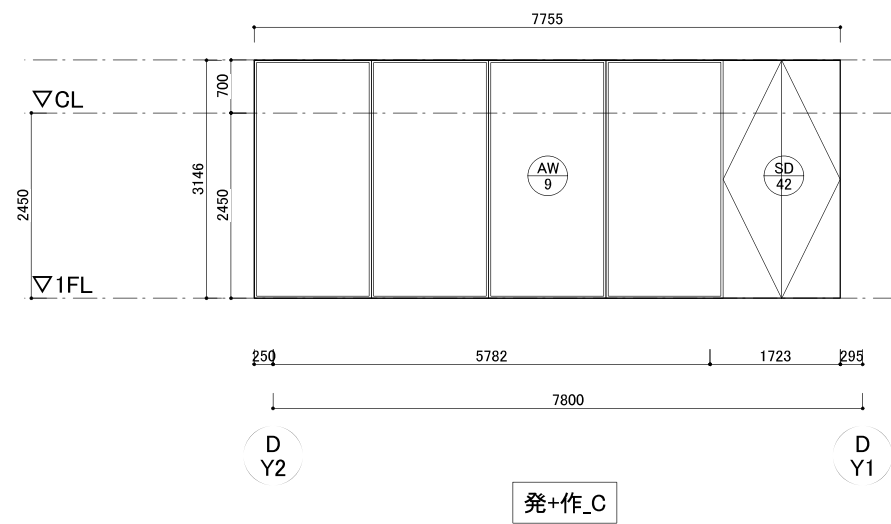
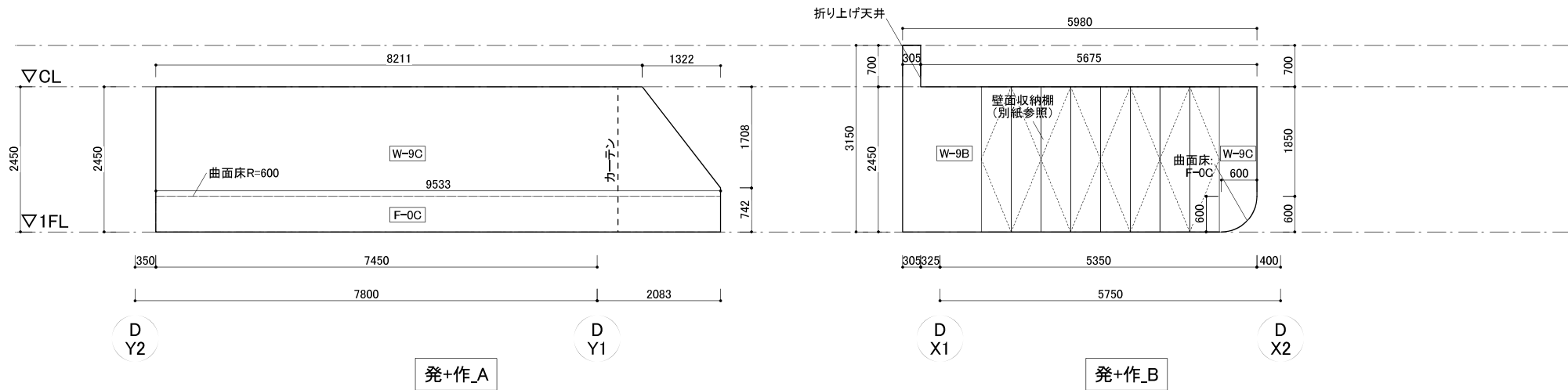


06\_発 + 07\_作

06\_発 + 07\_作

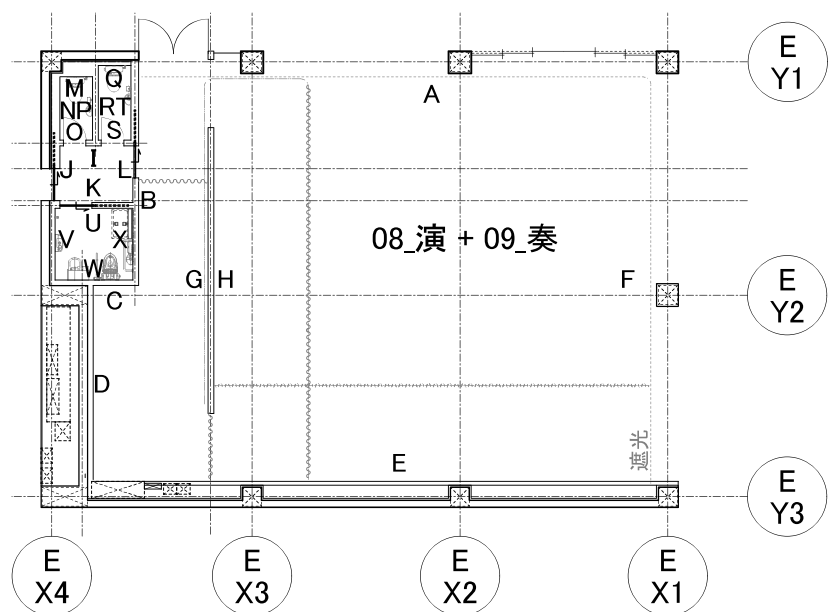


キープラン S=1/200

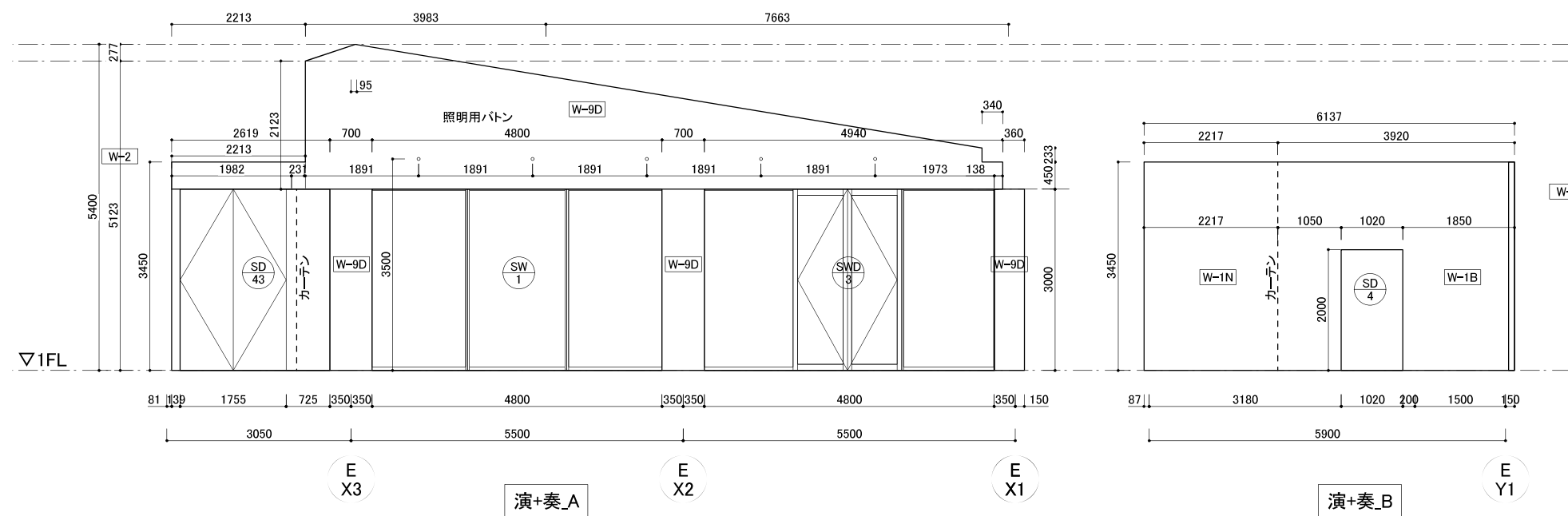


08\_演 + 09\_奏

08\_演 + 09\_奏



キープラン S=1/200

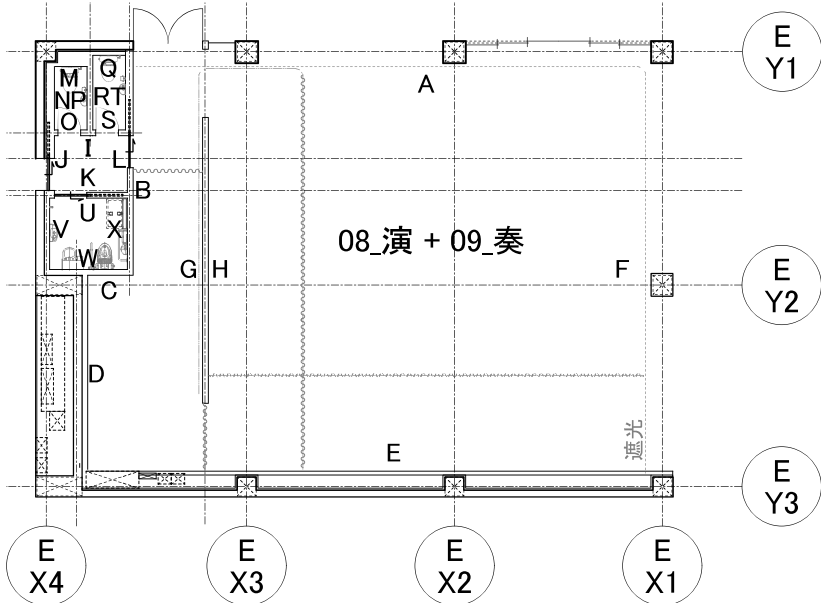




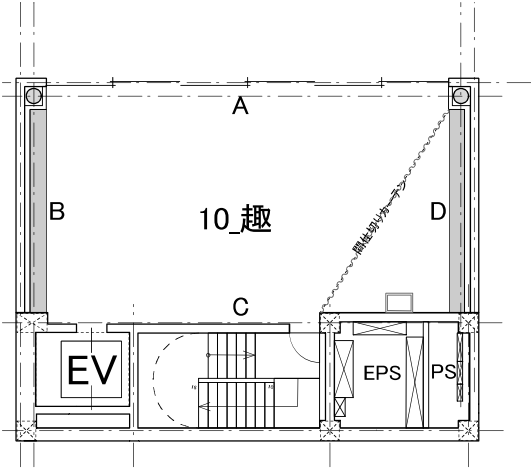
[illegible]

project	akihisa hirata architecture office	株式会社平田晃久建築設計事務所 106-0031 東京都港区西麻布2-8-13F西麻布ビル 2-8-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031 tel 03-3409-1455 fax 03-3409-1458	date	R04.06.30	scale	1/100	subject	内壁展開図7	A 81
図書館等複合施設新築(建築主体)工事									





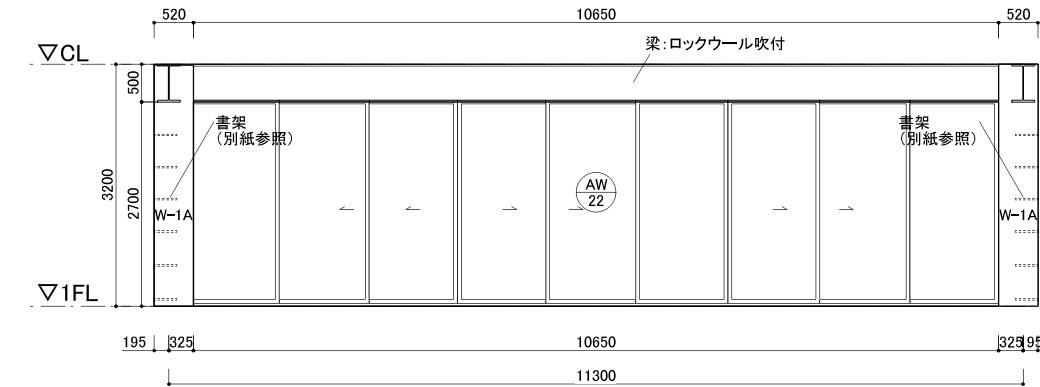
キープラン S=1/200



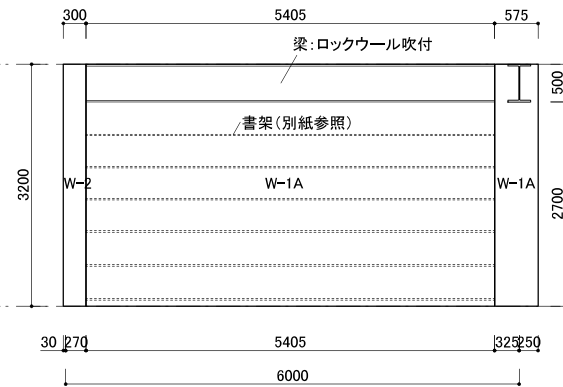
キープラン S=1/200

## 10\_趣

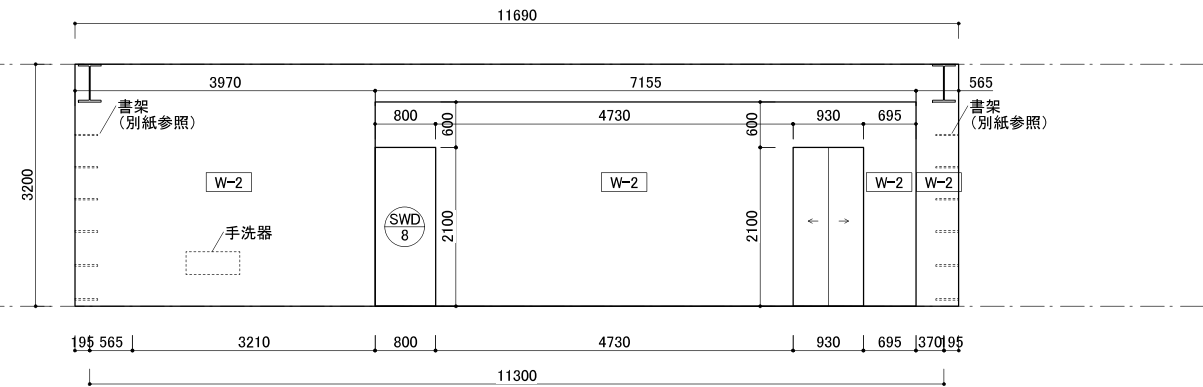
### 10\_趣



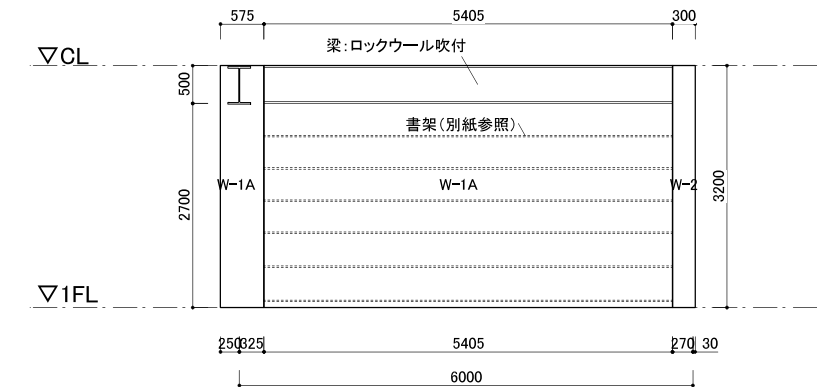
趣\_A



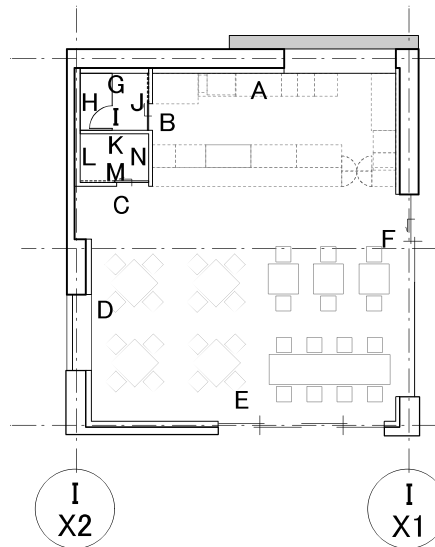
趣\_B



趣\_C



趣\_D

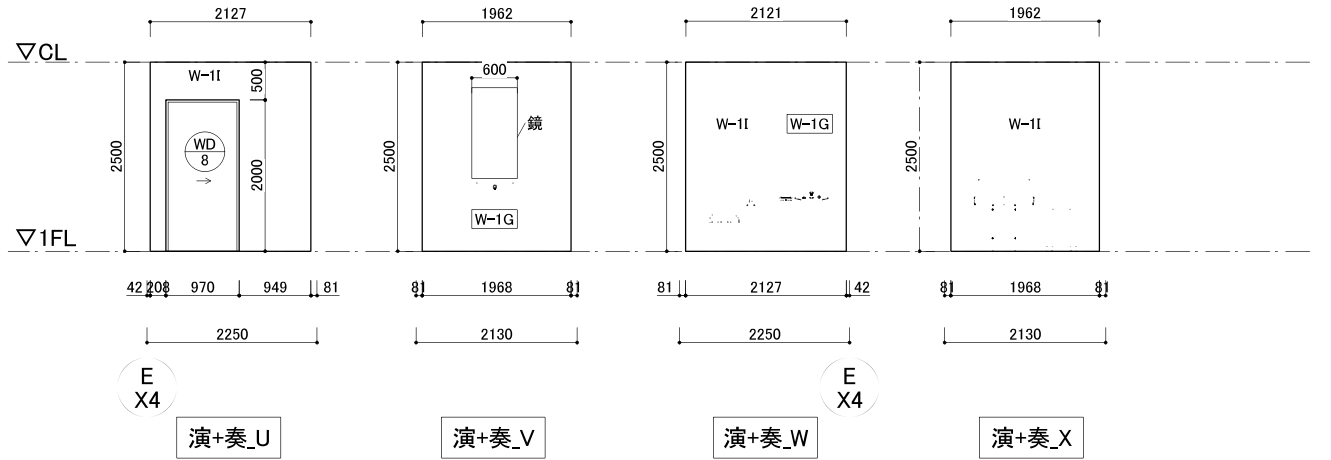


I X2

I X1

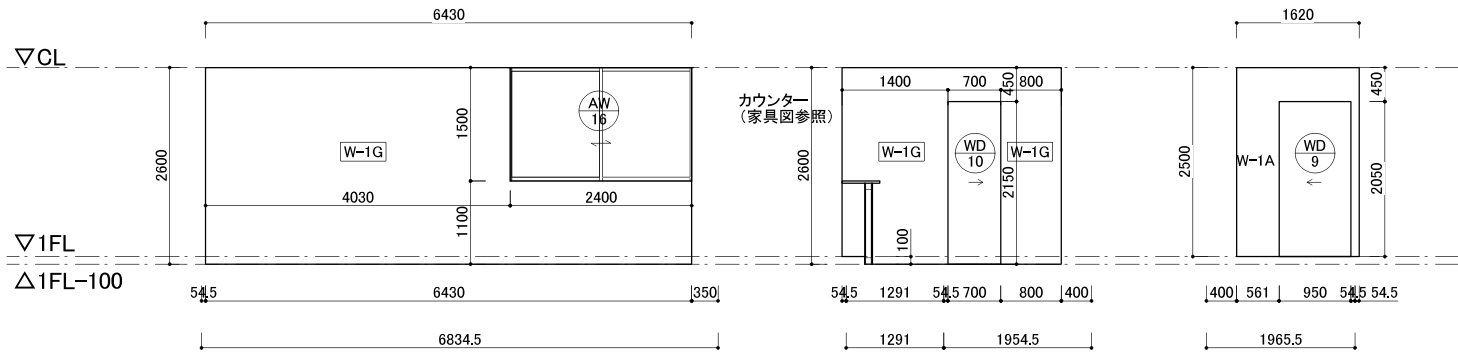
## 08\_演 + 09\_奏

### トイレ



## 13\_食

### 13\_食・厨房



食\_A

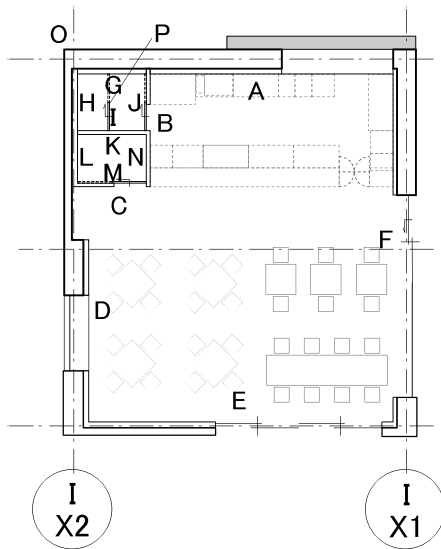
I X1

食\_B

I X1

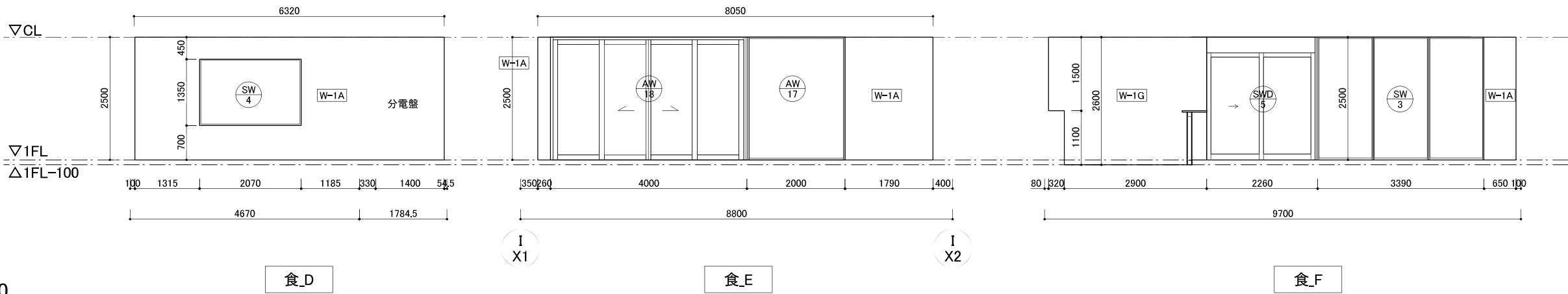
食\_C





13\_食

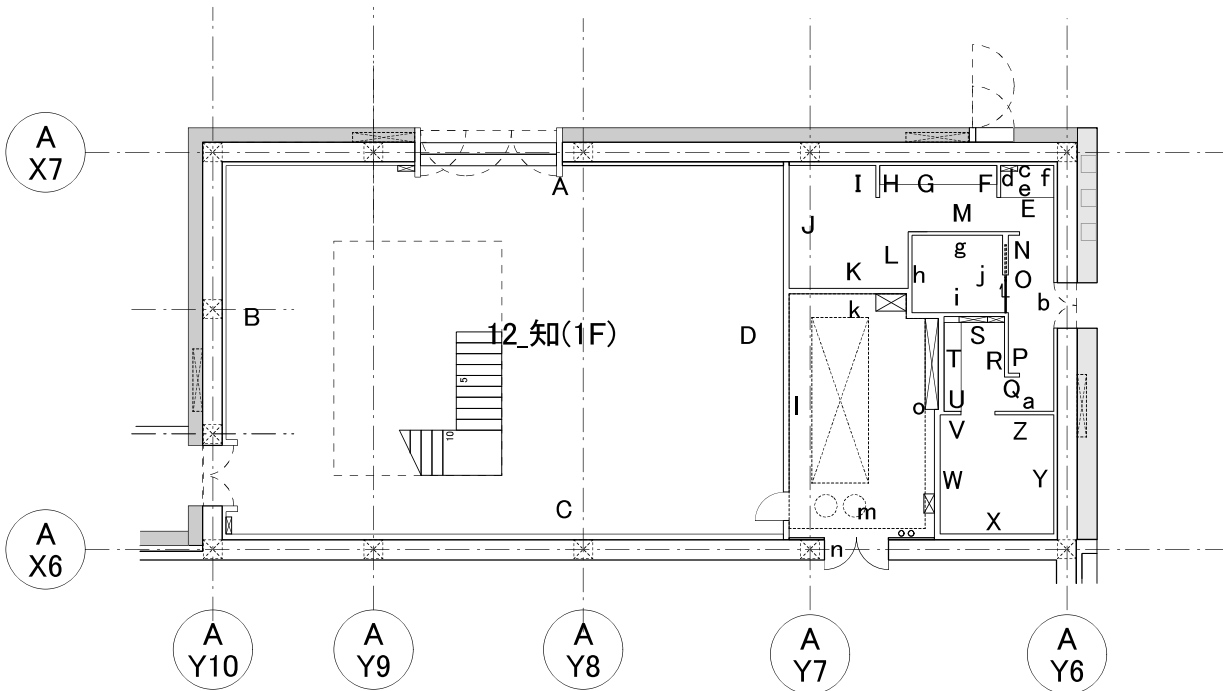
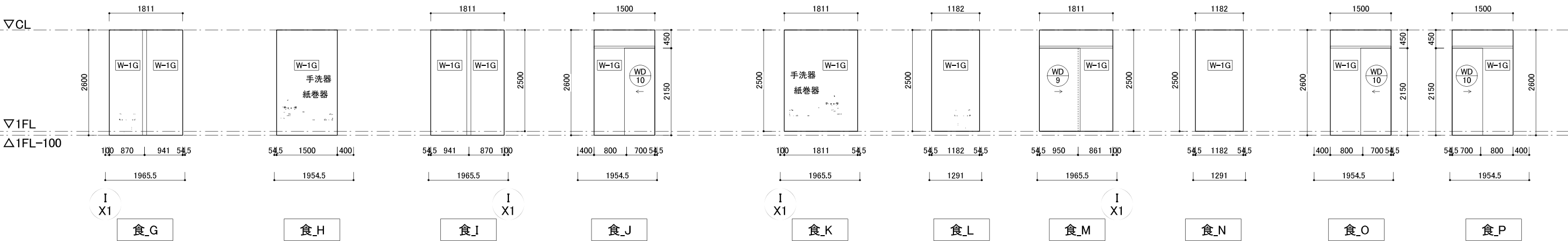
13\_食・厨房



バックスペース

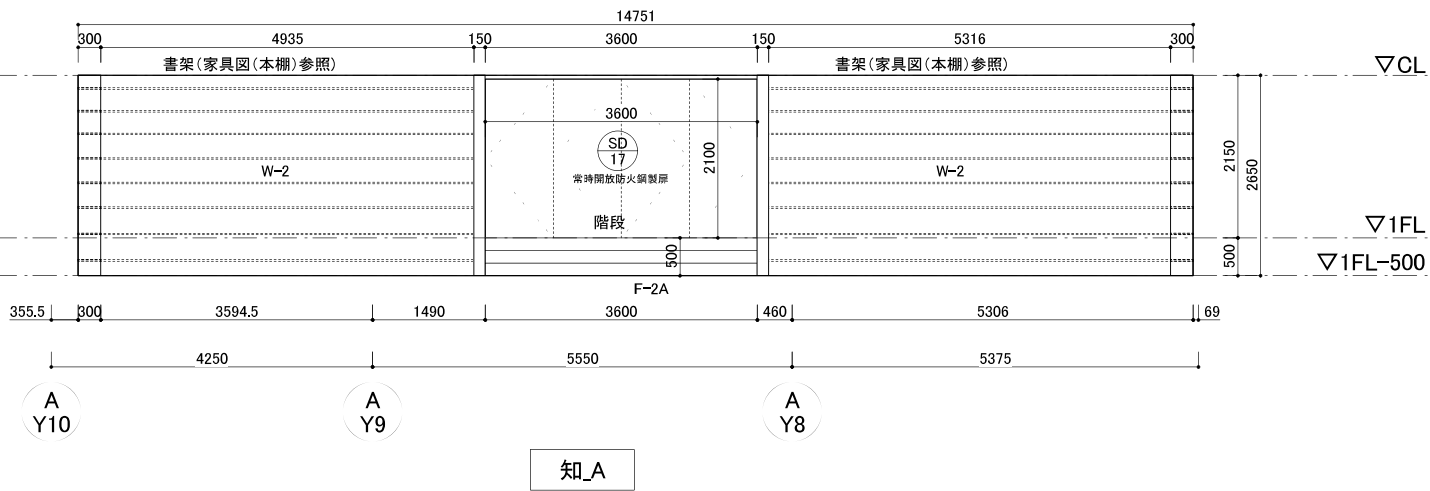
トイレ

バックスペース



12\_知(1F)

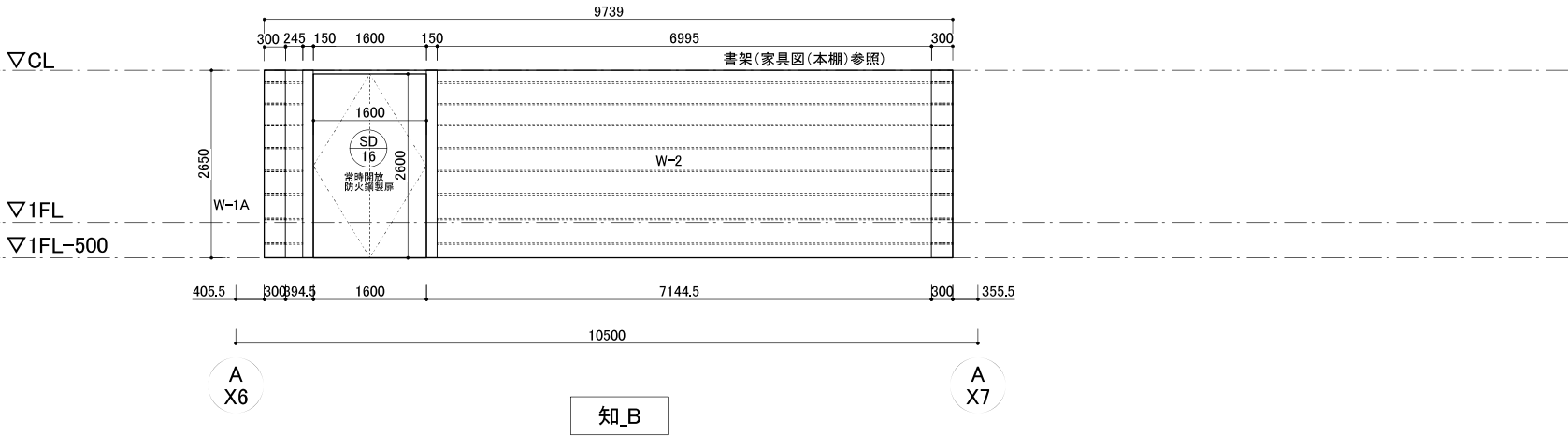
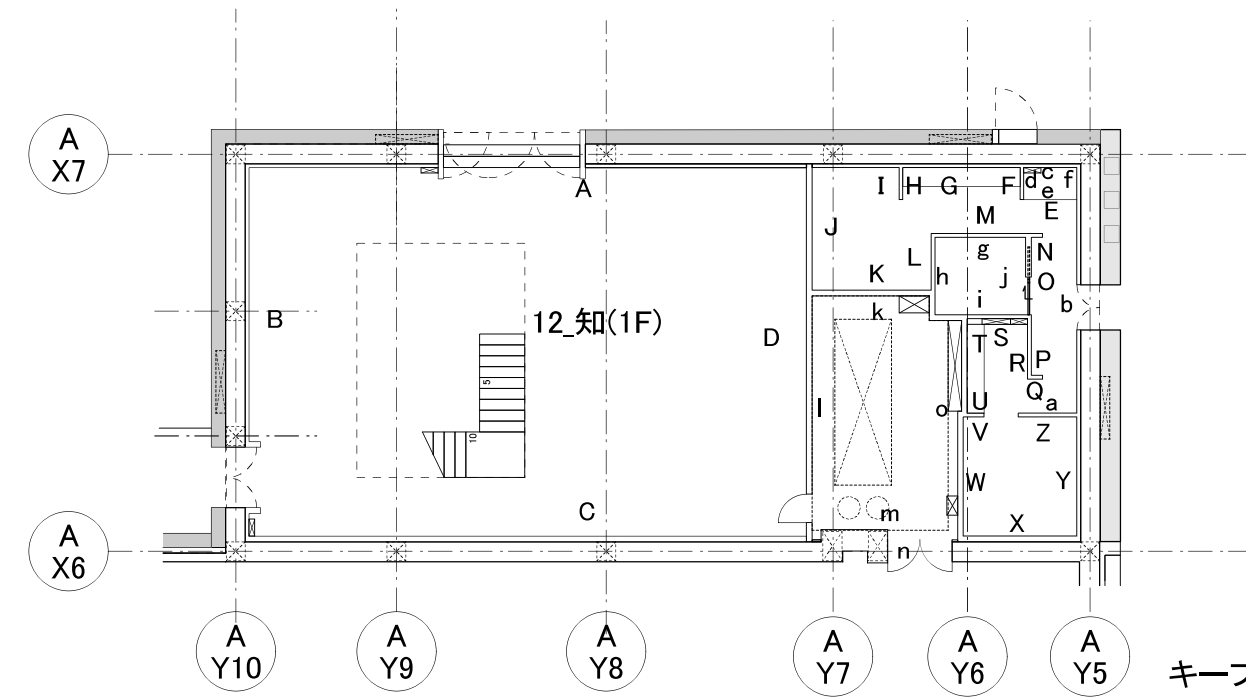
12\_知(1F)



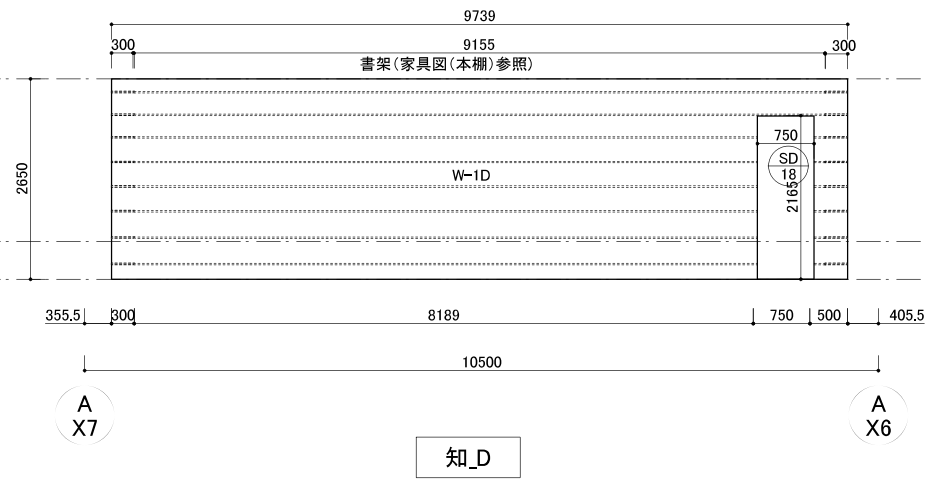
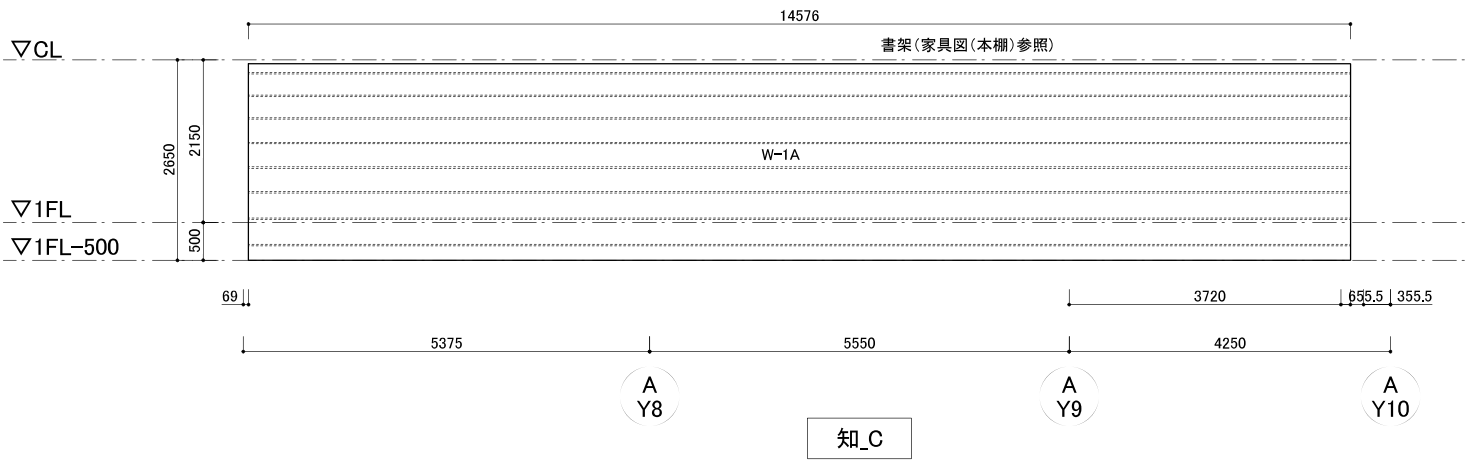


12\_知(1F)

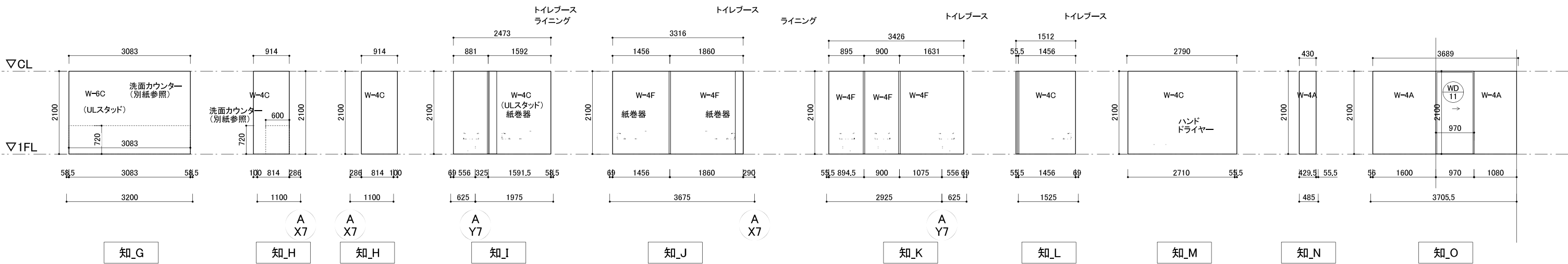
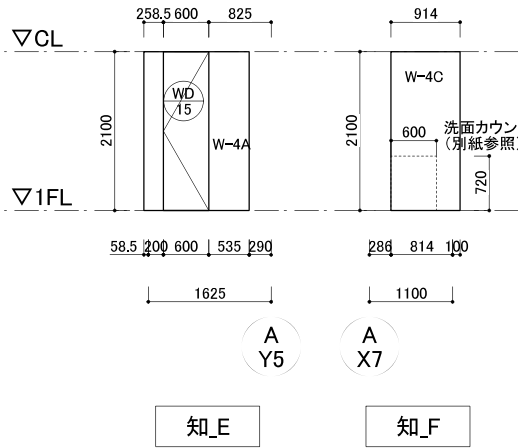
12\_知(1F)



キープラン S=1/200



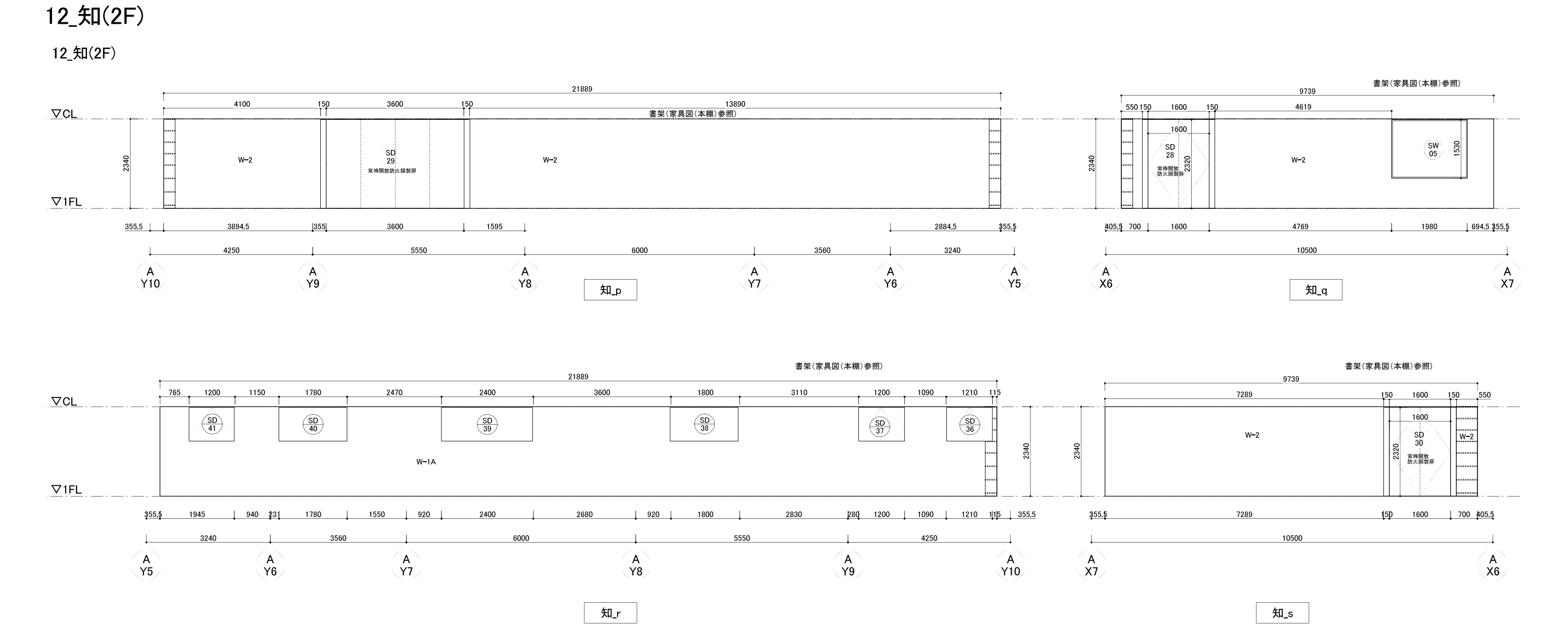
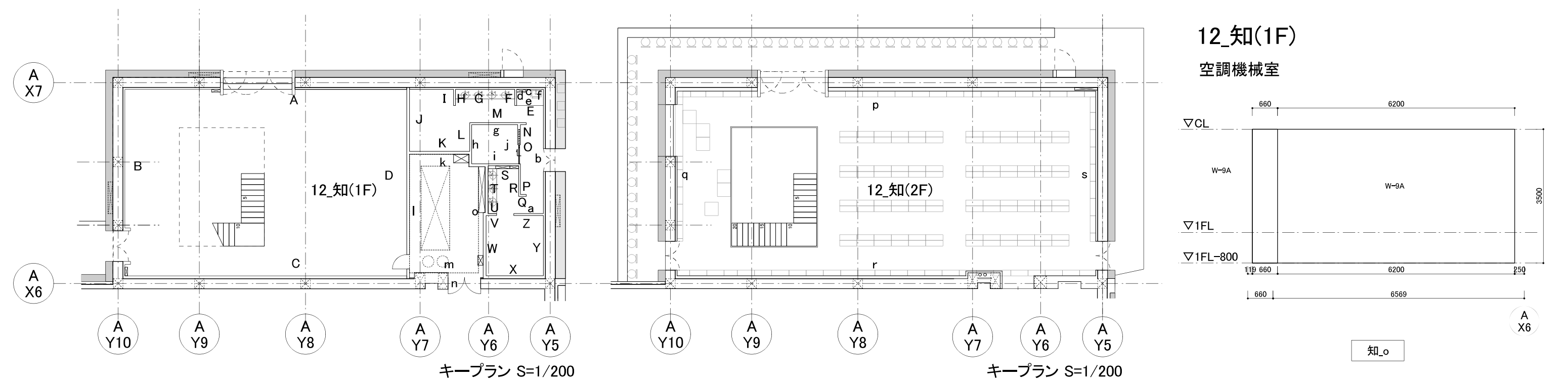
WWC



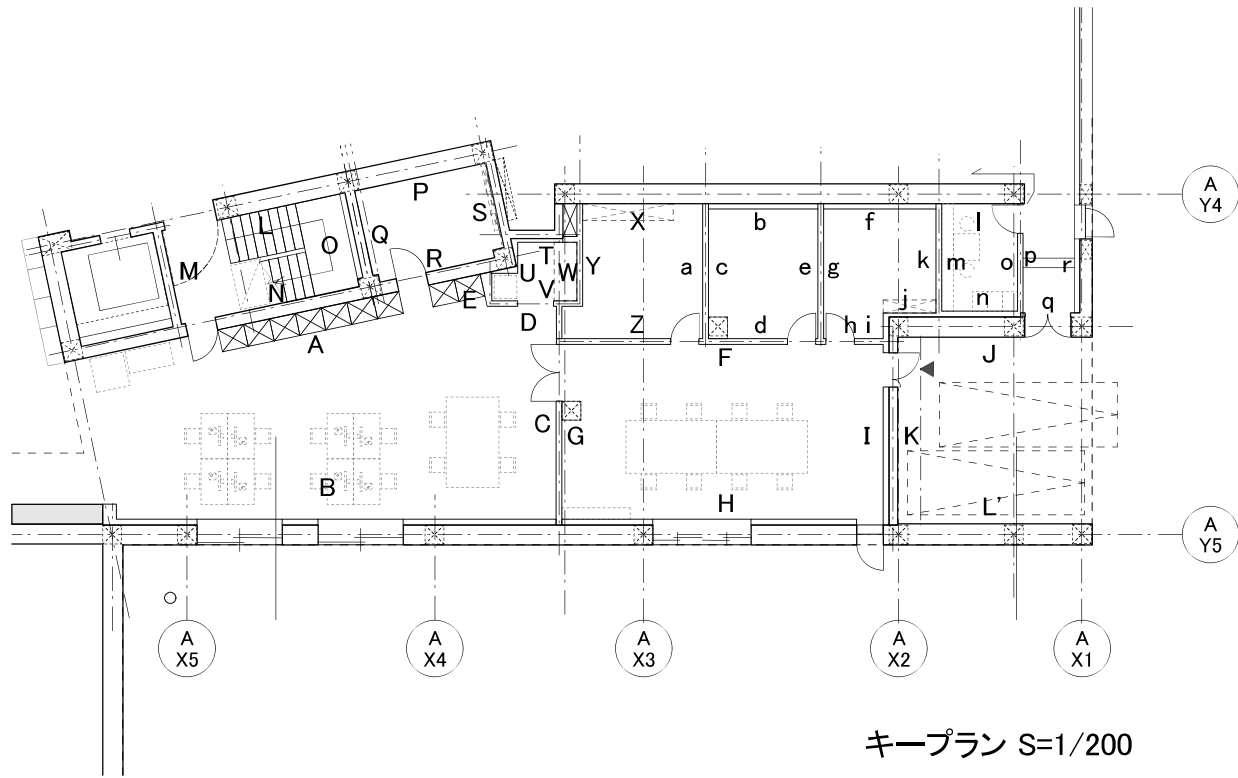








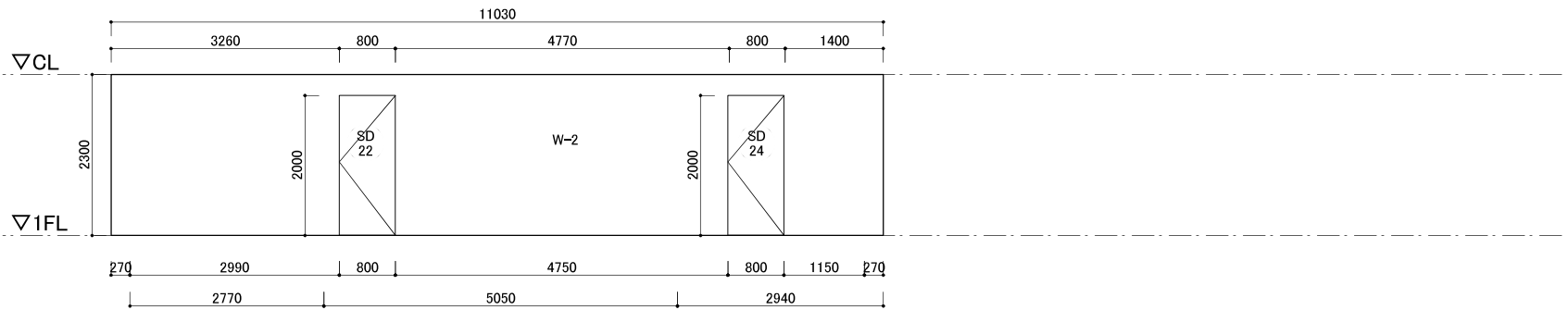




キープラン S=1/200

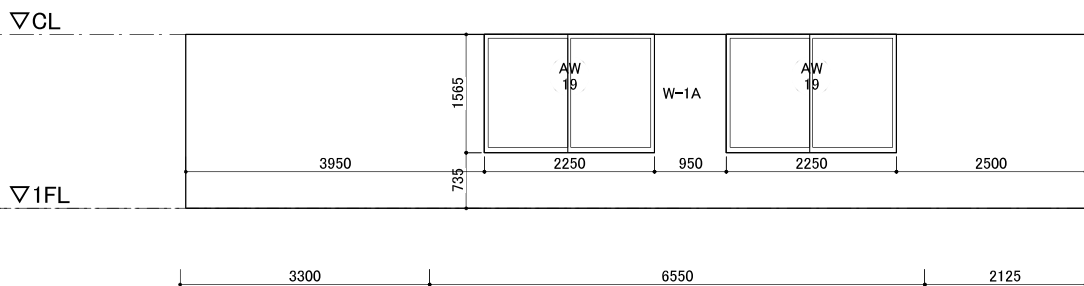
## 管理棟(1F)

事務室

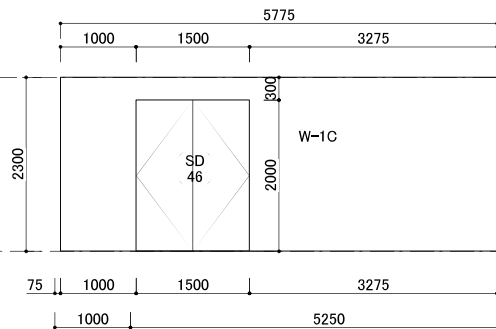


管理棟1F\_A

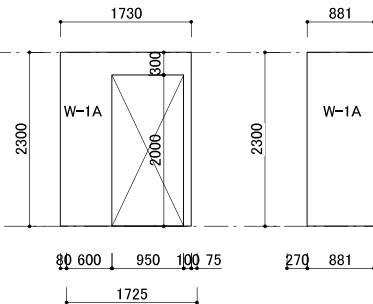
事務室



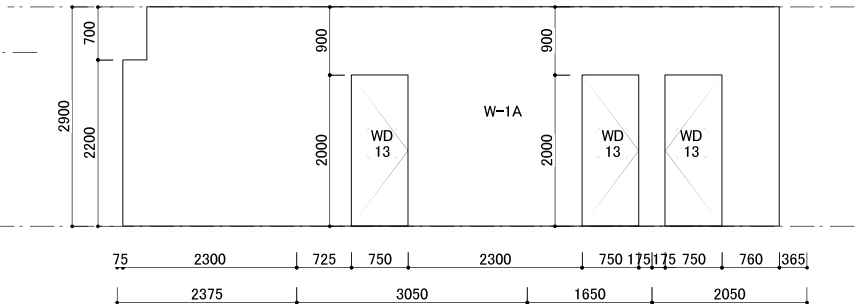
管理棟1F\_B



管理棟1F\_C

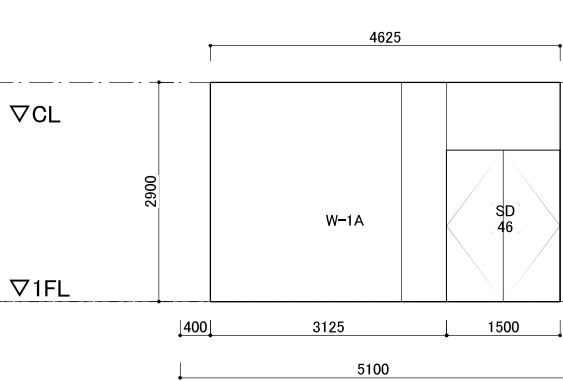


管理棟1F\_D

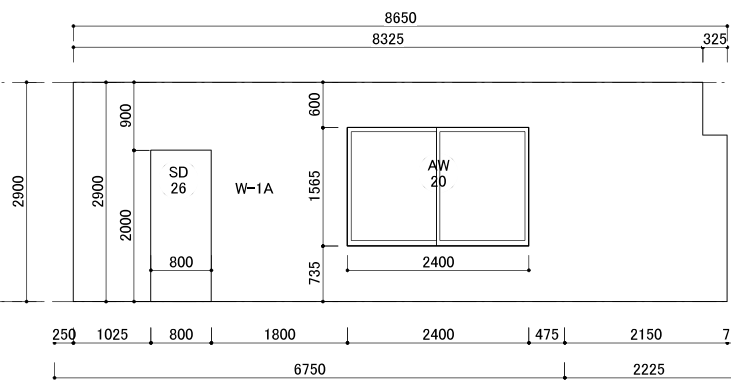


管理棟1F\_F

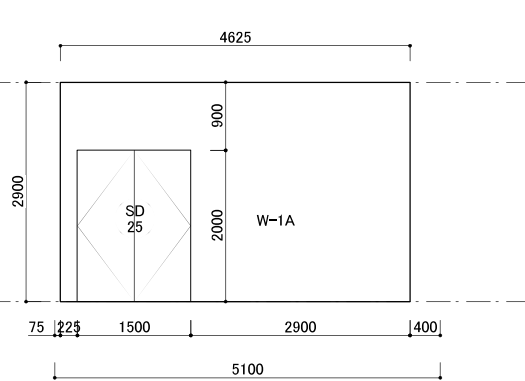
作業室



管理棟1F\_G

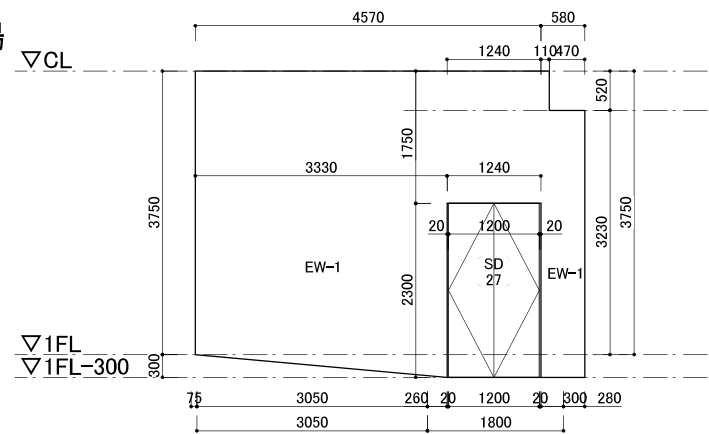


管理棟1F\_H



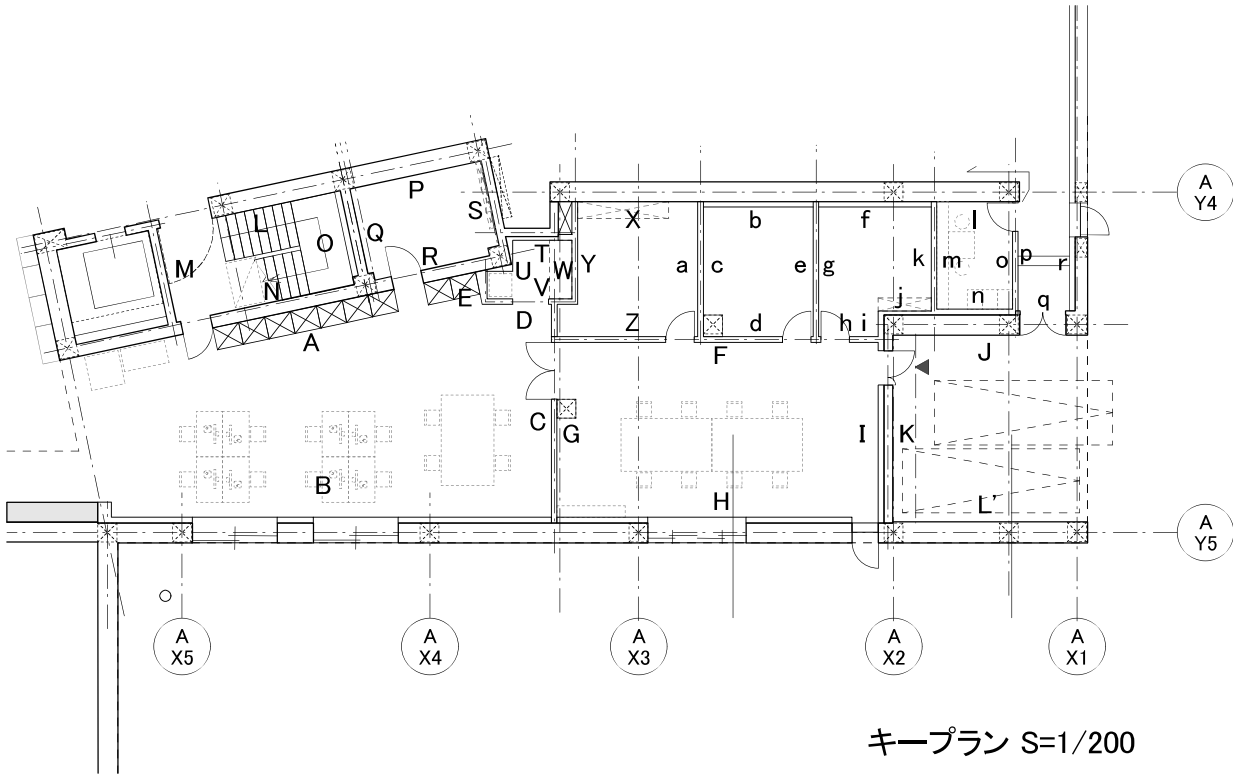
管理棟1F\_I

駐車場



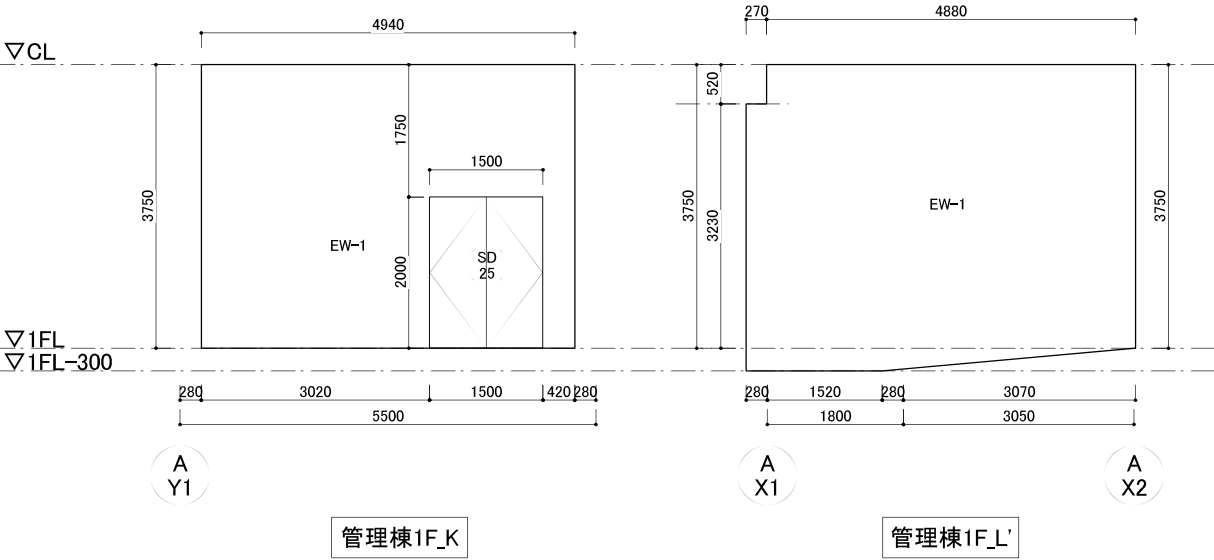
管理棟\_J



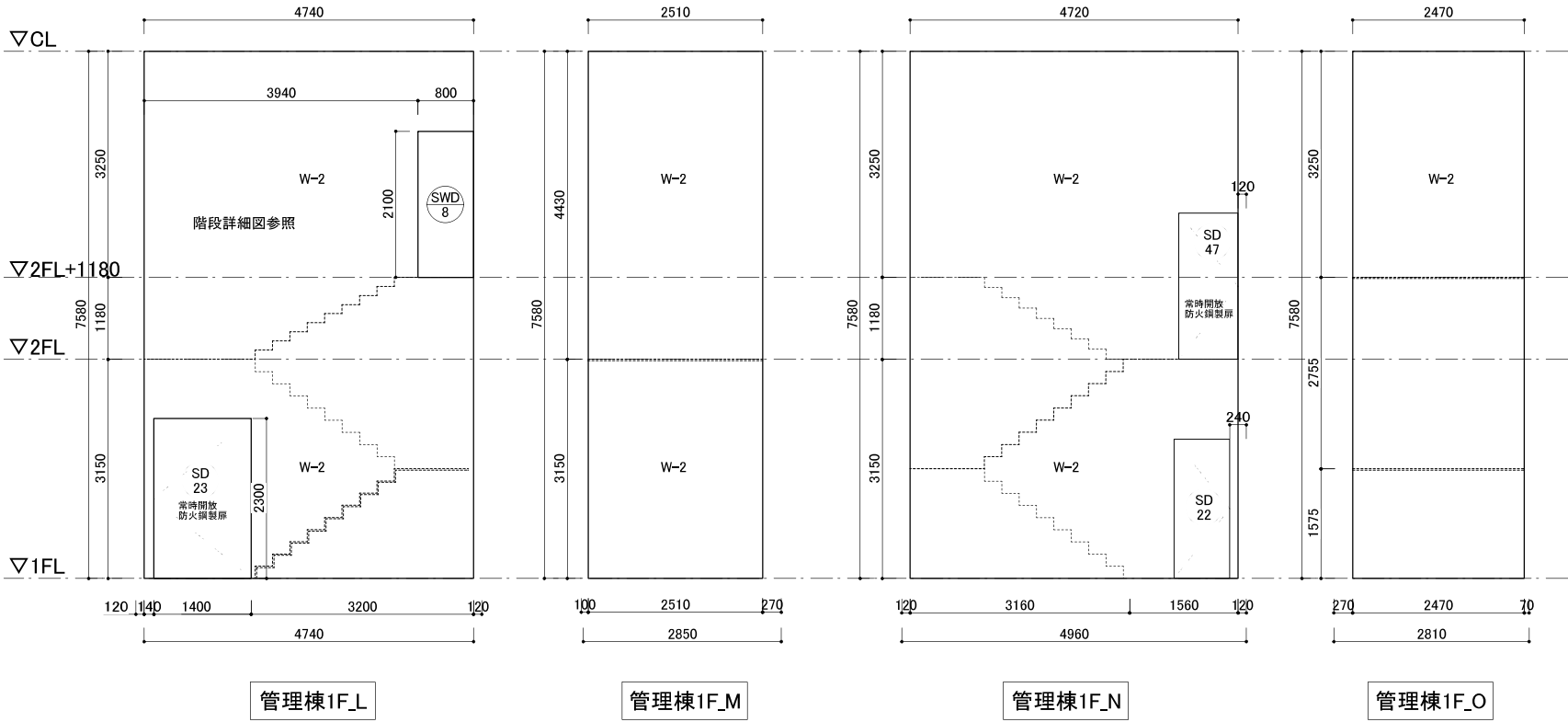


## 管理棟(1F)

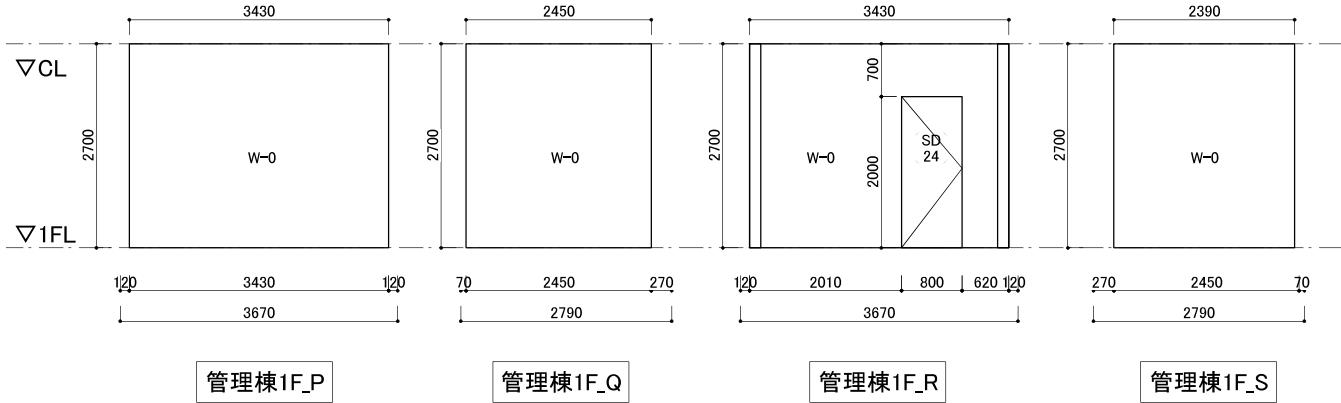
駐車場



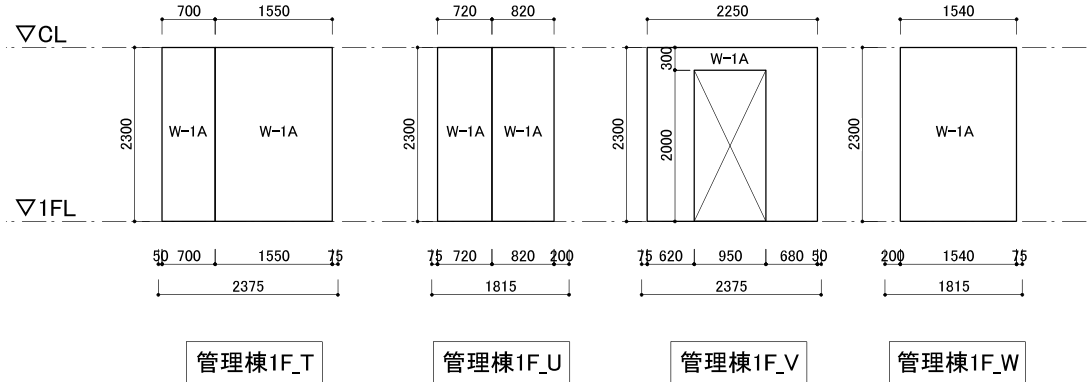
## 階段室-1



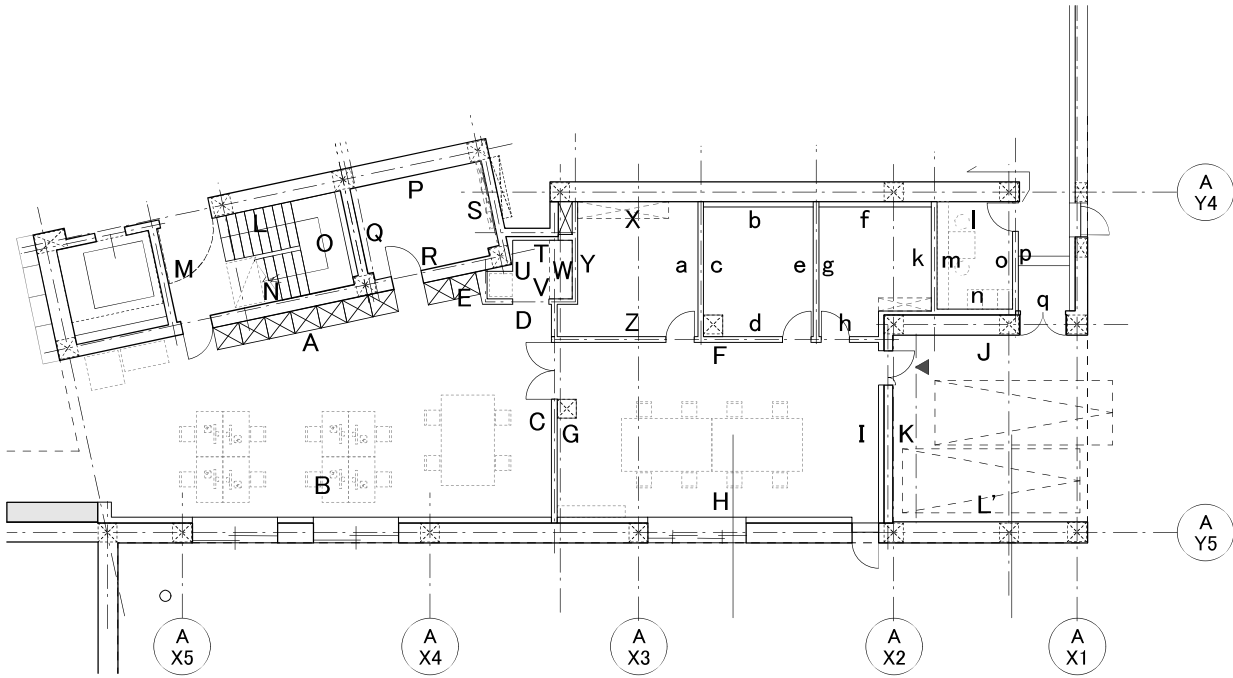
## 消化ポンプ室



## 給湯室

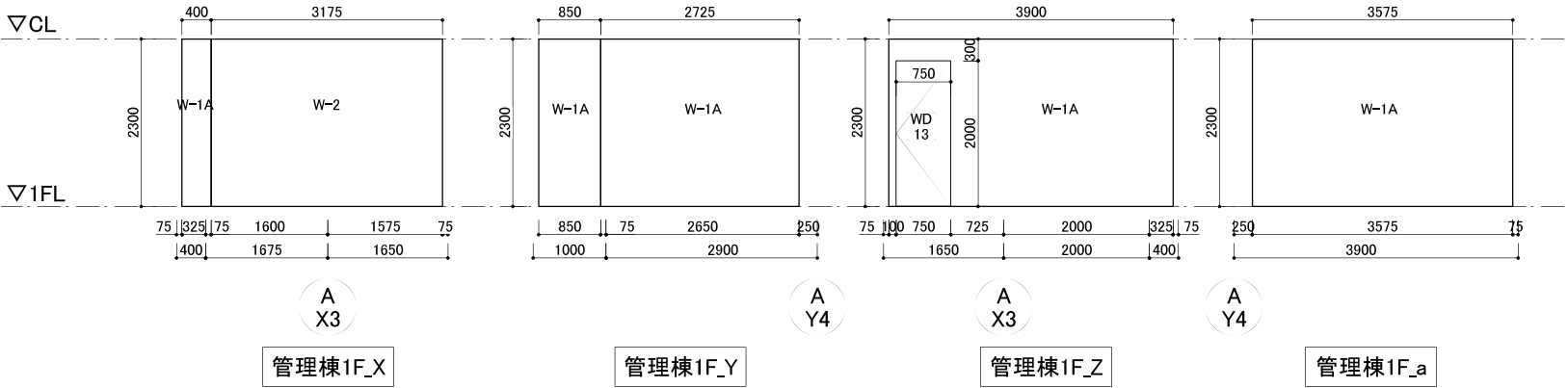




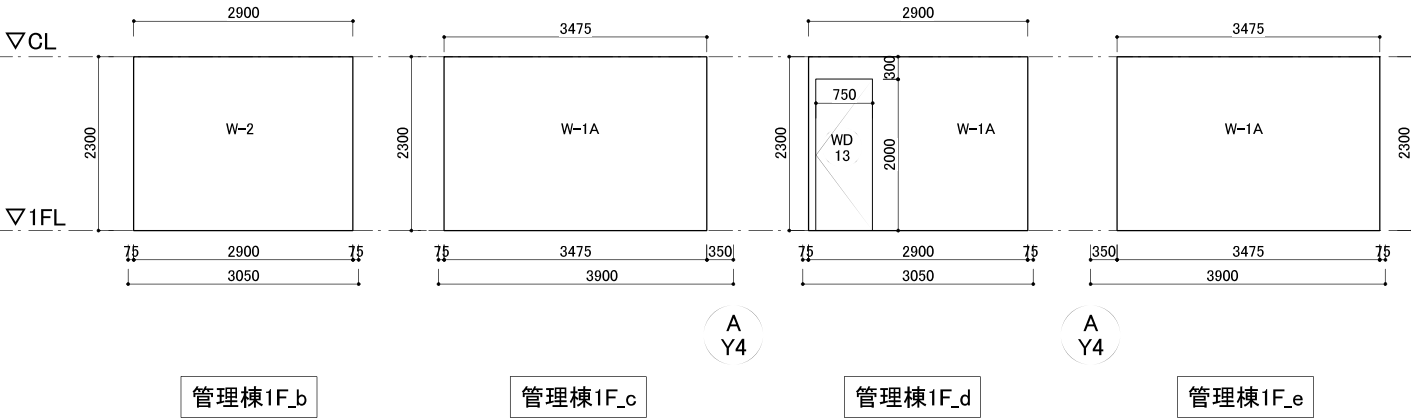


## 管理棟(1F)

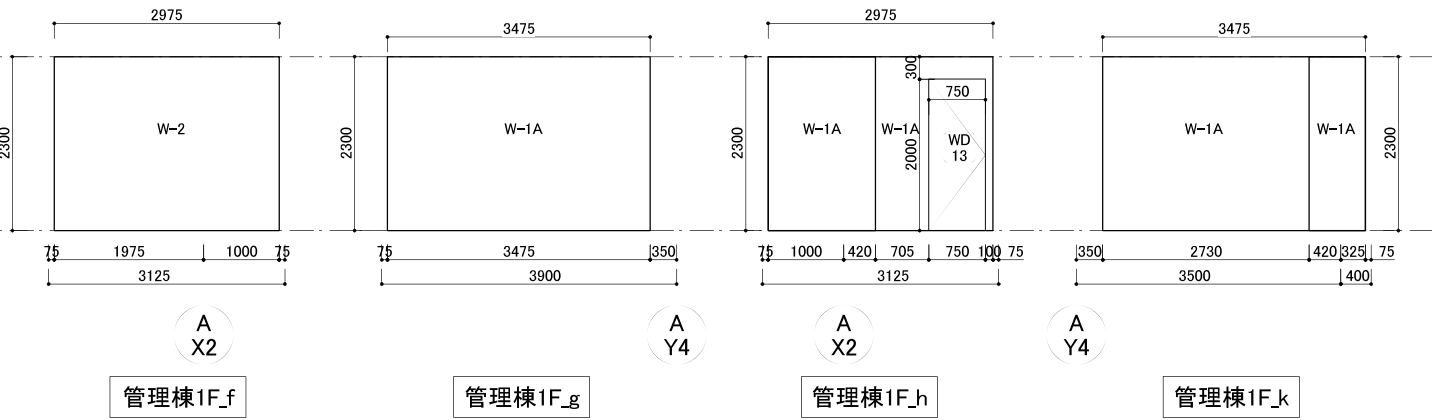
倉庫



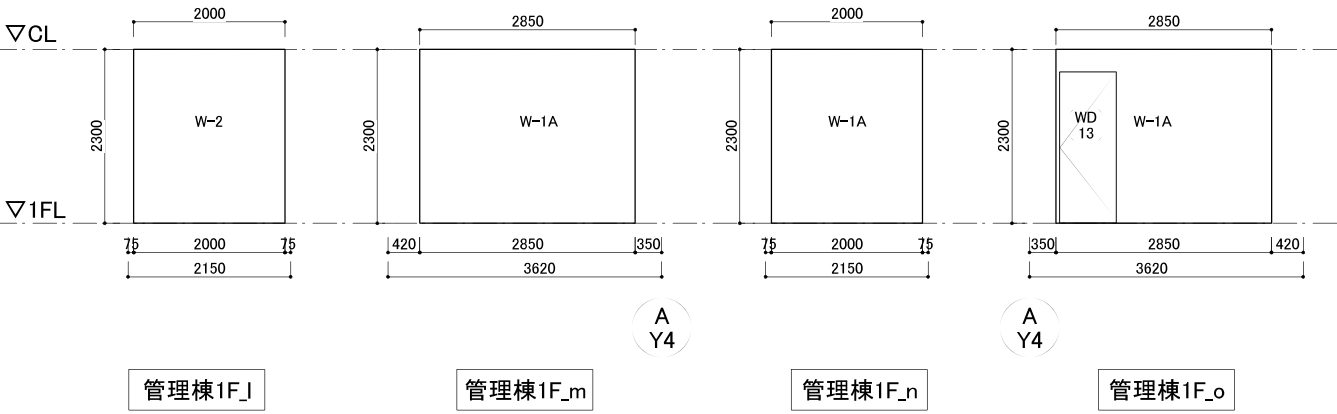
更衣室-1



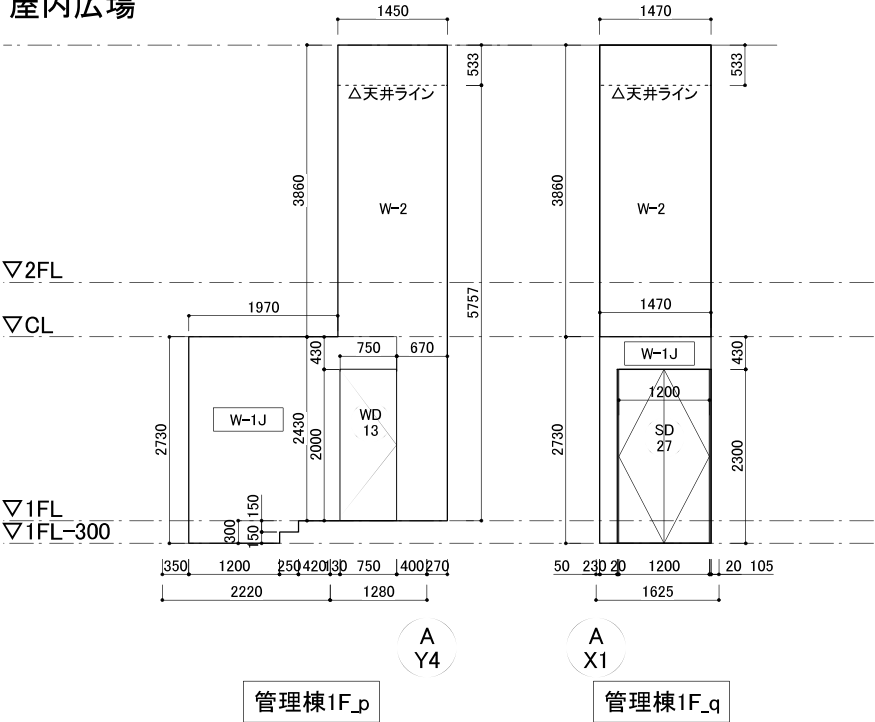
更衣室-2



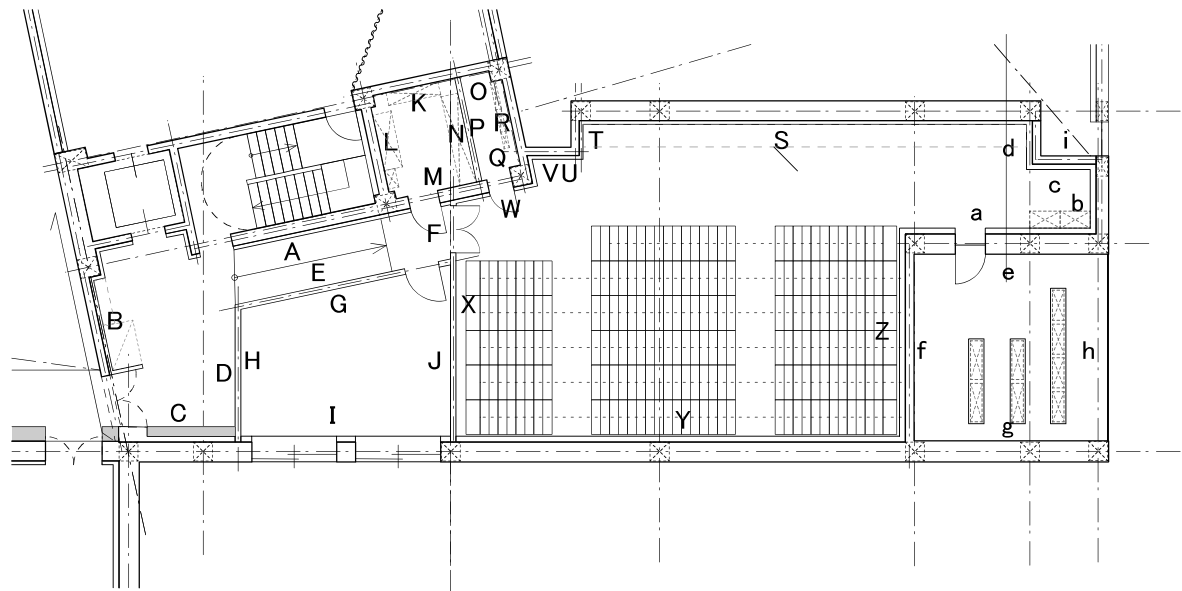
清掃員詰所



屋内広場



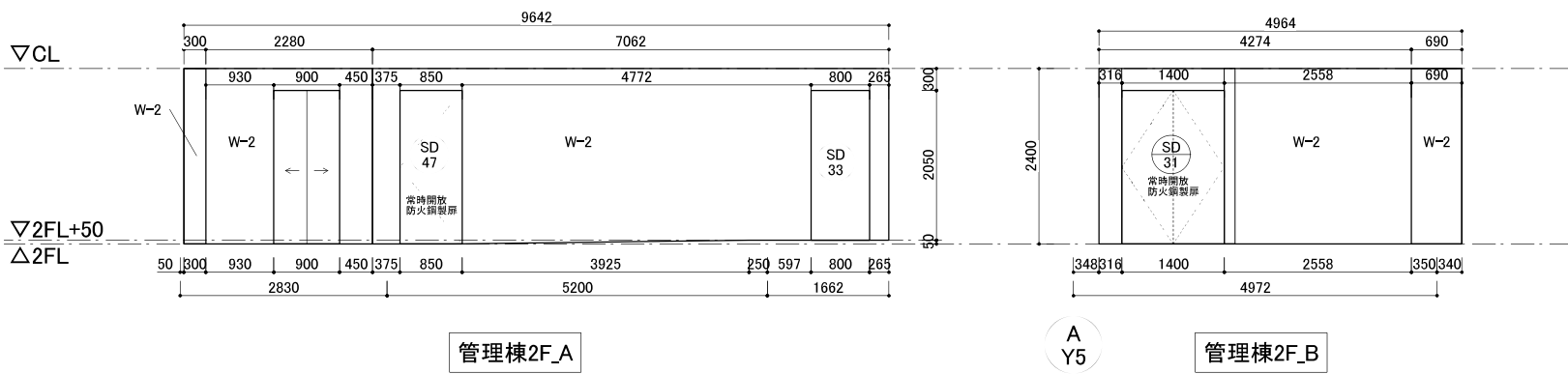




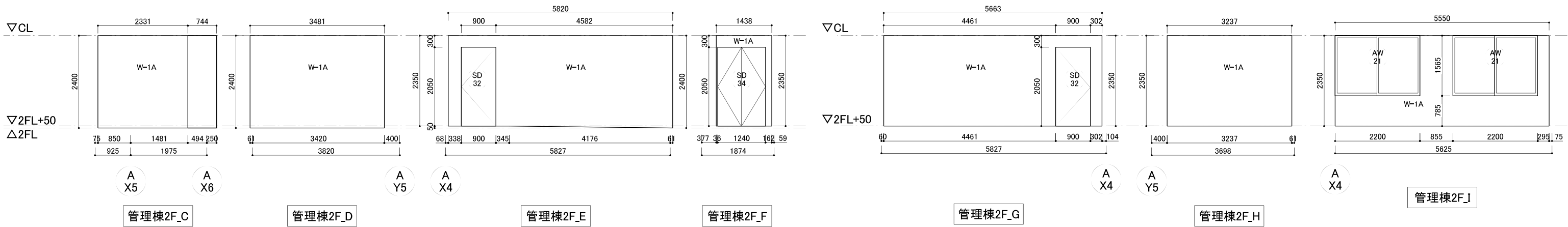
キープラン S=1/200

## 管理棟(2F)

EVホール・廊下

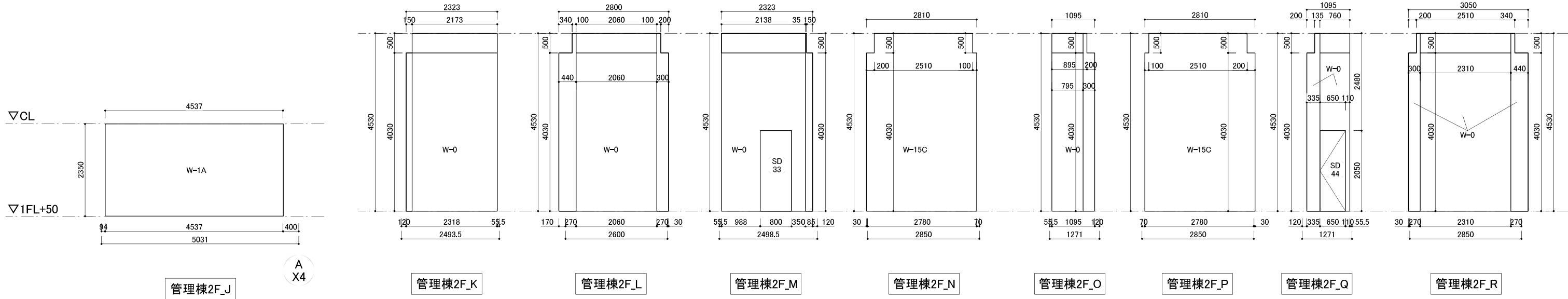


応接室・休憩室

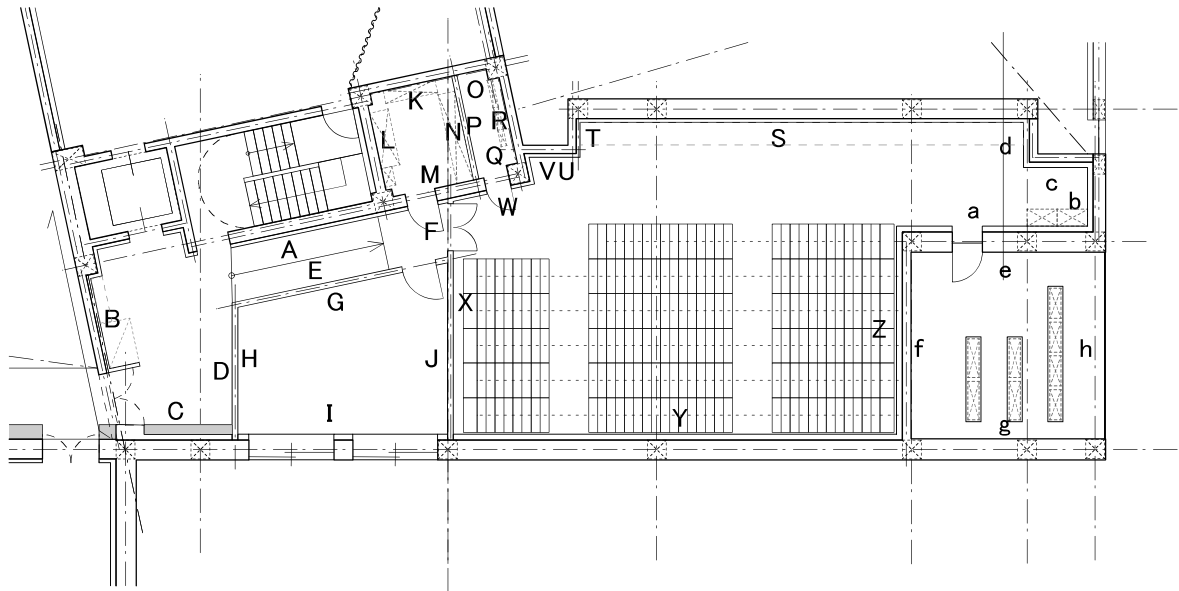


EPS

PS

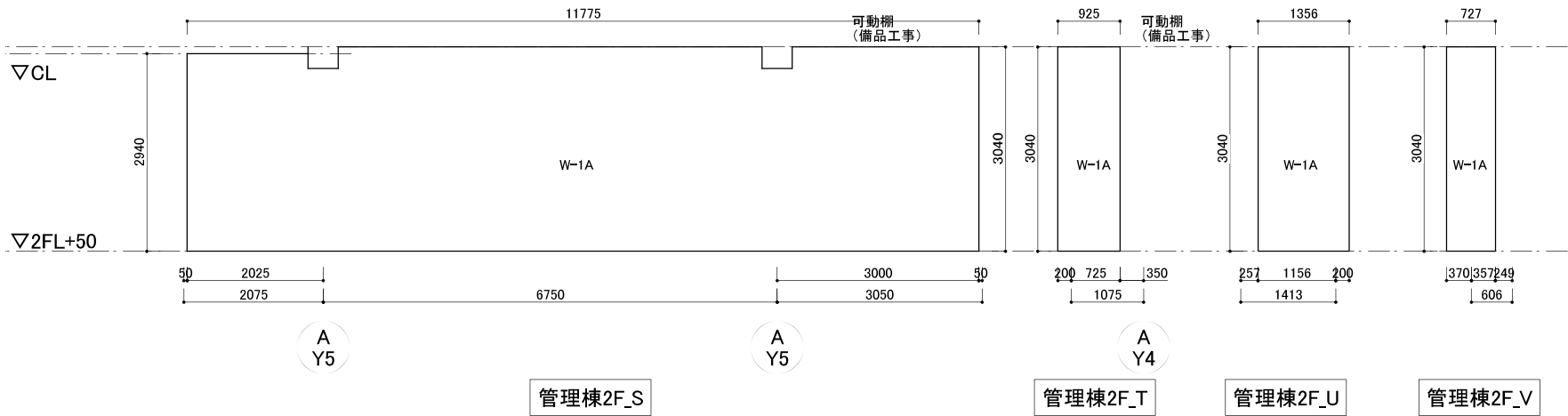




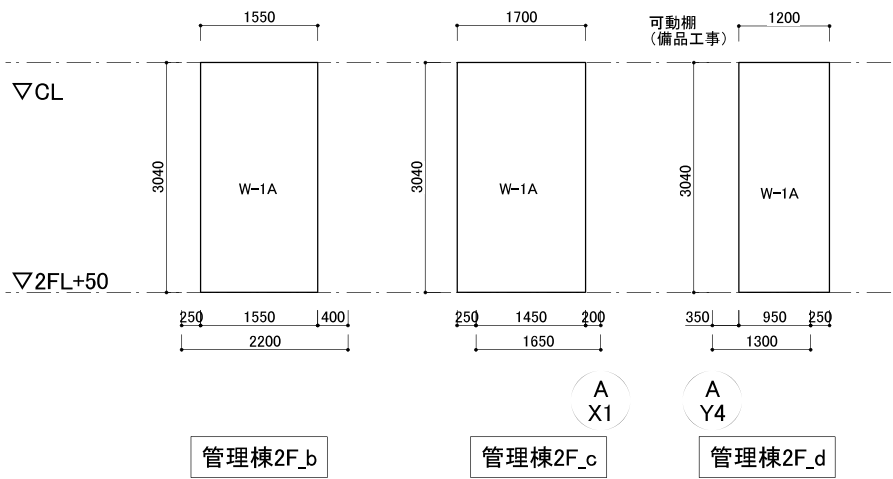
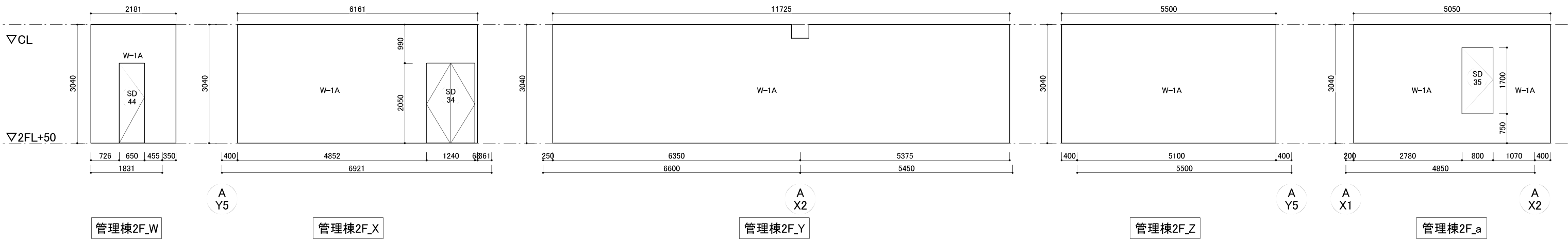


# 管理棟(2F)

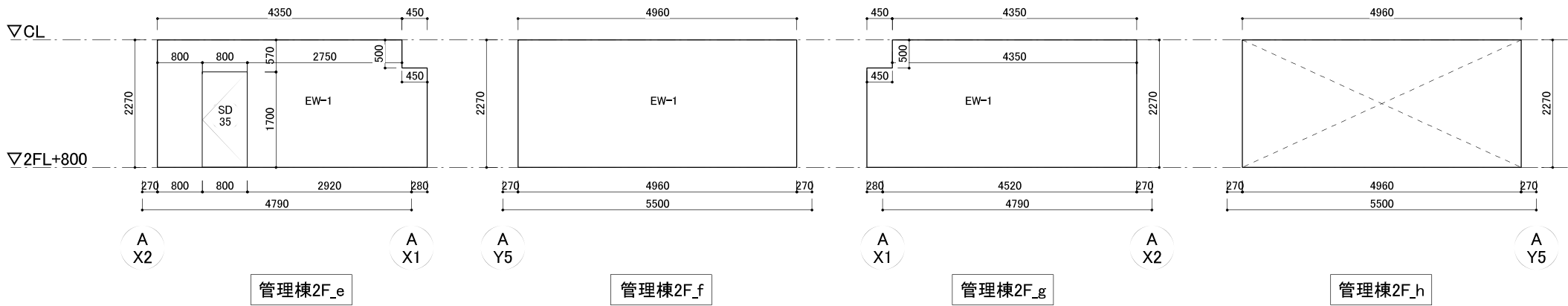
閉架書架



キープラン S=1/200



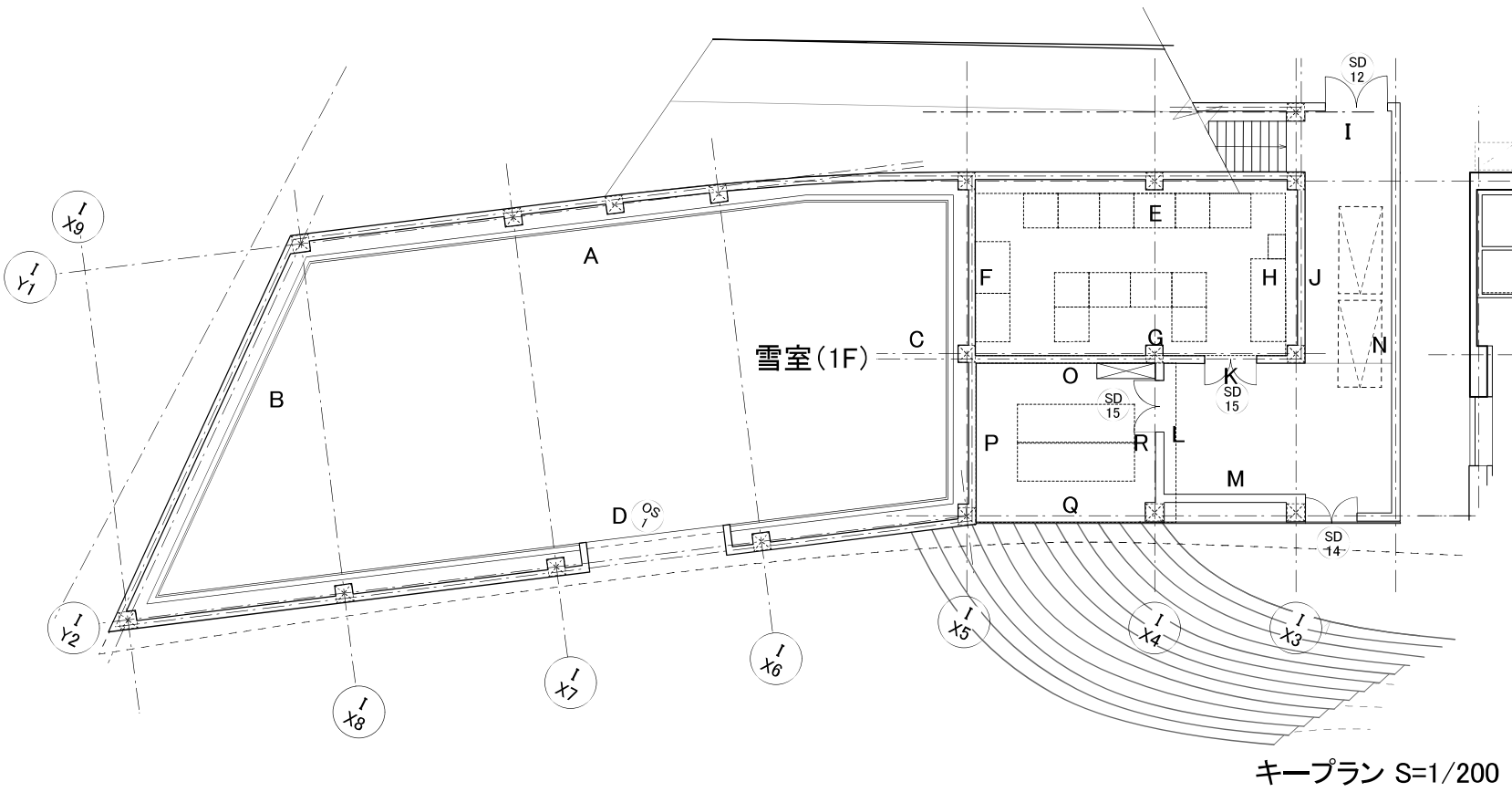
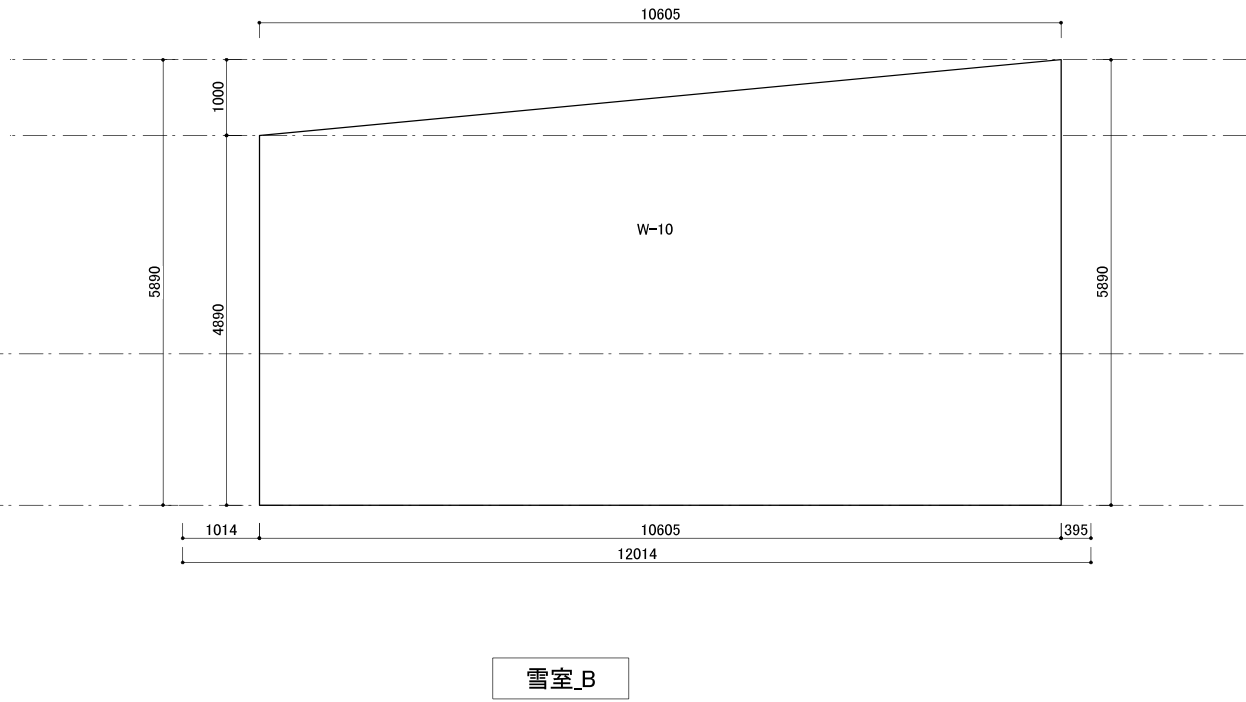
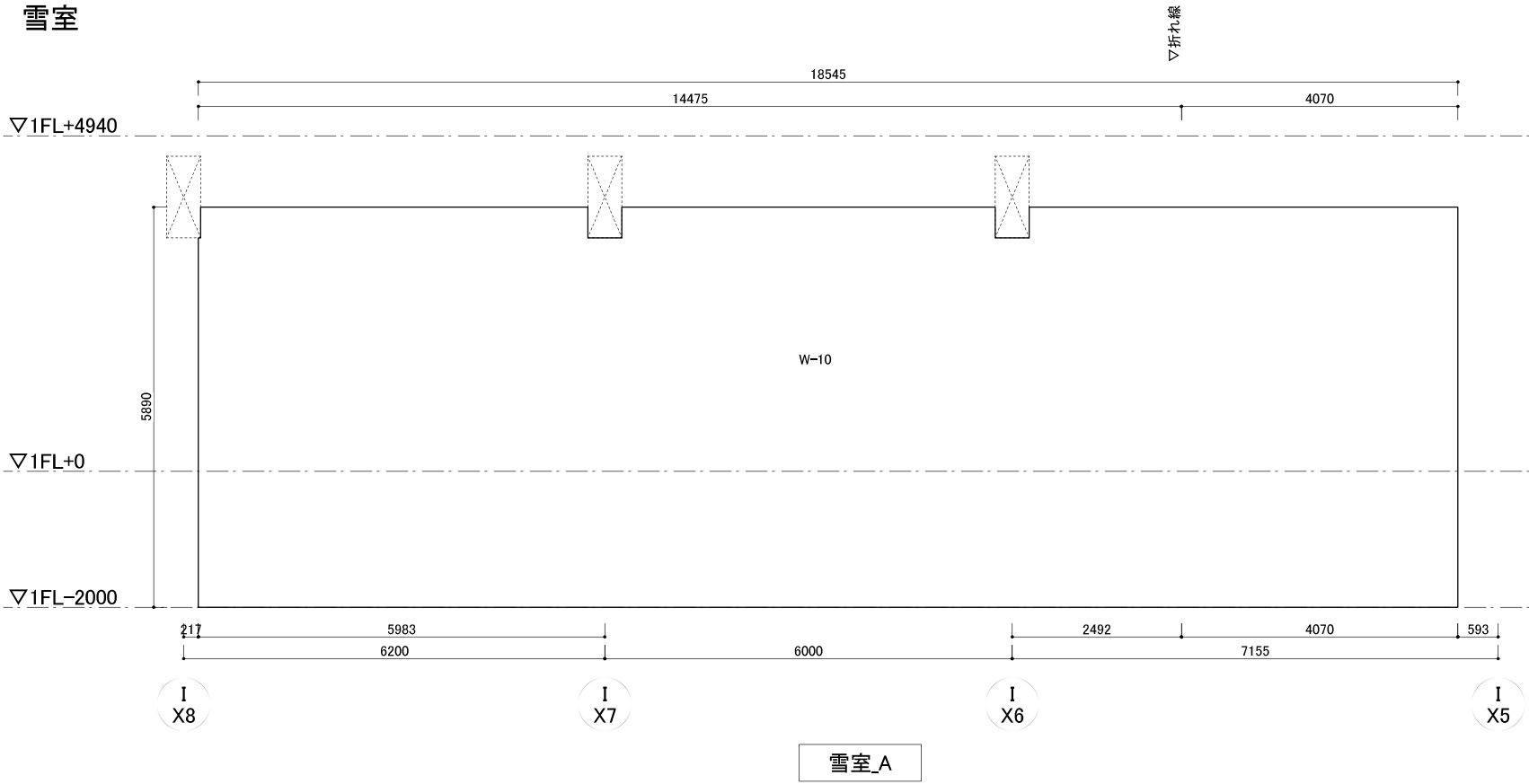
室外機置場





雪室(1F)

雪室

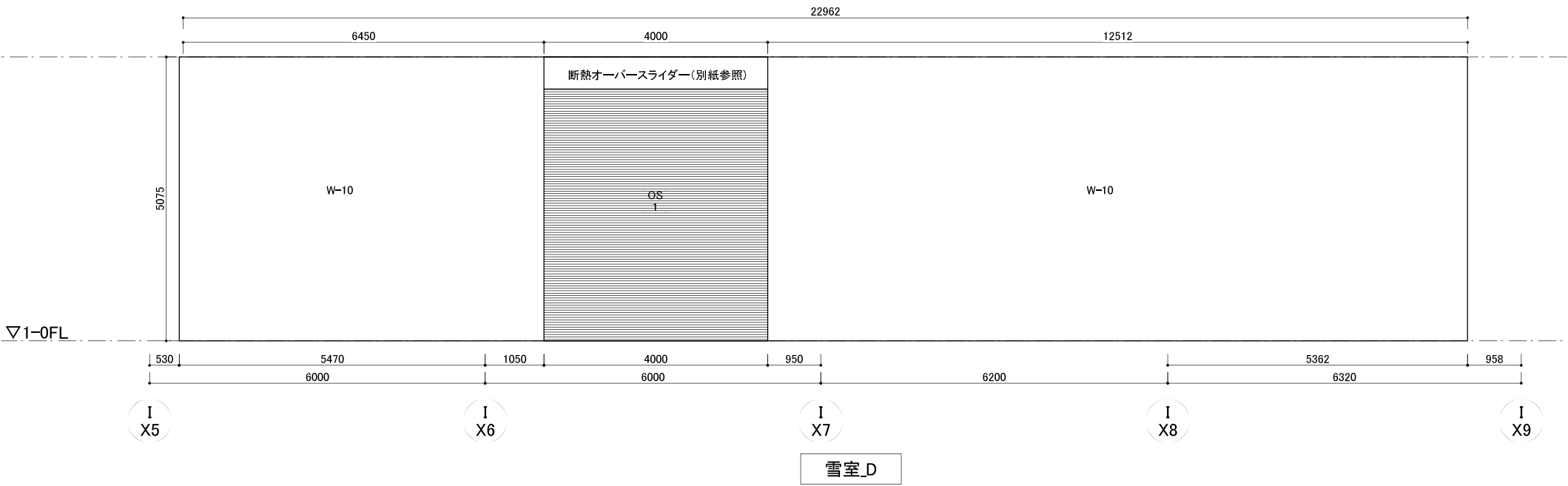


キープラン S=1/200

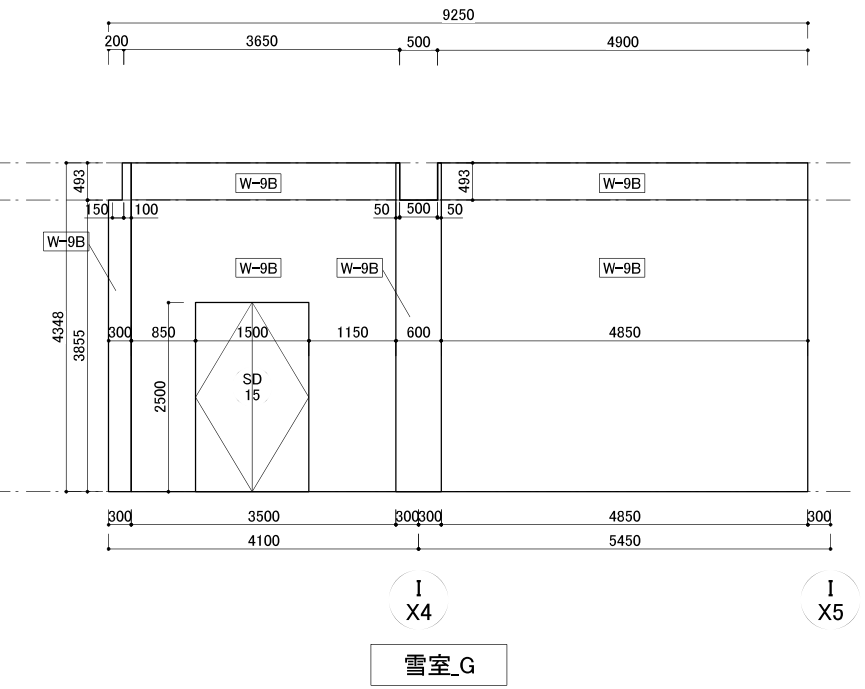
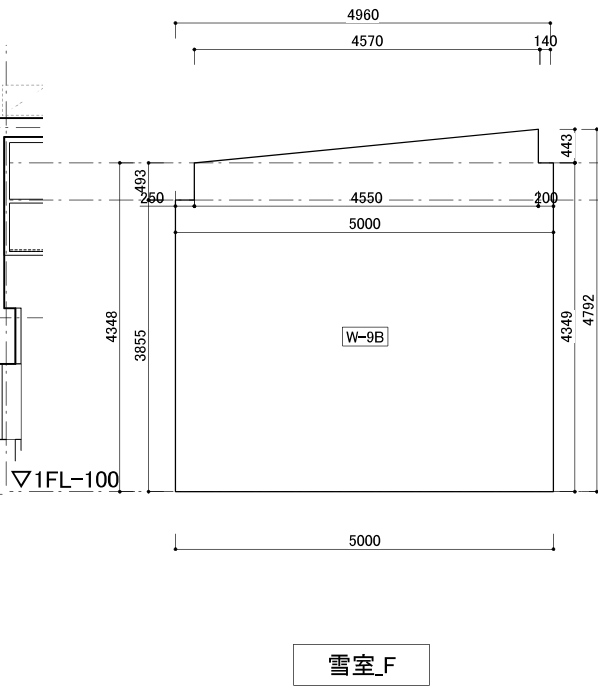
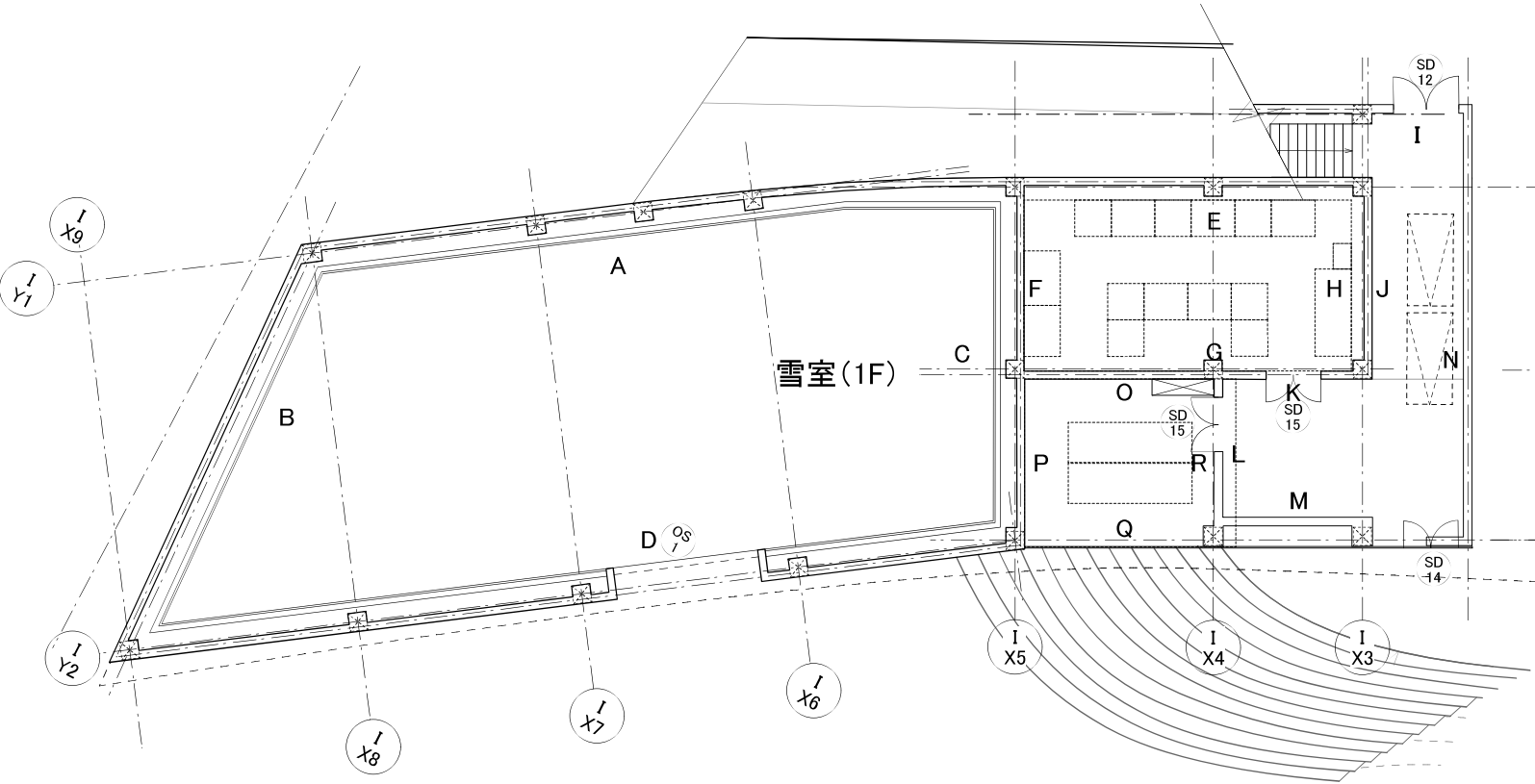
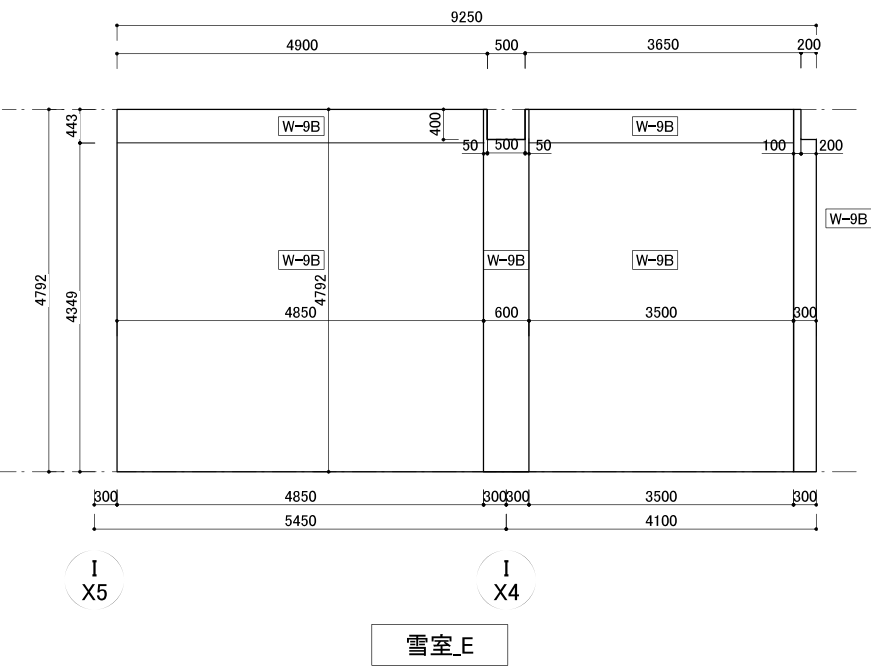


雪室(1F)

雪室



電気機械室

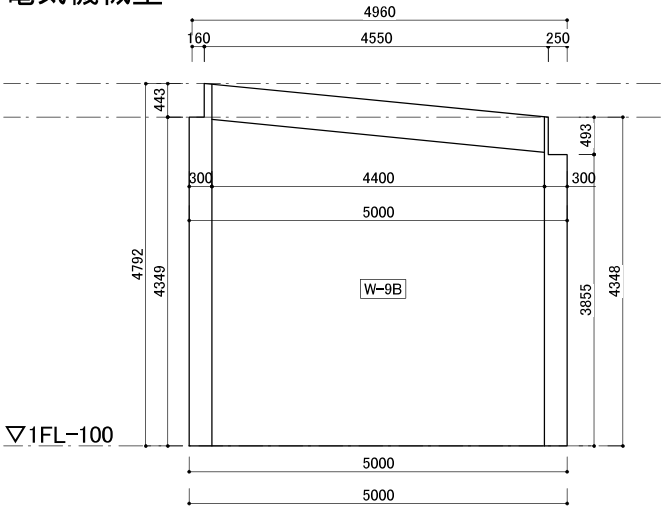




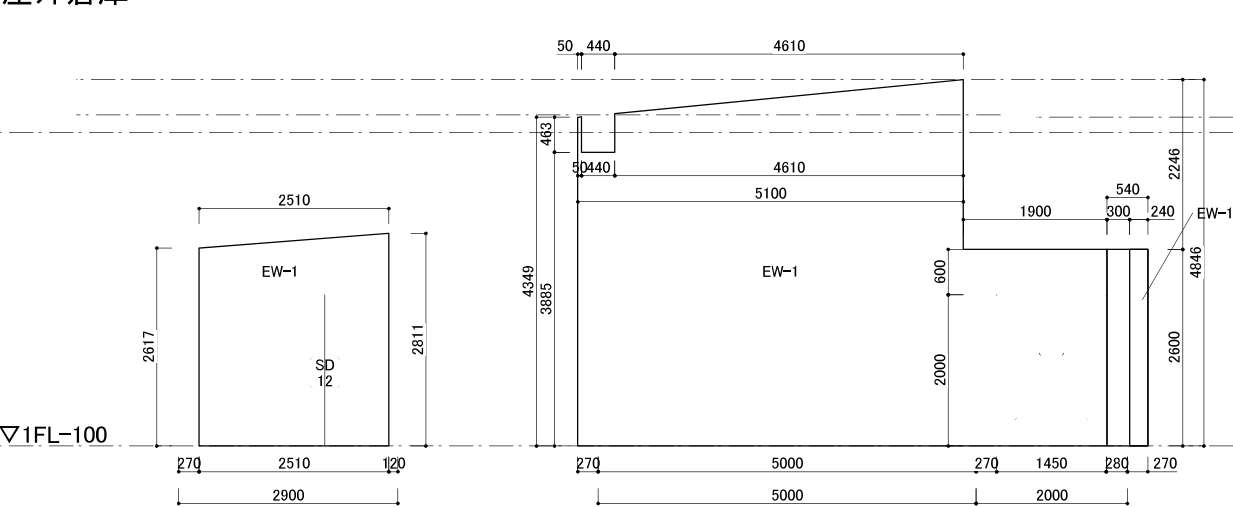
雪室(1F)

電気機械室

屋外倉庫



雪室\_H



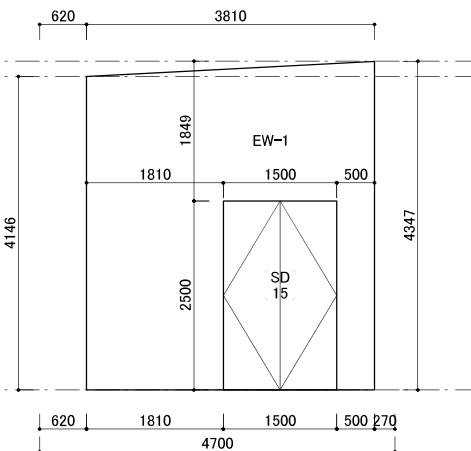
I  
X3

雪室\_I

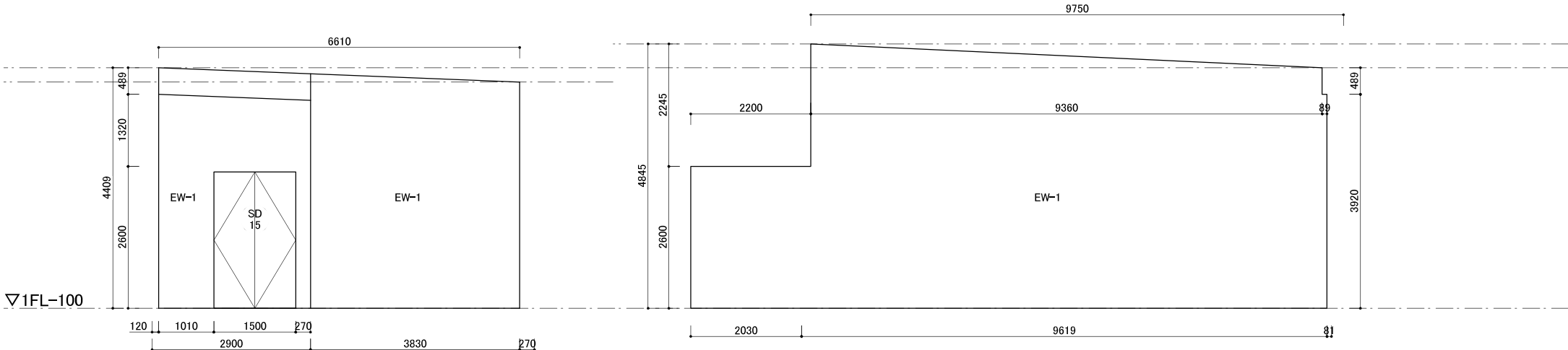
雪室\_J

I  
X4

雪室\_K



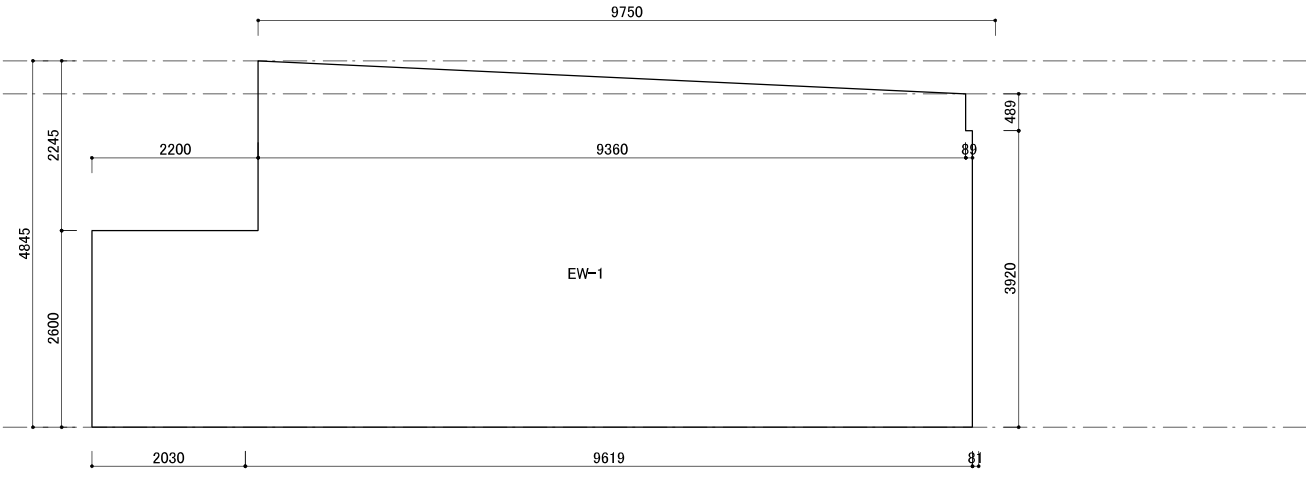
雪室\_L



I  
X3

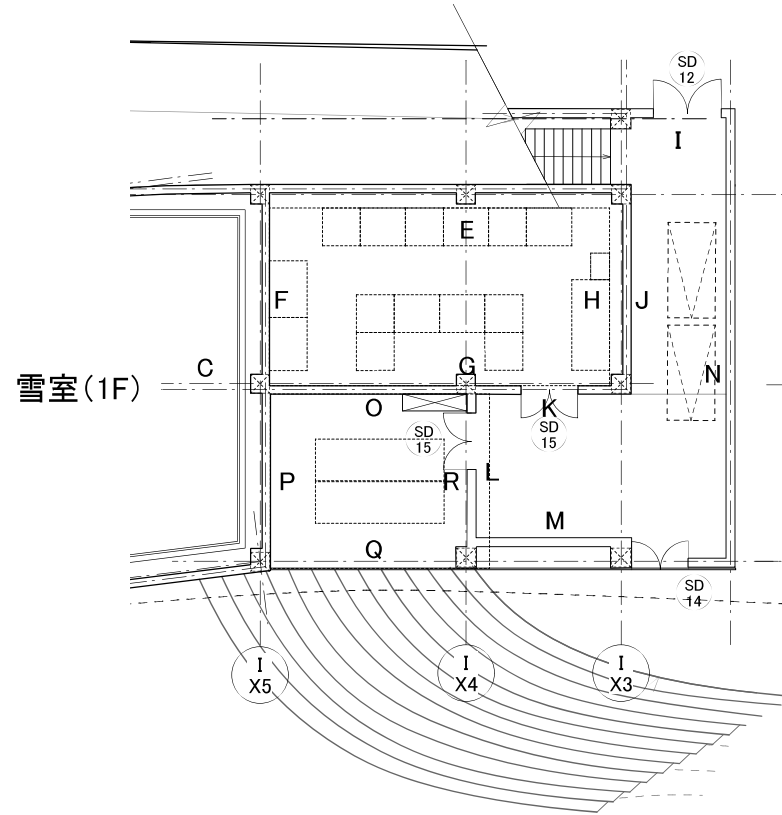
雪室\_M

I  
X4

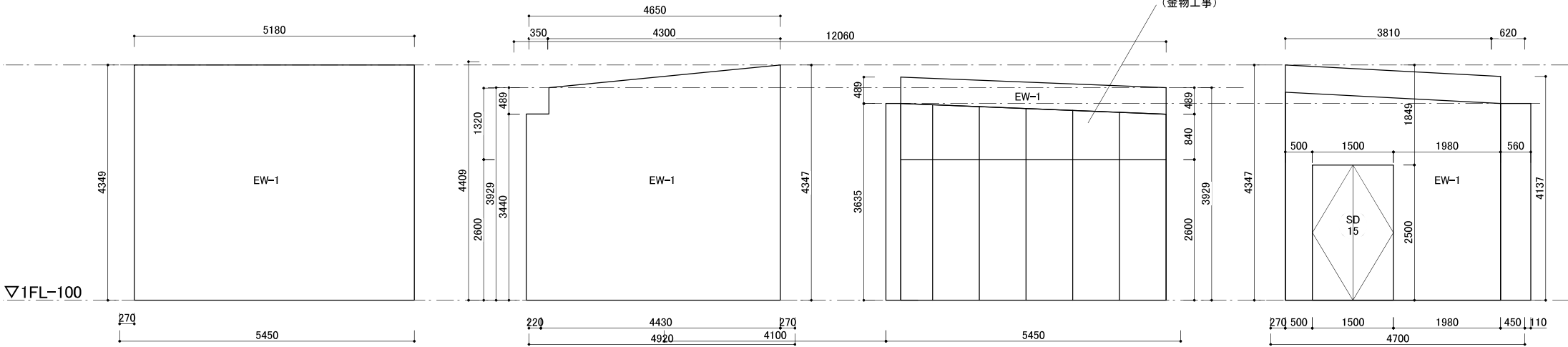


雪室\_N

雪室(1F)



室外機スペース



I  
X5

雪室\_O

I  
X4

雪室\_P

I  
X4

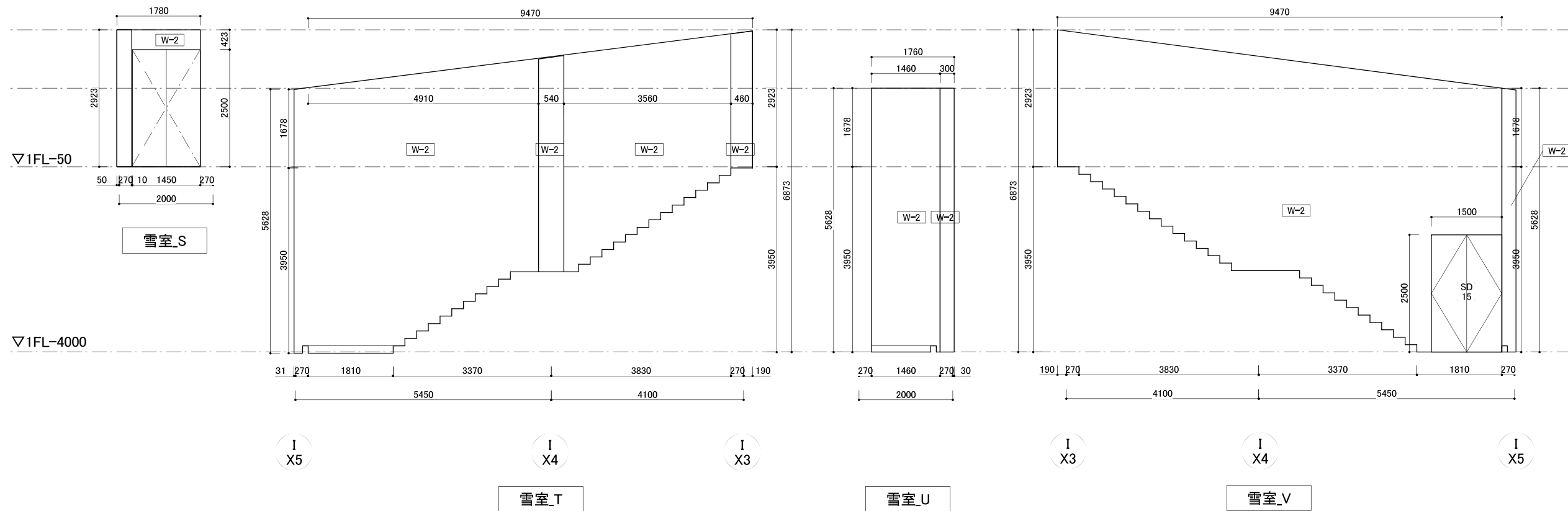
雪室\_Q

I  
X5

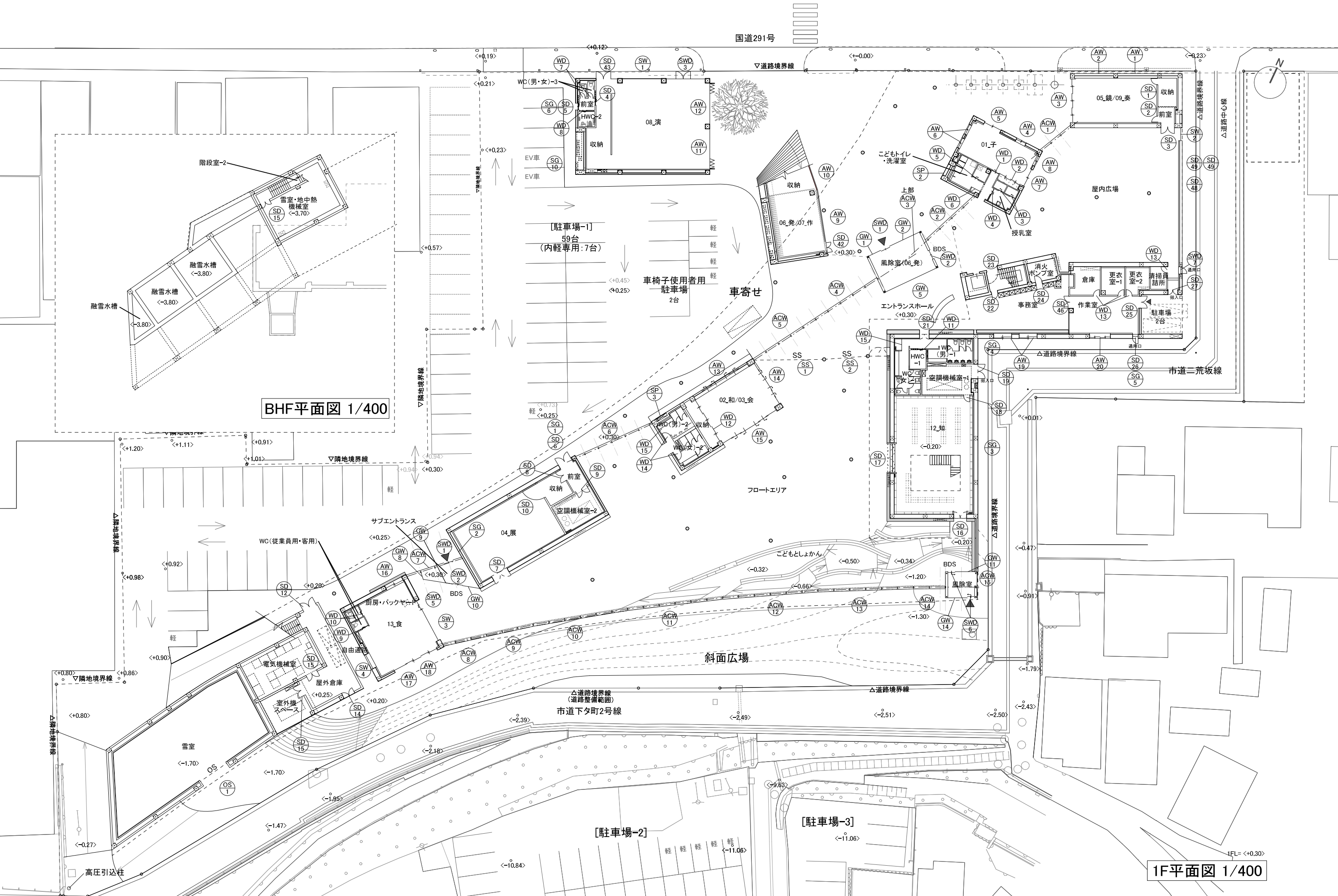
雪室\_L



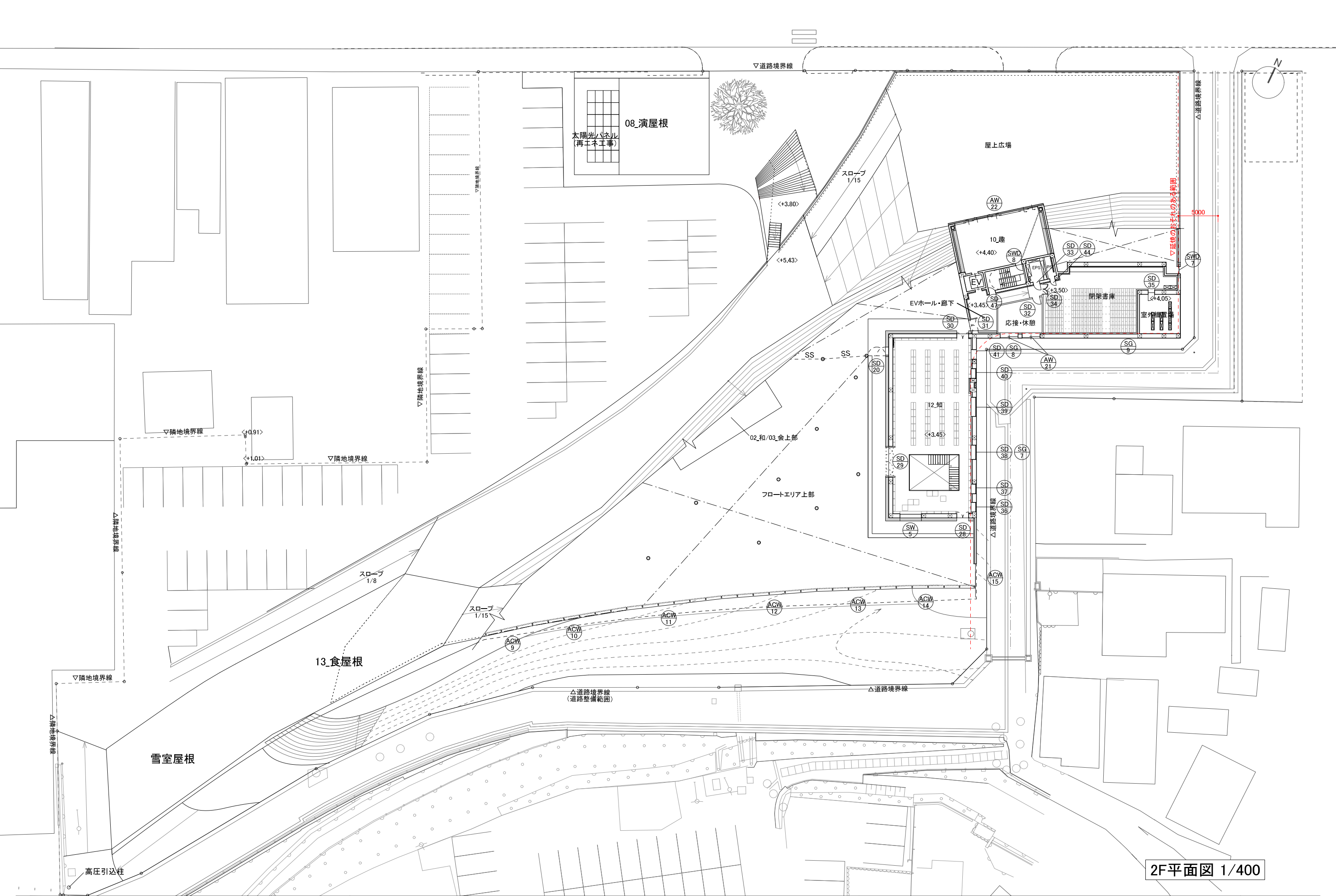
## 階段室-2











2F平面図 1/400



種類	符号	形式	使用箇所	数量	種別 特防・防	扉 扉部寸法 W×H	見込	材質	仕上	枠 見込	見付	材質	仕上	ガラス 種類・厚	引手	ロック 型式	ヒンジ	備考
ACW	1	アルミカーテンウォール	屋内広場	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	2	アルミカーテンウォール	屋内広場	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				
	3	アルミカーテンウォール	インフォメーション	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				
	4	アルミカーテンウォール	エントランスホール	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				
	5	アルミカーテンウォール	エントランスホール	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	6	アルミカーテンウォール	フロートエリア	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	7	アルミカーテンウォール	サブエントランス	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	8	アルミカーテンウォール	フロートエリア	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	9	アルミカーテンウォール	フロートエリア	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	10	アルミカーテンウォール	フロートエリア	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				
	11	アルミカーテンウォール	フロートエリア、こどもとしょかん	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	12	アルミカーテンウォール	こどもとしょかん	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	13	アルミカーテンウォール	こどもとしょかん	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	14	アルミカーテンウォール	こどもとしょかん	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				上部排煙窓（網戸付）、オペレーター
	15	アルミカーテンウォール	こどもとしょかん	1		サッシ展開図による				100	60、75	AL	AM	サッシ展開図による				
AW	1	アルミ製 嵌め殺し窓	05_鏡+09_奏	1		4860x800				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5				
	2	アルミ製 嵌め殺し窓	05_鏡+09_奏	1		4860x800				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5				
	3	アルミ製 6連引分け掃出し窓	05_鏡+09_奏	1		5300x2400				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			ブリーツ網戸
	4	アルミ製 嵌め殺し窓	01_子	1		1350x1050				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5				
	5	アルミ製 引違い掃出し窓	01_子	1		2300x1900				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			ブリーツ網戸
	6	アルミ製 嵌め殺し窓	01_子	2		1350x1050				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5				
	7	アルミ製 引違い掃出し窓	01_子	1		2300x1900				70	25、3	AL	AM	FL6+FL6	HT			ブリーツ網戸
	8	アルミ製 嵌め殺し窓	01_子	1		1350x1050				70	25、3	AL	AM	FL6+FL6				
	9	アルミ製 嵌め殺し窓（連窓）	06_発+07_作	1		6210x3150				70	65	AL	AM	LE5+A6+FL5				ユニットサッシ（カーテンウォール同仕様）
	10	アルミ製 嵌め殺し窓（連窓）	06_発+07_作	1		7501x3150 特殊形状				70	65	AL	AM	LE5+A6+FL5				ユニットサッシ（カーテンウォール同仕様）
	11	アルミ製 折れ戸	08_演	1		5190x3000				70	15、0	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			
	12	アルミ製 折れ戸	08_演	1		5190x3000				70	15、0	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			
	13	アルミ製 3枚引き掃出し窓	02_和+03_会	2		4005x2200				70	25、25	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			ブリーツ網戸
	14	アルミ製 3枚引き掃出し窓	02_和+03_会	2		3000x2500				70	25、25	AL	AM	FL6+FL6	HT			ブリーツ網戸
	15	アルミ製 3枚引き掃出し窓	02_和+03_会	2		4005x2500				70	25、25	AL	AM	FL6+FL6	HT			
	16	アルミ製 引違い窓	13_食	1		2400x1500				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5				
	17	アルミ製 嵌め殺し窓	13_食	1		2000x2500				70	0	AL	AM	LE5+A6+FL5				ブリーツ網戸
	18	アルミ製 2連引違い掃出し窓	13_食	1		4000x2500				100	0	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			ブリーツ網戸
	19	アルミ製 引違い窓	事務室	2		2200x1565				70	25、0	AL	AM	LE5+A6+FL5				ブリーツ網戸
	20	アルミ製 引違い窓	作業室	1		2400x1565				70	25、0	AL	AM	LE5+A6+FL5				ブリーツ網戸
	21	アルミ製 引違い窓	応接室・休憩室	2	防	2200x1565				70	25、0	AL	AM	W6.8+A6+FL5				ブリーツ網戸
	22	アルミ製 3連引違い掃出し窓	10_趣	3		3395x2700				100	32.5、3	AL	AM	LE5+A6+FL5	HT			ブリーツ網戸
SD	1	鋼製 片開き戸	05_鏡+09_奏	1		1000x2100	48	S	M/SOP	144	0、15	S	SOP		HT	N	PH	コンシールドドアクローザー、ラッチなし、鏡貼り付け、吸音材充填
	2	鋼製 片開き戸	05_鏡+09_奏	1		1000x2100	48	S	M/SOP	144	0、15	S	SOP		HT	N	PH	コンシールドドアクローザー、ラッチなし、鏡貼り付け、吸音材充填
	3	鋼製 両開き戸	05_鏡+09_奏	1		1685x2500	40	S	SOP	80	3.2、3	S	SOP		LH	S/T	PH	コンシールドドアクローザー、遮音性能：T-3
	4	鋼製 片引き戸	08_演	1		1020x2000	40	S	SOP	330	25	S	SOP		HT	S/T	－	ハンガーレール、自閉
	5	鋼製 片引き戸	08_演	1		1000x2000	36	S	F	162	3.2	S	F		HT	S/T	－	ハンガーレール、自閉
	6	鋼製 両開き戸	04_展	1	特防	1800x2900	40	S	F	70	3.2	S	F		GR	S/T	PH	コンシールドドアクローザー
	7	鋼製 両開き戸	04_展	1	特防	1976x2900	40	S	SOP	100	3.2	S	SOP		HH	－	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動
	8	鋼製 両開き戸	04_展	1	防	1500x2900	40	S	SOP	109	25	S	SOP		LH	S/T	PH	ドアクローザー
	9	鋼製 両開き戸	空調機械室-2	1		1570x2900	40	S	SOP	136	25	S	SOP		LH	S/T	PH	ドアクローザー、遮音性能：T-3
	10	鋼製 片開き戸	04_展	1	防	1500x3500	40	S	SOP	154.5	25	S	SOP		－	－	NC	ドアクローザー、扉下端引手
	欠番																	
	12	鋼製 両開き戸	屋外倉庫	1		1800x2500	40	S	F	220	25	S	F		LH	S/T	PH	ドアクローザー
	欠番																	
	14	鋼製 両開き戸	屋外倉庫	1		1500x2600	40	S	MP	50	0	S	MP		HH	S/T	IC	
	15	鋼製 両開き戸	電気機械室.屋外倉庫.階段室-2	3		1500x2500	50	S	F	220	25	S	F		LH	S/T	IC	
	16	鋼製 両開き戸	12_知（1F）	1	特防	1600x2600	40	S	SOP	220	25	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	17	鋼製 両開き戸	12_知（1F）	1	特防	3600x2300	40	S	SOP	320	25	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	18	鋼製 片開き戸	空調機械室-1	1		750x2165	40	S	SOP	188	3.2	S	SOP		LH	S/T	PH	ドアクローザー、遮音性能：T-3
	19	鋼製 両開き戸	空調機械室-1	1		1760x2450	40	S	MP	120	25	S	MP		LH	S/T	PH	ドアクローザー
	20	鋼製 片開き2枚折れ戸	エントランスホール（1F、2F）	2	特防	1818x2300	50	S	SOP	150	3.2	S	SOP		HH	E	HC、IC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	21	鋼製 両開き戸	インフォメーション	1	特防	1200x2300	50	S	SOP	220	25	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	22	鋼製 片開き戸	事務室	1	特防	800x2000	40	S	SOP	320	25	S	SOP		LH	E	PH	ドアクローザー、自火報連動
	23	鋼製 片開き戸	階段室-1	1	特防	1400x2000	40	S	SOP	220	3.2	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	24	鋼製 片開き戸	消火ポンプ室	1	特防	800x2000	40	S	SOP	320	25	S	SOP		LH	S/T	PH	ドアクローザー
	25	鋼製 両開き戸	作業室	1	特防	1500x2000	50	S	F	154.5	3.2、25	S	F		LH	S/T	PH	ドアクローザー、順位調整器

建具の種類と符号

符号	種類
ACW	アルミ製カーテンウォール
AW	アルミ製戸
SD	鋼製戸
AD	アルミ製戸
GD	ガラス戸
STD	ステンレス製戸

ガラスの種類と符号

符号	種類
FL	フロート板ガラス
TP	強化ガラス
FTP	耐熱強化ガラス
W	網入磨ガラス
LE	Low-eガラス

\*ガラス符号の後の数字は厚みを表す。

建具材質および仕上げの種類と符号

符号	種類
S	銅板(垂鉛メッキ銅板)
AL	アルミニウム
W	木下地(スプルス)
TP	強化ガラス
EM	エクスバンドメタル
SOP	防錆塗装の上.合成樹脂オイルペイント
OP	オイルペイント艶消塗装
F	フッ素樹脂系塗装
AM	アルミ無色アルマイト
SB	サンドブラスト仕上げ
PU	ポリウレタン樹脂塗装
ZN	溶融亜鉛メッキ
EP	エマルジョンペイント
ST	ステンレス
M	鏡面貼付
MP	メタリックペイント

建具金物の種類と符号

符号	種類
LH	レバーハンドル
OB	押棒
HT	引き手
OR	オペレーターハンドル
CH	ケースハンドル
GR	グレモンハンドル
HH	平面ハンドル
LOH	ロックハンドル

鍵の種類と符号

符号	種類
S	シリンダー錠
T	サムターン
N	空錠(鍵なし)
O	特殊錠
D	表示錠
B	破壊錠
E	非常解除装置付電気錠

ヒンジ種類と符号

符号	種類
PH	ビボットヒンジ
FH	フロアヒンジ
IC	板丁番
GC	ガラス用丁番
SC	スライド丁番
NC	長丁番
HC	ヒンジクローザー
GH	グレビティヒンジ



種類	符号	形式	使用箇所	数量	種別 特防・防	扉 扉部寸法 W×H	見込	材質	仕上	枠 見込	見付	材質	仕上	ガラス 種類・厚	引手	ロック 型式	ヒンジ	備考
SD	26	鋼製 片開き戸	作業室	1		800×2000	50	S	MP	105.5	3.2、25	S	MP		LH	S/T	PH	ドアクローザー
	27	鋼製 両開き戸	駐車場	1	特防	1200×2300	50	S	F	140	3.2、25	S	F		LH	E	PH	ドアクローザー、順位調整器
	28	鋼製 両開き戸	12_知(2F)	1	特防	1200×2340	40	S	SOP	220	25	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	29	鋼製両開き2枚折れ戸	12_知(2F)	1	特防	3600×2340	50	S	SOP	320	25	S	SOP		HH	E	HC、IC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	30	鋼製 両開き戸	12_知(2F)	1	特防	1600×2340	40	S	SOP	220	25	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	31	鋼製 両開き戸	EVホール(2F)	1	特防	1400×2340	40	S	SOP	140	3	S	SOP		HH	E	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
	32	鋼製 片開き戸	応接室・休憩室	1		900×2350	40	S	SOP	105.5	3.2	S	SOP		LH	S/T	PH	コンシールドドアクローザー
	33	鋼製 片開き戸	EPS	1		800×2050	40	S	SOP	320	3.2	S	SOP		HH	S/T	PH	ドアクローザー
	34	鋼製 両開き戸	閉架書庫	1	防	1240×2050	40	S	SOP	105.5	3.2、25	S	SOP		LH	E	PH	コンシールドドアクローザー
	35	鋼製 片開き戸	室外機置場	1		800×1700	50	S	F	220	25	S	F		LH	S	PH	ドアクローザー
	36	鋼製 突出し扉(排煙)	12_知(2F)	1	防	1200×900	40	S	F	100	0	S	F		OR	－	－	オペレーターは1F、2Fに設置
	37	鋼製 突出し扉(排煙)	12_知(2F)	1	防	1200×900	40	S	F	100	0	S	F		OR	－	－	オペレーターは1F、2Fに設置
	38	鋼製 突出し扉(排煙)	12_知(2F)	1	防	1800×900	40	S	F	100	0	S	F		OR	－	－	オペレーターは1F、2Fに設置
	39	鋼製 突出し扉(排煙)	12_知(2F)	1	防	2400×900	40	S	F	100	0	S	F		OR	－	－	オペレーターは1F、2Fに設置
	40	鋼製 突出し扉(排煙)	12_知(2F)	1	防	1800×900	40	S	F	100	0	S	F		OR	－	－	オペレーターは1F、2Fに設置
	41	鋼製 突出し扉(排煙)	12_知(2F)	1	防	1200×900	40	S	F	100	0	S	F		OR	－	－	オペレーターは1F、2Fに設置
	42	鋼製 両開き戸	06_発+07_作	1		1552.5×3150	50	S	F	70	3.2、25	S	F		LH	S/T	PH	コンシールドドアクローザー、順位調整器
	43	鋼製 両開き戸+FIXパネル	08_演	1		2699×3000	50	S	F	120	25	S	F		OB	S/T	PH	コンシールドドアクローザー、順位調整器
	44	鋼製 片開き戸	PS	1		650×2050	40	S	SOP	320	25	S	SOP		HH	S/T	FH	
	欠番																	
	46	鋼製 両開き戸	作業室	1	特防	1500×2000	40	S	SOP	154.5	3.2、25	S	SOP		LH	S/T	PH	コンシールドドアクローザー、順位調整器
	47	鋼製 片開き戸	EVホール、階段室-1	1		900×2050	40	S	SOP	120	3	S	SOP		HH	－	HC	中心吊型戸袋付、電磁レリーズ、自火報連動、常開
SWD	1	鋼製 引分けオートドア	風除室(06_発)	2		1850×2450	55	S	F	100	25	S	F	TP8	－	E	－	衝突防止金物、ドアエンジン V-85SL/ナブコ同等品
	2	鋼製 引分けオートドア	風除室(06_発)	2		1850×2450	55	S	F	100	25	S	F	TP8	－	E	－	衝突防止金物、ドアエンジン V-85SL/ナブコ同等品
	3	鋼製 両開き戸袖2連FIX窓	08_演	1		4940×3000				120	50	S	F	LE5+A6+FL5	OB	S	PH	衝突防止金物
	欠番																	
	5	鋼製 片引きオートドア	13_食	1	特防	2260×2500	55	ST	F	240	25	S	F	FTP4+FTP4	－	－	－	衝突防止金物、ファイヤードS/三和シャッター同等品
	6	鋼製 片引きオートドア	風除室	2		900×2500	55	S	F	100	25	S	F	TP8	－	－	－	衝突防止金物
	7	鋼製 片開き戸上部排煙窓	屋内広場	1		895×6650				100	25	S	F	a:FL5+A6+FL5 b:FL6+A6+FL6	LH	B	PH	上部排煙窓(網戸付)、オペレーターa:排煙窓部、b:FIX扉部
	8	鋼製 片開き戸	10_趣	1		900×2100				80	3.2、25	S	F	TP8	LH	S	PH	コンシールドドアクローザー
SW	1	鋼製 3連FIX窓	08_演	1		4940×3000				120	25	S	SOP	LE5+A6+FL5				
	2	鋼製 FIX窓上部排煙窓	屋内広場	1		1600×3800				100	25	S	SOP	上部:FL8+A12+FL8 下部:FL5+A6+FL5				上部排煙窓(網戸付)、オペレーター
	3	鋼製 4連FIX窓	13_食	1	特防	3390×2500				110	25	ST	F	FTP4+FTP4				ファイヤードS/三和シャッター同等品
	4	鋼製 FIX窓	13_食	1	特防	1980×1350				100	0	S	SOP	FTP8				ファイヤードⅡ/三和シャッター同等品
	5	鋼製 FIX窓	12_知(2F)	1	特防	1980×1530				100	0	S	SOP	FTP8				ファイヤードⅡ/三和シャッター同等品
	6	外倒し窓	サブエントランス	1		1850×850				100	25	S	SOP	TP8				オペレーター
WD	1	木製 片引込み戸	01_子	1		850×1885	36	W	OP	127	25	W	OP		HT	T	－	ハンガーレール、自閉
	2	木製 4枚建て引違い戸	01_子	1		3510×1885	36	W	OP	50	19	W	OP		HH	T	－	
	3	木製 片引き戸	授乳室	2		770×1900	36	W	OP	111	25	W	OP	木製 片引き戸	HT	D	－	ハンガーレール、自閉
	4	木製 片引込み戸	授乳室	1		900×1900	36	W	OP	111	25	W	OP	木製 片引込み戸	HT	N	－	ハンガーレール、自閉
	5	木製 片引き戸	洗濯室	1		870×1900	36	W	OP	111	25	W	OP	木製 片引き戸	HT	N	－	ハンガーレール、自閉
	6	木製 片開き戸	こどもトイレ	1		600×1900	36	W	OP	111	15	W	OP		HH	S	IC	コンシールドドアクローザー
	7	木製 片開き戸	WC(男)→3.WC(女)→3	1		600×2000	36	W	OP	162	15、25	W	OP		LH	D	IC	コンシールドドアクローザー
	8	木製 片引込み戸	HWC-2	1		970×2000	36	W	OP	162	25	W	OP	木製 片引込み戸	HT	D	－	ハンガーレール、自閉
	9	木製 片引込み戸	WC(客用)	1		950×2050	36	W	OP	109	25	W	OP	木製 片引込み戸	HT	D	－	ハンガーレール、自閉
	10	木製 片開き戸	WC(従業員用)	2		700×2150	36	W	OP	109	25	W	OP		LH	D	IC	ドアクローザー
	11	木製 片引込み戸	HWC-1	1		970×2100	36	W	OP	111	25	W	OP	木製 片引込み戸	HT	D	－	ハンガーレール、自閉
	12	木製 6連片引き戸	02_和+03_会	1		5990×2100	36	W	OP	250	25	W	OP	木製 6連片引き戸	HT	N	－	ハンガーレール
	13	木製 片開き戸	作業室、清掃員控室	4		750×2000	36	W	OP	109	15、25	W	OP		HT	S	IC	ドアクローザー
	14	木製 片開き戸	WC(男・女)→2	2		900×2100	36	W	OP	109	15、25	W	OP		HT	N	IC	コンシールドドアクローザー
	15	木製 片開き戸	WC(女)→1、WC(男)→2	2		600×2100	36	W	OP	109	15、25	W	OP		HH	S	GH	
GW	1	ガラス FIX窓	風除室(06_発)	1		1875×2450				50	3	S	F	TP12+TP12				
	2	ガラス FIX窓	風除室(06_発)	1		3380×2450				50	3	S	F	TP12+TP12				
	欠番																	
	欠番																	
	5	ガラス 4連FIX窓	風除室(06_発)	1		6905×2450				50	3	S	F	TP12+TP12				
	欠番																	
	欠番																	
	8	ガラス FIX窓	サブエントランス、風除室	1		1177×4150				50	3	S	F	TP12+TP12				
	9	ガラス 2連FIX窓	サブエントランス、風除室	2		1793×4150				50	3	S	F	TP12+TP12				
	10	ガラス FIX窓	サブエントランス	1		1793×4031				50	3	S	F	TP12+TP12				

建具の種類と符号

符号	種類
ACW	アルミ製カーテンウォール
AW	アルミ製戸
SD	鋼製戸
AD	アルミ製戸
GD	ガラス戸
STD	ステンレス製戸

ガラスの種類と符号

符号	種類
FL	フロート板ガラス
TP	強化ガラス
FTP	耐熱強化ガラス
W	網入磨ガラス
LE	Low-eガラス

\*ガラス符号の後の数字は厚みを表す。

建具材質および仕上げの種類と符号

符号	種類
S	銅板(垂鉛メッキ銅板)
AL	アルミニウム
W	木下地(スプリス)
TP	強化ガラス
EM	エクスバンドメタル
SOP	防錆塗装の上、合成樹脂オイルペイント
OP	オイルペイント艶消塗装
F	フッ素樹脂系塗装
AM	アルミ無色アルマイト
SB	サンドブラスト仕上げ
PU	ポリウレタン樹脂塗装
ZN	溶融亜鉛メッキ
EP	エマルジョンペイント
ST	ステンレス
M	鏡面貼付

建具金物の種類と符号

符号	種類
LH	レバーハンドル
OB	押棒
HT	引き手
OR	オペレーターハンドル
CH	ケースハンドル
GR	グレモンハンドル
HH	平面ハンドル
LOH	ロックハンドル

鍵の種類と符号

符号	種類
S	シリンダー錠
T	サムターン
N	空錠(鍵なし)
O	特殊錠
D	表示錠
B	破壊錠
E	非常解除装置付電気錠

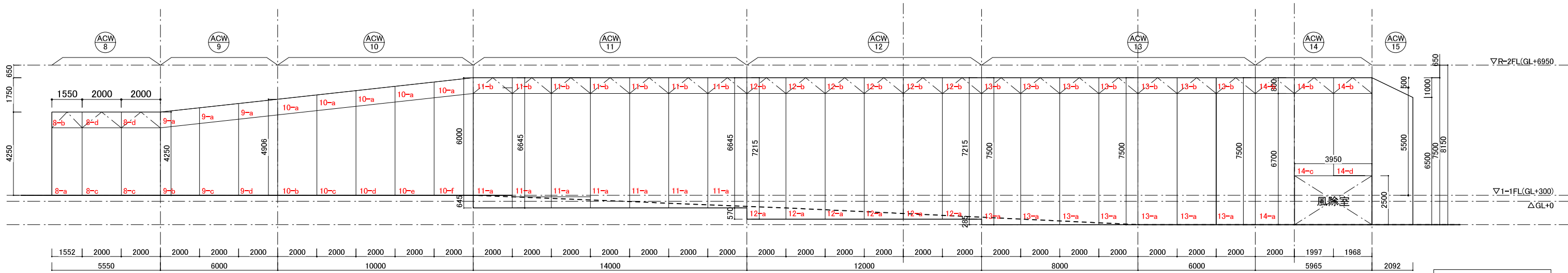
ヒンジ種類と符号

符号	種類
PH	ピボットヒンジ
FH	フロアヒンジ
IC	板丁番
GC	ガラス用丁番
SC	スライド丁番
NC	長丁番
HC	ヒンジクローザー
GH	グレビティヒンジ

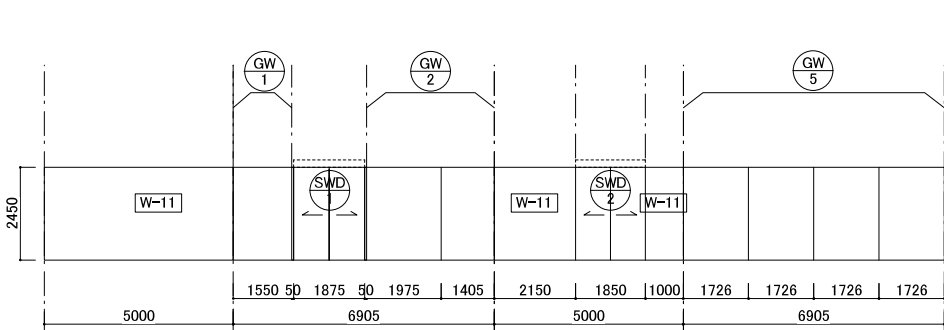




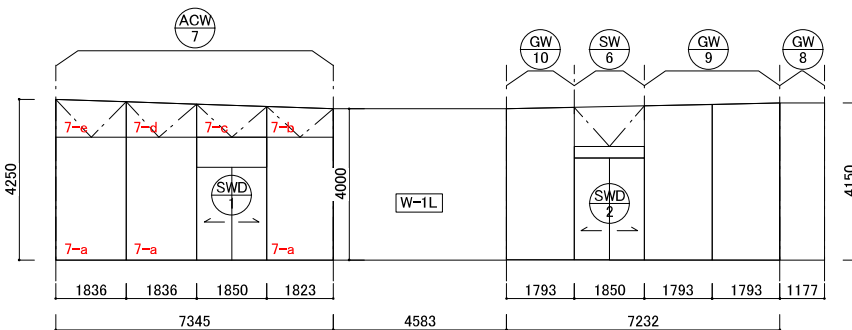




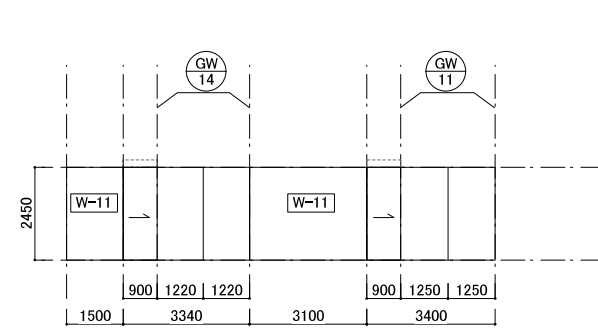
南側建具展開図 1/200



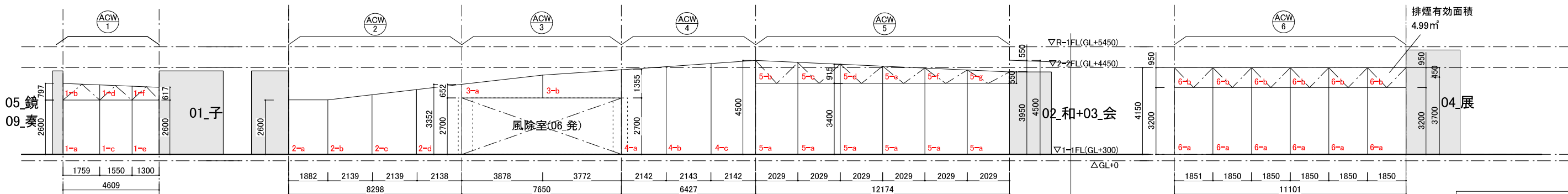
風除室(06\_発)展開図 1/200



サブエントランス展開図 1/200



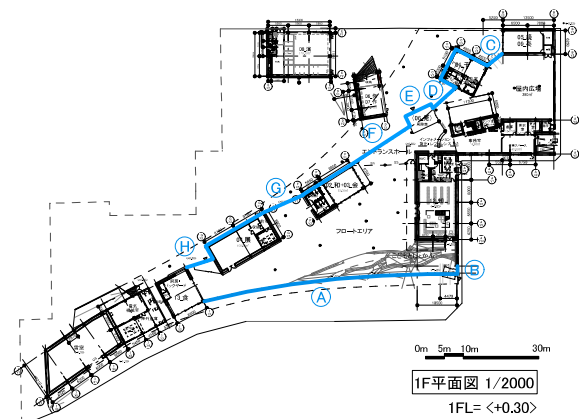
風除室展開図 1/200



北側展開図 1/200

カーテンウォールガラスリスト

建具番号	ガラス番号	ガラス厚	備考	建具番号	ガラス番号	ガラス厚	備考	建具番号	ガラス番号	ガラス厚	備考	建具番号	ガラス番号	ガラス厚	備考
ACW-1	1-a	LE8+6+F8	飛散防止フィルム	ACW-5	5-c	LE5+6+F5		ACW-9	9-a	LE5+6+F5	飛散防止フィルム	ACW-14	14-b	LE5+6+F5	飛散防止フィルム
	1-b	LE5+6+F5			5-d	LE5+6+F5			9-b	LE10+16+F10	飛散防止フィルム		14-c	LE12+120+F12	飛散防止フィルム
	1-c	LE8+6+F8	飛散防止フィルム		5-e	LE5+6+F5			9-c	LE10+16+F10	飛散防止フィルム		14-d	LE12+20+F12	飛散防止フィルム
	1-d	LE5+6+F5			5-f	LE5+6+F5			9-d	LE10+16+F10	飛散防止フィルム	ACW-15	15-a	LE12+20+F12	飛散防止フィルム
	1-e	LE8+6+F8	飛散防止フィルム		5-g	LE5+6+F5		ACW-10	10-a	LE5+6+F5	飛散防止フィルム				
	1-f	LE5+6+F5		ACW-6	6-a	LE8+12+F8	飛散防止フィルム		10-b	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
ACW-2	2-a	LE8+6+F8	飛散防止フィルム		6-b	LE5+6+F5			10-c	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
	2-b	LE8+6+F8	飛散防止フィルム	ACW-7	7-a	LE8+12+F8	飛散防止フィルム		10-d	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
	2-c	LE8+6+F8	飛散防止フィルム		7-b	LE5+6+F5			10-e	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
	2-d	LE8+6+F8	飛散防止フィルム		7-c	LE5+6+F5			10-f	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
ACW-3	3-a	LE8+6+F8	横3分割可	ACW-8	8-a	LE10+16+F10	飛散防止フィルム	ACW-11	11-a	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
	3-b	LE8+6+F8	横3分割可		7-d	LE5+6+F5			11-b	LE5+6+F5	飛散防止フィルム				
ACW-4	4-a	LE10+16+F10	飛散防止フィルム		7-e	LE8+12+F8		ACW-12	12-a	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
	4-b	LE10+16+F10	飛散防止フィルム		8-b	LE5+6+F5	飛散防止フィルム		12-b	LE5+6+F5	飛散防止フィルム				
	4-c	LE10+16+F10	飛散防止フィルム	ACW-8	8-c	LE10+16+F10	飛散防止フィルム		13-a	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				
ACW-5	5-a	LE10+16+F10	飛散防止フィルム		8-d	LE5+6+F5	飛散防止フィルム	ACW-13	13-b	LE5+6+F5	飛散防止フィルム				
	5-b	LE5+6+F5							14-a	LE12+20+F12	飛散防止フィルム				



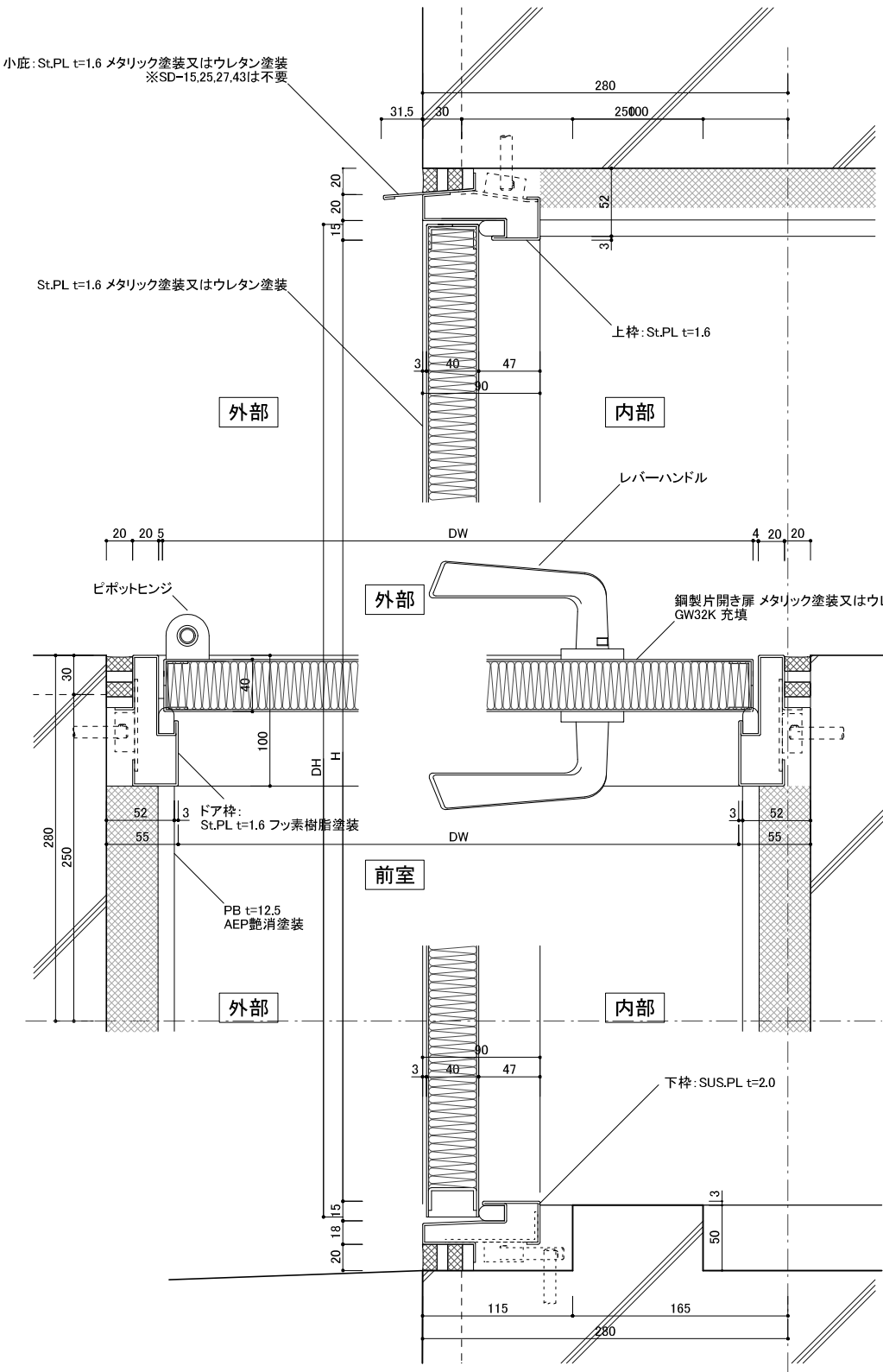
1F平面図 1/2000

1FL= <+0.30>



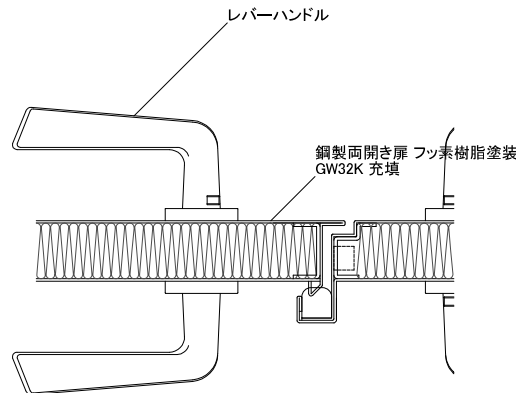
鋼製片開き扉

SD 12 ~ SD 15 SD 26 SD 35 を示す

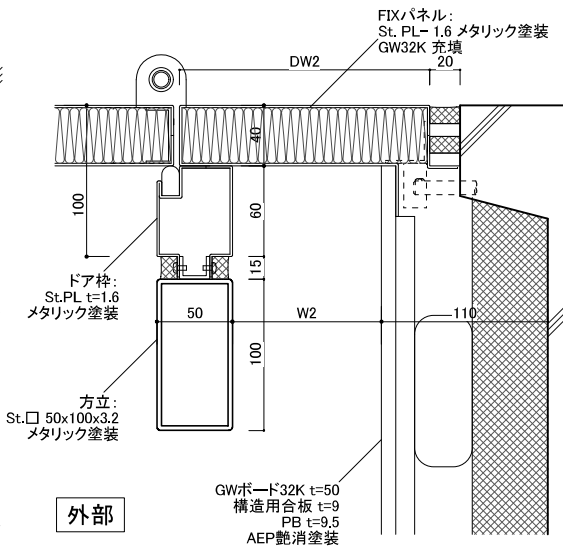


鋼製両開き扉

SD 19 SD 25 SD 27 SD 43 を示す

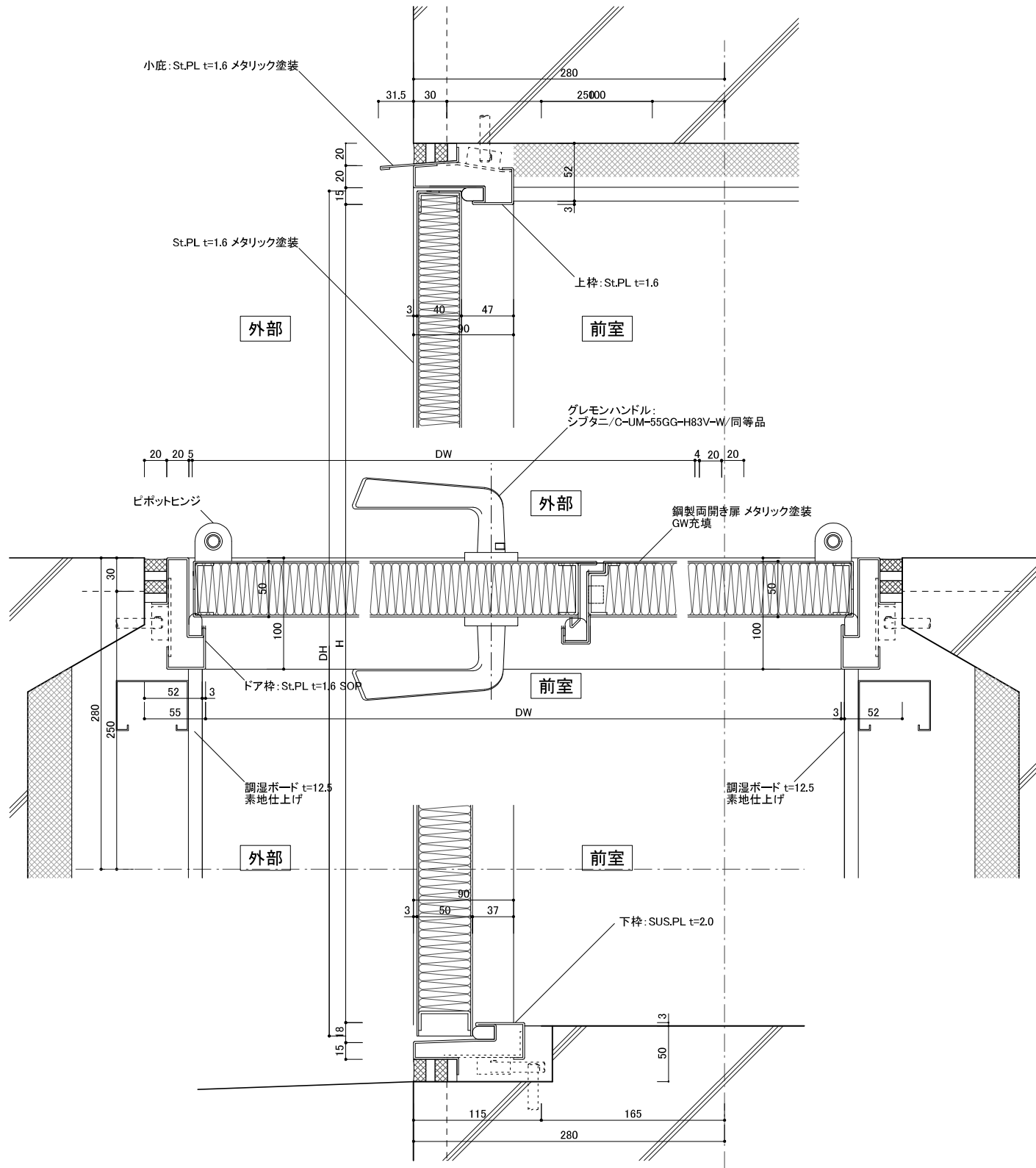


SD 43 の袖パネルを示す



鋼製両開き扉

SD 6 を示す





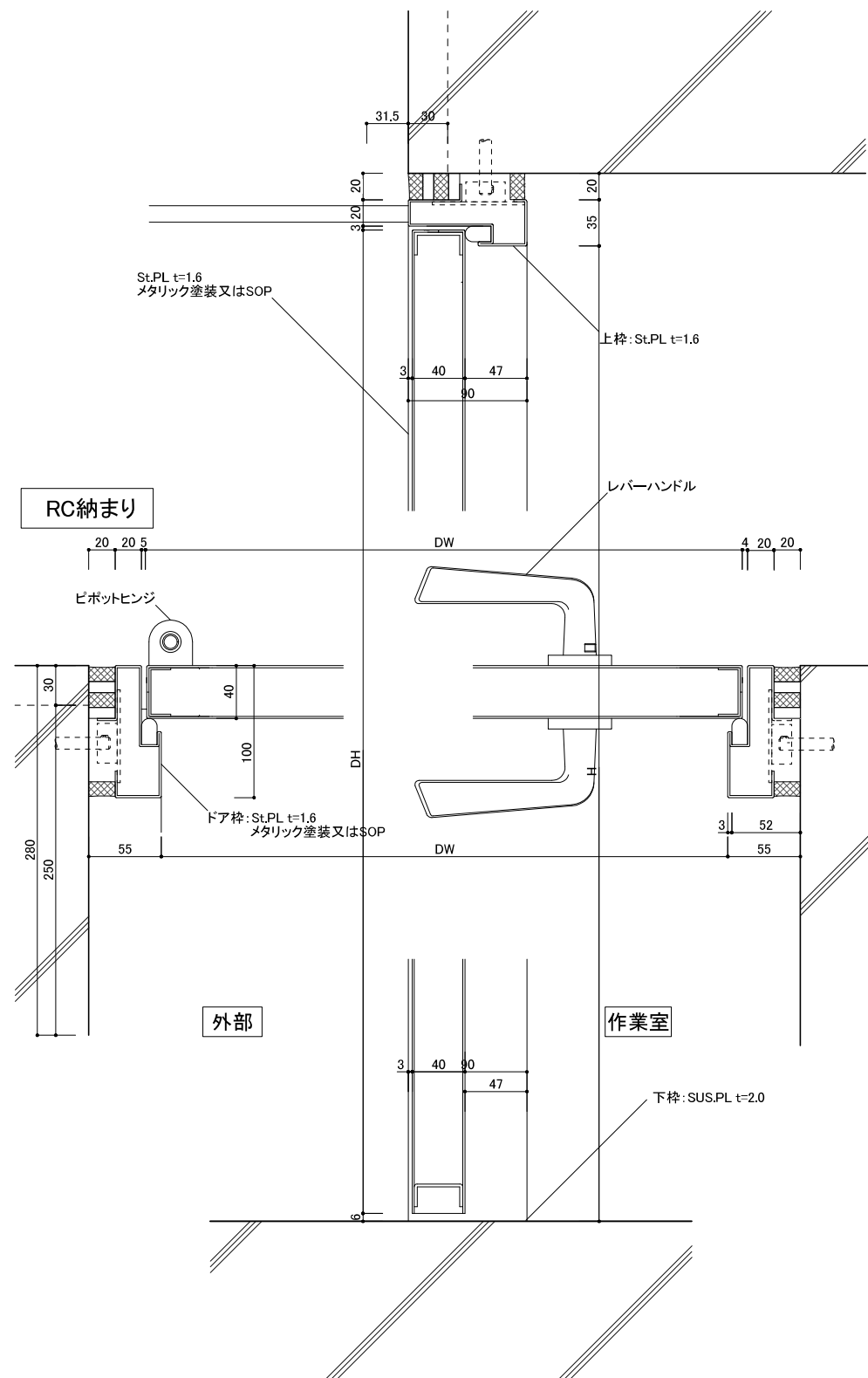
鋼製片開き扉



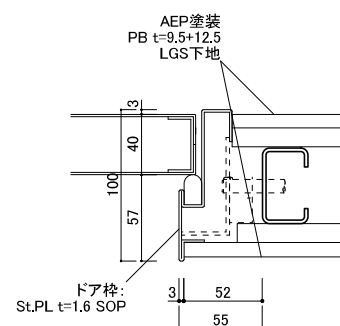
SD  
44

SD  
45

を示す



ボード納まり

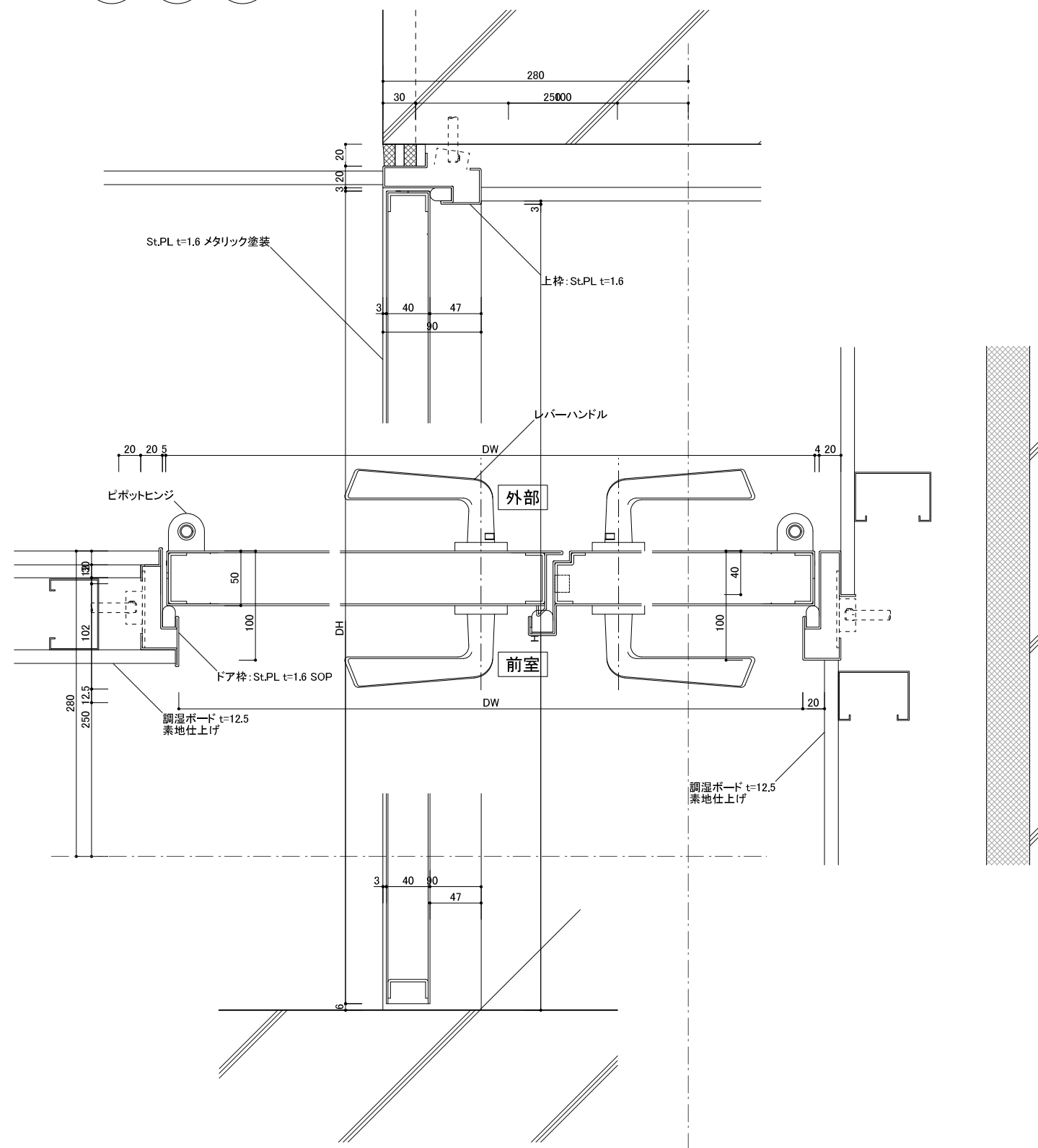


鋼製両開き扉



SD  
46

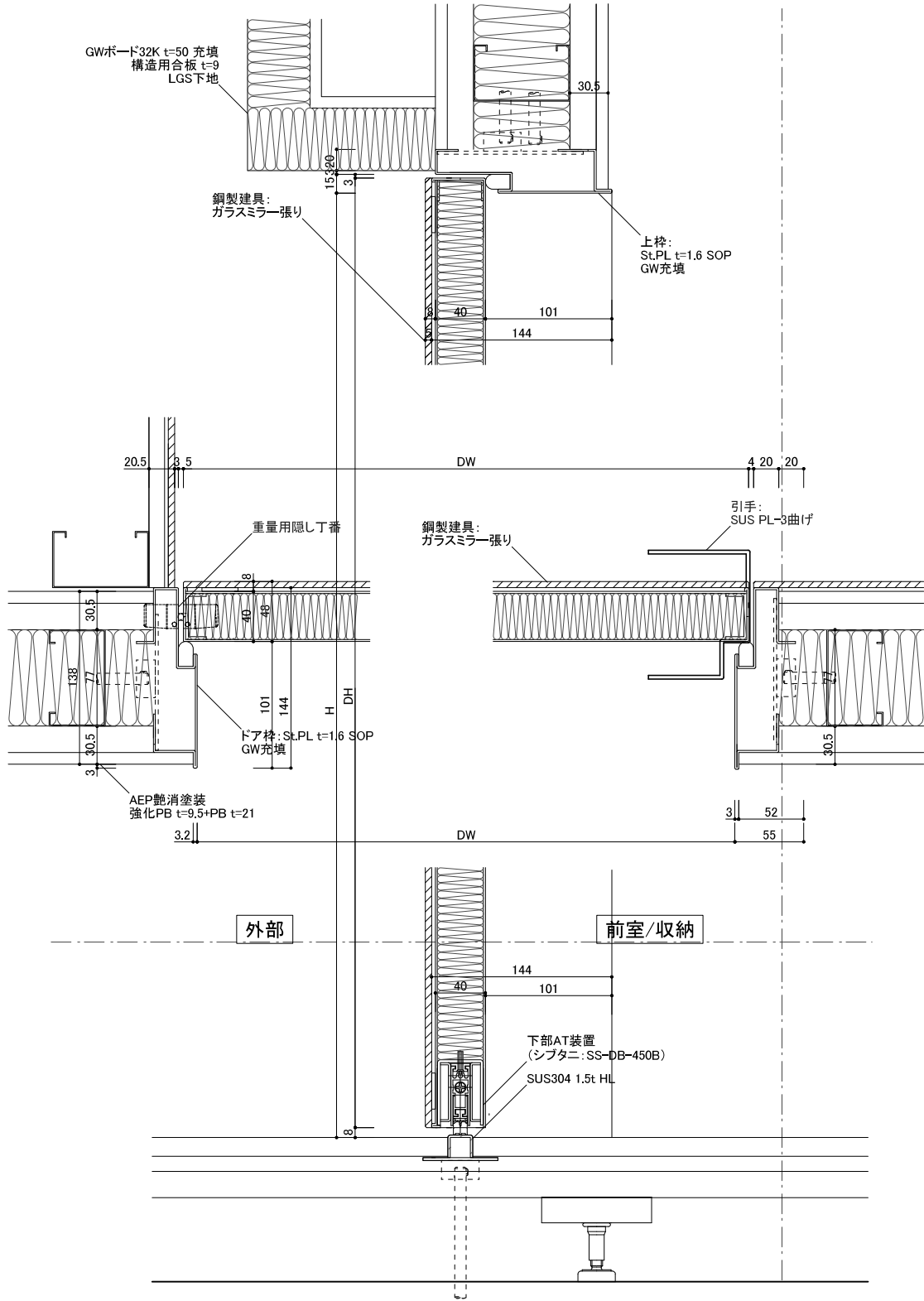
を示す





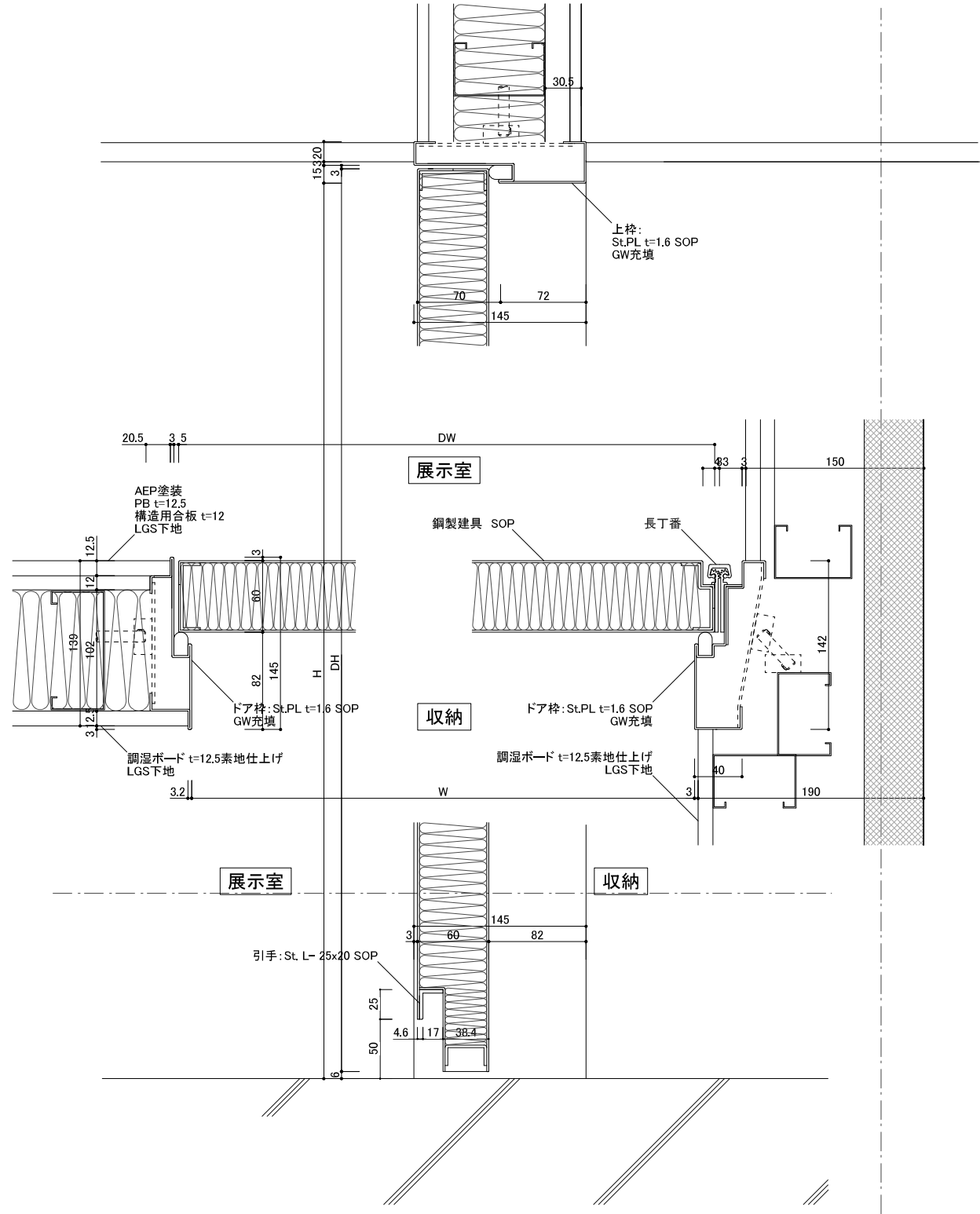
鋼製片開き扉

SD 1 SD 2 を示す



鋼製片開き扉

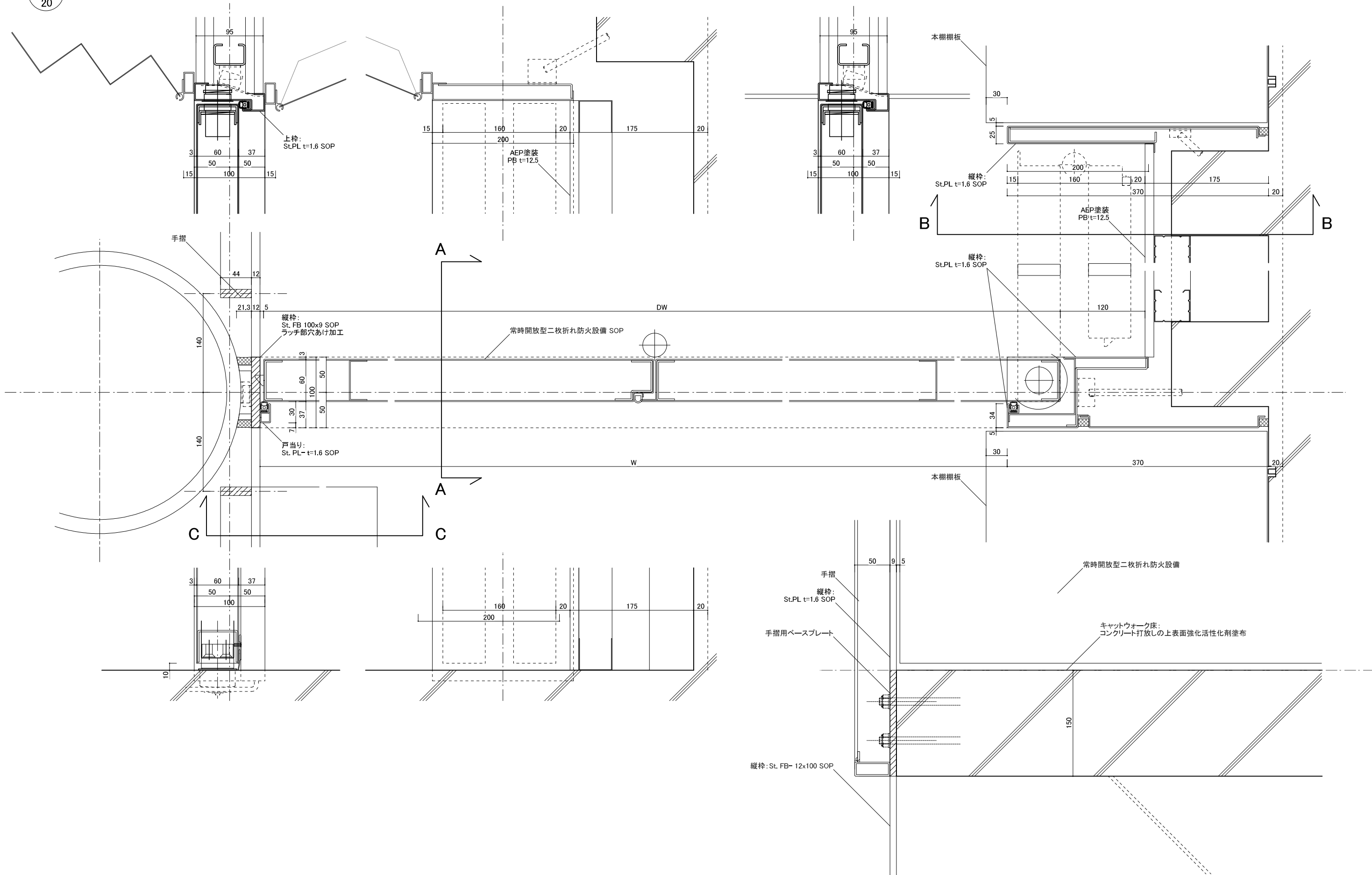
SD 10 を示す





常時開放型二枚折れ防火設備

SD  
20  
を示す





常時開放型二枚折れ防火設備



SD  
29

を示す



SD  
16

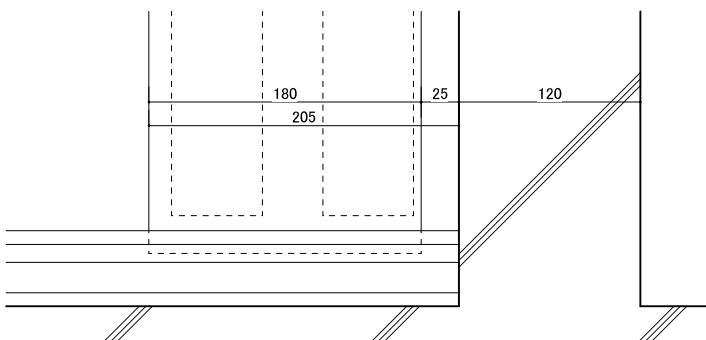
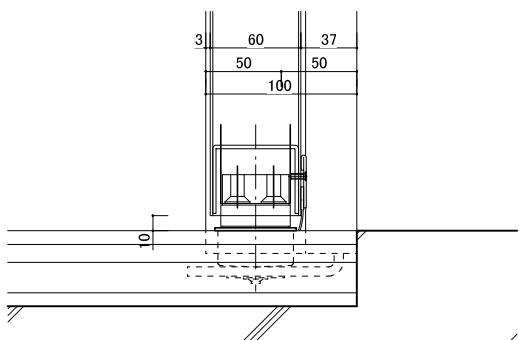
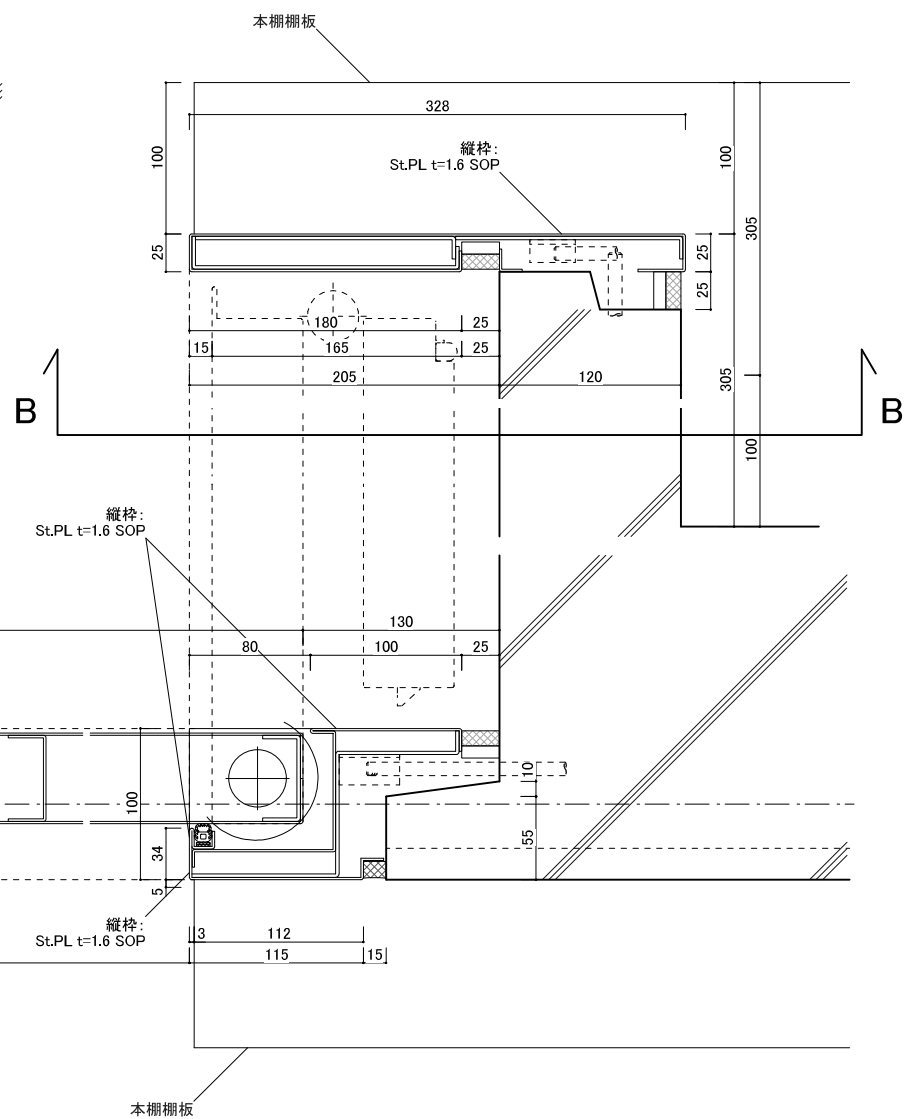
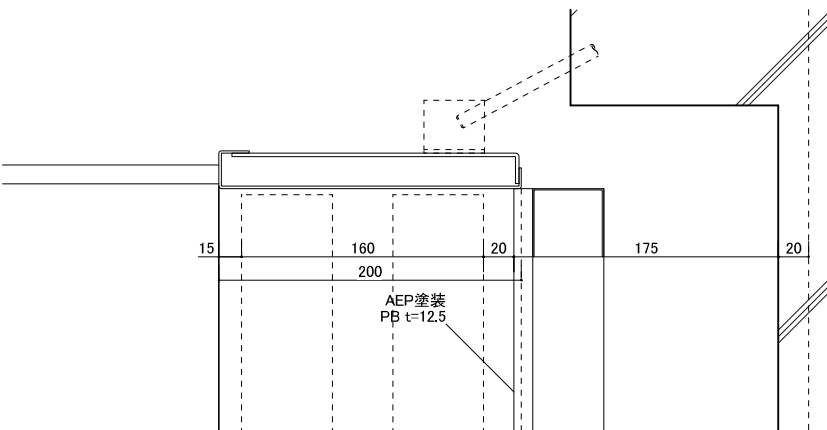
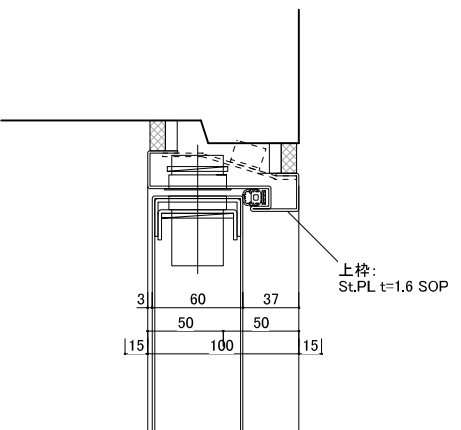
SD  
21

SD  
28



SD  
31

も下図に準ずる





鋼製両開き框戸+鋼製FIX窓

SWD 3 SW 1 を示す  
SW 2 SW 5 も下図に準ずる

コンクリート打放しの上  
撥水材塗布

外部

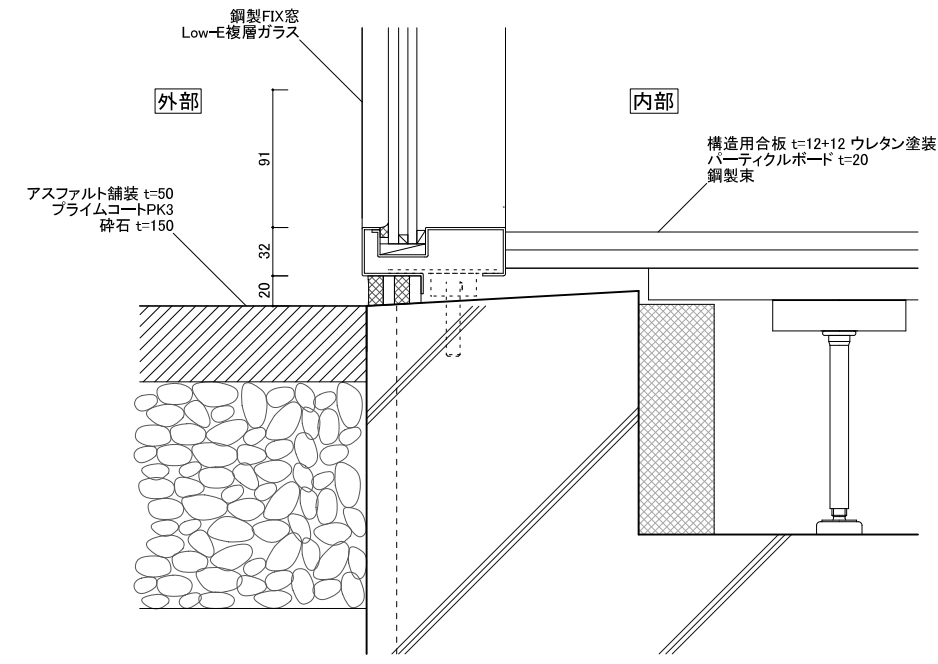
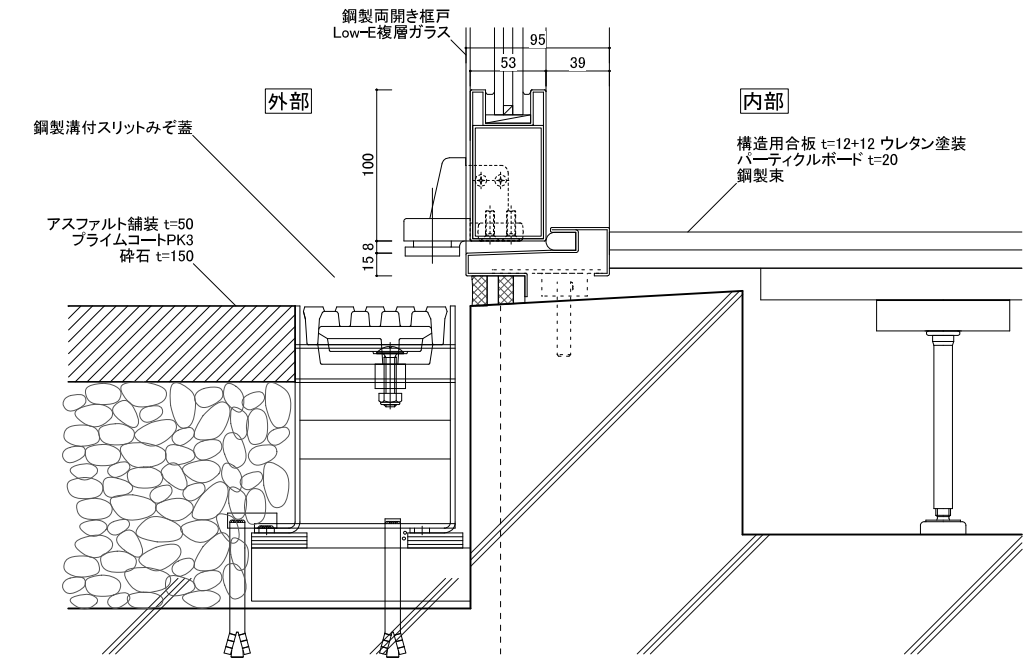
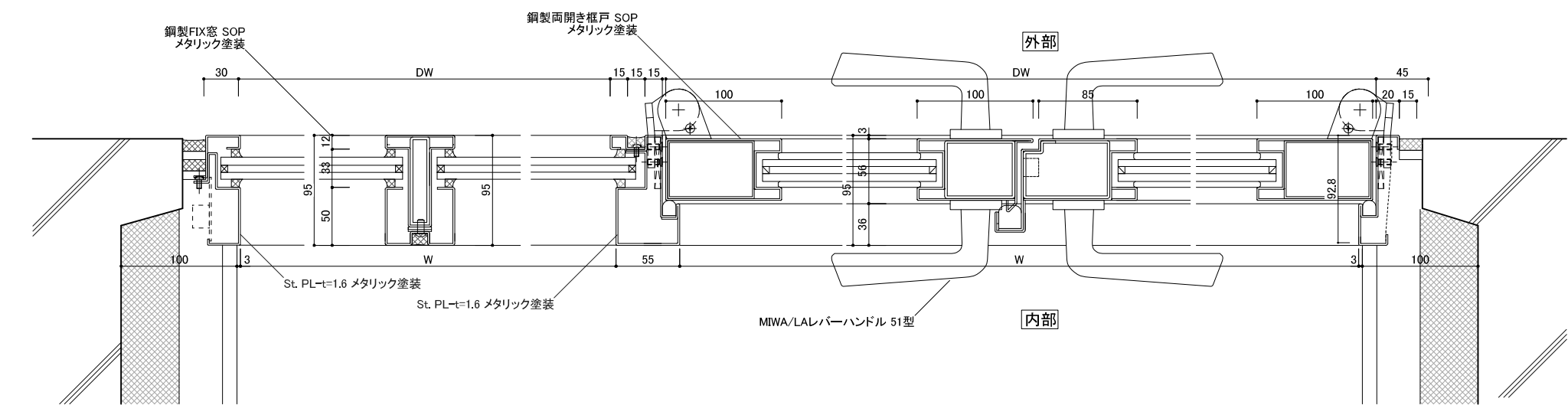
内部

コンクリート打放しの上  
撥水材塗布

鋼製FIX窓  
Low-E複層ガラス

外部

内部

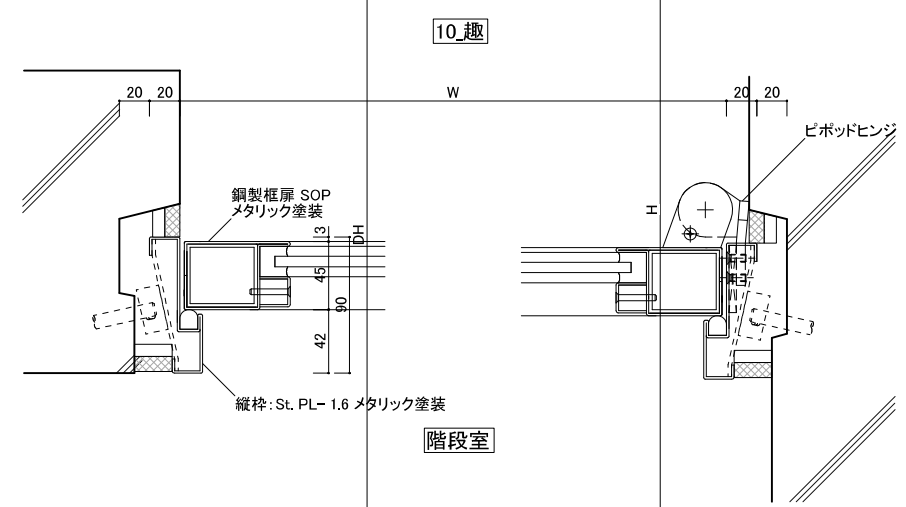


鋼製両開き框戸

SWD 8 を示す

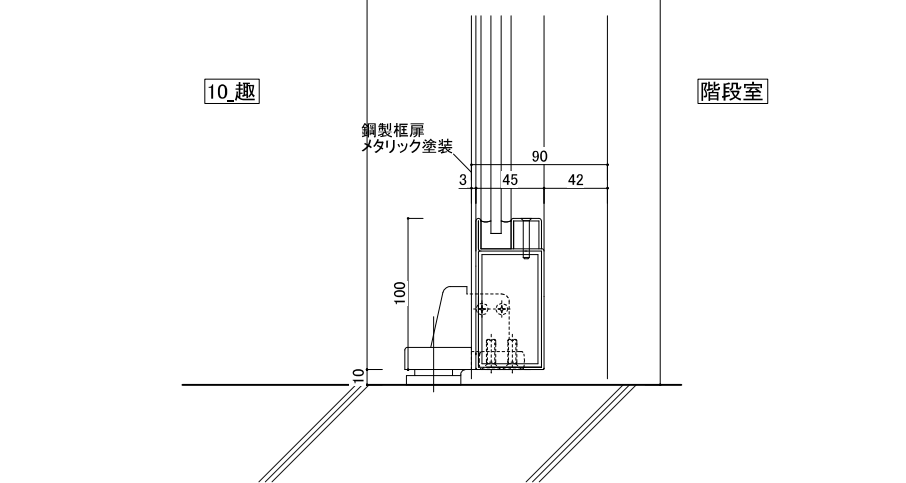
10\_趣

階段室



10\_趣

階段室

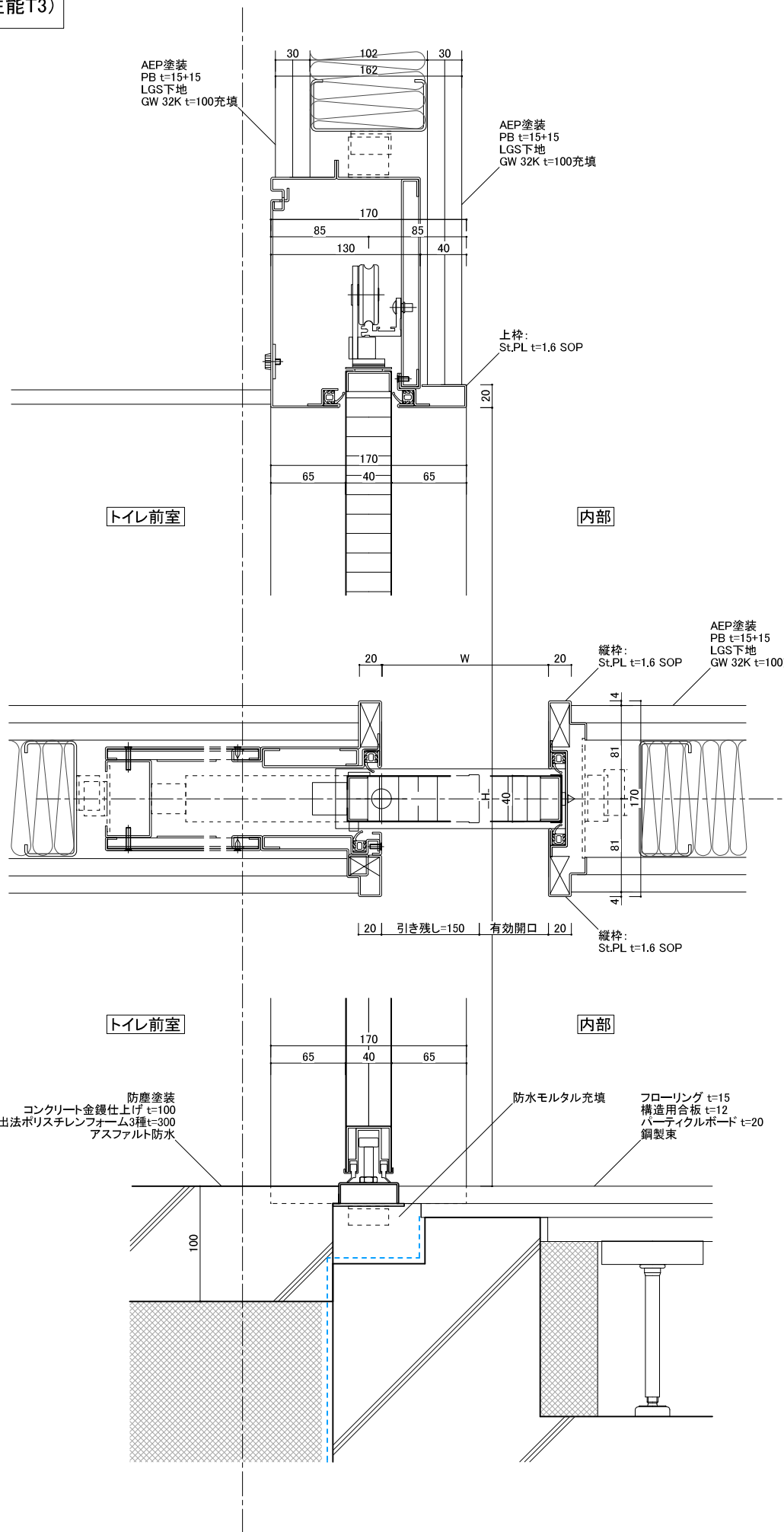




鋼製引き戸(遮音性能T3)



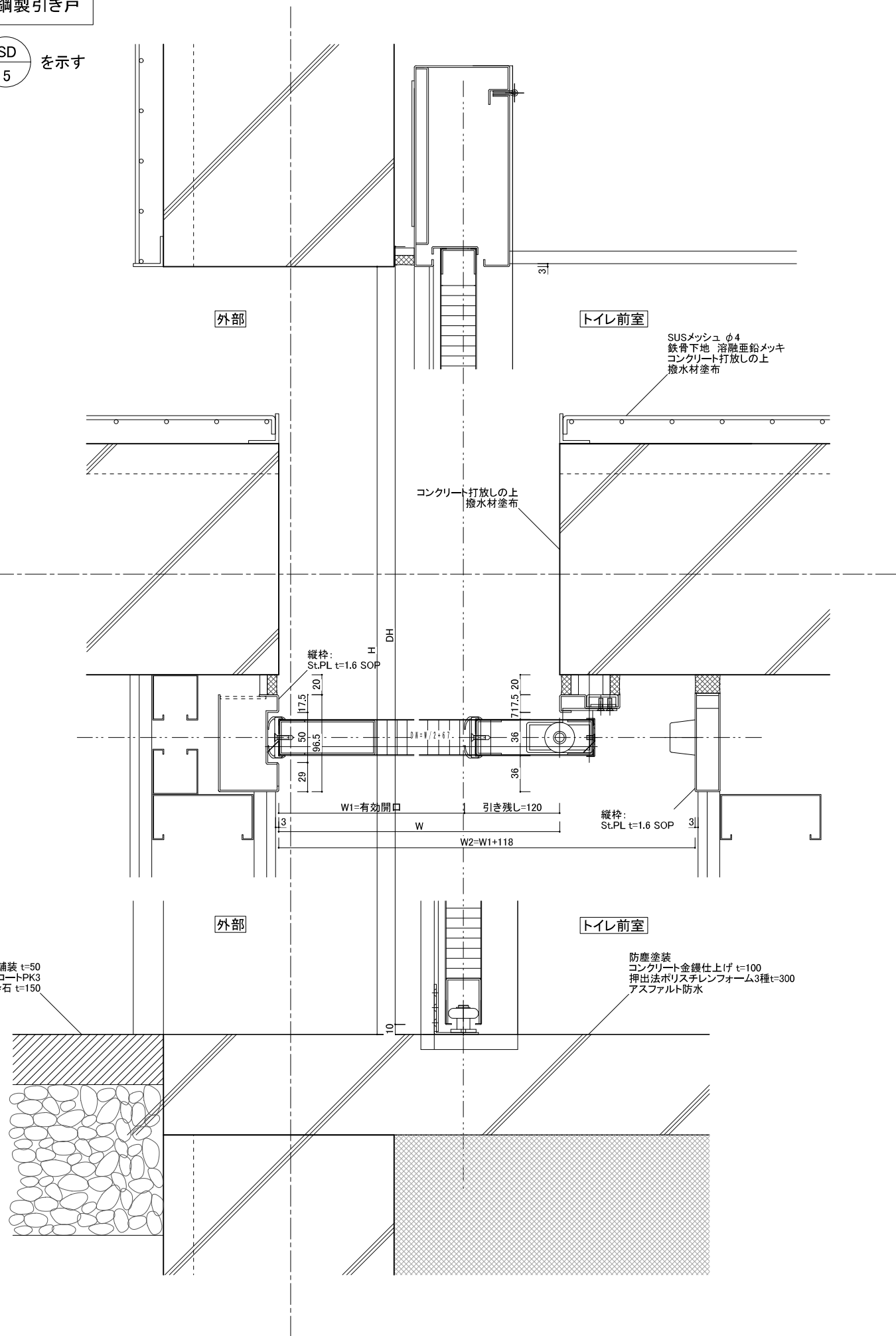
を示す



鋼製引き戸



を示す



project

図書館等複合施設新築(建築主体)工事

---

akihisa hirata architecture office

一級建築士第339532号 杉山征利  
一級建築士事務所 東京都知事登録第57148号

株式会社平田晃久建築設計事務所  
106-0031 東京都港区西麻布2-8-13F西麻布ビル  
2-8-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031  
tel 03-3409-1455 fax 03-3409-1458

	date
--	------

R04.06.30

	scale
--	-------

1/5

subject
---------

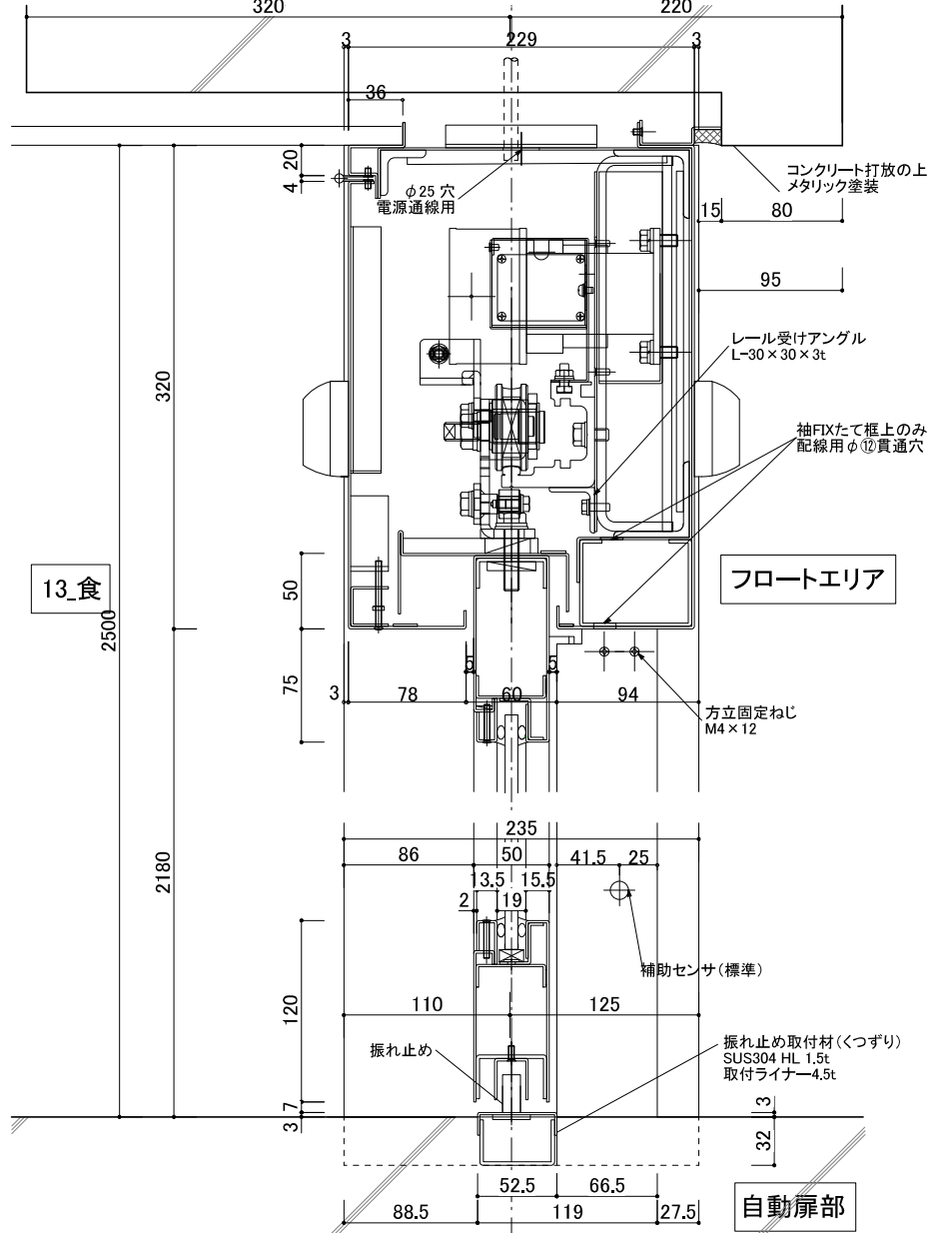
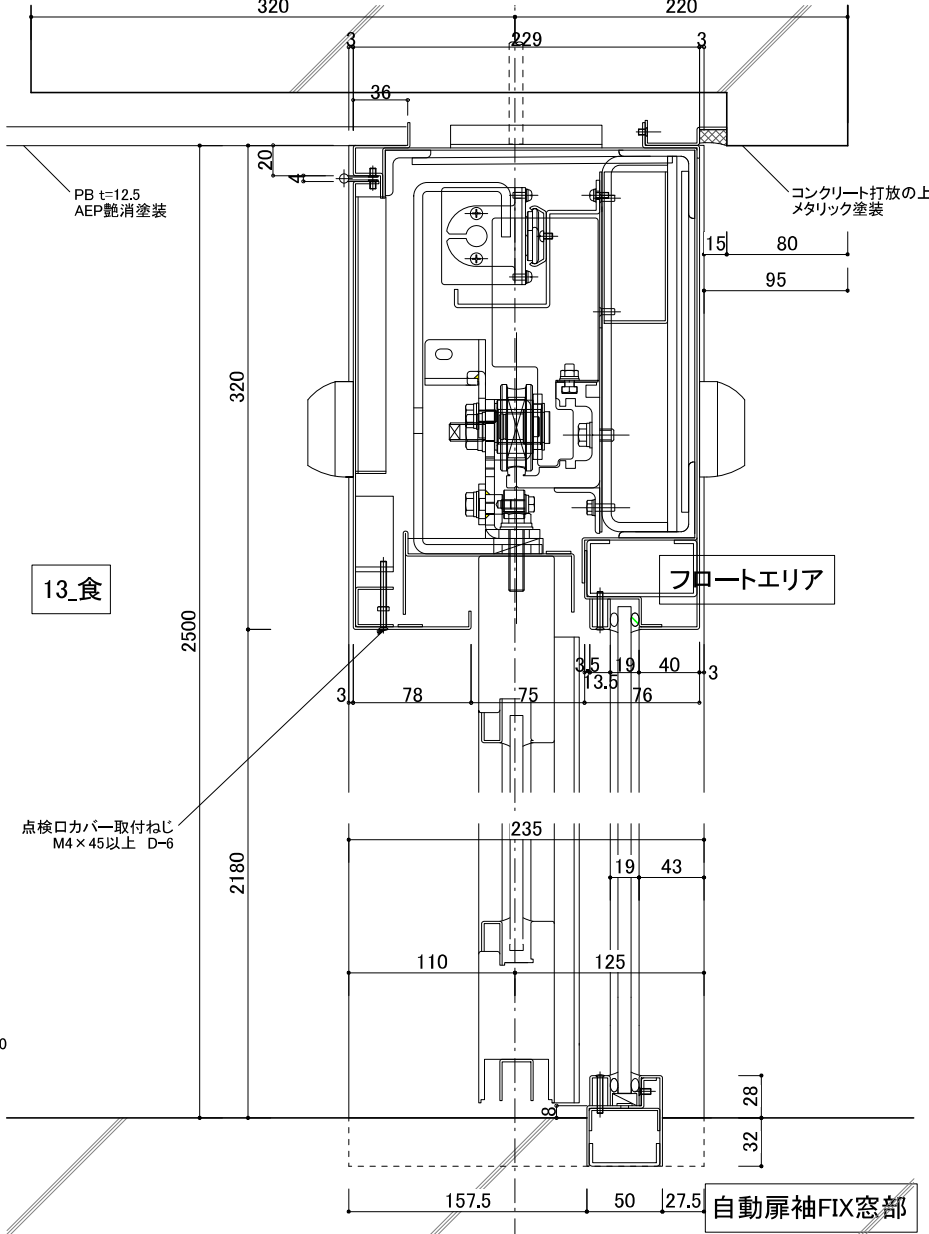
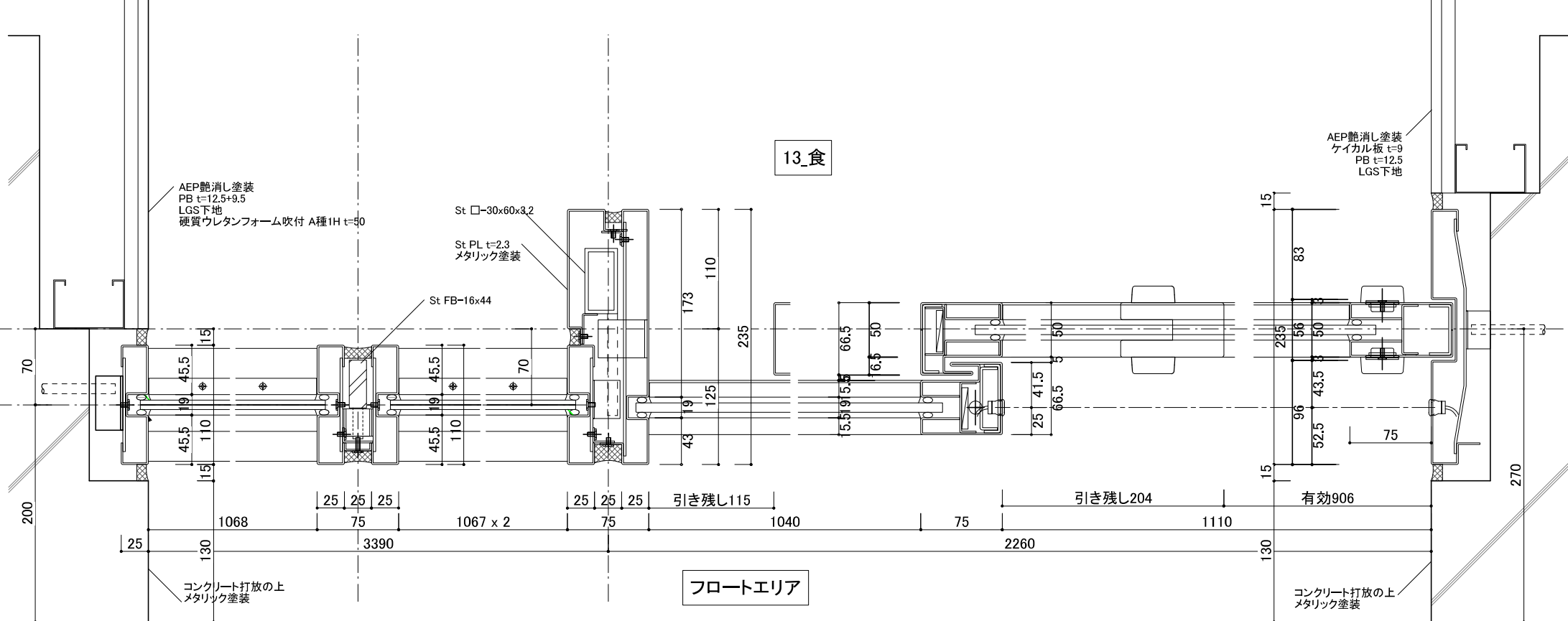
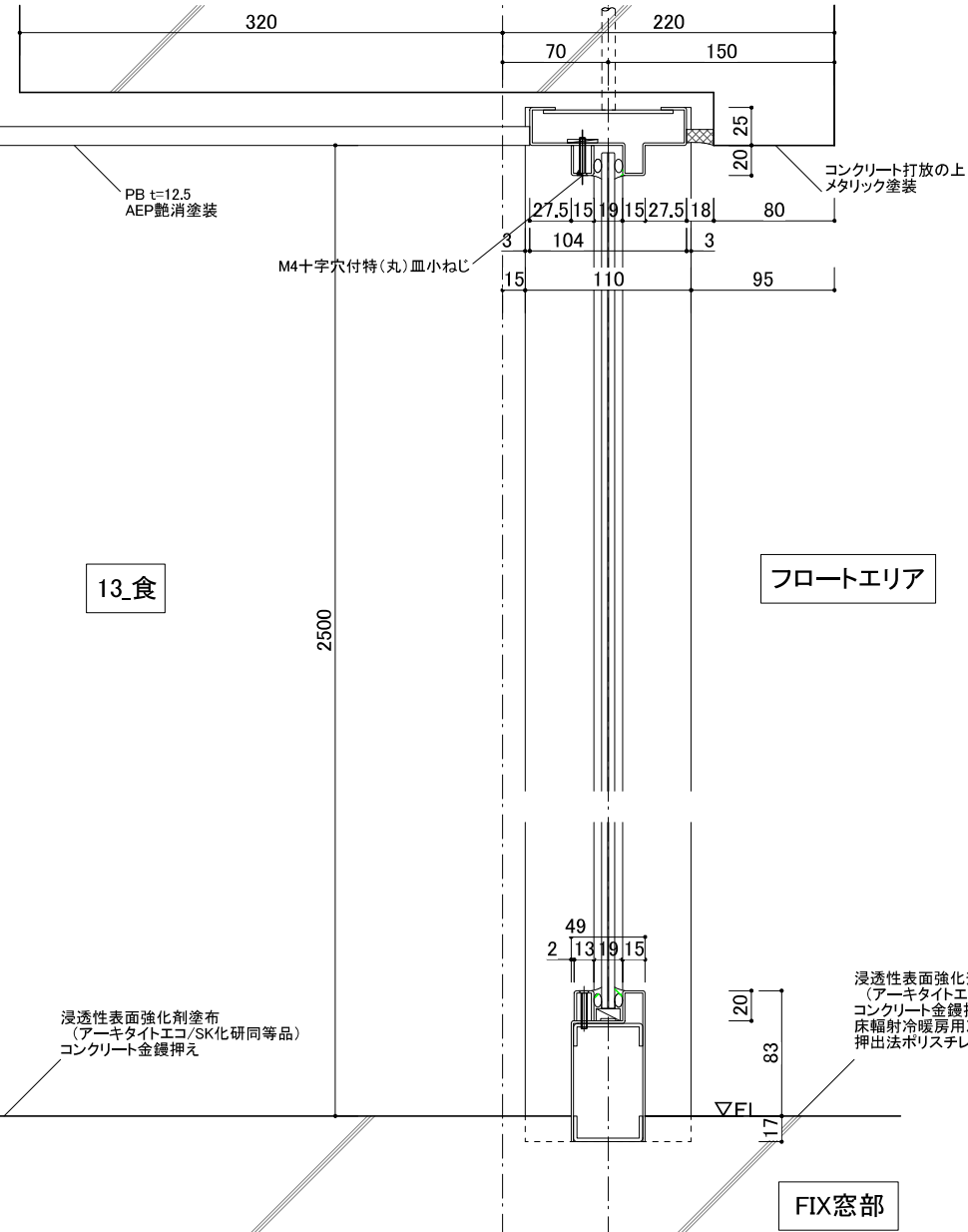
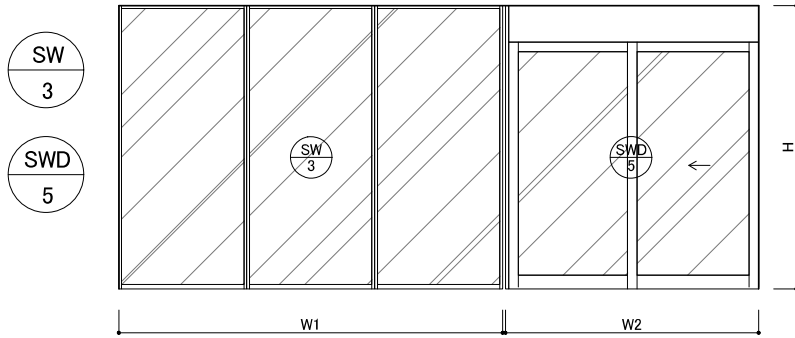
### 建具詳細図7

A108



鋼製FIX窓+片引き自動扉

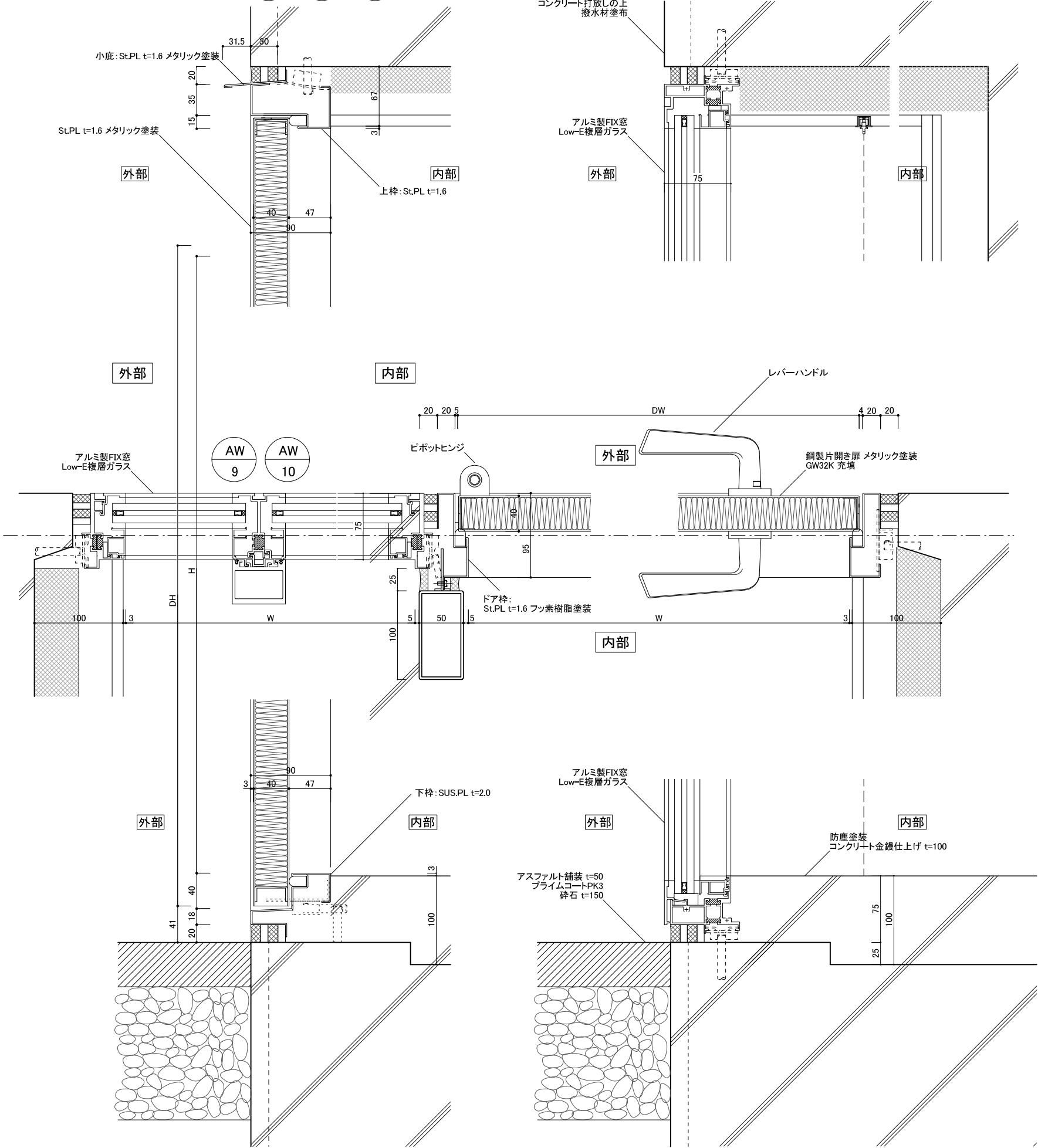
	SW3	SWD5
建具種類	3連鋼製FIX窓(特定防火設備)	鋼製片引き自動扉(定防火設備)
仕上げ	防錆塗装の上メタリック塗装	防錆塗装の上メタリック塗装
錠	－	シリンダー錠
サイズ	W1130×H2500	W2260×H2500
備考	ファイヤードS/三和シャッター 同等品	ファイヤードS スチール仕様 /三和シャッター 同等品





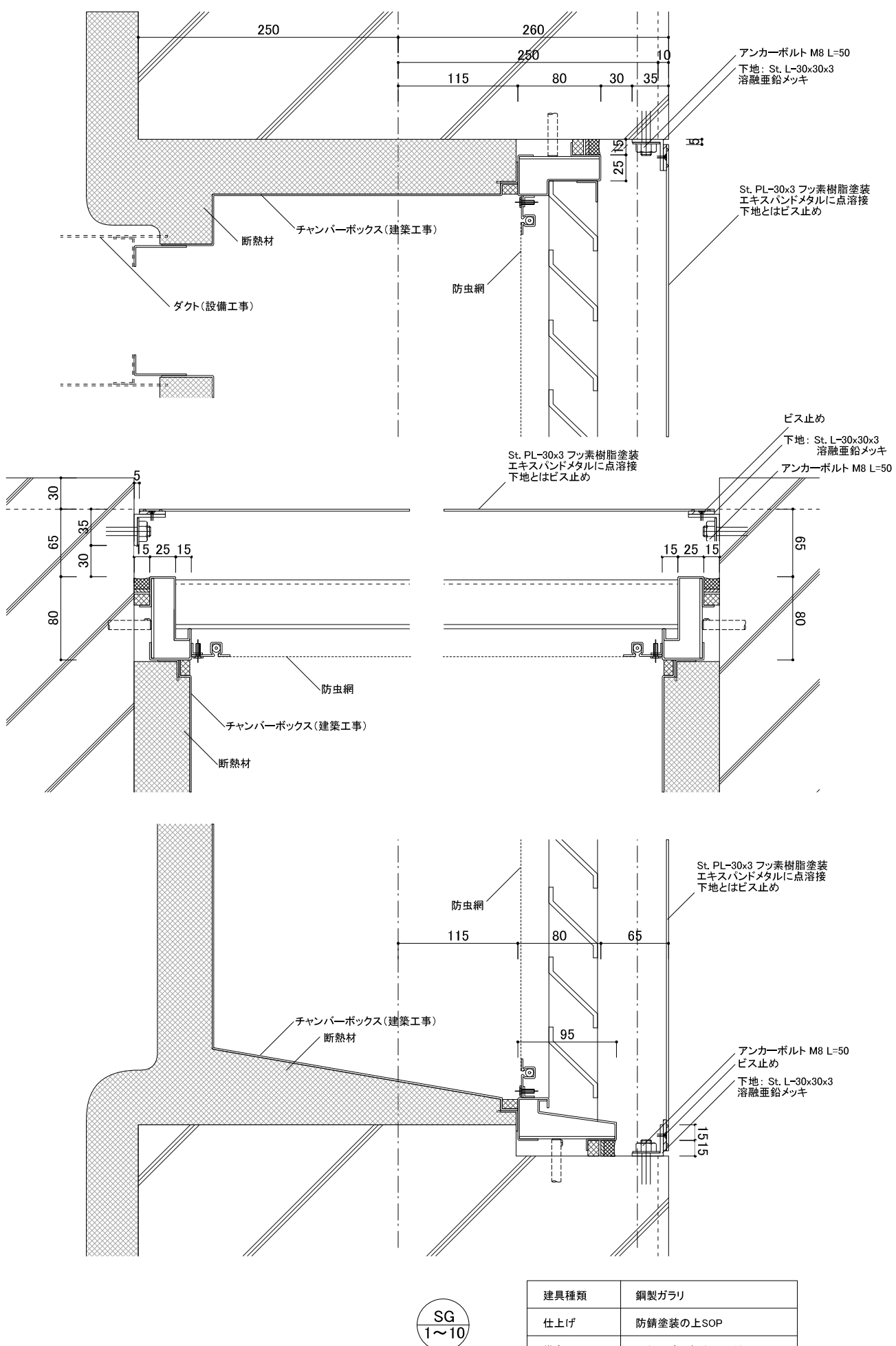
鋼製片開き扉+アルミ製FIX窓

SD 42 AW 9 AW 10 を示す



鋼製ガラリ

SG 1~10

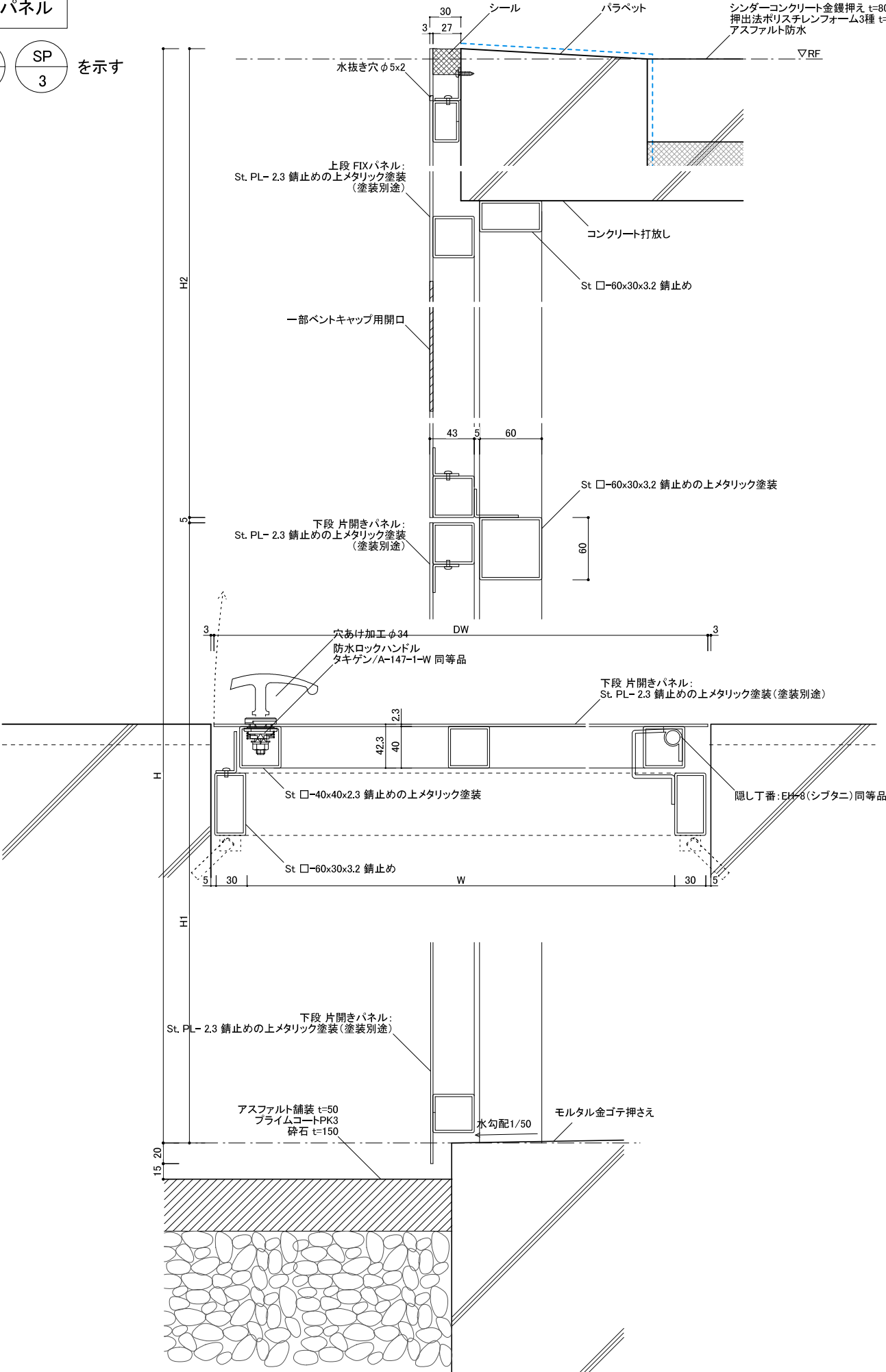




FIXパネル

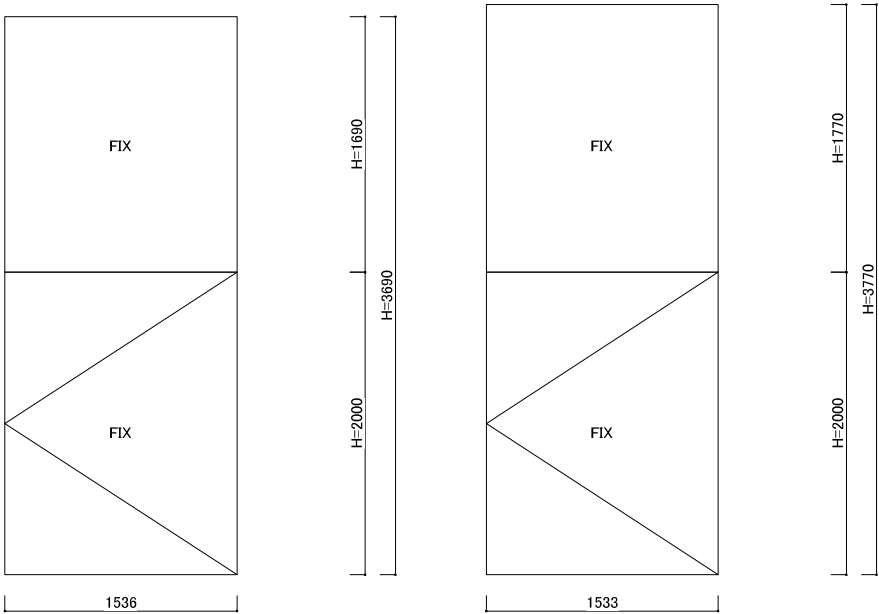
SP 2    SP 3

を示す



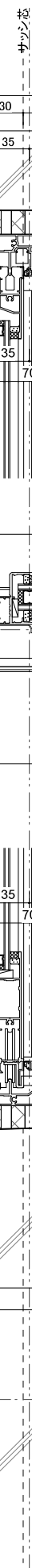
SP 2

SP 3

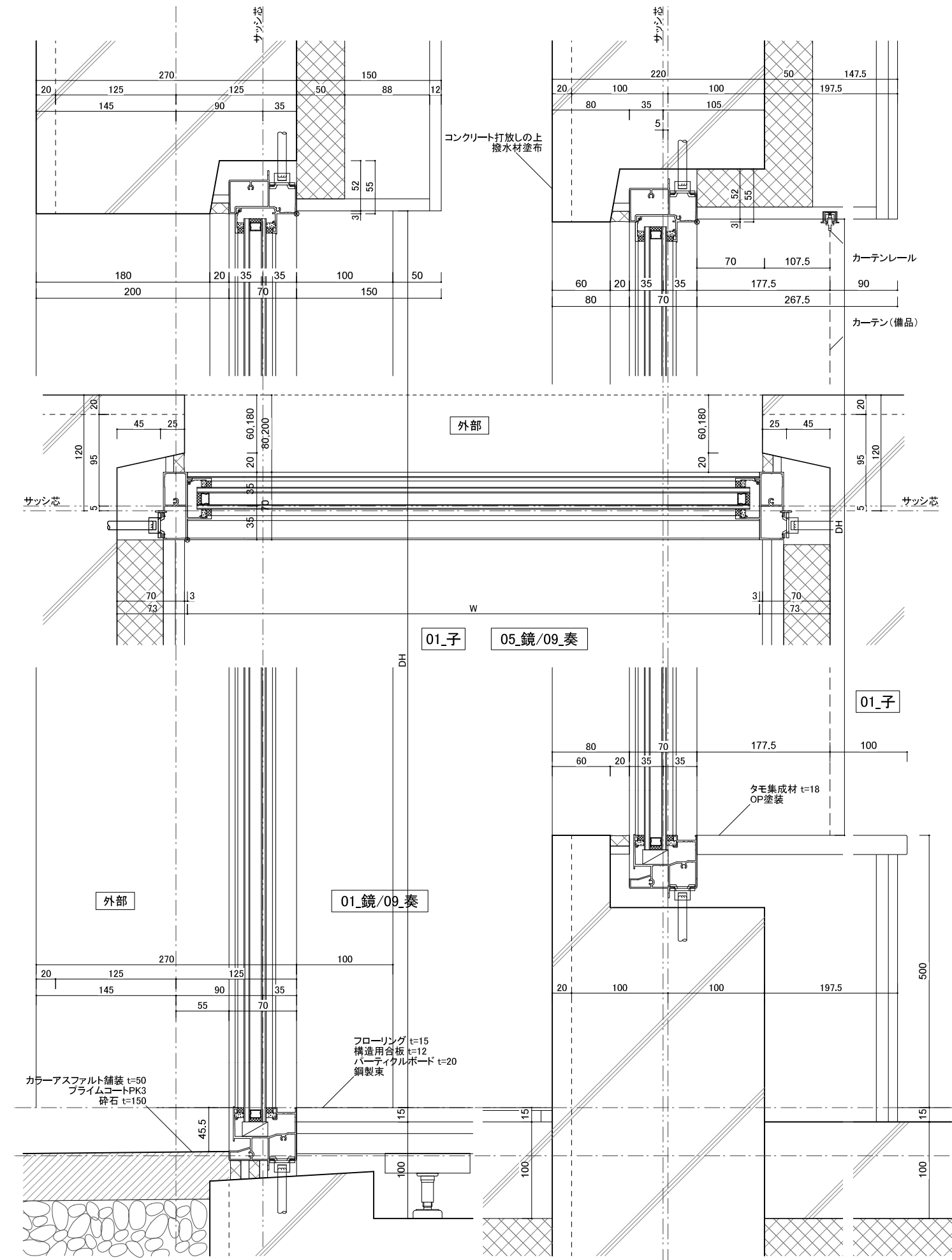




も下図に準ずる



を示す

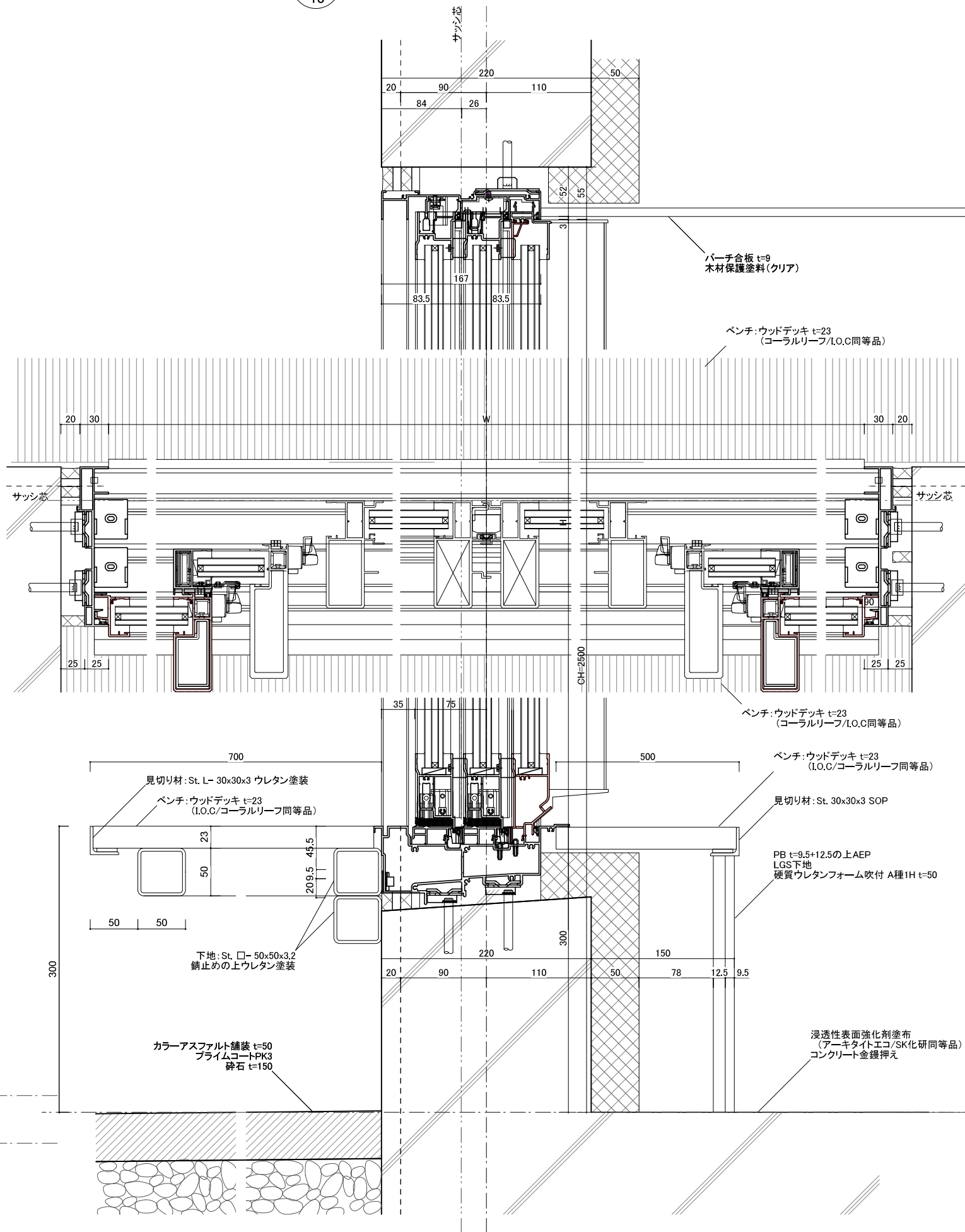




アルミ製引き分け窓 同面納まり

AW  
13

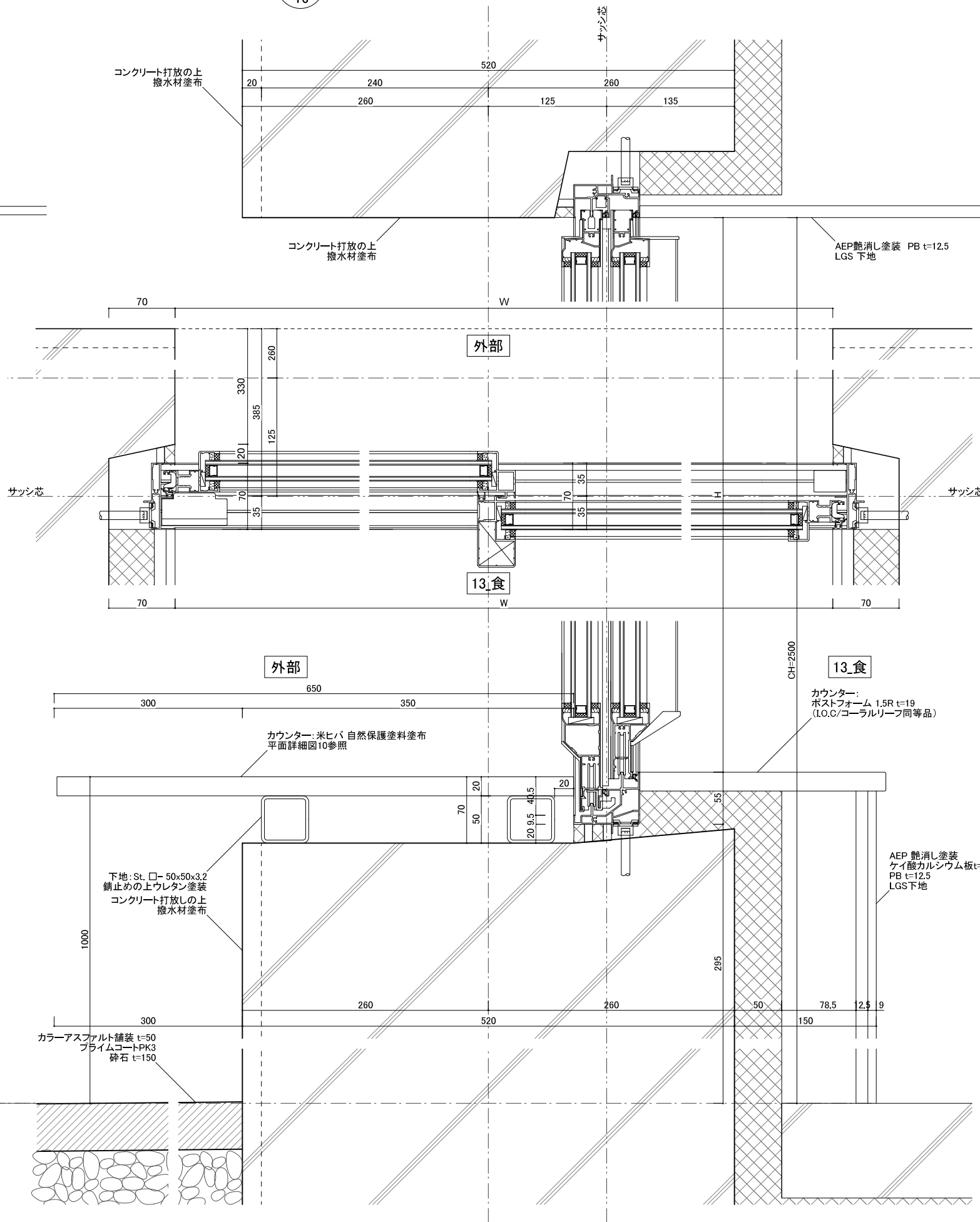
を示す。



アルミ製引き違い窓 抱き納まり

AW  
16

を示す。



project

図書館等複合施設新築(建築主体)工事

akihisa hirata architecture office

一級建築士第339532号 杉山征利  
一級建築士事務所 東京都知事登録第57148号

株式会社平田昇久建築設計事務所  
106-0031 東京都港区西麻布2-9-13F西麻布ビル  
2-9-13 nishi-azabu minatoku tokyo 106-0031  
tel 03-3409-1455 fax 03-3409-1458

date

R04.06.30

scale

1/5

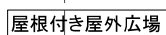
subject

建具詳細図12

A113



を示す。

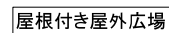


カーテン(備品)

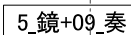
フローリング t=12 (床暖対応)  
シンダーコンクリート金鍔押え t=100  
床輻射冷暖房用冷温水配管埋設  
押出法ポリスチレンフォーム3種 t=100

アスファルト舗装  $t=5$   
プライムコートP  
砕石  $t=15$

もこれに準ずる。



5\_鏡+09\_奏



GWボード32K t=5  
構造用合板 t=18  
LGS下地

5\_鏡+09\_奏

フローリング t=15  
構造用合板 t=12  
パーティクルボード t=20  
鋼製束

#### 屋根付き屋外広場

カラーアスファルト舗装 t=50  
プライムコートPK  
砕石 t=150



を示す。

を示す。



AW  
18



92

---

15 12 15

外部

10\_趣

外部

外部

13\_食

80 70 120

35 35

45

100

60 100 40

防塵塗装  
土間コンクリート t=100  
碎石 t=150

浸透性表面強化剤塗布  
(アーキタイトエコ/SK化研同等品)  
コンクリート金鍍押え



アルミ製折れ戸(8\_演)

AW  
11

AW  
12

を示す。

コンクリート打放しの上  
撥水材塗布

アルミ製折れ戸  
(イースターカーテン/東工シャッター同等品)  
Low-E複層ガラス

外部

8\_演

GWボード32K t=50  
構造用合板 t=9  
LGS下地

遮光カーテン

GWボード32K t=50  
構造用合板 t=9  
LGS下地

外部

銅製溝付スリットみぞ蓋

サッシ芯

サッシ芯

8\_演

GWボード32K t=50  
構造用合板 t=9  
PB t=9  
GLボンド

GWボード32K t=50  
構造用合板 t=9  
LGS下地

外部

8\_演

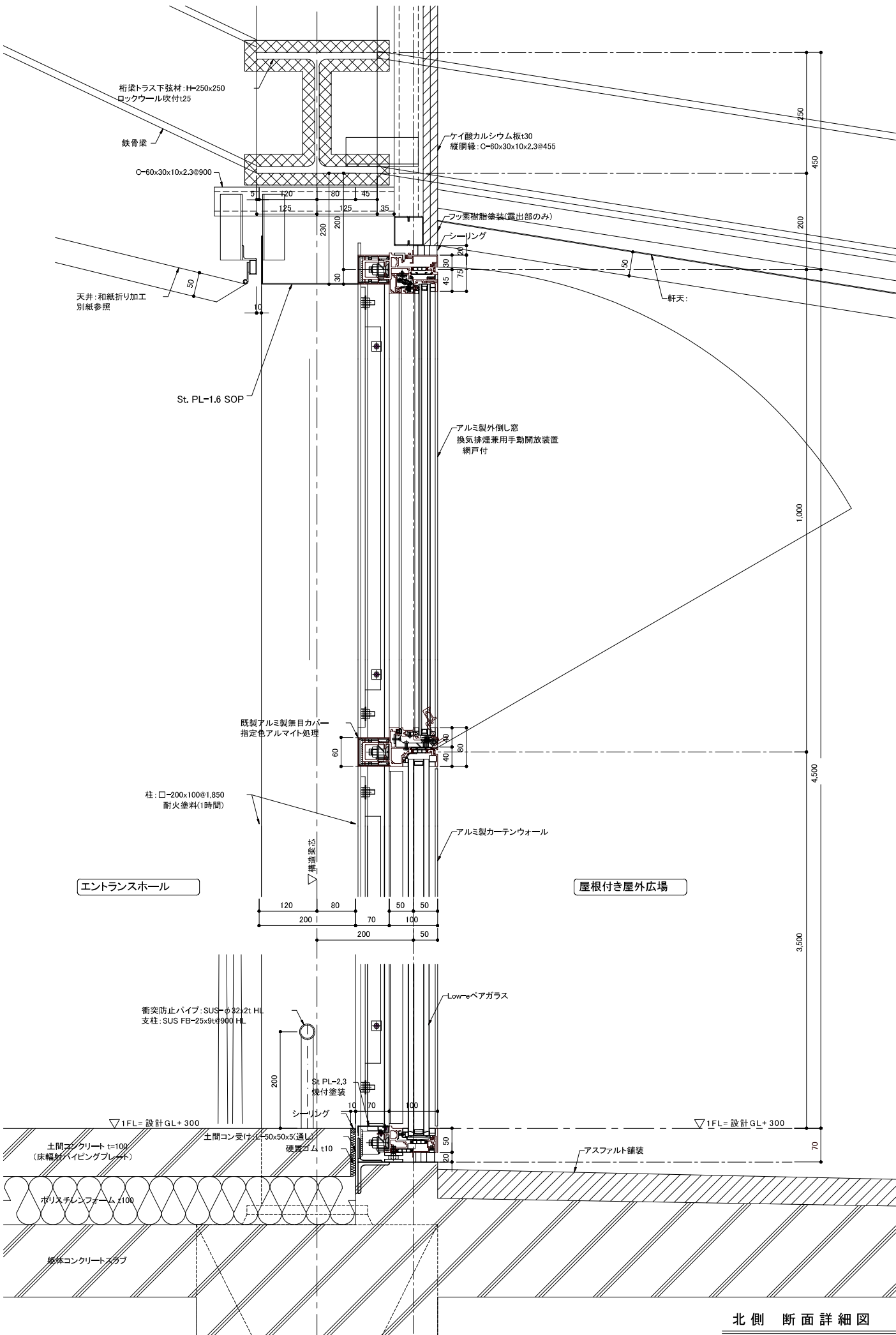
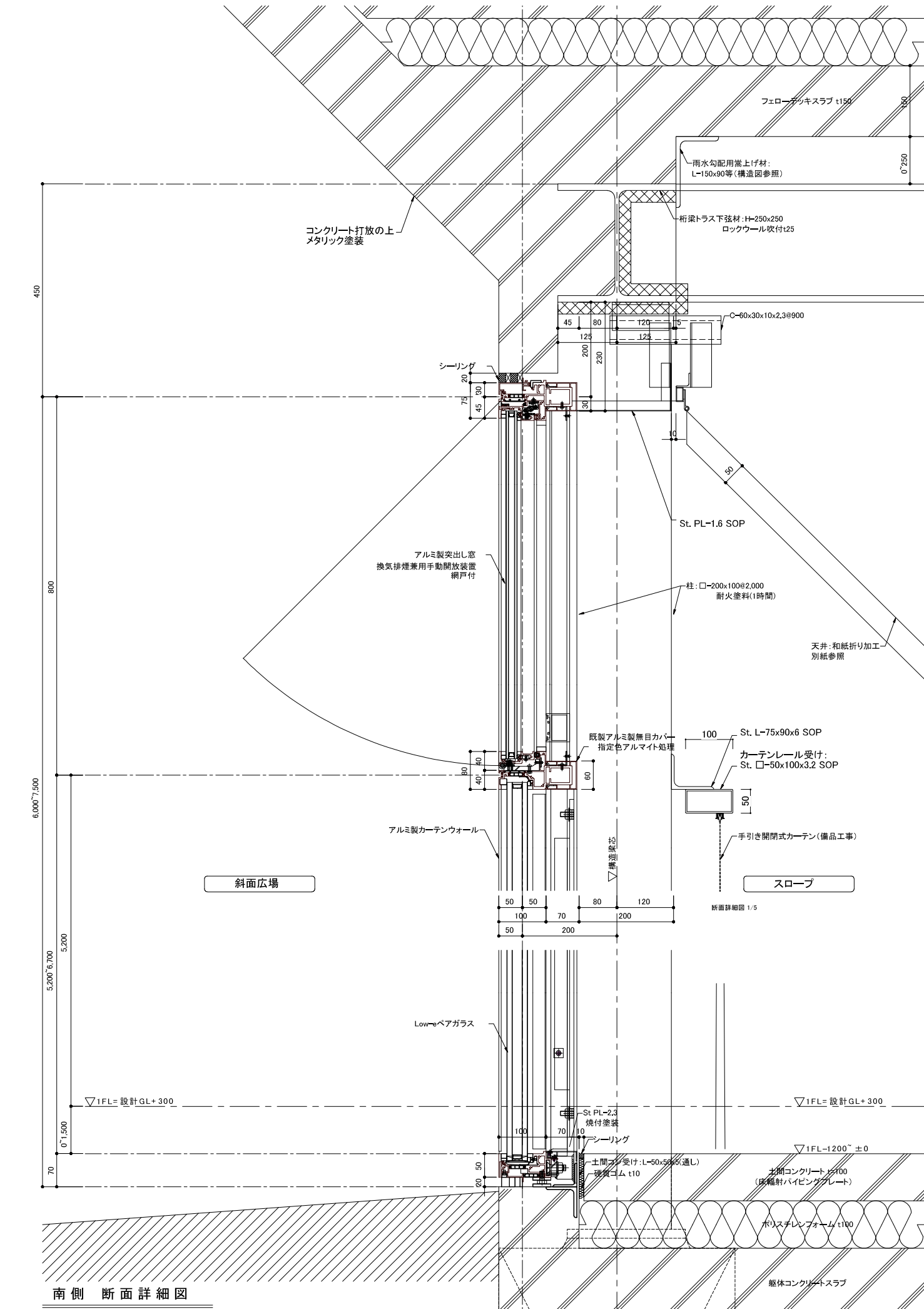
銅製溝付スリットみぞ蓋

アスファルト舗装 t=50  
プライムコートPK3  
砕石 t=150

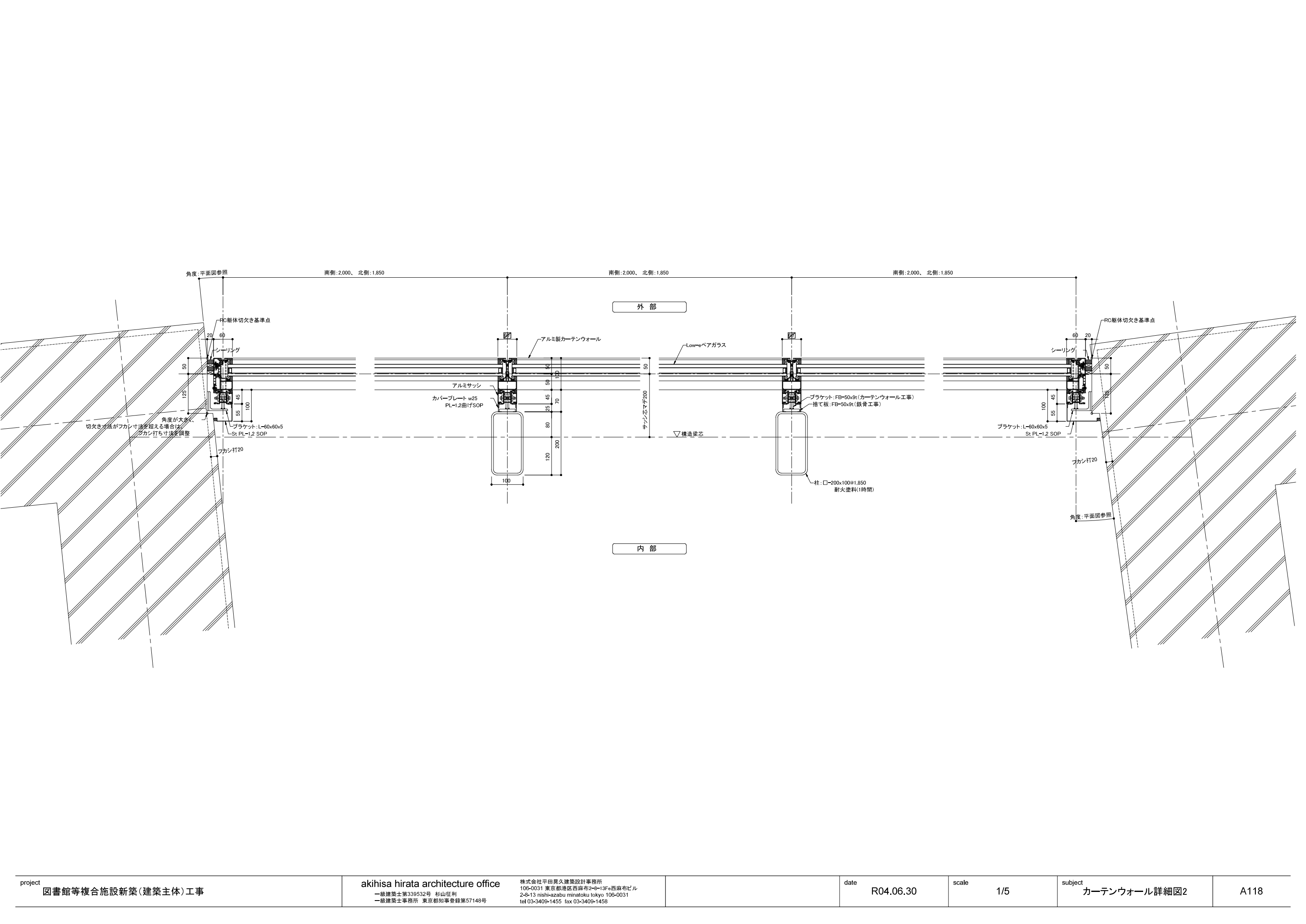
構造用合板 t=12 ウレタン塗装  
捨て貼り合板 t=12  
パーティクルボード t=20  
銅製束

遮光カーテン(備品)

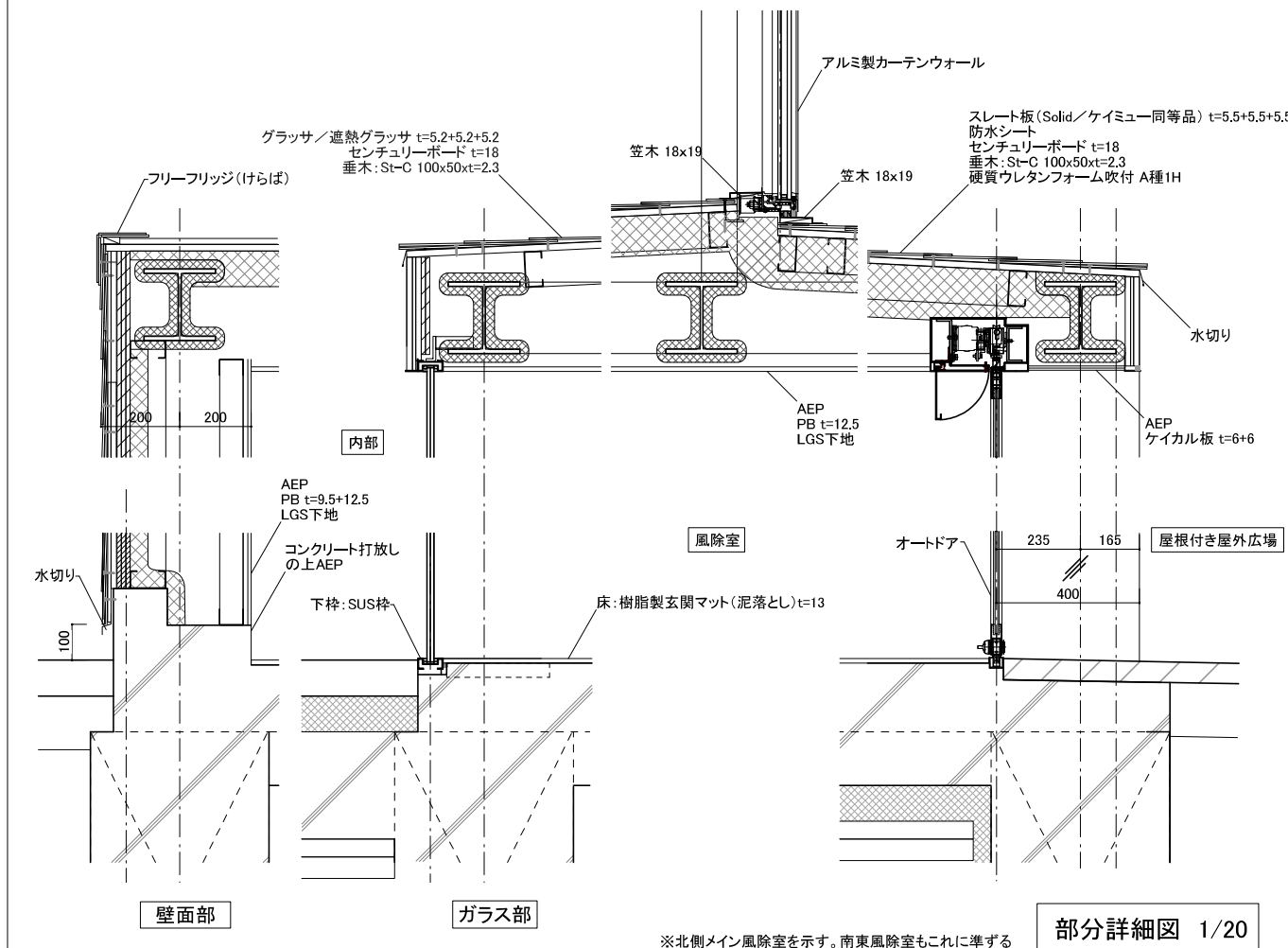
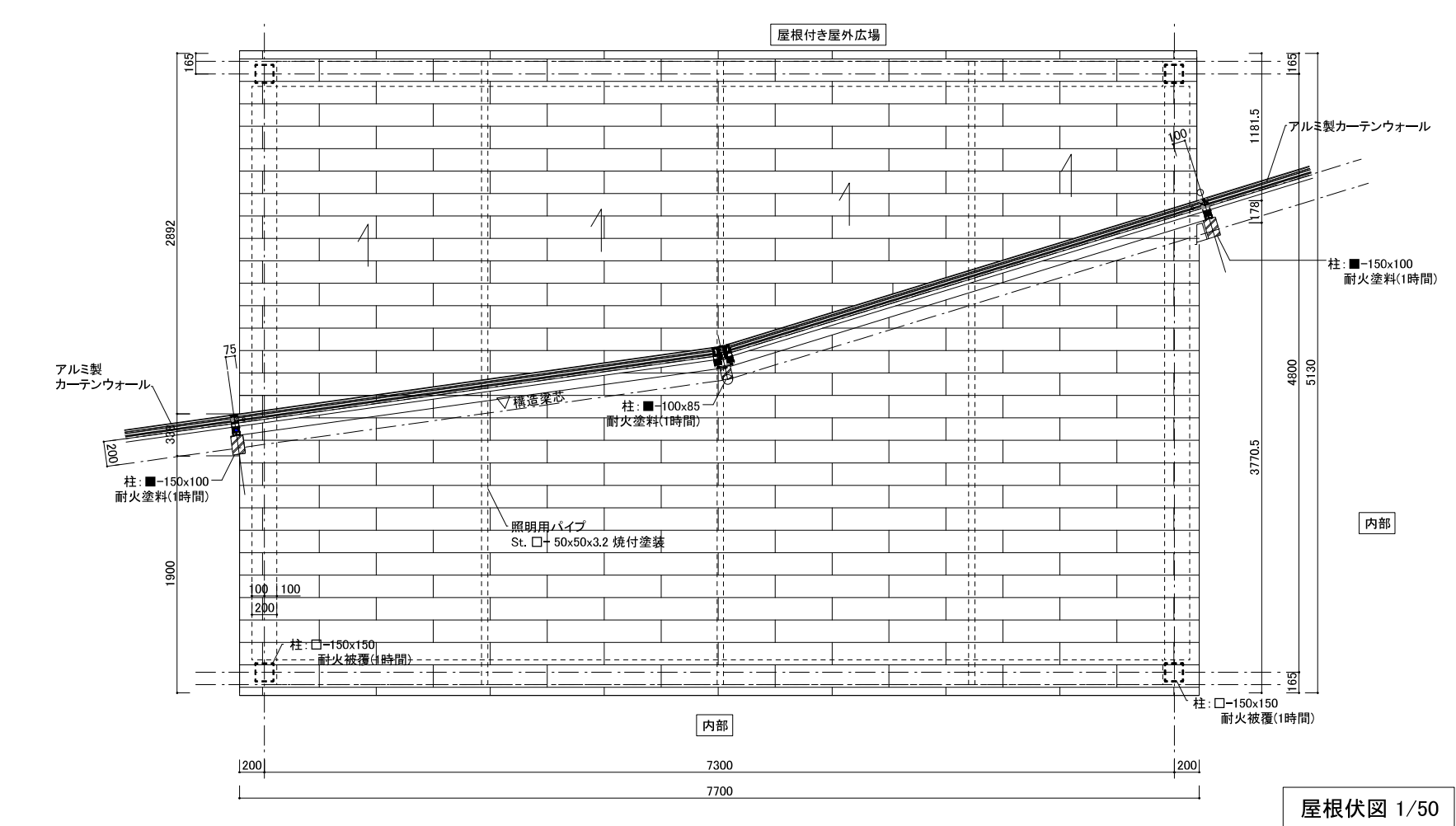
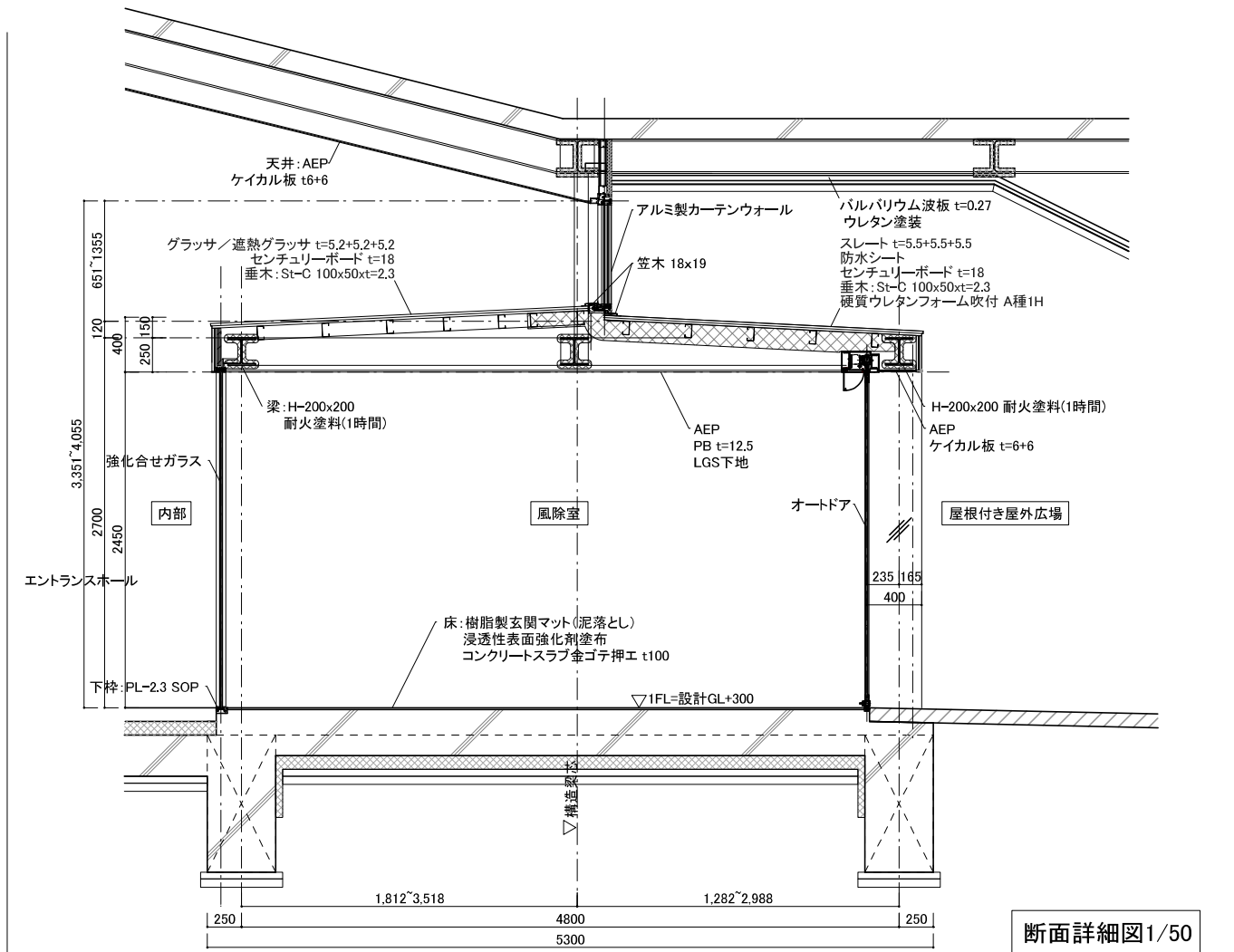
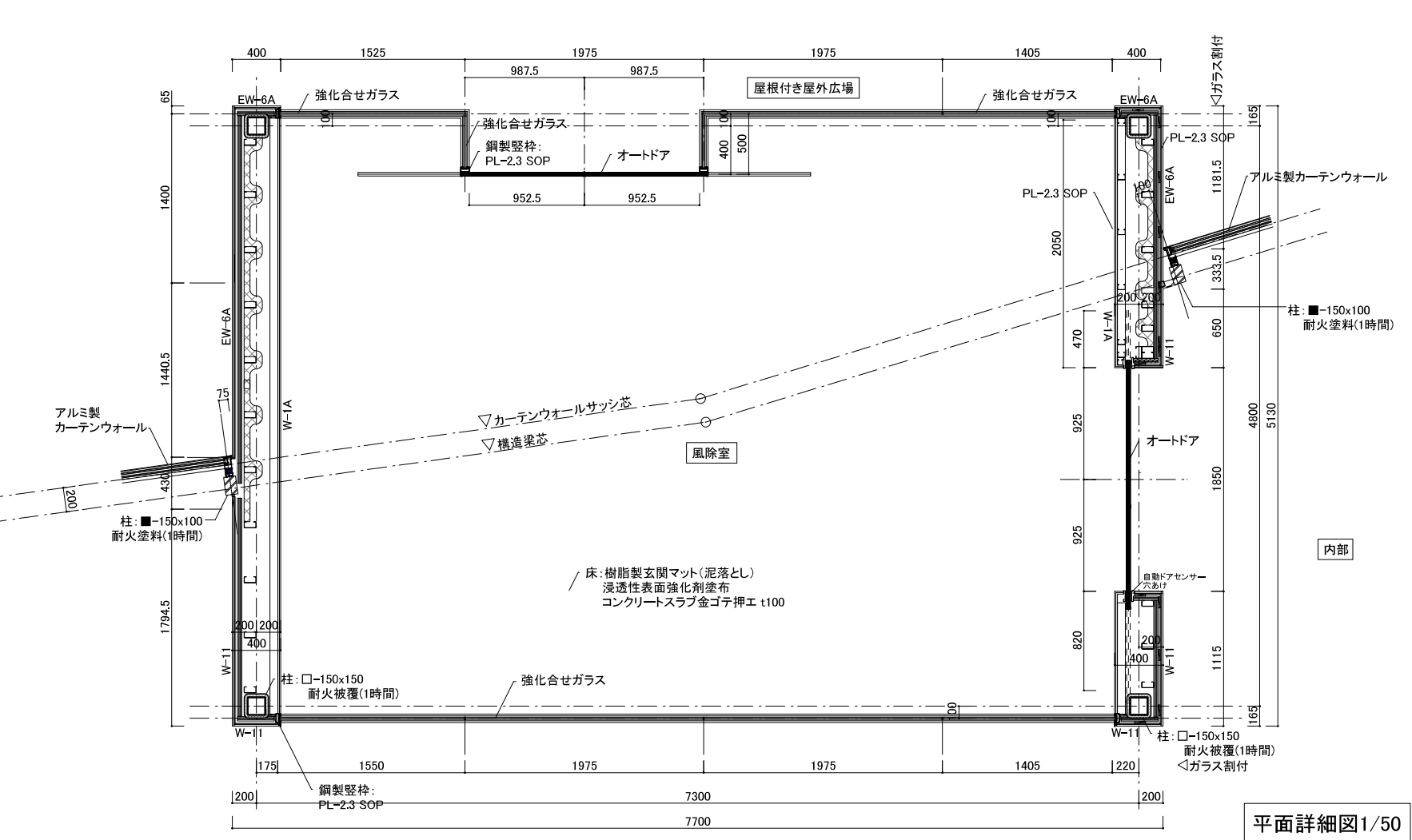






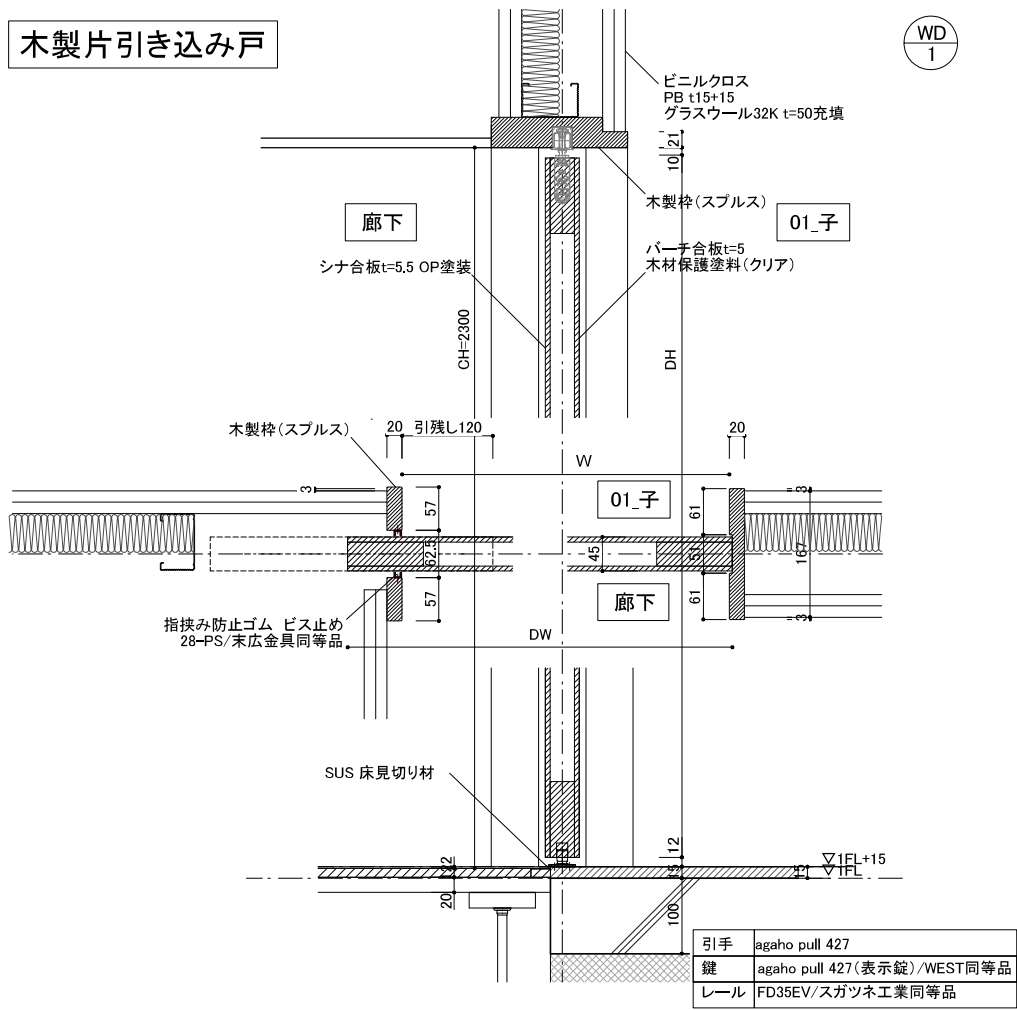




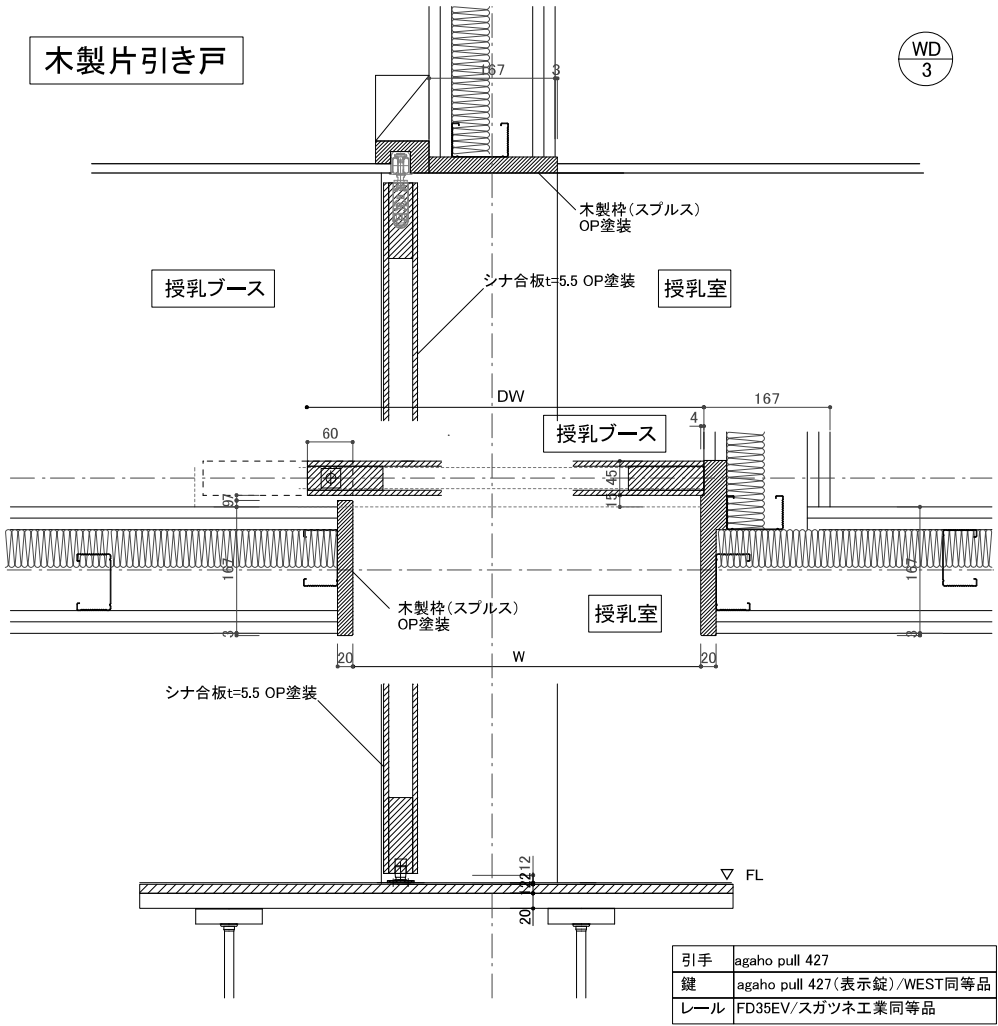




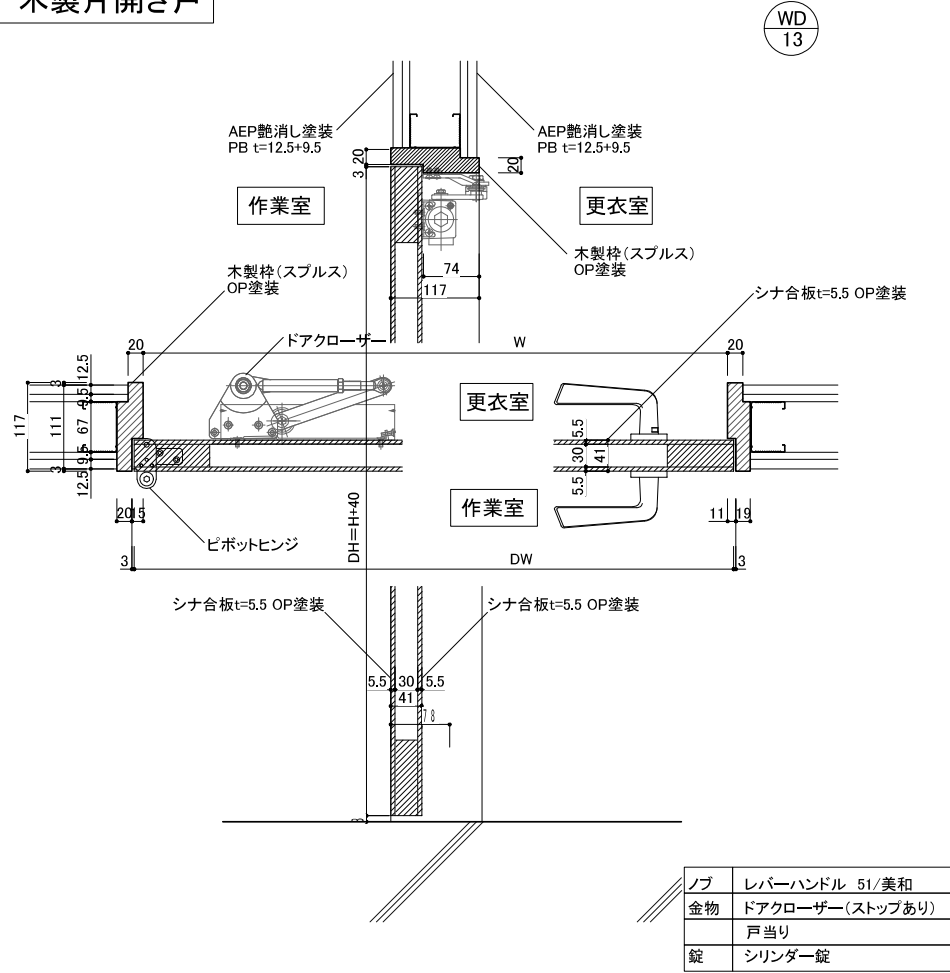
木製片引き込み戸



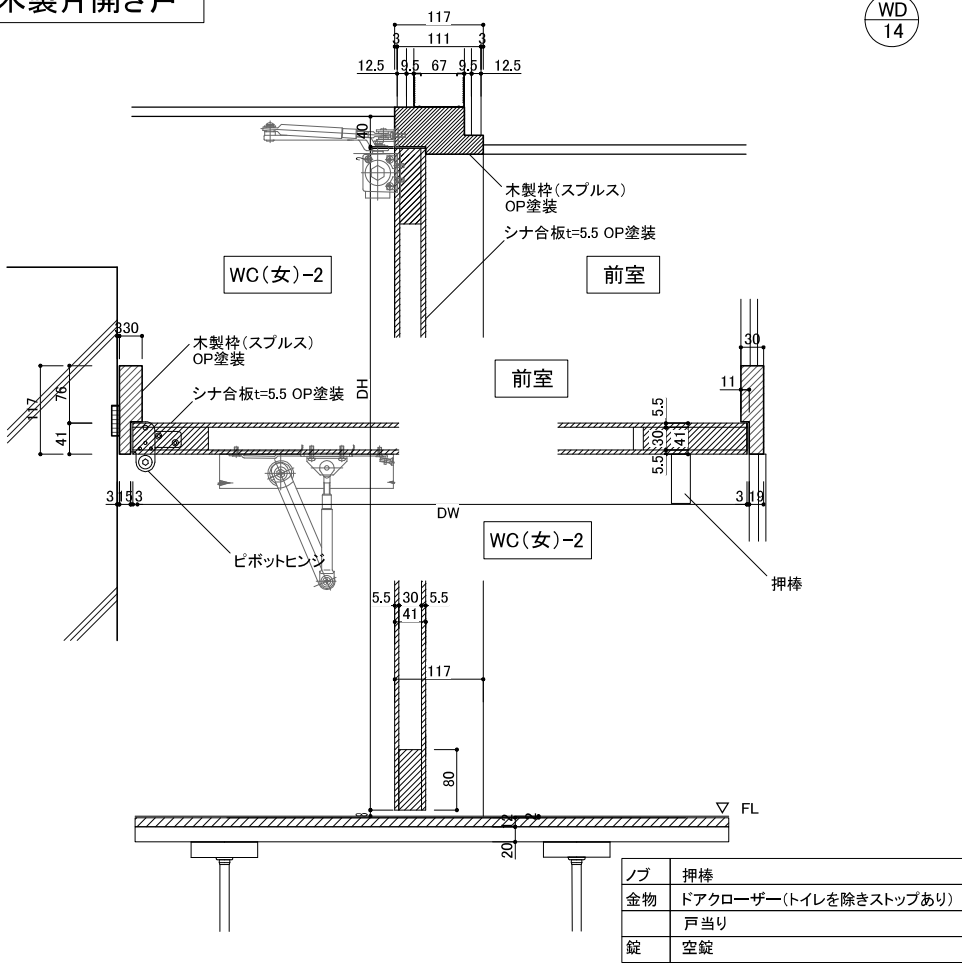
木製片引き戸



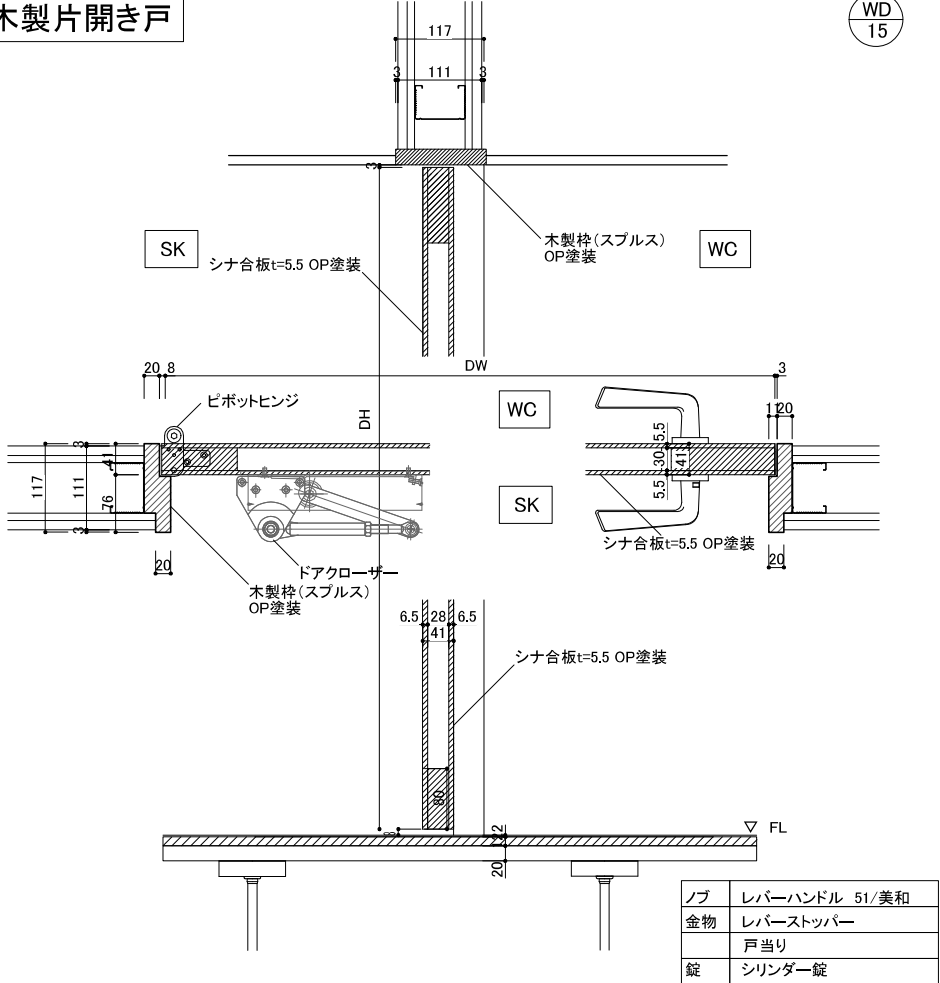
木製片開き戸



木製片開き戸

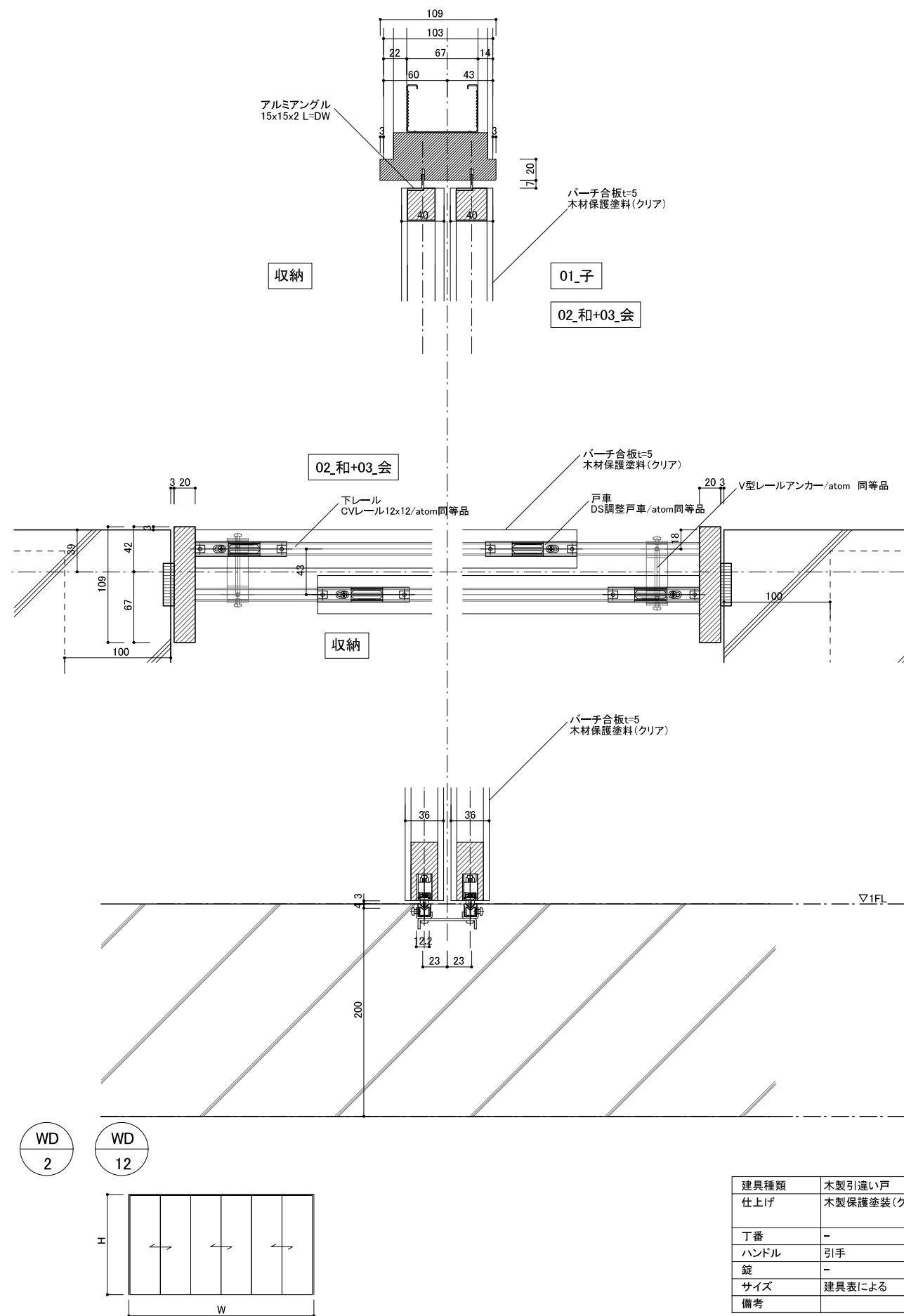


木製片開き戸





木製引違い戸



建具種類	木製引違い戸
仕上げ	木製保護塗装(クリア) シナ合板t=5.5
丁番	-
ハンドル	引手
錠	-
サイズ	建具表による
備考	